DocuPrint C5450

「Printing Force FUJI XEROX ロゴマーク」が適用された商品は、富士ゼロックスおよび富士ゼロックスプリンティングシステムズのプリンター技術を活用して製造し、安心と信頼のプリント環境を提供します。

平成明朝体™W3、平成角ゴシック体™W5は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。なお、フォントの一部には、弊社でデザインした外字を含みます。許可なく複製することはできません。

プリンターで紙幣を印刷したり、有価証券などを不正に印刷すると、その印刷物を使用するかどうかにかかわらず、法律に違反し罰せられます。

本体のハードディスクに不具合が発生した場合、蓄積されたデータが消失することがあります。この場合のお客様のデータの消失による直接、間接の損害につき、当社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

コンピューターウィルスや不正侵入などによって発生した障害については、当社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本書は、地球環境への負荷低減を目的として再資源化（リサイクル）に配慮して製本しています。製品本体の使用を終了したら、本書は回収業者などによる再資源化にご協力ください。

ご注意

① 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはおやめください。
② 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
③ 本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。
④ 本書に記載されていない方法で機械を操作しないでください。思わぬ故障や事故の原因となることがあります。
万一故障などが発生した場合は、責任を負いかねることがありますので、ご了承ください。
⑤ 本製品は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。
また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によってそれぞれ異なります。本製品および、関連消耗品をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が科せられることがあります。

目　次

1　お使いいただく前に

この章では、本書の使い方、安全にお使いいただくための注意事項、法律上の注意事項などについて説明しています。

はじめに

このたびは DocuPrint C5450 をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書は、本機をはじめてご使用になるかたを対象に、プリント機能の操作方法、紙づまりの処置方法、日常の管理方法、各種設定項目、および使用上の注意事項などについて記載しています。

本書の内容は、お使いのパーソナルコンピューターの環境や、ネットワーク環境の基本的な知識や操作方法を習得されていることを前提に説明しています。本機の性能を十分に発揮させ効果的にご利用いただくために、本書を最後までお読みください。本書は、読んだあとも必ず保管してください。本機をご使用中に、操作でわからないことや不具合が出たときに読み直してご活用いただけます。

プリント機能のオプション製品については、それぞれのオプション製品に同梱されているマニュアルも合わせてごらんください。

富士ゼロックスプリンティングシステムズ株式会社

この取扱説明書のなかで⚠と表記されている事項は、安全にご利用いただくための注意事項です。必ず操作を行う前にお読みいただき、指示をお守りください。また、本書の「安全にご利用いただくために」をご一読ください。

弊社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

弊社は、製品の研究開発から廃棄にいたる事業活動全般において、地球環境の保全を経営の重要課題のひとつに位置づけております。これまでも環境負荷を低減するために、生産施設におけるフロンの全廃など、さまざまな活動を展開してまいりました。
また、お客様の身近なところでは、複写機やプリンターで使用した用紙、消耗品のカートリッジやパーツなどのリサイクルを推進することにより、今後も資源の保護に積極的に取り組んでまいります。
このような活動の一環として、DocuPrint C5450 に、弊社の品質基準に適合したリサイクル・パーツを使用しております。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。
この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

受信障害について
ラジオの雑音、テレビなどの画面に発生するチラツキ、ゆがみがこの商品による影響と思われましたら、この商品の電源スイッチを一旦切ってください。
電源スイッチを切ることにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次の方法を組み合わせて障害を防止してください。

- 本機とラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる。
- 本機とラジオやテレビ双方の距離を離してみる。
- この商品とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる。
- 受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる。（アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください。）
- ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。

本機器は JIS C 61000-3-2（高調波電流発生限度値）に適合しています。

本書の使い方

ここでは、本書の使い方について説明します。

マニュアル体系

この製品に関して、次の種類のマニュアルを用意しています。

本体同梱マニュアル

本製品には、いくつかのマニュアルが同梱されています。これらのマニュアルを本体同梱マニュアルと呼びます。

本体同梱マニュアルでは、設定 / 操作方法などを説明しています。

本製品には、次のマニュアルが同梱されています。

■セットアップガイド
プリンター本体の設置について説明しています。

■ユーザーズガイド　＜本書＞
プリンターの環境設定、プリント機能の操作方法、紙づまりの処置方法、日常の管理方法、各種設定項目、使用上の注意事項などについて説明しています。

■マニュアル（HTML 文書）
プリンタードライバーのインストール、プリンターの環境設定などを説明しています。同梱されているドライバー CD キットの CD-ROM に入っています。

オプション製品マニュアル

本製品ではオプション製品を用意しています。オプション製品には、取扱説明書が同梱されているものがあります。これらの取扱説明書をオプション製品マニュアルと呼びます。オプション製品マニュアルには、製本マニュアルと電子マニュアルがあります。

オプション製品マニュアルでは、オプション製品の操作方法、ソフトウエアのインストール手順などを説明しています。

本書の構成

本書は、次のような構成になっています。

■ 1 お使いいただく前に
本書の使い方、安全にお使いいただくための注意事項、法律上の注意事項などについて説明しています。

■ 2 機械の構成
各部の名称、電源の入 / 切、操作パネルのタッチパネルディスプレイの使い方、節電機能の設定方法など、本機の基本的な操作について説明しています。

■ 3 プリンター環境の設定
プリンターの使用環境や、ネットワークの環境設定ついて説明しています。

■ 4 プリントの基本操作
プリントの種類や、基本操作について説明しています。

■ 5 プリントの仕方
各種プリントの仕方について説明しています。

■ 6 用紙と消耗品
用紙、消耗品の種類と、それぞれの交換方法、取り扱いについて説明しています。

■ 7 仕様設定
本機の仕様設定の操作方法について説明しています。

■ 8 日常の管理
機械や消耗品の状態確認、レポート / リストのプリント方法について説明しています。

■ 9 トラブル対処
本機になんらかのトラブルが発生した場合の対処方法について説明しています。

■ 10 付録
本機の主な仕様、プリント可能領域、ESC/P エミュレーション、PDF ダイレクトプリント、オプション製品一覧、最新ソフトウエアの入手方法、注意 / 制限事項、表示できる漢字一覧、簡易手順一覧について説明しています。

■ 11 用語集
用語集です。

本書の表記

- 本文中の「コンピューター」は、パーソナルコンピューターやワークステーションの総称です。
- 本文中では、説明する内容によって、次のマークを使用しています。

  注記　注意すべき事項を記述しています。必ずお読みください。

  補足　補足事項を記述しています。

- 本文中では、次の記号を使用しています。

  「　」：参照先は本書内です。

  『　』：参照先は本書内ではなく、ほかの説明書です。

  「　」：CD-ROM、機能、操作パネルのタッチパネルディスプレイのメッセージなどの名称や入力文字などを表します。

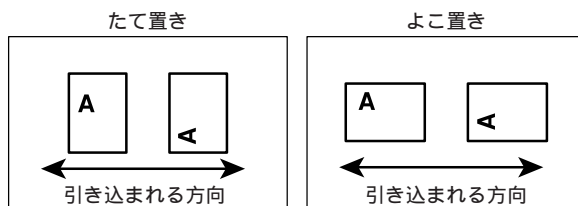
  [　]：フォルダー、ファイル、アプリケーション、操作パネルのタッチパネルディスプレイに表示されるボタンやメニューなどの名称、コンピューターの画面に表示されるメニュー、コマンド、ウィンドウやダイアログボックスとそれらに表示されるボタンやメニューなどの名称を表します。

  〈　〉ボタン：操作パネル上のハードウエアボタンを表しています。

  〈　〉キー：コンピューターのキーボード上のキーを表しています。

- 本文中では、用紙の向きを、次のように表しています。

  、、たて置き：長い側が引き込まれる向きを表しています。

  、、よこ置き：短い側が引き込まれる向きを表しています。

安全にご利用いただくために

機械を安全にご利用いただくために、本機をご使用になる前に必ず「安全にご利用いただくために」のページを最後までお読みください。

各警告図記号は以下のような意味を表しています	
危 険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があり、かつその切迫の度合いが高いと思われる事項があることを示しています。
警 告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があると思われる事項があることを示しています。
注 意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負うことが想定される内容および物的損害の発生が想定される事項があることを示しています。
	△記号は、製品を取り扱う際に注意すべき事項があることを示しています。指示内容をよく読み、製品を安全にご利用ください。 注　意 発火注意 破裂注意 感電注意 高温注意 回転物注意 指挟み注意
	⃠記号は、行ってはならない禁止事項があることを示しています。指示内容をよく読み、禁止されている事項は絶対に行わないでください。 禁　止 火気禁止 接触禁止 風呂等での使用禁止 分解禁止 水ぬれ禁止 ぬれ手禁止
	●記号は、必ず行っていただきたい指示事項があることを示しています。指示内容をよく読み、必ず実施してください。 指　示 電源プラグを抜け アース線を接続せよ

設置および移動時の注意

⚠注 意

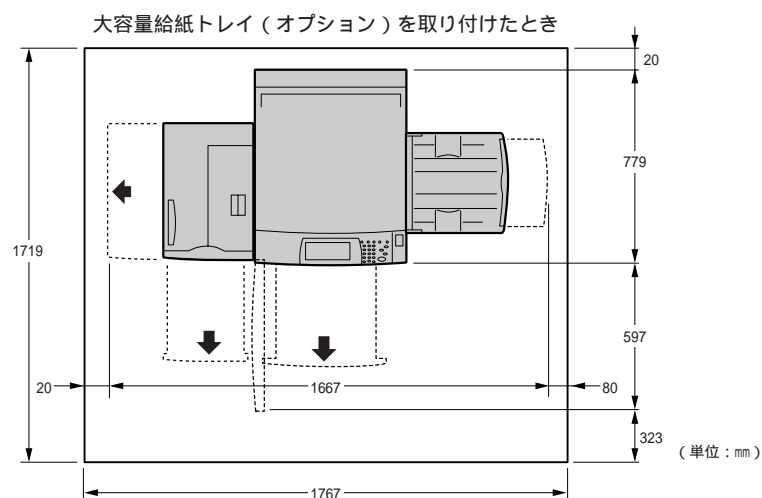
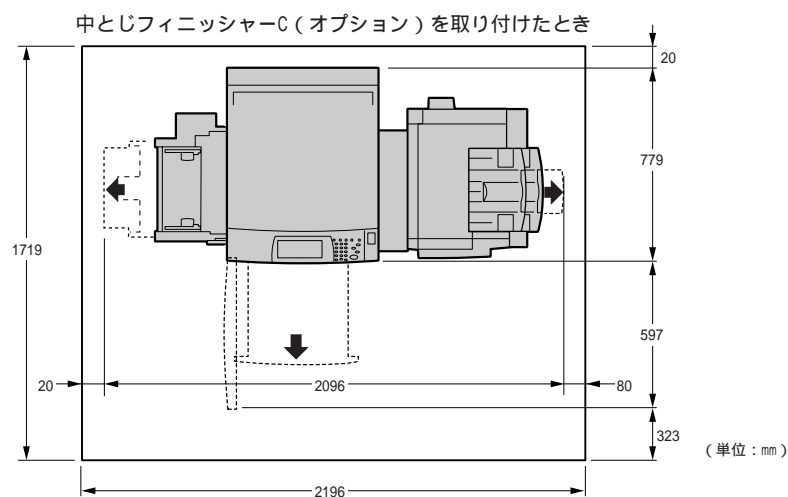
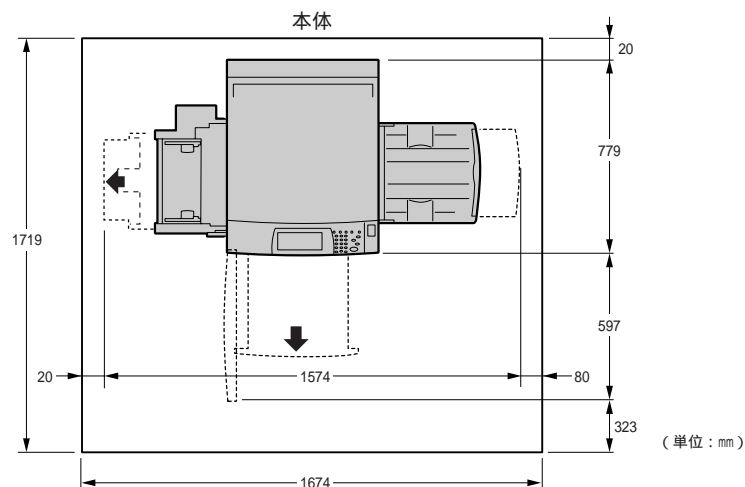
機械を移動するときは、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。

ストーブやヒーターなどの発熱器具に近い場所、揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすいものに近い場所には機械を設置しないでください。火災の原因となるおそれがあります。

機械は、重さ　324kg（オプションの大容量給紙トレイ（1段）、中とじフィニッシャーC装着時、用紙の質量除く）に耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。機械の転倒などによりケガの原因となるおそれがあります。

高温、多湿の場所や換気が悪くホコリの多い場所には機械を設置しないでください。発熱による火災や感電の原因となるおそれがあります。

機械を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源コードが傷つき、発熱による火災や感電の原因となるおそれがあります。

機械には通気口があります。機械は壁から 20㎜ 以上離して設置してください。通気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となるおそれがあります。また、機械の操作および消耗品類の交換、日常の点検など、機械を正しく使用し、機械の性能を維持するために、下図の設置スペースを確保してください。なお、取り付けは弊社担当者におまかせください。

本体

1719 / 20 / 779 / 597 / 323 / 20 / 1574 / 80 / 1674

（単位：㎜）

中とじフィニッシャーC（オプション）を取り付けたとき

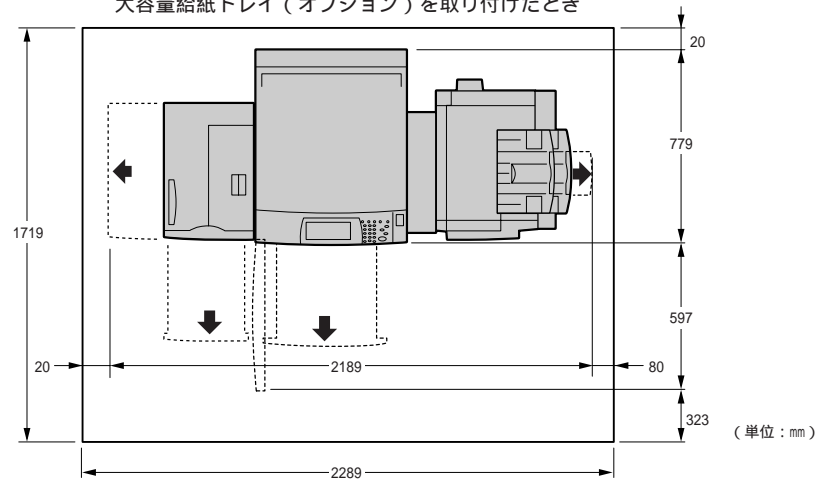
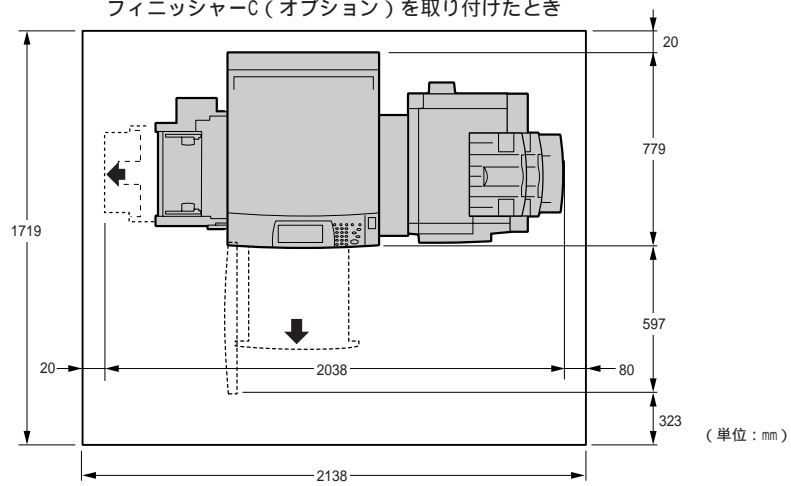
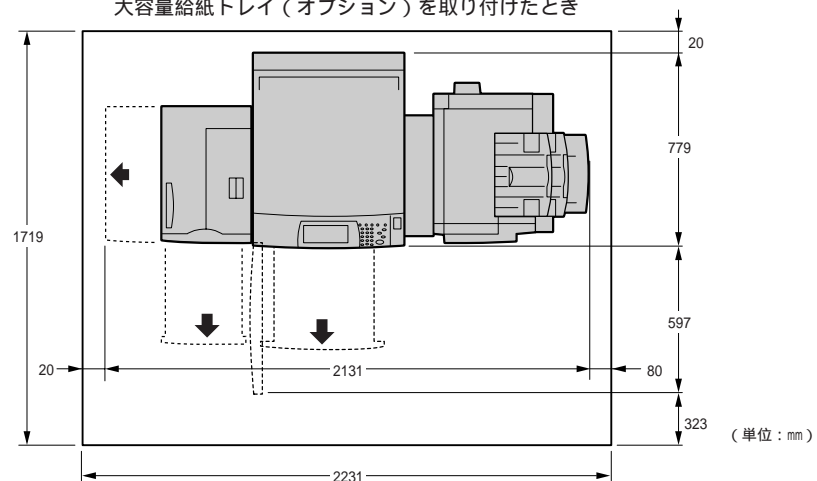
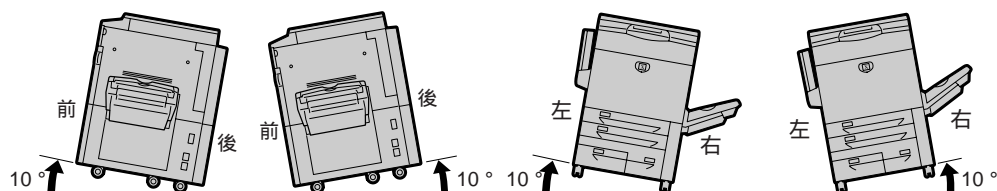
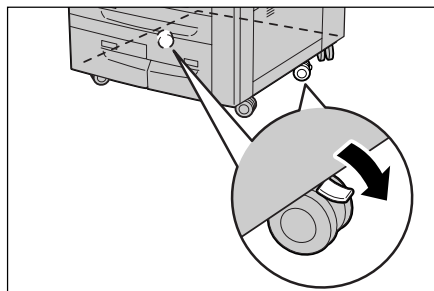
1719 / 20 / 779 / 597 / 323 / 20 / 2096 / 80 / 2196

（単位：㎜）

大容量給紙トレイ（オプション）を取り付けたとき

1719 / 20 / 779 / 597 / 323 / 20 / 1667 / 80 / 1767

（単位：㎜）

中とじフィニッシャーC（オプション）、
大容量給紙トレイ（オプション）を取り付けたとき
20
779
1719
597
20
2189
80
323
（単位：㎜）
2289
フィニッシャーC（オプション）を取り付けたとき
20
779
1719
597
20
2038
80
323
（単位：㎜）
2138
フィニッシャーC（オプション）、
大容量給紙トレイ（オプション）を取り付けたとき
20
779
1719
597
20
2131
80
323
（単位：㎜）
2231

機械を移動する場合は、機械を 10 度以上に傾けないでください。
転倒などによるケガの原因となるおそれがあります。

機器を設置した後は、キャスターについている移動防止用ストッパーを必ずロックしてください。ストッパーをロックしないと、機械が思わぬ方向に動き、ケガの原因となるおそれがあります。

その他

- いつもよい状態でご使用いただける環境の範囲は次のとおりです。
  温度 10 ～ 32 ℃、湿度 15 ～ 85%（結露がないこと）
  温度が 32 ℃のときは湿度 62.5% 以下、湿度が 85% のときは温度 28 ℃以下でお使いください。

  補足・ 冷えきった部屋を暖房器具などで急激に暖めると、機械の内部に水滴が付着し部分的にプリントできない場合があります。
- 直射日光の当たる場所には機械を置かないでください。故障の原因となることがあります。
- イーサネットケーブルを直接屋外に接続すると落雷などにより故障するおそれがあります。屋内接続のみ使用してください。

電源およびアース接続時の注意

⚠警告

電源プラグは、定格電圧 100V で、定格電流 15A 以上のコンセントに単独で差し込んでください。また、たこ足配線をしないでください。発熱による火災や感電のおそれがあります。なお、本機の定格電源は 100V、15A となっています。

電源プラグやコンセントに付着したホコリは、必ず取り除いてください。そのまま使用していると、湿気などにより表面に微小電流が流れ、発熱による火災のおそれがあります。

延長コードは、定格（125V、15A）未満のものは使用しないでください。発熱による火災のおそれがあります。なお、延長コードが必要な場合は、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご相談ください。

電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したりしないでください。また重いものを載せたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、発熱による火災や感電のおそれがあります。

電源プラグは絶対に濡れた手で触らないでください。感電のおそれがあります。

次のようなときには直ちに使用を中止し、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。そのまま使用を続けると火災のおそれがあります。
・機械から発煙したり、機械の外側が異常に熱くなったとき
・異常な音やにおいがするとき
・機械の内部に水が入ったとき

万一漏電した場合の感電や火災事故を防ぐため、電源プラグから出ているアース線を、必ず次のいずれかに取り付けてください。
・電源コンセントのアース端子
・銅片などを 650㎜ 以上地中に埋めたもの
・接地工事（D 種）を行っている接地端子

ご使用になる電源コンセントのアースをご確認ください。アースが取れない場合や、アースが施されていない場合は、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご相談ください。

次のようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。
・ガス管（引火や爆発の危険があります。）
・電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れる場合があり危険です。）
・水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。）

電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線）弊社のテレフォンセンターまたは販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電のおそれがあります。

同梱された専用電源コード以外は使用しないでください。発火、感電のおそれがあります。また、専用電源コードを他の機器に使用しないでください。

⚠注 意

機械の電源スイッチを入れたままでコンセントからプラグを抜き差ししないでください。アークによりプラグが変形し、発熱による火災の原因となるおそれがあります。

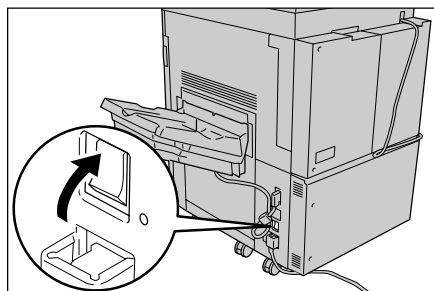
電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱるとコードが傷つき、火災、感電の原因となるおそれがあります。

機械の清掃および保守、故障の処置を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずに機械の清掃や保守を行うと、感電の原因となるおそれがあります。

連休などで長期間、機械をご使用にならないときは、安全のために電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化による感電や漏電火災の原因となるおそれがあります。

1 か月に一度は機械の電源スイッチを切り、次のような点検をしてください。なお、異常がある場合は弊社のテレフォンセンターまたは販売店までご連絡ください。
・電源プラグが電源コンセントにしっかり差し込まれていますか。
・電源プラグに異常な発熱およびサビ、曲がりなどはありませんか。
・電源プラグやコンセントに細かいホコリがついていませんか。
・電源コードにき裂やすり傷などはありませんか。

インターフェイスケーブルを接続するときは、必ず本機とコンピューター電源スイッチを切ってください。感電の原因となるおそれがあります。

機械本体には漏電保護回路が付いています。機械に漏電が起こったときに、電気回路を自動的に遮断して漏電や火災などの事故を防ぐためのものです。通常は入っている状態（「ON」の状態）にしておきます。アースを必ず接続してください。アースが接続されていないと、漏電保護回路が働かなくなり、感電の原因となるおそれがあります。

異常保護スイッチは、機械下部にあります。

その他

- 機械には、落雷によるサージ電流からの保護回路が内蔵されています。付近に落雷が発生したときは電源を切り、電源コードを機械から外して、雷がおさまるのを待ってください。
- ラジオの雑音、テレビ画面のチラツキやゆがみなどの電波障害が発生し、電波障害の原因が本機であると考えられる場合は、本機の電源を切って電波障害がなくなるかどうか確認してください。電源を切ると電波障害がなくなるようであれば、次の方法を組み合わせて障害を防止してください。
  - 本機とラジオやテレビ双方の距離を離してみる。
  - 本機とラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる。
  - 本機とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる。
  - 受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる。（アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください。）
  - ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。

機械使用上の注意

⚠警告

機械の上に花瓶、植木鉢、コップなど水の入った容器を置かないでください。水がこぼれた場合、火災や感電のおそれがあります。

機械の上に金属類を置かないでください。すき間から内部に、クリップやホチキスの針のような金属類や燃えやすいものが入り込むと、機械内部がショートし、火災や感電のおそれがあります。

万一、異物（金属片、水、液体）が内部に入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電のおそれがあります。

ネジで固定されているパネルやカバーなどは、取扱説明書で指示している箇所以外絶対に開けないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。

機械を改造したり、部品を変更して使用しないでください。火災のおそれがあります。

この商品は、レーザーの国際規格 IEC60825（Class1）に適合しています。このことはレーザー被爆の危険がないことを意味しています。レーザーは商品内部で放射されますが、部品内部の漏洩防止筐体やカバーなどによって内部に閉じ込められています。従って、お客様が取扱説明書に記載された方法で使用される場合、レーザー被爆はありません。取扱説明書に書かれていること以外の、カバーを外すなどの操作はしないでください。レーザーの被爆の原因になることがあります。

付属の CD-ROM を CD-ROM 対応プレーヤー以外では絶対に使用しないでください。大音量により、耳に障害を被ったり、スピーカーが破損したりするおそれがあります。

⚠注意

機械の安全スイッチに磁気を帯びたマグネット類を近づけないでください。機械が作動状態になる場合があり、ケガの原因となるおそれがあります。

機械の上に重い物を載せないでください。機械のバランスが崩れて倒れたり、重い物が落下してケガの原因となるおそれがあります。

機械の近くまたは内部で強燃性スプレーや引火性溶剤を使用しないでください。引火による火災の原因となるおそれがあります。

「高温注意」を促すラベルが貼ってある周辺（ヒーター部やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。なお、ヒーター部やローラー部に用紙が巻き付いているときには無理に取らないでください。ケガややけどの原因となります。直ちに電源スイッチを切り、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。

操作パネルのタッチパネルディスプレイの上に重い物を載せたり、ひじをついたりしないでください。ガラスが破損し、ケガをする原因となるおそれがあります。

用紙トレイを引き出すときはゆっくりと引き出してください。トレイを勢いよく引き出すと、ひざなど身体にぶつかりケガの原因となるおそれがあります。

狭い部屋で長時間使用する場合は、部屋の換気に注意してください。頭痛などの原因となるおそれがあります。

詰まった用紙を取り除くときは、機械内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。紙片が残ったままになっていると火災の原因となるおそれがあります。
なお、紙片や用紙がヒーター部の見えない部分およびローラー部に巻き付いているときは、無理に取らないでください。ケガややけどの原因となるおそれがあります。直ちに電源スイッチを切り、弊社のテレフォンセンターまたは販売店に連絡してください。

電気を通しやすい紙（折り紙・カーボン紙・コート紙など）は使用しないでください。紙づまりのときにショートして火災の原因となるおそれがあります。

その他

・紙づまりの処置や故障の処置を行うときは、本書をよくお読みください。

消耗品取扱上の注意

⚠警告

トナーカートリッジを絶対に火中に投じないでください。カートリッジ内に残っているトナーの粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。

トナー、トナー回収ボトル、ドラムカートリッジまたは、トナーの入った容器を絶対に火中に投じないでください。粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。

デベロッパー、またはデベロッパーの入った容器を絶対に火中に投じないでください。粉じん爆発により、やけどの原因となるおそれがあります。

床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、または石けん水を湿らした布等でふき取ってください。掃除機を用いると微粒子のトナーが掃除機内部に充満し、電気接点の火花により、粉じん発火となる可能性があります。

ボタン電池は幼児が誤って飲み込むことのないように、幼児の手の届かないところに保管してください。万一、幼児が飲み込んでしまった場合は、直ちに医師に相談してください。

⚠注意

ドラムカートリッジを、絶対に加熱したり、表面をはがしたりしないでください。健康を害する原因となるおそれがあります。

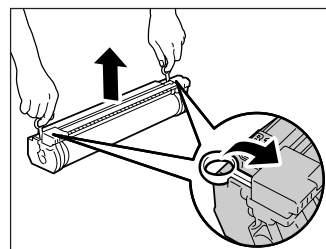
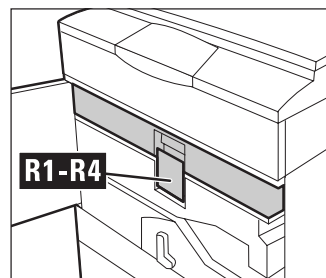
指定されていない電池は使用しないでください。また新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。乾電池の破裂や液漏れにより火災やけがの原因となるおそれがあります。

電池はプラスとマイナスの向きに注意して入れください。向きをまちがえると乾電池の破裂や液漏れにより、ケガや周囲の破損を起こす原因となるおそれがあります。

ドラムカートリッジの交換は､弊社エンジニアに説明を受けた方のみ、作業してください。

ドラムカートリッジを交換する時以外は、［R1-R4］のユニットを引き出さないでください。

ドラムカートリッジ交換時は､［R1-R4］のユニットを、長時間引き出したままにしないで下さい。

ドラムカートリッジを交換する際は､リングに指をかけて持ち上げてください。

その他

- 消耗品は、ご使用になるまでは開封せずに、次のような場所を避けて保管してください。
  - 高温、多湿の場所
  - 火気のある場所
  - 直射日光の当たる場所
  - ホコリが多い場所
- 消耗品を使用するときは、消耗品の箱や容器に記載された「取り扱い上の注意」をよく読んでから使用してください。
- 回収したトナーカートリッジ、ドラムカートリッジは、環境保護・資源有効活用のため、リサイクルしています。
  －取り扱い上の注意－
- 不要となりましたトナーカートリッジ、ドラムカートリッジは適切な処置が必要です。必ず弊社または販売店にお渡しください。
- 以下の事項に従って、応急措置を行ってください。
  - トナーが目に入った場合は、目に痛みがなくなるまで水でよく洗い、必要に応じて医師の診断を受けてください。
  - トナーが皮膚に付着した場合は、せっけんを使ってよく洗い流してください。
  - トナーを吸引した場合は、暴露環境から離れて、多量の水でよくうがいをしてください。
  - トナーを飲み込んだ場合は、飲み込んだトナーを吐き出し、速やかに医師に相談し指示を受けてください。

フィニッシャー使用上の注意

⚠注意

詰まったホチキス針を取り除くときには、指などにケガをしないように十分にご注意ください。

フィニッシャーが作動しているとき、作動部分には触れないでください。指をはさみ、ケガをすることがあります。

安全スイッチには、絶対に触れないでください。前面カバーを開けたとき、安全スイッチが働いて、機械は作動しなくなります。安全スイッチを硬貨やドライバーなどで押すと、機械は作動状態になり、ケガの原因となることがあります。

穴があいた用紙（市販の穴あき用紙など）の穴がある位置に、ホチキスを留めないでください。飛び出した針により、ケガの原因となるおそれがあります。

電源を切るときの注意

その他

- 電源を切ると、本機内に残っているプリントデータや本機のメモリー上に蓄えられた情報は消去されます。
  通常の操作時に電源を切るときは、メモリーに貯えられたデータの処理が終了してから、電源を切ってください。
  また、再度電源を入れる場合は、操作パネルのタッチパネルディスプレイが暗くなってから、電源を入れてください。
- 電源の切 / 入を連続して実施すると、本機が正常に起動しなかったり、停止できない場合があります。正常に停止できなかった場合は、異常保護スイッチを切り、弊社のテレフォンセンターまたは販売店へご連絡ください。

警告および注意ラベルの貼り付け位置

国際エネルギースタープログラムの目的

国際エネルギースタープログラムは、大切な地球環境を守るために以下のような方法を推奨し、エネルギーを節約することを目的にしています。本機は、この国際エネルギースタープログラムの基準に適合しています。

節電モードについて（低電力モード / スリープモード）

本機は電力消費量を軽減するために、自動的に消費電力を節約する機能をもっています。工場出荷時の設定では 15 分以上この機器が使用されなかった場合に、自動的に定着部の電力を止めて、消費電力を節約するようになっています。

この設定は、1 ～ 240 分の間で 1 分刻みに設定できます。操作の詳細については、「節電機能について」(P.39) をごらんください。

ライセンスについて

OpenSSL について

Copyright (c)1998-2003 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment:
   "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:
   "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES(INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

SSLeay について

Copyright (c)1995 — 1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com). All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.
If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.
This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
   "This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
   The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
   "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING, NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

Heimdal について

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of the Institute nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE INSTITUTE AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE INSTITUTE OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

JPEG コードについて

本プリンターのソフトウエアには、the Independent JPEG Group で作成されたコードの一部を利用しています。

法律上の注意事項

1. 本物と偽って使用する目的で次の通貨や有価証券を複製することは、犯罪として厳しく処罰されます。
   - □ 紙幣（外国紙幣を含む）、国債証書、地方債証書、郵便為替証書、郵便切手、印紙。
     これらは、本物と偽って使用する意図がなくても、本物と紛らわしいものを作ること自体が犯罪になります。
   - □ 株券、社債、手形、小切手、貨物引換証、倉荷証券、クーポン券、商品券、鉄道乗車券、定期券、回数券、サービス券、宝くじ・勝馬投票券・車券の当たり券などの有価証券。

2. 次の文書や記名捺印などを複製・加工して、正当な権限なく新たな証明力を加えることは、犯罪として厳しく処罰されます。
   - □ 各種の証明書類など、公務員または役所を作成名義人とする文書・図画。
   - □ 契約書、遺産分割協議書など私人を名義人とする権利義務に関する文書。
   - □ 推薦状、履歴書、あいさつ状など、私人を名義人とする事実証明に関する文書。
   - □ 役所または公務員の印影、署名、記名。
   - □ 私人の印影または署名。

3. 著作権が存在する書籍、新聞、雑誌、冊子、絵画、図画、版画、地図、図面、写真、映像、映画、音楽、コンピュータープログラムなどの著作物は、権利者の許諾なく、次の行為はできません。
   - （1）複製　紙に定着させた著作物を複写機でコピーすること、磁気テープに記録した映像や音楽をダビングすること、電子的に読み取った著作物のデータをハードディスクや外部メディアに記録すること、記録した著作物のデータをプリンターで出力すること、ネットワークを介してダウンロードすることなど。
   - （2）改変　紙に定着させた著作物を加工や修正すること、電子的に読み取った著作物のデータを切除、書き換え、切り貼りすることなど。
   - （3）送信　電子的に読み取った著作物のデータを、公衆の電気通信回線（インターネットを含む）を通じてファクシミリや電子メールで送信すること、ホームページへの掲載など、公衆の電気通信回線に接続したネットワークサーバーに著作物のデータを搭載することなど。

   権利者の許諾なく、複製・改変・送信したときは、使用の差止、損害賠償の請求、刑事罰を受けることがあります。ただし、次の場合は例外的に権利者の許諾なく著作物を複製することができます。
   - □ 個人的または家庭内、その他これに準ずる生活範囲での私的な使用を目的とした複製。
   - □ 国立図書館、私立図書館、学校付属施設、公立の博物館、公立の各種資料センター、公益目的の研究機関など、公衆利用への提供を目的とする図書館等における複製。
   - □ 公正な慣行に合致し、報道・批評・研究など、目的に照らして、正当な範囲内での引用。
   - □ 国または地方公共団体が発行する公報資料・調査統計資料・報告書の新聞・雑誌・その他刊行物への転載。
     ただし、複製禁止の表示がある著作物は除かれます。
   - □ 学校教科書への掲載。
     ただし、権利者への補償金が必要です。
   - □ 学校その他教育機関における複製。
     ただし、種類・用途・部数・態様に照らして、権利者の利益を不当に害しない範囲内に限ります。
   - □ 試験問題としての複製。
     ただし、権利者への補償金が必要です。

PRTR 法に基づく、MSDS(Material Safty Data Sheet)の提供について

弊社は、「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」(PRTR 法)に定める指定化学物質等取扱事業者として、本機用消耗品に含まれる指定化学物質等の性状および取扱いに関する情報[MSDS(製品安全データシート)]を、以下のとおり提供いたします。

THE DOCUMENT COMPANY
FUJI XEROX

製品安全データシート

1/4

1. 製品及び会社情報
製品名:　DocuPrint C5450 トナー

会社名:富士ゼロックス株式会社
住所　:〒107-0052　東京都港区赤坂2-17-22赤坂ツインタワー東館
担当部門:品質本部　環境商品安全部
電話番号:0465-70-1721　FAX番号: 0465-70-1792
整理番号:RT044N-03YF　(全4頁)　　作成日/改定日:2005. 12. 14

2. 組成・成分情報
単一製品・混合物の区別　:混合物
成分および含有量:

化学名	含有量(重量%)				官報公示整理番号(化審法/安衛法)	CAS Registry No.
	ブラックトナー	サイアントナー	マゼンタトナー	イエロートナー		
スチレン/アクリレート樹脂	60－70	60－70	60－70	60－70	—	—
フェライト粉末 (酸化鉄) (酸化マンガン)	10－20 (10－20) (3.8)	10－20 (5－15) (2.7)	10－20 (5－15) (2.7)	10－20 (5－15) (2.7)	— (1-357) (1-475)	— (1309-37-1) (1344-43-0)
ポリオレフィンワックス	1－10	1－10	1－10	1－10	—	—
青色顔料	—	1－10	—	—	—	—
赤色顔料	—	—	1－10	—	—	—
黄色顔料	—	—	—	1－10	—	—
無定形シリカ	1－10	1－10	1－10	1－10	1-548	7631-86-9
カーボンブラック	1－10	<1	<1	<1	非該当	1333-86-4

国連分類:該当せず　　国連番号:該当せず
処方成分として、鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、ポリ臭化ビフェニル類(PBB 類)、および
ポリ臭化ジフェニルエーテル類(PBDE 類)を含有しない

3. 危険有害性の要約
有害性　:特になし
環境影響　:特になし
物理的及び化学的危険性　:特になし
分類の名称
(分類基準は日本方式)　:分類基準に該当しない

4. 応急措置
吸入した場合　:新鮮な空気のところへ移す。多量の水でよくうがいをする。
皮膚に付着した場合　:石鹸を使って水でよく洗い流す。
目に入った場合　:15分以上多量の水で洗い流した後、医師の診察を受ける。
飲み込んだ場合　:水でよく口の中をすすぎ、多量の水を飲ませる。医師の診察を受ける。

DocuPrint C5450 トナー　富士ゼロックス(株) RT044N-03YF　　作成日：2005.12.14　2/4

5. 火災時の措置

消火剤　:噴霧水、泡、粉末消火薬剤。
ただし、機械内で燃焼した際には、電気製品における火災と同様の方法で消火する。

特定の消火方法　:供給源を遮断し、消火剤を使用して消火する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項　:吸入はできるかぎり避ける。

環境に対する注意事項　:下水道や河川への漏出を防ぐ。

除去方法　:周囲に火種がないことを確認する。
少量の場合ほうきで掃き取るか、または石けん水を湿らした布等で拭き取る。
大量の場合は、防塵マスク、手袋、ゴーグルを着用し、空容器に回収する。
（掃除機を用いると微粒子のトナーが掃除機内部に充満し、電気接点の火花により、発火または爆発する可能性がある。）

7. 取扱及び保管上の注意

取扱い　:火中に絶対に投じない。カートリッジをこわしたり、分解したりしない。

保管　:直射日光を避け、乾燥した換気のよいところに、低温で保管する。
子供の手の届くところに保管しない。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策　:当社指定機器で通常取り扱う場合は必要なし。大量に取り扱う場合は、局所排気装置を設置してください。

管理濃度　:設定されていない。

許容濃度

日本産業衛生学会（2005年版）	第3種粉塵	8 mg/m^3（総粉塵）
		2 mg/m^3（吸入性粉塵）
ACGIH（2005年版）	粒子状物質	10 mg/m^3（総粉塵）
		3 mg/m^3（吸入性粉塵）

保護具　:当社指定機器で通常取り扱う場合は必要なし。大量に取り扱う場合は、防塵マスク、ゴーグル、手袋を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態

形状　:粉体

色　:ブラックトナー:黒色、サイアントナー:青色、マゼンタトナー:赤色、イエロートナー:黄色

臭い　:微かなプラスティック臭　pH　:非該当

物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲

沸点　:測定対象外　沸点範囲 :測定対象外

引火点　:引火性なし。　発火点　:発火性なし。

爆発特性

粉塵爆発性 :粉体上の多くの有機系物質と同様に、空気中に分散された場合、着火源により爆発することがある。

蒸気圧　:データなし

蒸気密度　:データなし

比重　:データなし

水への溶解性　:データなし

DocuPrint C5450 トナー　富士ゼロックス(株) RT044N-03YF　作成日:2005.12.14　3/4

10. 安定性及び反応性

安定性/反応性　:安定
避けるべき条件　:特になし
避けるべき材料　:特になし

11. 有害性情報

急性毒性 (50%致死量)　経口→LD50 (ラット):　> 5000 mg/kg[1)]　(実質上無毒である。)
経皮→LD50 (ラビット):　> 5000 mg/kg[1)]　(実質上無毒である。)
吸入→LC50 (ラット):　> 4.1 mg/L/4時間暴露[1)]　(実質上無毒である。)

局所効果
皮膚刺激性　:刺激性なし。[1)]
眼球刺激性　:刺激性なし。[1)]
皮膚腐食性　:腐食性なし
感作性　:皮膚→感作性なし。[1)]

慢性毒性・長期毒性　:ラットを用いた2年間にわたるトナー吸入暴露試験において、毎日、中用量(4 mg/m^3)もしくは高用量(16 mg/m^3)の暴露環境にさらされていた群で、肺に軽度の線維症が観察されたが、低用量(1 mg/m^3)の群については、肺に特別な変化は認められなかった。当社商品の通常の使用に伴って排出されるトナー量は、1日当たり1mg/m^3を大幅に下回っており、製品を日常的に使用する限りでは人体への影響はないと判断している。[1)]

がん原性　:カーボンブラック(CB)は、国際がん研究機関(IARC)によって"グループ2B(ヒトに対して発癌性があるかもしれない)"に分類される。しかし、CBを含有するトナーに対するラットの長期吸入暴露試験では、「発癌の証拠なし」の結論を得ている。[1)] なお、CB以外の構成成分は発がん物質[文献1]に該当しない。

変異原生　:Ames 試験　陰　性[1)]
催奇形性　:データなし
生殖毒性　:生殖毒性及び発生毒性物質[文献2]を含有せず。

12. 環境影響情報

残留性/分解性　:データなし。
生体蓄積性　:データなし。
急性毒性:　<魚類> 96時間 LC50(ヒメダカ): > 500 mg/L[1)]　(実質上影響がないと判断される。)
<ミジンコ類> 48時間 EC50(オオミジンコ): > 100 mg/L[1)]　(実質上影響がないと判断される。)
<藻類> 72時間 EC50(ムレミカヅキモ): > 100 mg/L[1)]　(実質上影響がないと判断される。)
1) 類似物の試験結果からの予測。

13. 廃棄上の注意

適切な処理が必要なので、必ず当社係員に渡すこと。

14. 輸送上の注意

国際規制　:非該当
国連分類　:非該当
国内規制　:非該当
輸送上の注意　:特になし。

15. 適用法令

PRTR法第一種指定化学物質　311マンガン化合物(酸化マンガン,MnO:フェライト粉末成分)
労安法第五七条の二通知対象物　酸化鉄(フェライト粉末成分)、マンガンの無機化合物(フェライト粉末成分)
カーボンブラック、シリカ(無定形シリカ)
その他適用法令なし。(対象法令:毒劇法、化審法、消防法)

16. その他の情報

本製品安全データシートは現時点で入手できた情報に基づいて作成しておりますが、構成成分やデータ・評価内容を保証するものではありません。危険・有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取扱いには十分ご注意ください。また、内容 を当社の許可なく一方的に改定・使用され、何らかの事故が発生した場合は、当社はその責任を負いかねますのでご了承ください。

引用文献

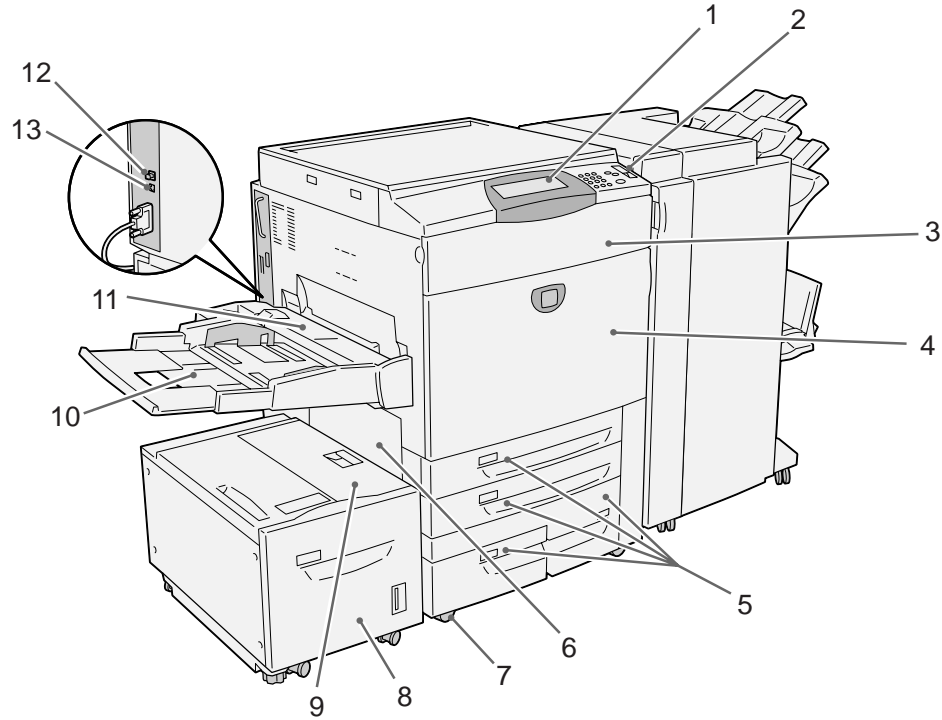
文献1:
- IARC Monographs on the Evaluation Carcinogenic Risks to Humans (WHO.IARC:国際癌研究機関)
- National Toxicology Program(NTP) Report on Carcinogens (NTP:米国・国家毒性プログラム)
- TLVs and BEIs (ACGIH:米国・政府産業衛生専門家会議)
- 危険な物質の分類・包装・表示に関する法律、条令及び行政規定の近似化に関する理事会指令67/548/EEC　付属書 I (EU)
- 日本産業衛生学雑誌(日本産業衛生学会)

文献 2:
- 危険な物質の分類・包装・表示に関する法律、条令及び行政規定の近似化に関する理事会指令 67/548/EEC 付属書 I (EU)

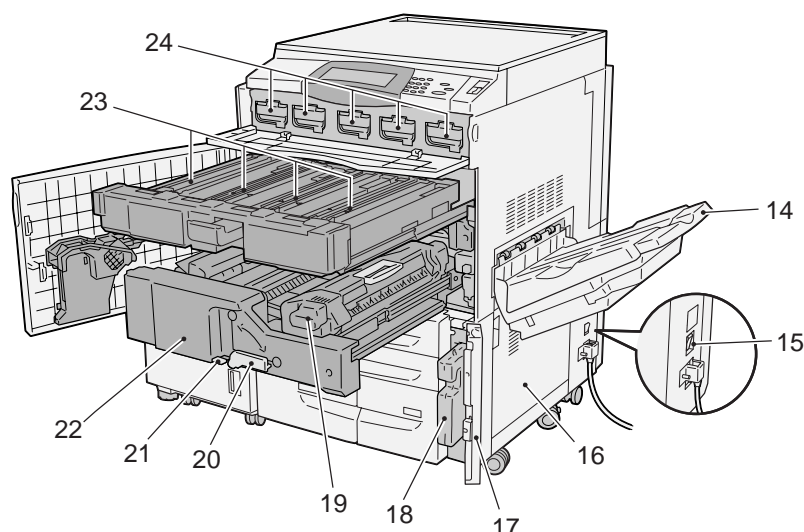
2　機械の構成

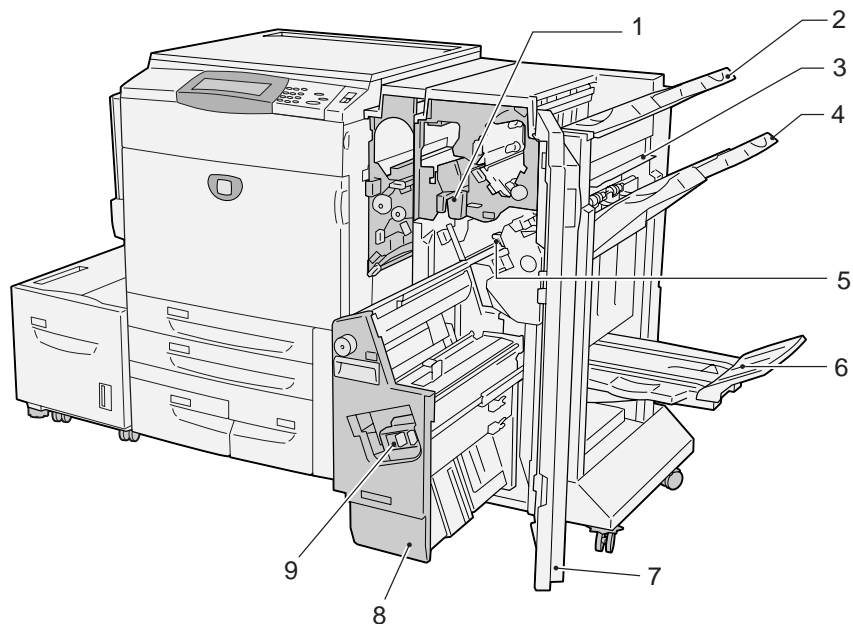
この章では、各部の名称、電源の入 / 切、操作パネルのタッチパネルディスプレイの使い方、節電機能の設定方法など、本機の基本的な操作について説明しています。

各部の名称と働き

DocuPrint C5450（以降、本機と表します）の、各部の名称と働きについて説明します。

⚠注意

「高温注意」を促すラベルで指示されている箇所には、絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。

番号	名　称	働　き
1	操作パネル	操作に必要なボタン、ランプ、タッチパネルディスプレイがあります。 「操作パネル」（P.42）を参照してください。
2	電源スイッチ	本機の電源を入 / 切するスイッチです。
3	トナーカバー	トナーカートリッジを交換するときに開けます。
4	フロントカバー	紙づまりの処置や、消耗品を交換するときに開けます。
5	用紙トレイ 1、2、3、4	ここに用紙をセットします。
6	左側面下部カバー	紙づまりを処置するときに開けます。 用紙トレイ 6 が装着されている場合は、用紙トレイ 6 を左に移動してから開けます。
7	キャスター	移動時に使用します。設置後は、ロックしてください。
8	用紙トレイ 6（オプション）	ここに用紙をセットします。
9	用紙トレイ 6 上面カバー	紙づまりを処置するときに、用紙トレイ 6 を左に移動してから開けます。
10	用紙トレイ 5（手差し）	用紙トレイ 1 ～ 4、6 にセットできない用紙（厚紙などの特殊用紙）をプリントするときに使用します。
11	用紙トレイ 5（手差し） 上面カバー	紙づまりを処置するときに開けます。
12	USB2.0 インターフェイスコネクター（オプション）	USB ケーブルを接続します。
13	10BASE-T/100BASE-TX コネクター	ネットワークケーブルを接続します。

番号	名　　称	働　　き
14	排出トレイ	ここに用紙が排出されます。 通常の排出トレイとオプションのオフセット排出ができるトレイがあります。 **補足** ・オフセットキャッチトレイを装着している場合で、A4 サイズ以下の用紙を排出するときは、延長トレイを格納してください。
15	異常保護スイッチ (ブレーカー)	漏電を検知すると、自動的に電源を遮断するスイッチです。
16	右側面下部カバー	紙づまりを処置するときに開けます。 フィニッシャーが装着されている場合は、フィニッシャーのフロントカバーを開けてから開けます。
17	トナー回収ボトルカバー	トナー回収ボトルを取り出すときに、このカバーを開けます。
18	トナー回収ボトル	使用済みのトナーを回収するボトルです。
19	フューザーユニット	トナーを用紙に定着させる部分です。高温なので触れないように注意してください。
20	レバー [2]	転写ユニットを引き出すためのレバーです。
21	レバー [2b]	転写ユニットを引き出すときに操作するレバーです。
22	転写ユニット	ドラム上のトナー画像を用紙に転写します。紙づまりの処置をするときに開けます。
23	ドラムカートリッジ	感光体がセットされています。本体に向かって左から、R1、R2、R3、R4です。
24	トナーカートリッジ	ブラック（K1、K2）、シアン（C）、マゼンタ（M）、イエロー（Y）の 4 色のトナー（画像形成剤）が入っています。

■フィニッシャー C、中とじフィニッシャー C

番号	名　　称	働　　き
1	パンチダストボックス	パンチ穴の切りくずが入ります。切りくずを捨てるときに、取り出します。
2	排出トレイ	用紙が排出されます。
3	排出口カバー	紙づまりの処置のときに、このカバーを開けます。
4	フィニッシャートレイ	用紙が排出されます。
5	ホチキスカートリッジ	ホチキス針が内蔵されています。ホチキス針の交換、針づまりの処置のときに取り出します。
6	小冊子トレイ（中とじフィニッシャーC のみ）	小冊子作成機能で折りを設定した場合、ここに排出されます。
7	フロントカバー	紙づまりの処置、ホチキス針の交換、針づまりの処置、パンチ穴の切りくずを捨てるとき、このカバーを開けます。
8	小冊子ユニット（中とじフィニッシャーC のみ）	用紙を 2 つ折りにしたり、2 つ折りしたものにホチキスをとめる装置です。
9	小冊子（中とじ）用ホチキスカートリッジ	小冊子（中とじ）用のホチキスカートリッジが 2 つあります。ホチキス針の交換、針づまりの処置のときに取り出します。

補足 ・フィニッシャー C、中とじフィニッシャー C は、オプションです。本文中では、「フィニッシャー C」、「中とじフィニッシャー C」を「フィニッシャー」と表す場合があります。

電源を入れる / 切る

機械を使用するときには、電源を入れます。

電源スイッチを入れてから 2 分 30 秒ほどでプリントできる状態になります。機械の状態によって画質調整が入り、時間がかかることがあります。

なお、長時間使用しない場合や、1 日の終わりには電源を切ってください。また、しばらく使用しないときには、節電機能を利用すると、機械の消費電力量が下がり、電力を節約できます。

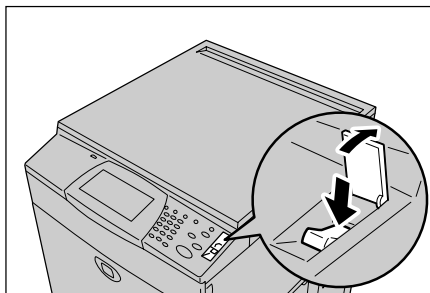
注記 ・電源を切ると、処理中のデータが消去されることがあります。

節電機能については、「節電機能について」(P.39) を参照してください。

電源を入れる

電源を入れる手順について説明します。

1 カバーを開け、電源スイッチ［｜］の側を押して電源を入れます。

補足 ・「お待ちください　...」の表示になっているときは、本体のウオームアップ中です。この間は、本機を使用できません。

電源を切る

電源を切る手順について説明します。

注記 ・メモリー内に蓄積されたデータの処理中に電源を切ると、処理中のデータが消去されることがあります。

1 プリントが完全に終了していることを確認します。また、〈受信中〉ランプが消えていることを確認してください。

注記 ・次の状態の場合は、電源を切らないでください。
・データの受信が行われている
・プリント処理が行われている

2 電源スイッチの［⏻］側を押します。

注記 ・電源スイッチを切ったあとも、しばらくの間は本機内部で電源オフ処理をしています。電源スイッチを切った直後に、電源プラグをコンセントから抜かないでください。

補足 ・電源を切ったあとに、再度、電源を入れる場合は、画面が消えたことを確認してから入れてください。
・電源を切った状態でも、本機は微少の電力を消費しています。完全に電力消費をなくすためには、電源プラグをコンセントから抜いてください。

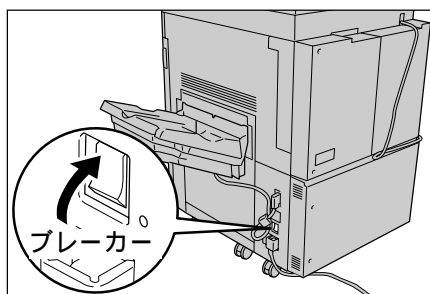
ブレーカーについて

本機には漏電保護回路が付いています。

機械に漏電が起こったときに、電気回路を自動的に遮断して、漏電や火災などの事故を防ぐためのものです。

ブレーカーは通常、上側になっています。

ブレーカーが下側になっている場合には、異常の可能性がありますので、弊社のテレフォンセンターまたは販売店までご連絡ください。

補足 ・異常保護スイッチは、機械下部にあります。

節電機能について

本機には、しばらくプリントデータを受け付けないときに、機械の消費電力量を下げて電力を節約する、「節電機能」が搭載されています。

節電モードには、「低電力モード」と「スリープモード」があります。

本機を一定時間使用しないと、設定した時間の経過後に「低電力モード」に移行します。さらに、設定時間が経過すると、「スリープモード」に移行します。

■低電力モード

（消費電力 :139W）

操作パネルや定着部の電力を下げます。

ディスプレイは消灯し、操作パネルの〈節電中 / 解除〉ボタンが点灯します。本機を使用するときは、〈節電中 / 解除〉ボタンを押します。〈節電中 / 解除〉ボタンが消灯し、節電モードが解除されます。

■スリープモード

（消費電力 :8W）

低電力モードより、さらに電力を下げます。

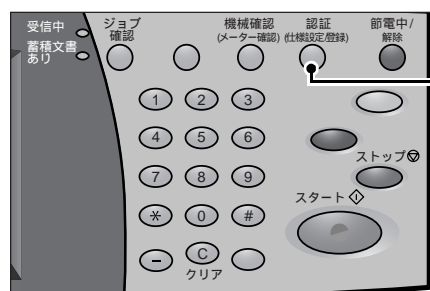
ディスプレイは消灯し、操作パネルの〈節電中 / 解除〉ボタンが点灯します。本機を使用するときは、〈節電中 / 解除〉ボタンを押します。〈節電中 / 解除〉ボタンが消灯し、節電モードが解除されます。

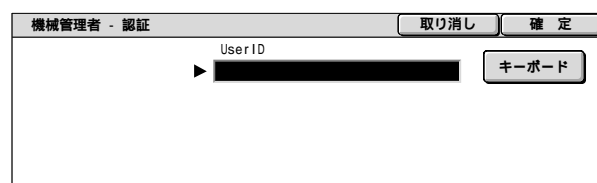
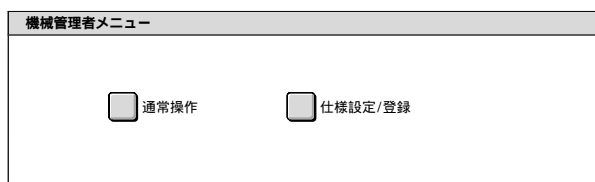
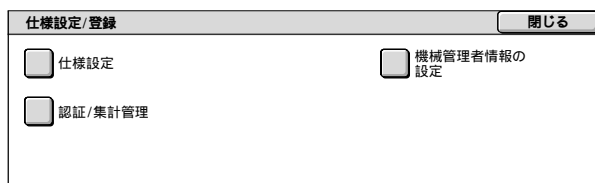
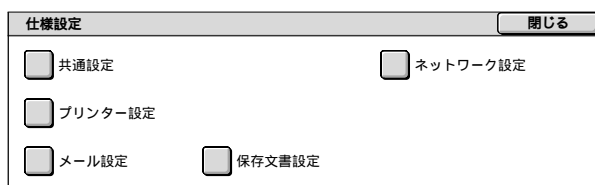
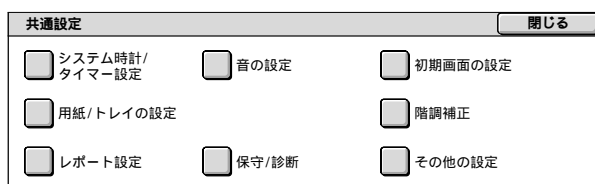
節電モード移行時間を変更する

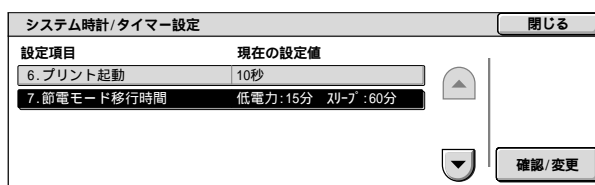
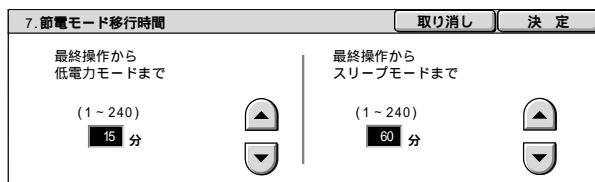
節電機能を設定する手順について説明します。

節電機能を働かせるには、低電力モードに移行するまでの時間と、スリープモードに移行するまでの時間の両方を設定します。

補足 ・低電力モードまでの時間とスリープモードまでの時間は 1 〜 240 分の間で、それぞれ 1 分刻みに指定できます。

1 〈認証（仕様設定 / 登録）〉ボタンを押します。

2 数字ボタンまたは［キーボード］を押して表示されるキーボードを使って、User ID を入力し、［確定］を押します。

補足 ・User ID の初期値は、「11111」です。認証管理機能を利用している場合、パスワードが必要な場合があります。パスワードの初期値は、「x-admin」です。

3 ［仕様設定 / 登録］を押します。

4 ［仕様設定］を押します。

5 ［共通設定］を押します。

6 ［システム時計/タイマー設定］を押します。

7 ［▼］を押します。

8 ［節電モード移行時間］を選択し、［確認 / 変更］を押します。

9 節電モードの移行時間を、［▲］［▼］を使って、1 ～ 240 分の範囲で 1 分刻みに指定します。

■最終操作から低電力モードまで

最終操作から［低電力モード］に移行するまでの時間を指定します。

補足 ・［最終操作から低電力モードまで］の初期値は、［15］分です。

■最終操作からスリープモードまで

最終操作から［スリープモード］に移行するまでの時間を指定します。

補足 ・［最終操作からスリープモードまで］の初期値は、［60］分です。［最終操作からスリープモードまで］の時間は、［最終操作から低電力モードまで］の時間以上になるように指定してください。

10 ［決定］を押します。

11 ［仕様設定 / 登録］画面が表示されるまで、［閉じる］を押します。

12 ［作業終了］を押して、機械管理者モードを終了します。

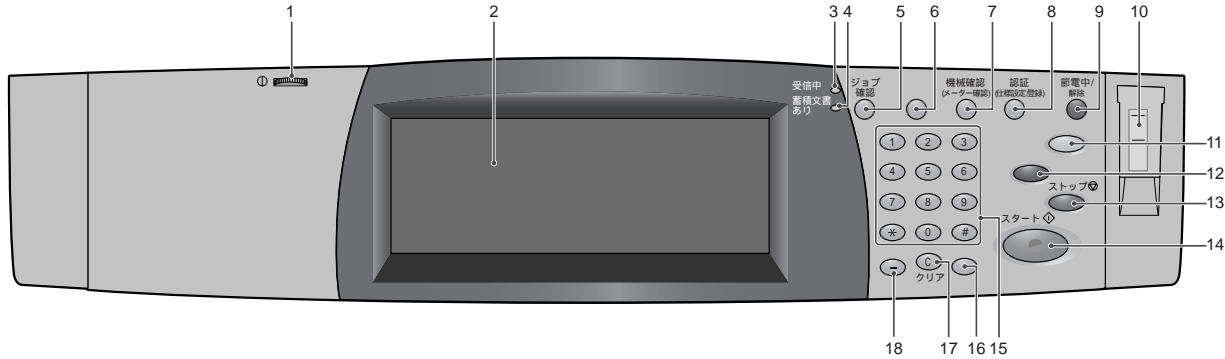
節電状態を解除する

節電状態を解除する方法について説明します。
節電状態は、次の場合に解除されます。

- 〈節電中 / 解除〉ボタンを押す
- ジョブを受信する

1 〈節電中 / 解除〉ボタンを押します。

操作パネル

操作パネルの各部の名称と働きについて説明します。

番号	名　　称	働　　き
1	輝度調整ダイヤル	タッチパネルディスプレイの明るさを調整します。画面が暗いときや明るすぎるときは、このダイヤルで調整してください。
2	タッチパネルディスプレイ	操作に必要なメッセージや各機能のボタンが表示されます。タッチパネルディスプレイに直接触れて、画面の指示や機能の設定をします。
3	受信中ランプ	本機からデータを送信しているときやクライアントからのデータを受信しているときに点灯します。
4	蓄積文書ありランプ	機械内部に文書を蓄積しているときに点灯します。
5	ジョブ確認ボタン	このボタンを押すと、実行中のジョブや終了したジョブの確認 / 中止操作、保存されている文書の確認 / プリント操作ができます。 本文中では、〈ジョブ確認（通信中止)〉ボタンと表します。
6	ボタン	本機では、使用しません。
7	機械確認（メーター確認）ボタン	このボタンを押すと、機械状態、メーター、消耗品の確認、およびレポートのプリント操作ができます。 本文中では、〈機械確認（メーター確認)〉ボタンと表します。
8	認証（仕様設定 / 登録）ボタン	このボタンを押すと、機械管理者モード、または認証 / 集計管理で管理している場合の User ID の入力画面が表示されます。 本文中では、〈認証（仕様設定 / 登録)〉ボタンと表します。
9	節電中 / 解除ボタン	しばらく本機を使用しないと、機械は消費電力量を下げて節電モードに入ります。節電中は、〈節電中 / 解除〉ボタンが点灯します。節電モードを解除するときは、〈節電中 / 解除〉ボタンを押します。 本文中では、〈節電中 / 解除〉ボタンと表します。
10	電源スイッチ	機械の電源を入 / 切するスイッチです。
11	ボタン	本機では、使用しません。
12	ボタン	本機では、使用しません。
13	ストップボタン	作業を中止するときに押します。 本文中では、〈ストップ〉ボタンと表します。
14	スタートボタン	本文中では、〈スタート〉ボタンと表します。
15	数字ボタン	暗証番号などの数値を入力するときに押します。 本文中では、数字ボタンと表します。
16	ボタン	本機では、使用しません。

番号	名　称	働　き
17	C（クリア）ボタン	数字ボタンによる数値の入力を間違えたときに押します。 本文中では、〈クリア（C）〉ボタンと表します。
18	- ボタン	数値入力の際に、マイナス (-) 記号を入力するときに押します。

操作パネルのメニュー画面

操作パネルのメニュー画面に表示される機能の種類やボタンは、次のとおりです。

登録方法については、「初期画面の設定」(P.220) を参照してください。

補足 • 機能が使用できない場合は、ボタンは表示されません。また、故障中で使用できない機能はグレー表示になります。

- 言語切り替え Language
- 登録 / 変更
- 階調補正
- プリンターモード
- プライベートプリント
- 認証プリント
- セキュリティープリント
- サンプルプリント
- 時刻指定プリント

補足 •「認証プリントの設定」(P.249) で、[プライベートプリントに保存] を選択すると、[プライベートプリント] が表示されます。
• [プライベートプリント] と、[セキュリティープリント] は、設定によって、どちらかが表示されます。

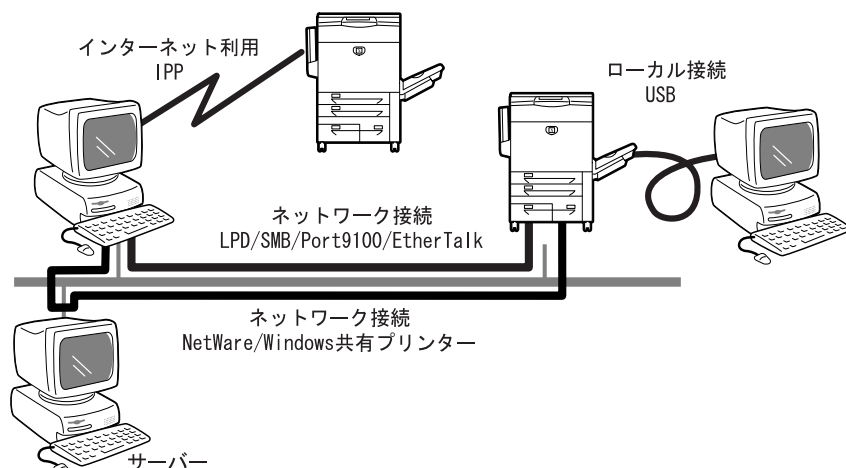
3　プリンター環境の設定

この章では、本機で使用できる環境、ネットワーク設定などについて説明しています。

本機で使用できる環境

本機を使用できる環境について説明します。

本機は、直接コンピューターと接続するとローカルプリンターとして、ネットワークを経由するとネットワークプリンターとして使用できます。

使用するポートは、操作パネルで［起動］に設定してください。

ローカルプリンターとして使用する場合

ローカルプリンターとして使用する場合は、以下の接続形態があります。

- USB 接続　：本機とコンピューターを USB ケーブルで接続して使用します。

ネットワークプリンターとして使用する場合

ネットワークプリンターとして使用する場合は、次の環境で使用できます。

- LPD　：TCP/IP プロトコルを使用し、本機と直接通信できる場合に使用します。
- NetWare　：NetWare® サーバーを使用し、本機を共有管理する場合に使用します。
- SMB　：Microsoft® Networks を使用してプリントする場合に使用します。
- IPP　：インターネットを経由してプリントする場合に使用します。
- Port9100　：ポートとして Port9100 を利用している場合に使用します。
- EtherTalk　：Macintosh® からプリントする場合に使用します。PS3 キットヘイセイ 2 ショタイ（オプション）が必要です。

各 OS（オペレーティングシステム）で使用できる環境

接続形態		ローカル	ネットワーク							
ポート名		USB2.0	LPD	NetWare®		SMB		IPP	Port 9100	Ether Talk®
プロトコル		-	TCP/IP	TCP/IP	IPX/SPX	Net BEUI	TCP/IP	TCP/IP	TCP/IP	Apple Talk®
OS	Windows 95		○*3	○	○	○	○		○*3	
	Windows 98	○*1,2,7	○*3	○	○	○	○		○*3	
	Windows Me	○*1,2	○*3	○	○	○	○	○	○*3	
	Windows NT 4.0		○	○	○	○	○			
	Windows 2000	○*1	○	○	○	○	○	○	○	
	Windows XP	○*1	○	○	○		○	○	○	
	Windows Server 2003	○*1	○	○	○		○	○	○	
	UNIX		○*5							
	Macintosh	○*1,4	○*4,6							○*4

***1：USB2.0 拡張キット（オプション）が必要です。接続するコンピューターに USB2.0 のポートが必要です。**

***2：Microsoft® Windows® 98SE、または Microsoft® Windows® Me の場合は、弊社の USB Print Utility を使用します。**

***3：Microsoft® Windows® Windows 95、Microsoft® Windows® 98、Microsoft® Windows® Me の場合は、弊社の TCP/IP Direct Print Utility を使用します。**

***4：PS3 キットヘイセイ 2 ショタイ（オプション）が必要です。**

***5：PostScript® データをプリントする場合は、PS3 キットヘイセイ 2 ショタイ（オプション）と UNIX フィルター（エイセル株式会社製）が必要です。**

***6：Mac OS® X 10.1.5/10.2.x/10.3.3 ～ 10.3.9 にだけ、対応しています。**

***7：Microsoft® Windows® 98SE 以降にだけ、対応しています。**

ネットワーク環境の詳細については、ドライバー CD キットの CD-ROM 内のマニュアル（HTML 文書）を参照してください。

ツールの紹介

本機には次のツールがあります。ツールによって設定できる項目が異なります。

■CentreWare Internet Services

TCP/IP 環境が利用できる場合に、Web ブラウザーを介して、本機のプリンターとしての状態やプリントデータ状態の表示、設定の変更などの操作をするためのサービスです。

プリンターとしての設定では、タッチパネルディスプレイで設定する項目のうち、システム設定、各ネットワークのポート設定などに関する項目を、本サービスのプロパティ画面で設定できます。

■ドライバー CD キット内の各種ツール

ドライバー CD キットの CD-ROM に同梱されています。
プリンタードライバーや、プリンタードライバーを簡単にインストールできるツールなど、各種ツールが入っています。

■ドキュメントモニター

ドキュメントモニターを利用することによって、コンピューターからプリント指示した場合の本体の状態（用紙切れ、トナー切れ、紙づまり、プリント開始や終了など）を表示します。また、プリントデータの処理状況の確認や、処理の一時停止、再開、中止などもできます。

■ApeosWare EasyAdmin

プリンターの管理作業を軽減するツールです。複数台の複数の項目を、自分の席のコンピューターから一括で設定できます。

補足 ・ApeosWare EasyAdmin をご使用になる場合は、別途購入が必要です。

ツールと設定できる項目の関係は次のとおりです。なお、本マニュアルでは、本体の操作パネルからの設定を中心に説明しています。

項目	操作パネル	CentreWare Internet Services	ドライバー CD キット内の各種ツール	ApeosWare EasyAdmin
ポートの起動	○	○	△（IP アドレス設定ツール、LPD のみ）	△
IP アドレスの設定	○	○（変更のみ）	○（IP アドレス設定ツール）	○（変更のみ）
メール環境の設定	△	○	×	△
プリンターの状態の確認	△	○	○（ドキュメントモニター）	×
プリントデータ（ジョブ）の状態の確認	×	○	○	×
認証の運用設定	○	△	×	○
個人の認証情報の設定	○	○	×	○

○：設定可能　△：一部可能　×：設定不可

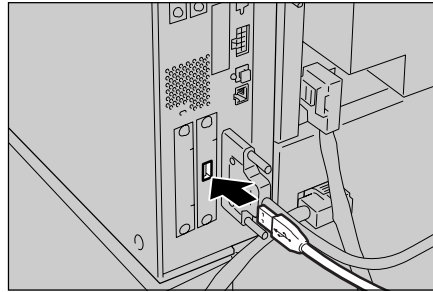
インターフェイスケーブルの接続

コンピューターと本機を直接接続する場合は、USB インターフェイスを使います。ネットワークに接続する場合は、Ethernet インターフェイスを使います。

USB ケーブルの接続

USB インターフェイスは、USB2.0（オプション）に対応しています。

USB インターフェイスを使用するときの設置手順について説明します。

1. 本機の電源が切れていることを確認します。
2. USB インターフェイスケーブルを、本機背面の USB2.0 インターフェイスコネクターに接続します。
3. コンピューターに、USB インターフェイスケーブルのもう一方のコネクターを接続します。
4. 本機の電源スイッチを入れます。

ネットワークケーブルの接続

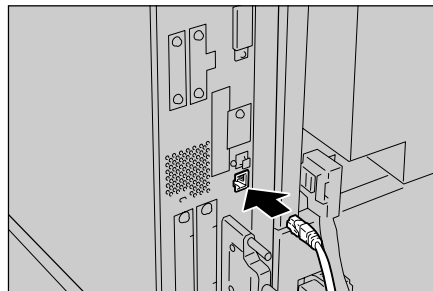
Ethernet インターフェイスは、次の 2 種類に対応しています。

- 100BASE-TX
- 10BASE-T

Ethernet インターフェイスを使用するときの設置手順について説明します。

1. 本機の電源が切れていることを確認します。
2. Ethernet インターフェイスのコネクターに、ネットワークケーブルを接続します。

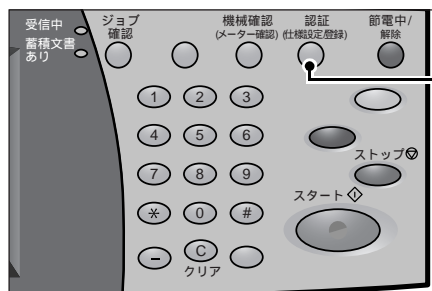
   補足 ・ネットワークケーブルは、お使いのネットワーク環境に合ったケーブルをご用意ください。また、ネットワークケーブルを交換する場合は、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。

3. 本機の電源スイッチを入れます。

機械管理者メニューの表示手順

プリンター環境の設定は、機械管理者メニューで行います。

ここでは、機械管理者メニューにある［仕様設定］の［ネットワーク］画面を表示する手順について説明します。

各環境の設定時に、必要に応じて参照してください。

1 **〈認証（仕様設定 / 登録）〉ボタンを押します。**

〈認証（仕様設定 / 登録）〉ボタン

2 **数字ボタンまたは［キーボード］を押して表示されるキーボードを使って、User ID を入力し、［確定］を押します。**

補足 ・User IDの初期値は、「11111」です。認証管理機能を利用している場合、パスワードが必要な場合があります。パスワードの初期値は、「x-admin」です。

3 **［仕様設定 / 登録］を押します。**

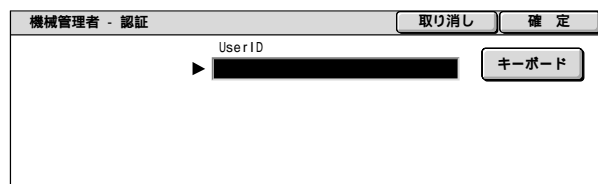
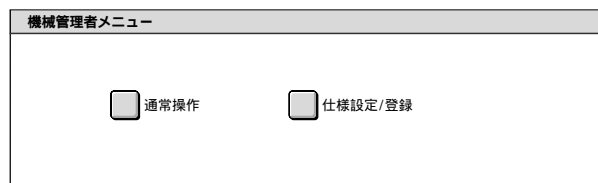
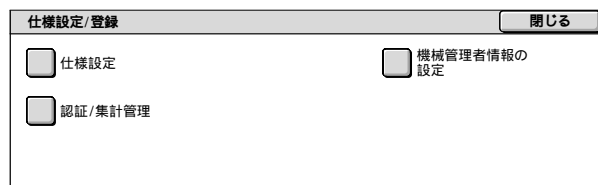
4 **［仕様設定］を押します。**

仕様設定/登録　閉じる
仕様設定
機械管理者情報の設定
認証/集計管理

5 **［ネットワーク設定］を押します。**

仕様設定　閉じる
共通設定
ネットワーク設定
プリンター設定
メール設定
保存文書設定

［ネットワーク設定］画面が表示されます。

ネットワーク設定　閉じる
ポート設定
プロトコル設定
本体メールアドレス/ホスト名
POP3サーバー設定
SMTPサーバー設定
受信ドメインの制限
その他の設定

IP アドレスの設定手順

IP アドレスの設定手順について説明します。
各環境の設定時に、必要に応じて参照してください。

1 ［ネットワーク設定］画面の、［プロトコル設定］を押します。

［ネットワーク設定］画面を表示する手順は、「機械管理者メニューの表示手順」(P.50) を参照してください。

2 ［TCP/IP-IPアドレス取得方法］を選択し、［確認 / 変更］を押します。

3 ［DHCPから取得］、［BOOTPから取得］、［RARP から取得］、［DHCP/Autonet から取得］、［手動で設定］のどれかを選択し、［決定］を押します。

［手動で設定］以外を選択した場合は、手順 7 に進んでください。

補足 • DHCP サーバーを使用する場合は、WINS サーバーも使用してください。

4 ［TCP/IP-IPアドレス］を選択し、［確認 / 変更］を押します。

5 IPアドレスを数字ボタンで入力し、［決定］を押します。

補足 • アドレスは、xxx.xxx.xxx.xxx の形式で入力します。xxx は、0 〜 255 までの数値です。
ただし、224 〜 225.xxx.xxx.xxx、127.xxx.xxx.xxxは設定できません。
• 入力を間違えたときは、〈クリア (C)〉ボタンを押して、再入力してください。
• 3 桁未満で次のビットに移動するときは、［決定 / 次選択］を選択します。

6 ［TCP/IP-サブネットマスク］と［TCP/IP-ゲートウェイアドレス］も同様に設定します。

補足 • アドレスは、xxx.xxx.xxx.xxx の形式で入力します。xxx は、0 〜 255 までの数値です。ただし、224 〜 225.xxx.xxx.xxx および 127.xxx.xxx.xxx は設定できません。
• サブネットマスクは、0、128、192、224、240、248、252、254、255 の数値を組み合わせて指定します。ただし、途中の値は 0 に設定できません。
• ゲートウェイアドレスを設定しない場合は、0.0.0.0 を入力してください。

7 ［仕様設定 / 登録］画面が表示されるまで、［閉じる］を押します。

8 ［作業終了］を押します。

USB での設置

本機は、USB ケーブルを使用して、コンピューターと直接接続できます。

USB ケーブルの接続については、「USB ケーブルの接続」(P.49) を参照してください。

補足 ・設置には、USB ケーブル、ドライバー CD キットの CD-ROM(本機に同梱)、Macintosh 使用時には、PS3 キットヘイセイ 2 ショタイ(オプション)が必要です。

USB ポートの設置手順

次の手順で設定します。

- **本機の USB ポートを設定する**
- **コンピューターにプリンタードライバーをインストールする**

補足 ・CentreWare Internet Services を使用して設定することもできます。「CentreWare Internet Services での通信設定について」(P.81) を参照してください。

1 **「機械管理者メニューの表示手順」(P.50) を参照して、[ネットワーク設定] 画面を表示し、[ポート設定] を押します。**

2 **[USB] を選択し、[確認 / 変更] を押します。**

3 **[USB-ポート] を選択し、[確認 / 変更] を押します。**

4 **[起動] を選択し、[決定] を押します。**

5 **必要に応じて次の項目を設定します。**

- **[USB-プリントモード指定]**

  受信したデータのプリント言語を設定します。

- **[USB-JCL]**

  JCL コマンドのジョブを受け付ける場合に、有効にします。

  JCL コマンドは、どのプリンター言語にも依存しません。その時点で使用されているプリンター言語に関係なく、次のデータのプリント言語を設定できます。

- **[USB-自動排出時間]**

  プリンターにデータが送られなくなってから、用紙を自動排出するまでの時間を設定します。

- ［USB-Adobe 通信プロトコル］

  PostScript が動作するプリンターと、ホスト間の通信方法について定義したプロトコルを設定します。

補足 ・ Adobe 通信プロトコルは、オプションの PS3 キットヘイセイ 2 ショタイを接続した場合だけ、設定します。

6 ［仕様設定 / 登録］画面が表示されるまで、［閉じる］を押します。

7 ［作業終了］を押します。

8 本機が再起動したら、「レポートをプリントする」(P.263) を参照して、機能設定リストをプリントし、USB ポートが起動になっていることを確認します。

9 プリンタードライバーをインストールしていない場合は、「USB 接続で直接プリントする」(P.73) を参照して、コンピューターにプリンタードライバーをインストールします。

補足 ・ Macintosh からも USB を使用してプリントできます。その場合、オプションの PS3 キットヘイセイ 2 ショタイが必要です。プリンタードライバーのインストールについては、PS3 キットヘイセイ 2 ショタイに同梱されている CD-ROM 内のマニュアルを参照してください。

TCP/IP（LPD/Port9100）での設置

本機は、TCP/IP（LPD/Port9100）を使用して、コンピューターと接続できます。

補足 ・設置には、TCP/IP が使用できるネットワーク環境、ドライバー CD キットの CD-ROM（本機に同梱）、Macintosh 使用時には、PS3 キットヘイセイ 2 ショタイ（オプション）が必要です。

TCP/IP(LPD/Port9100) ポートの設置手順

次の手順で設定します。

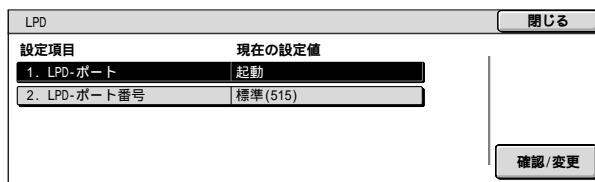
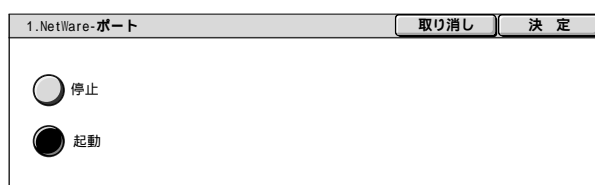
- **本機の TCP/IP（LPD/Port9100）を設定する**
- **コンピューターにプリンタードライバーをインストールする**

補足 ・CentreWare Internet Services を使用して設定することもできます。「CentreWare Internet Services での通信設定について」(P.81) を参照してください。

1 「機械管理者メニューの表示手順」(P.50) を参照して、[ネットワーク設定] 画面を表示し、[ポート設定] を押します。

2 [LPD] を選択し、[確認 / 変更] を押します。

補足 ・LPD ポートを起動する場合は LPD ポートを、Port9100 を使用する場合は Port9100 ポートを起動します。ここでは LPD ポートを起動します。

3 [LPD-ポート] を選択し、[確認 / 変更] を押します。

4 [起動] を選択し、[決定] を押します。

5 [ネットワーク設定] 画面が表示されるまで、[閉じる] を押します。

6 「IP アドレスの設定手順」(P.51) を参照して、IP アドレスなどを設定します。

7 本機が再起動したら、「レポートをプリントする」(P.263) を参照して、機能設定リストをプリントし、LPD ポート、または Port9100 が起動になっていること、TCP/IP の設定を確認します。

8 必要に応じて、その他の LPD の設定「LPD」(P.90)、その他の Port9100 の設定「Port9100」(P.93) を行ってください。

9 「プリンタードライバーのインストール」(P.70) を参照して、コンピューターにプリンタードライバーをインストールします。

補足 ・Macintosh からも TCP/IP (LPD) を使用してプリントできます。その場合、オプションの PS3 キットヘイセイ 2 ショタイが必要です。プリンタードライバーのインストールについては、同梱の CD-ROM に入っているマニュアルを参照してください。

NetWare での設置

本機を NetWare のネットワークで使用できます。

補足 • 設置には、NetWare サーバー、IPX/SPX、または TCP/IP が使用できるネットワーク環境、ドライバー CD キットの CD-ROM（本機に同梱）が必要です。

設置手順の概要

本機は、NetWare のディレクトリーサービスとバインダリーサービスで、PServer モードをサポートしています。PServer モードでは、本機自体がプリントサーバーとして作動し、プリントキューにあるジョブを取り出してプリントします。作成したプリンターは、ファイルサーバーのユーザーライセンスを 1 つ消費します。

補足 • リモートプリンター（RPrinter）モードは、サポートしていません。
• Novell NDPS Gateway を使用することにより、NDPS 環境で本機からプリントすることができます。プリントするためには、あらかじめ本機を NetWare プリント環境で動作するように設定しておくか、または LPD を起動しておき、Novell NDPS Gateway のセットアップ時にこれらを Gateway 先として設定する必要があります。ただし、NDPS で取得 / 設定可能な属性情報については、サポートしていません。

■サポートするインターフェイス

- 100BASE-TX
- 10BASE-T

■サポートするフレームタイプ

- Ethernet II 仕様
- IEEE802.3 仕様
- IEEE802.3/IEEE802.2 仕様
- IEEE802.3/IEEE802.2/SNAP 仕様

補足 • 本機は、接続しているネットワーク上に各フレームタイプのパケットを送出し、最初に応答したフレームタイプで自動的に起動します。フレームタイプを固定することもできます。ただし、同一ネットワーク上にその他のプロトコルが同時に存在する場合は、Ethernet II を使ってください。
• ネットワーク構成機器（HUB など）が、フレームタイプの自動設定に適合していない場合があります。本機を接続したネットワーク構成機器のポートのデータリンクランプが点灯しない場合は、本機のフレームタイプの設定をファイルサーバーのフレームタイプに合わせてください。設定は、CentreWare Internet Services で行います。

NetWare を使用する場合、以下の手順で行います。

- 本体側の設定
  - IPX/SPX を使用する場合は、本機の NetWare ポートを起動してから、ドライバー CD キットの CD-ROM を使用して、本機を設定します。
  - NDPS で LPD ポートを使用する場合は、本機の LPD ポートを起動して、TCP/IP を設定してから、ドライバー CD キットの CD-ROM を使用して、本機を設定します。
- コンピューター側の設定

  プリンタードライバーをインストールします。

NetWare の設置手順

設定手順について説明します。

補足 ・CentreWare Internet Services を使用して設定することもできます。「CentreWare Internet Services での通信設定について」(P.81) を参照してください。

IPX/SPX を使用する場合

1 「機械管理者メニューの表示手順」(P.50) を参照して、[ネットワーク設定] 画面を表示し、[ポート設定] を押します。

2 [NetWare] を選択し、[確認 / 変更] を押します。

3 [NetWare-ポート] を選択し、[確認 / 変更] を押します。

4 [起動] を選択し、[決定] を押します。

5 [仕様設定 / 登録] 画面が表示されるまで、[閉じる] を押します。

6 [作業終了] を押します。

7 本機が再起動したら、「レポートをプリントする」(P.263) を参照して、機能設定リストをプリントし、NetWare ポートが起動になっていることと NetWare の装置名とネットワークアドレスを確認します。

8 ドライバー CD キットの CD-ROM を使用して、本機を設定します。

設定方法については、同梱のドライバー CD キットの CD-ROM に入っているマニュアル(HTML 文書)を参照してください。

NDPSでLPDポートを使用する場合

1 「機械管理者メニューの表示手順」(P.50)を参照して、[ネットワーク設定]画面を表示し、[ポート設定]を押します。

2 [LPD]を選択し、[確認/変更]を押します。

3 [LPD-ポート]を選択し、[確認/変更]を押します。

4 [起動]を選択し、[決定]を押します。

5 [ネットワーク設定]画面が表示されるまで、[閉じる]を押します。

6 「IPアドレスの設定手順」(P.51)を参照して、IPアドレスなどを設定します。

7 本機が再起動したら、「レポートをプリントする」(P.263)を参照して、機能設定リストをプリントし、LPDポートが起動になっていることとTCP/IPの設定を確認します。

8 必要に応じて、その他のLPDの設定「LPD」(P.90)を行ってください。

9 ドライバーCDキットのCD-ROMを使用して、本機を設定します。

設定方法については、同梱のドライバーCDキットのCD-ROMに入っているマニュアル(HTML文書)を参照してください。

10 「プリンタードライバーのインストール」(P.70)を参照して、コンピューターにプリンタードライバーをインストールします。

Microsoft Networks(SMB) での設置

本機は、Microsoft Networks(SMB) を使用して、コンピューターと接続できます。

補足
- 設置には、TCP/IP または NetBEUI が使用できるネットワーク環境、ドライバー CD キットの CD-ROM（本機に同梱）が必要です。
- ネットワーク環境によっては、本機に IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの設定が必要な場合があります。ネットワーク管理者にご相談のうえ、必要な項目を設定してください。

SMB ポートの設置手順

次の手順で設定します。

- 本機の SMB ポートを起動、TCP/IP を設定する
- コンピューターにプリンタードライバーをインストールする

補足
- CentreWare Internet Services を使用して設定することもできます。「CentreWare Internet Services での通信設定について」(P.81) を参照してください。

1 「機械管理者メニューの表示手順」(P.50) を参照して、[ネットワーク設定] 画面を表示し、[ポート設定] を押します。

2 [SMB] を選択し、[確認 / 変更] を押します。

3 [SMB-ポート] を選択し、[確認 / 変更] を押します。

4 [起動] を選択し、[決定] を押します。

5 [ネットワーク設定] 画面が表示されるまで、[閉じる] を押します。

6 「IP アドレスの設定手順」(P.51) を参照して、IP アドレスなどを設定します。

7 本機が再起動したら、「レポートをプリントする」(P.263) を参照して、機能設定リストをプリントし、SMB ポートが起動になっていることと TCP/IP の設定を確認します。

8 必要に応じて、その他の SMB の設定「SMB」(P.85) を行ってください。

補足
- プロトコルに NetBEUI を使用する場合は、CentreWare Internet Services のポート起動で、SMB で使用するプロトコルに NetBEUI を選択してください。

9 「プリンタードライバーのインストール」(P.70) を参照して、コンピューターにプリンタードライバーをインストールします。

インターネットプリンティング（IPP）での設置

本機は、IPP を使用して、コンピューターと接続できます。

補足 • 設定には、TCP/IP が使用できるネットワーク環境、ドライバー CD キットの CD-ROM（本機に同梱）が必要です。

IPP の設置手順

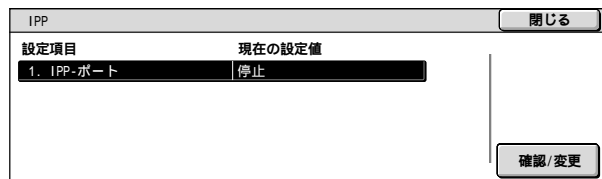
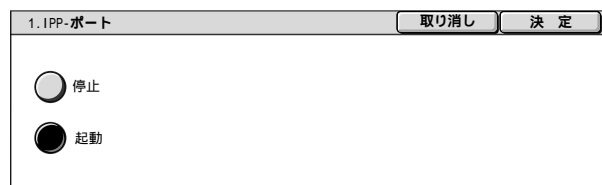
次の手順で行います。

- **本機の IPP ポートを起動し、TCP/IP を設定する**
- **コンピューターにプリンタードライバーをインストールする**

補足 • CentreWare Internet Services やドライバー CD キットに入っている IP アドレス設定ツールを使用して設定することもできます。CentreWare Internet Services で設定する方法は、「CentreWare Internet Services での通信設定について」（P.81）を参照してください。

1 「機械管理者メニューの表示手順」（P.50）を参照して、［ネットワーク設定］画面を表示し、［ポート設定］を押します。

2 ［IPP］を選択し、［確認 / 変更］を押します。

3 ［IPP-ポート］を選択し、［確認 / 変更］を押します。

4 ［起動］を選択し、［決定］を押します。

5 ［ネットワーク設定］画面が表示されるまで、［閉じる］を押します。

6 「IP アドレスの設定手順」（P.51）を参照して、IP アドレスなどを設定します。

7 本機が再起動したら、「レポートをプリントする」（P.263）を参照して、機能設定リストをプリントし、IPP ポートが起動になっていることと TCP/IP の設定を確認します。

8 必要に応じて、その他の IPP の設定「IPP」（P.92）を行ってください。

9 ドライバー CD キット内のマニュアル（HTML 文書）を参照して、コンピューターにプリンタードライバーをインストールします。

EtherTalk での設置

本機は、EtherTalk を使用して、コンピューターと接続できます。

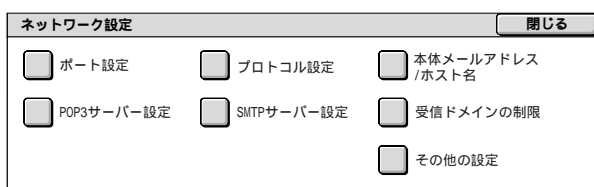
補足 • 設置には、EtherTalk が使用できるネットワーク環境、PS3 キットヘイセイ 2 ショタイ（オプション）が必要です。

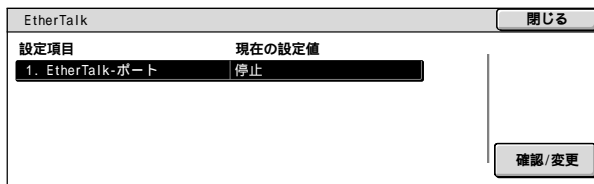
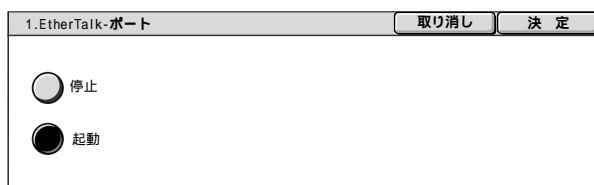
EtherTalk の設置手順

次の手順で行います。

- **本機の EtherTalk ポートを起動する**
- **コンピューターにプリンタードライバーをインストールする**

補足 • CentreWare Internet Services を使用して設定することもできます。「CentreWare Internet Services での通信設定について」(P.81) を参照してください。

1 **「機械管理者メニューの表示手順」(P.50) を参照して、[ネットワーク設定] 画面を表示し、[ポート設定] を押します。**

2 **[▼] で、画面をスクロールして、[EtherTalk] を選択し、[確認 / 変更] を押します。**

3 **[EtherTalk-ポート] を選択し、[確認 / 変更] を押します。**

4 **[起動] を選択し、[決定] を押します。**

5 **[仕様設定 / 登録] 画面が表示されるまで、[閉じる] を押します。**

6 **[作業終了] を押します。**

7 **本機が再起動したら、「レポートをプリントする」(P.263) を参照して、機能設定リストをプリントし、EtherTalk ポートが起動になっていることを確認します。**

8 **必要に応じて、その他の EtherTalk の設定「EtherTalk」(P.84) を行ってください。**

9 **コンピューターにプリンタードライバーをインストールします。**

プリンタードライバーのインストール手順については、PS3 キットヘイセイ 2 ショタイに同梱の CD-ROM に入っているマニュアルを参照してください。

メール機能の設定

メール機能には、次の 3 つがあります。

■メールプリント

コンピューターから本機に、TIFF 形式または PDF 形式の文書を添付したメールを送信できます。受信されたメールは、自動的にプリントされます。

メール本文のプリントは、CentreWare Internet Services の「ヘッダー本文の印刷(メール)」の設定に応じて処理されます。

メールプリントについては、「文書をメールでプリンターに送る（メールプリント）」(P.145)を参照してください。

■メール通知

CentreWare Internet Services の「メール通知設定」で設定した内容（消耗品の状態、交換部品の状態、用紙の状態など）を指定された宛先へメールで通知できます。

■ジョブの終了通知

コンピューターから本機にプリントしたときに、そのプリントが終了したことをメールで通知できます。

事前準備

メール機能を利用する前に、次の項目の準備が必要です。

項目	説明	メール機能		
		メールプリント	メール通知	ジョブの終了通知
TCP/IP アドレス	本機の TCP/IP アドレスです。 メールは、TCP/IP で通信します。	○	○	○
サブネットマスク	ネットワークをサブネットで分割して使用している場合は必要です。	△	△	△
ゲートウェイアドレス	複数のネットワークをゲートウェイを介して使用している場合は必要です。	△	△	△
管理者メールアドレス	本機の管理者のメールアドレスを設定します。	○	○	○
本体メールアドレス	本機から送信したメールの送信者のアドレスに使用します。	○	○	○
DNS サーバーアドレス	POP3 サーバーや SMTP サーバーのアドレスを、IP アドレスではなく、ドメイン名形式で設定した場合は必要です。	△	△	△
SMTP サーバーアドレス	本機のメール送信では、SMTP サーバーを使用します。メール受信でも使用できます。	○	○	○
SMTP 認証ユーザー	認証が必要なSMTPサーバーの場合、認証用のユーザー名を設定します。	△	△	△
POP3 サーバー	POP3 サーバーを使用してメールを受信する場合には、POP3 サーバーに本機のメールアドレス、ユーザー名を登録します。 また本機には、POP3 サーバーのアドレスを設定する必要があります。	△	△	△
POP ユーザー名	POP 受信用のユーザーアドレスを設定します。	△	△	△

○：設定が必要です　△：必要に応じて設定します

メールアカウントの登録

本機でメールを利用するには、あらかじめメールサーバーにメールアカウントを登録する必要があります。

補足 ・メールアカウントの登録については、システム管理者にお問い合わせください。

メール環境の設定手順

ポートの起動、本体メールアドレス、TCP/IP 環境、メールサーバーなどの設定を、次の手順で行います。

- **ポートの起動と TCP/IP の設定**
- **本体メールアドレス / ホスト名の設定**
- **メール受信の設定**
- **メール送信の設定**

ポートの起動と TCP/IP の設定

TCP/IP を使用するために、メールポートを起動して、IP アドレスなどを設定します。

補足 ・CentreWare Internet Services を使用して設定することもできます。「CentreWare Internet Services での通信設定について」(P.81) を参照してください。

1 「機械管理者メニューの表示手順」(P.50) を参照して、[ネットワーク設定] 画面を表示し、[ポート設定] を押します。

2 [▼] で、画面をスクロールして、[メール受信] を選択し、[確認 / 変更] を押します。

3 [メール受信-ポート] を選択し、[確認 / 変更] を押します。

4 [起動] を選択し、[決定] を押します。

5 [閉じる] を押します。

6 メール通知サービスを使用する場合は、［メール受信 - ポート］と同様に［メール通知サービス - ポート］を起動します。

7 ［ネットワーク設定］画面が表示されるまで、［閉じる］を押します。

8 「IP アドレスの設定手順」(P.51) を参照して、IP アドレスなどを設定します。

9 本機が再起動したら、「レポートをプリントする」(P.263) を参照して、機能設定リストをプリントし、ポートの起動と TCP/IP の設定を確認します。

本体メールアドレス / ホスト名の設定

メールを使用するために、メールの各項目を設定します。

補足 ・CentreWare Internet Services を使用して設定することもできます。「CentreWare Internet Services での通信設定について」(P.81) を参照してください。

1 「機械管理者メニューの表示手順」(P.50) を参照して、［ネットワーク設定］画面を表示し、［本体メールアドレス / ホスト名］を押します。

2 ［メールアドレス］を押し、［確認 / 変更］を押します。

3 表示されるキーボードで［メールアドレス］を 128 文字以内で入力し、［決定］を押します。

キーボードの使い方については「文字の入力方法について」(P.215) を参照してください。

4 ［ホスト名］と［ドメイン名］を同様に設定し、［閉じる］を押します。

補足 ・［ホスト名］は 64 文字以内、［ドメイン名］は 128 文字以内で入力します。

5 ［ネットワーク設定］画面が表示されるまで、［閉じる］を押します。

引き続き、メール受信の設定をします。

メール受信の設定

本機は、POP3 サーバーを使用して、メールを受信します。

補足 • アカウントの（@マークの左側）には、POP　ユーザー名を、アドレス部（@マークの右側）には、受信用 POP3 メールサーバー名を設定します。mymail@example.com のようなエイリアスも設定できます。

〈例〉mymail@mb1.abc.example.com
アカウント名：mymail

補足 • CentreWare　Internet　Services を使用して設定することもできます。「CentreWare Internet Services での通信設定について」(P.81) を参照してください。

POP3 サーバーの設定手順

POP3 サーバーの設定手順について説明します。

設定項目は、次の 8 つです。

- サーバー指定方法
- IP アドレス
- サーバー名
- ポート番号
- 受信間隔
- ログイン名
- パスワード
- POP3 受信パスワードの暗号化

1 ［ネットワーク設定］画面で、［POP3 サーバー設定］を押します。

2 ［POP3 サーバー - 指定方法］を選択し、［確認 / 変更］を押します。

3 ［IP アドレスで指定］、［サーバー名で指定］から選択し、［決定］を押します。

4 手順2〜3［POP3サーバー-指定方法］で、［IP アドレスで指定］を選択した場合は、［POP3 サーバー - IP アドレス］を選択し、［確認 / 変更］を押します。
［サーバー名で指定］を選択した場合は、手順 6 に進みます。

5 ［POP3 サーバー - 指定方法］で、［IP アドレスで指定］を選択した場合は、IP アドレスを入力し、手順 8 に進みます。

補足
- アドレスは、xxx.xxx.xxx.xxx の形式で入力します。xxx は、0 ～ 255 までの数値です。
  ただし、224 ～ 225.xxx.xxx.xxx、および 127.xxx.xxx.xxx は設定できません。
- 入力を間違えたときは、〈クリア (C)〉ボタンを押して、再入力してください。
- 3 桁未満で次のビットに移動するときは、［決定 / 次選択］を選択します。

6 手順2～3［POP3サーバー-指定方法］で、［サーバー名で指定］を選択した場合は、［POP3 サーバー - サーバー名］を選択し、［確認 / 変更］を押します。

7 表示されるキーボードでサーバー名を 64 文字以内で入力し、［決定］を押します。

キーボードの使い方については「文字の入力方法について」(P.215) を参照してください。

8 ［POP3 サーバー - ポート番号］を選択し、［確認 / 変更］を押します。

9 ［標準 (110)］、［番号指定］から選択します。

1) ［標準 (110)］を選択した場合は、［決定］を押して、手順 10 に進みます。

2) ［番号指定］を選択した場合は、ポート番号を 1 ～ 65535 で入力し、［決定］を押します。

補足
- ほかのポート番号と同じ番号を使用しないでください。

10 ［POP3 サーバー - 受信間隔］を選択し、［確認 / 変更］を押します。

11 ［POP3サーバー-受信間隔］を1～120で入力し、［決定］を押します。

12 ［POP3 サーバー - ログイン名］を選択し、［確認 / 変更］を押します。

13 ログイン名を64文字以内で入力し、［決定］を押します。

キーボードの使い方については「文字の入力方法について」(P.215) を参照してください。

14 ［POP サーバー -パスワード］を選択し、［確認 / 変更］を押します。

15 ［新しいパスワード］を 32 文字以内で入力し、［次選択］を押します。

16 ［パスワードの再入力］に、同じ暗証番号を入力し、［決定］を押します。

17 ［POP受信パスワードの暗号化］を選択し、［確認 / 変更］を押します。

18 ［しない（平文）］、［する（APOP)］から選択し、［決定］を押します。

19 ［仕様設定 / 登録］画面が表示されるまで、［閉じる］を押します。

20 ［作業終了］を押します。

21 本機が再起動したら、「レポートをプリントする」(P.263) を参照して、機能設定リストをプリントし、設定内容を確認します。

メール送信の設定

本機は、SMTP サーバーを使用して、メールを送信します。

補足 ・CentreWare Internet Services を使用して設定することもできます。「CentreWare Internet Services での通信設定について」(P.81) を参照してください。

SMTP サーバー設定

SMTP サーバーの設定手順について説明します。

設定項目は、次の 7 つがあります。

- サーバー指定方法
- IP アドレス
- サーバー名
- ポート番号
- 送信時の認証方式
- SMTP AUTH ログイン名
- SMTP AUTH パスワード

1 ［ネットワーク設定］画面で、［SMTP サーバー設定］を押します。

2 ［SMTP サーバー - 指定方法］を選択し、［確認 / 変更］を押します。

3 ［IP アドレスで指定］、［サーバー名で指定］から選択し、［決定］を押します。

4 手順2〜3［SMTPサーバー-指定方法］で、［IP アドレスで指定］を選択した場合は、［SMTP サーバー -IP アドレス］を選択し、［確認 / 変更］を押します。
［サーバー名で指定］を選択した場合は、手順 6 に進みます。

5 ［SMTP サーバー - 指定方法］で、［IP アドレスで指定］を選択した場合は、IP アドレスを入力して、手順 8 に進みます。

補足
- アドレスは、xxx.xxx.xxx.xxx の形式で入力します。xxx は、0 ～ 255 までの数値です。
  ただし、224 ～ 225.xxx.xxx.xxx、および 127.xxx.xxx.xxx は設定できません。
- 入力を間違えたときは、〈クリア（C）〉ボタンを押して、再入力してください。
- 3 桁未満で次のビットに移動するときは、［決定 / 次選択］を選択します。

6 手順2～3［SMTPサーバー-指定方法］で、［サーバー名で指定］を選択した場合は、［SMTP サーバー - サーバー名］を選択し、［確認 / 変更］を押します。

7 表示されるキーボードでサーバー名を 64 文字以内で入力し、［決定］を押します。

キーボードの使い方については「文字の入力方法について」（P.215）を参照してください。

8 ［SMTP サーバー - ポート番号］を選択し、［確認 / 変更］を押します。

9 ［標準（25）］、［番号指定］から選択します。

1) ［標準（25）］を選択した場合は、［決定］を押して、手順 10 に進みます。

2) ［番号指定］を選択した場合は、ポート番号を 1 ～ 65535 で入力し、［決定］を押します。

補足
- ほかのポート番号と同じ番号を使用しないでください。

10 ［送信時の認証方式］を選択し、［確認 / 変更］を押します。

11 ［認証しない］、［POP before SMTP］、［SMTP AUTH］から選択し、［決定］を押します。

12 ［SMTP AUTH-ログイン名］を選択し、［確認 / 変更］を押します。

13 ログイン名を64文字以内で入力し、［決定］を押します。

キーボードの使い方については「文字の入力方法について」(P.215) を参照してください。

14 ［SMTP AUTH-パスワード］を選択し、［確認 / 変更］を押します。

15 ［新しいパスワード］を 32 文字以内で入力し、［次選択］を押します。

16 ［パスワードの再入力］に、同じ暗証番号を入力し、［決定］を押します。

17 ［仕様設定 / 登録］画面が表示されるまで、［閉じる］を押します。

18 ［作業終了］を押します。

19 本機が再起動したら、「レポートをプリントする」(P.263) を参照して、機能設定リストをプリントし、設定内容を確認します。

プリンタードライバーのインストール

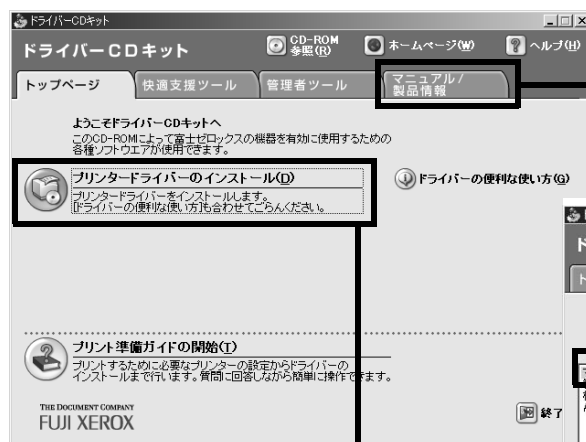
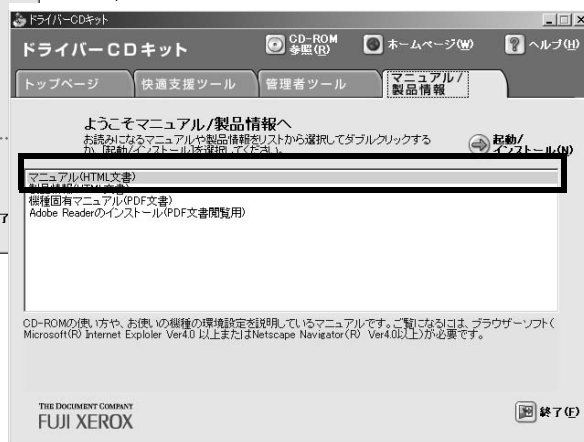
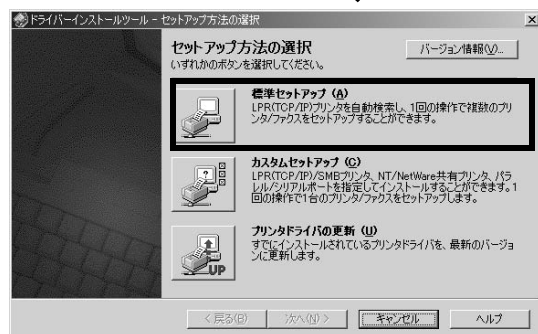
プリンタードライバーのインストール方法は、プリンターと本機の接続方法や、使用する環境によって異なります。該当する項を参照して、プリンタードライバーをインストールしてください。

その他の手順については、ドライバー CD キット内のマニュアル（HTML 文書）を参照してください。

使用できる OS については、「各 OS（オペレーティングシステム）で使用できる環境」(P.47) を参照してください。

補足 ・**Macintosh からプリントする場合は、オプションの PS3 キットヘイセイ 2 ショタイが必要です。プリンタードライバーのインストールについては、PS3 キットヘイセイ 2 ショタイに同梱されている CD-ROM 内のマニュアルを参照してください。**

ドライバー CD キットの CD-ROM からドライバーをインストールする

ドライバーCD キットの CD-ROM から、プリンタードライバーをインストールできます。手順については、CD-ROM 内のマニュアル（HTML 文書）で、手順を確認してから、実行してください。

2006 年 1 月現在
画面は、予告なく変更される場合があります。

ネットワーク上のプリンターに直接プリントする（TCP/IP、LPR/LPD の場合）

TCP/IP ネットワーク上のプリンターにコンピューターからサーバーを介さずに直接プリントするための、プリンタードライバーのインストール手順について説明します。

補足
- Windows 95/ Windows 98/ Windows Me の場合、同時に弊社製 TCP/IP Direct Print Utility もインストールされます。
- Windows NT 4.0/ Windows 2000/ Windows XP/ Windows Server 2003 の場合、OS 標準の LPR ポートを使用します。

インストールの前に

コンピューターに TCP/IP プロトコルがインストールされていない場合、プリンタードライバーのインストール中に、TCP/IP プロトコルについてのエラーメッセージが表示されることがあります。プリンタードライバーをインストールする前に、次のことを確認してください。

■Windows 95/ Windows 98/ Windows Me

LPD ポートを使用してプリントする場合、コンピューター側では、弊社製 TCP/IP Direct Print Utility(TCP/IP プロトコル）を使用します。TCP/IP Direct Print Utility は、プリンタードライバーと同時にインストールされます。TCP/IP Direct Print Utility をインストールする前に、コンピューターに TCP/IP プロトコルがインストールされていることを確認します。

コンピューターに TCP/IP プロトコルを設定する手順については、Windows 95/ Windows 98/ Windows Me に付属の説明書を参照してください。

■Windows NT 4.0

LPD ポートを使用してプリントする場合、コンピューターに TCP/IP プロトコルと、Microsoft TCP/IP 印刷がインストールされていることを確認します。

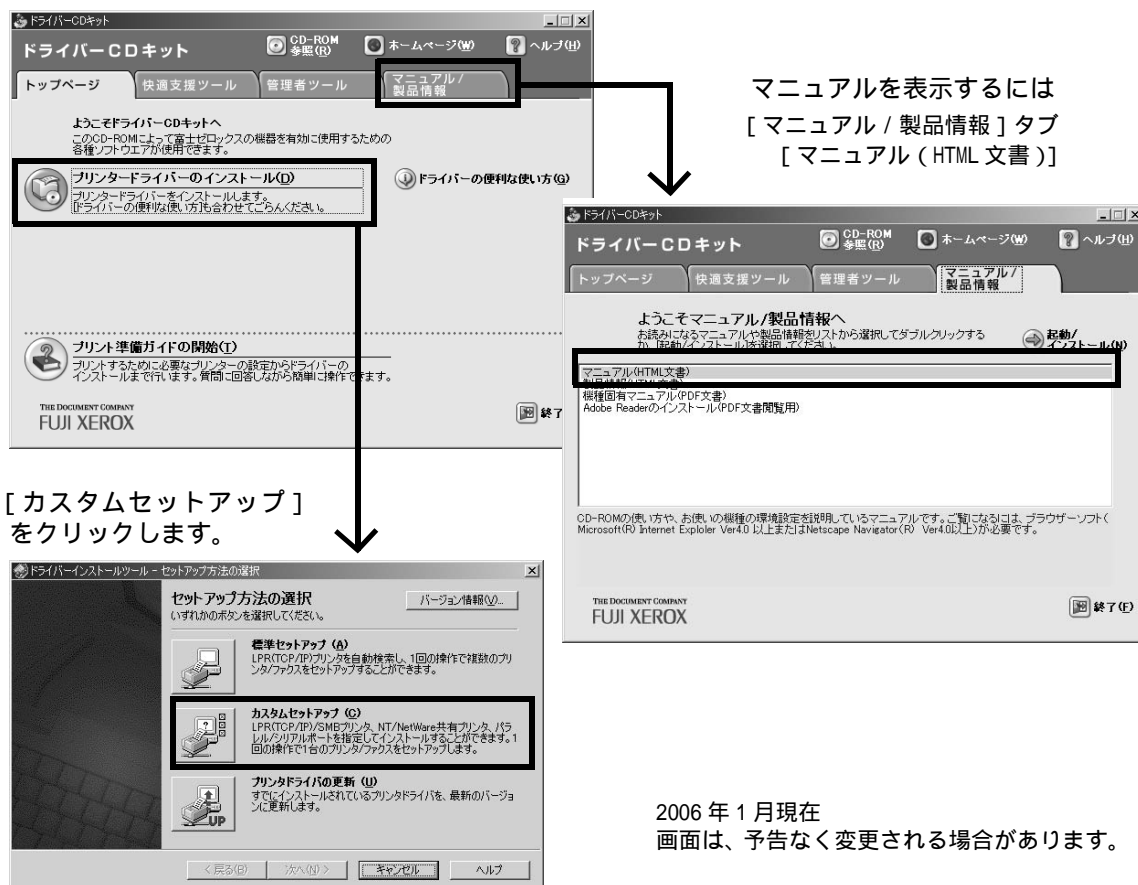
コンピューターに TCP/IP プロトコルを設定する手順については、Windows NT 4.0 に付属の説明書を参照してください。

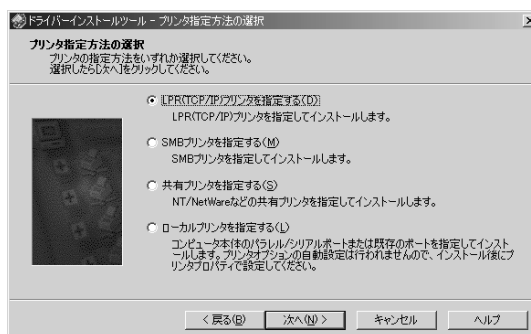
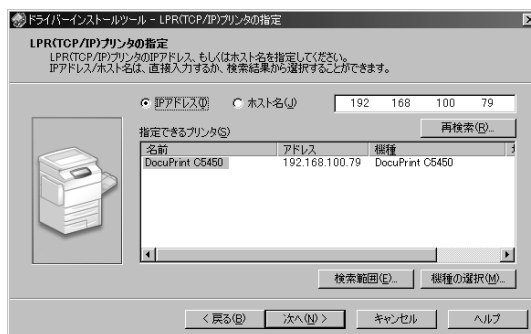
■Windows 2000/Windows XP Windows Server 2003

LPD ポートを使用してプリントする場合、コンピューターにインターネットプロトコル（TCP/IP）がインストールされていることを確認します。

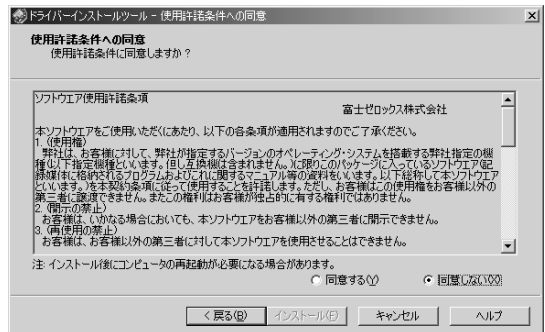
コンピューターに TCP/IP プロトコルを設定する手順については、Windows 2000/ Windows XP/ Windows Server 2003 に付属の説明書を参照してください。

インストール手順

Windows XP を例に、プリンタードライバーのインストール手順を説明します。

これ以降の手順については、以下に続きます。

1 ［LPR（TCP/IP）プリンタを指定する］を選択し、［次へ］をクリックします。

2 追加するプリンターを［指定できるプリンタ］から選択し、［次へ］をクリックします。

3 設定を確認して、［はい］を選択します。

4 内容を確認して、同意する場合は［同意する］をチェックし、［インストール］をクリックします。
インストールを開始します。

追加しているプリンターのグラフィック、インストールしているプリンターの機種名、およびアドレスが表示されます。

5 セットアップが完了すると、［セットアップ完了］画面が表示されます。

1) ［テスト印刷］をクリックすると、プリンターからテスト印刷のページがプリントされます。

2) ［完了］をクリックすると、確認メッセージが表示されます。

6 ［はい］をクリックすると、インストールが完了します。

USB 接続で直接プリントする

プリンターとコンピューターを USB で接続し、直接プリントするための、プリンタードライバーのインストール手順について説明します。

注記 • ここで追加されたプリンターは、「ドキュメントモニター」を使ってプリンターの状態を監視することはできません。

補足 • Macintosh からも USB を使用してプリントできます。その場合、オプションの PS3 キットヘイセイ 2 ショタイが必要です。プリンタードライバーのインストールについては、同梱の CD-ROM に入っているマニュアルを参照してください。

• CentreWare Internet Services を使用して設定することもできます。「CentreWare Internet Services での通信設定について」（P.81）を参照してください。

インストールの前に

作業を始める前に、次のことを確認してください。

- Windows 98SE/Me/2000/XP、または Windows Server 2003 が動作し、USB コネクターがあること
- USB ポートが接続されている場合はいったん、接続を外しておきます。

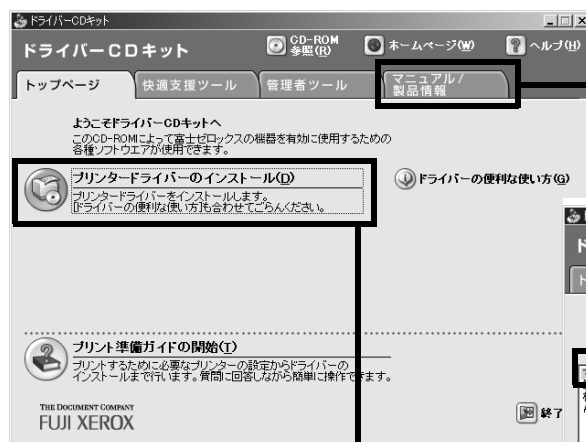
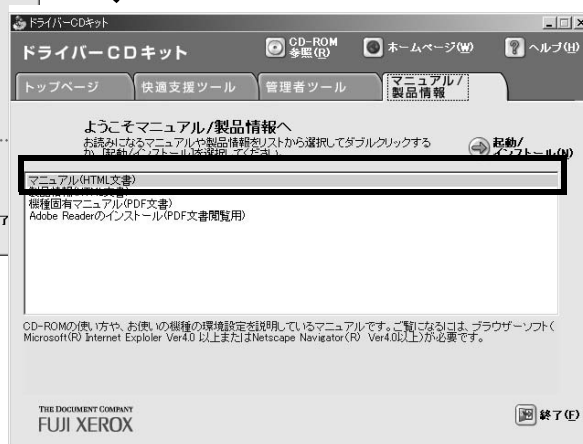
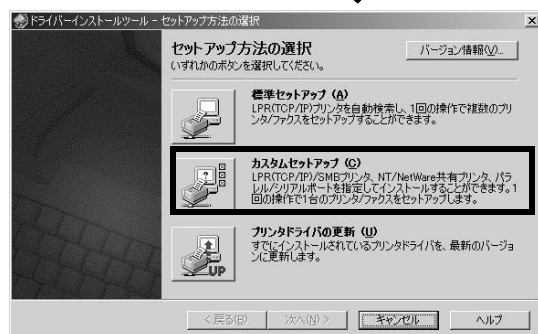
インストール手順

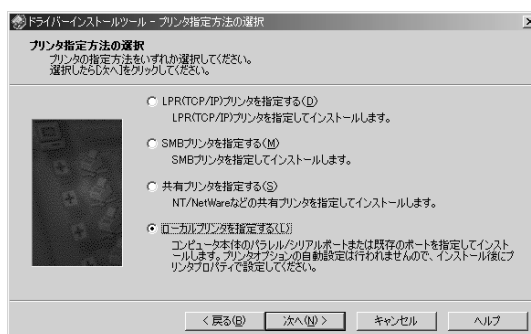
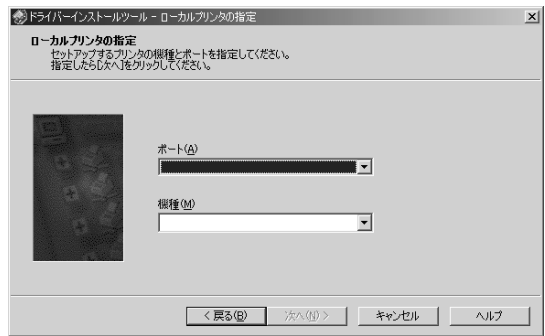
Windows XP を例に、説明します。Windows 2000、Windows Server 2003 の場合、設定手順は同じです。

その他のOSについては、ドライバーCDキット内のマニュアル(HTML文書)を参照してください。

次の手順で USB 接続でのプリント環境を設定します。

- **ドライバー CD キットの CD-ROM からドライバーをインストールする**
- **USB ポートを設定する**

■ドライバー CD キットの CD-ROM からドライバーをインストールする

これ以降の手順については、以下に続きます。

1 **［ローカルプリンタを指定する］を選択し、［次へ］をクリックします。**

2 ［ポート］に、ケーブル接続されたプリンターのポートを選択し、［機種］を選択し、［次へ］をクリックします。

3 ［使用許諾条件への同意］の内容を確認して、同意する場合は［同意する］をチェックし［インストール］をクリックします。

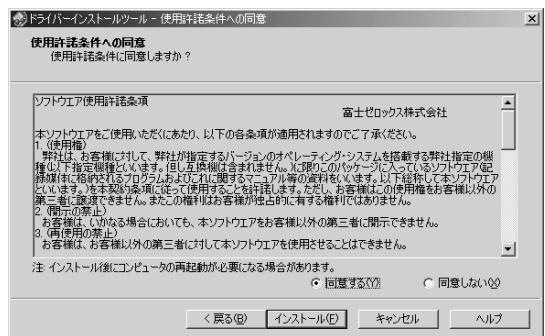
注記 ・ この方法で追加したプリンターは「ドキュメントモニター」を使用しても、プリンターの状態やユーザー自身がプリントを指示したドキュメントの状態を取得できません。

「ドキュメントモニター」の説明は、ドライバー CD キット内のマニュアル（HTML 文書）を参照してください。

インストールを開始します。追加しているプリンターのグラフィック、インストールしているプリンターの機種名、およびポート名が表示されます。

セットアップが完了すると、［セットアップ完了］画面が表示されます。

4 ［完了］をクリックします。

確認メッセージが表示されます。

5 ［はい］をクリックします。

インストールが終了します。

■USB ポートを設定する

プリンタードライバーのインストールに続いて、次の手順を実行します。

1 本機の電源を切ります。

補足 ・ お使いのコンピューターの電源は切らずに、そのまま設定を続けます。

2 「USB ケーブルの接続」(P.49) を参照して、USB ケーブルを接続します。

3 本機側の設定をしていない場合は、「USB ポートの設置手順」(P.52) を参照して、本機側の設定をします。

補足 ・ 本機の電源が入ると、コンピューターが自動的に新しいハードウエアを検出し、必要なソフトウエアがインストールされます。

4 ［スタート］メニューの［プリンタと FAX］をクリックして、接続を確認します。

5 **[プリンタと FAX] ウィンドウに、インストールしたプリンターのアイコンが追加されています。追加されたプリンターアイコンを選択し、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。**

6 **[プロパティ] ダイアログボックスで、[ポート] タブの [印刷するポート] に USB ポートが設定されていることを確認し、このポートを選択して、[適用] をクリックします。**

7 **[全般] タブの [テストページの印刷] をクリックします。**

8 **正しくプリントできたかどうかを確認するダイアログボックスで、プリント結果を確認し、正しくプリントされていれば、[はい] をクリックします。**

9 **[プリンタ構成] タブ、または [デバイスの設定] タブでオプションを設定します。**

注記 **・オプションを必ず設定してください。**

オプションの種類については、「オプション製品一覧」(P.351) を参照してください。

お使いのプリンターにどのオプションが設定されているかは、「プリンター設定」(P.264) を参照してください。

10 **[プロパティ] ダイアログボックスの [OK] をクリックします。**

アンインストールしたいときには

ドライバー CD キットのの CD-ROM から、プリンタードライバーアンインストールツールを使ってアンインストールできます。詳しくは、CD-ROM 内のマニュアル（HTML 文書）を参照してください。

■その他の弊社ソフトウエアのアンインストール

TCP/IP Direct Print Utility や、USB Print Utility などの弊社ソフトウエアをアンインストールする場合は、各ソフトウエアの ReadMe ファイルを参照してください。ReadMe ファイルは、ドライバーCD キットの CD-ROM で [マニュアル / 製品情報] タブの [製品情報(HTML 文書)] をダブルクリックすると、表示できます。

CentreWare Internet Services について

CentreWare Internet Services は、TCP/IP 環境が使用できる場合に、Web ブラウザーを介して、プリンターの状態や、プリントジョブの状態を確認したり、設定の変更をしたりするためのサービスです。

プリンターの設定では、操作パネルで設定する項目のうち、システム設定、各ネットワークのポート設定などに関する項目を、本サービスのプロパティ画面で設定できます。

補足 ・本サービスを利用するには、ネットワークプロトコルとして TCP/IP が利用できるコンピューター、本機の設定（IP アドレス、サブネットマスク）の準備が必要です。

CentreWare Internet Services の設定手順

次の手順で設定します。

- **本機の設定**

  機械本体で CentreWare Internet Services を利用するための設定をします。インターネットサービス（HTTP）ポートを起動してから、IP アドレスなどを設定します。

- **設置の確認**

  CentreWare Internet Services が利用できるかどうかを確認します。

本機の設定

1 「機械管理者メニューの表示手順」(P.50) を参照して、［ネットワーク設定］画面を表示し、［ポート設定］を押します。

2 ［インターネットサービス（HTTP）］を選択し、［確認/変更］を押します。

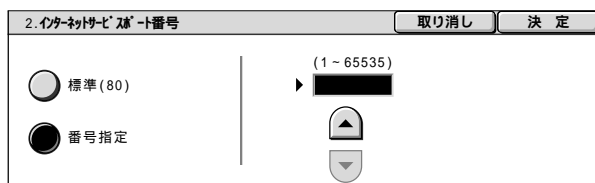
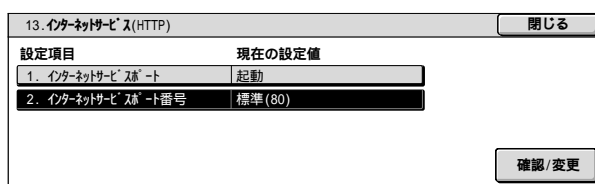
3 ［インターネットサービスポート］を選択し、［確認/変更］を押します。

4 ［起動］を選択し、［決定］を押します。

1) ポート番号を変更する場合は、[インターネットサービスポート番号] を選択し、[確認 / 変更] を押します。

補足 ・工場出荷値の設定は［標準 (80)］です。

2) ［番号指定］を押します。

3) ［▲］［▼］で、ポート番号を指定し、［決定］を押します。

5 ［ネットワーク設定］画面が表示されるまで、［閉じる］を押します。

6 「IP アドレスの設定手順」(P.51) を参照して、IP アドレスなどを設定します。

7 本機が再起動したら、「レポートをプリントする」(P.263) を参照して、機能設定リストをプリントし、CentreWare Internet Services のポートが起動になっていることと TCP/IP の設定を確認します。

引き続き、設置の確認を行います。

設置の確認

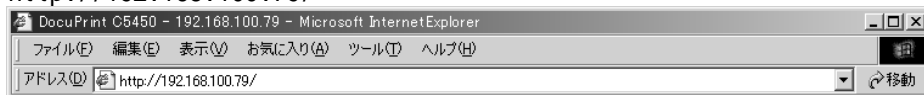
コンピューターから CentreWare Internet Services に接続します。

補足 • CentreWare Internet Services は、次の Web ブラウザーで動作することを確認しています。
- Windows OS の場合
  ・Microsoft Internet Explorer 6.0 Service Pack1 以降
  ・Netscape 7.0 以降
- Mac OS X 10.2 以降
  ・Microsoft Internet Explorer 5.2 以降
  ・Netscape 7.0 以降

1 Web ブラウザーを起動します。

2 Web ブラウザーのアドレス入力欄に、本機の IP アドレス、またはインターネットアドレスを入力し、〈Enter〉キーを押します。

• IP アドレスの入力例（本機の IP アドレスが、192.168.100.79 の場合）

http://192.168.100.79/

• インターネットアドレスの入力例（本機のインターネットアドレスが、example.com の場合）

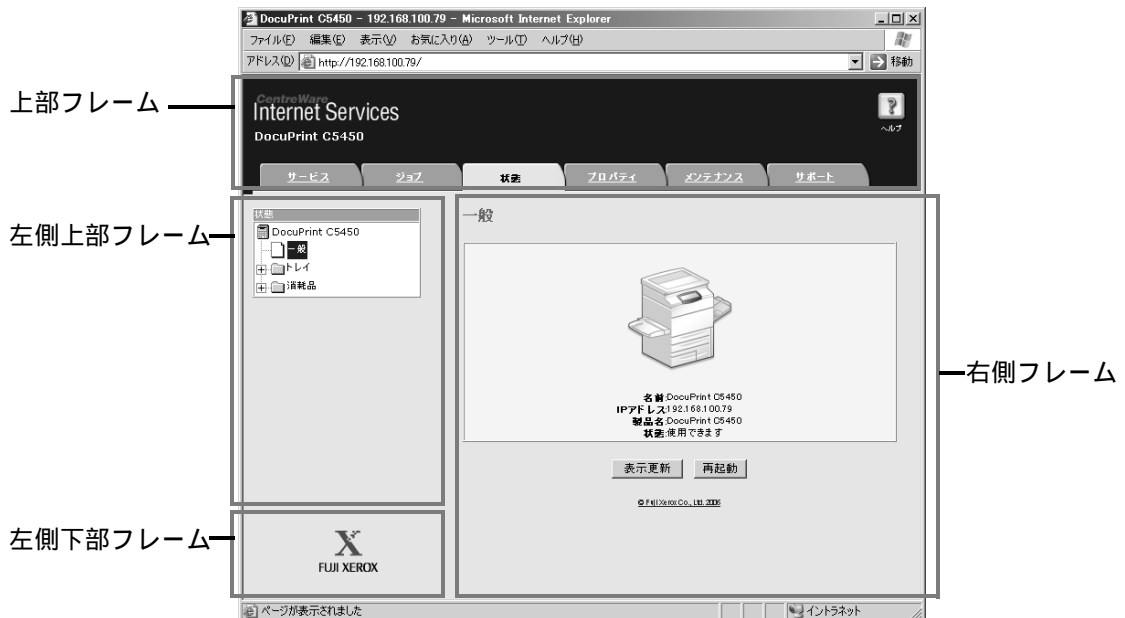
http://www.example.com/

補足 • お使いのネットワークが DNS（Domain Name System）を使用していて、DNS のネームサーバーに本機のホスト名が登録されている場合は、ホスト名とドメイン名を組み合わせたインターネットアドレスを使って本機にアクセスできます。ホスト名が「myhost」、ドメイン名が「example.com」の場合、インターネットアドレスは「myhost.example.com」となります。
• ポート番号を指定する場合には、インターネットアドレスのあとに「:」を付けて、続けてポート番号を入力してください。

- 本機で、認証機能を使用している場合、［ユーザー名］と［パスワード］にUser IDとパスワードを入力してください。User IDとパスワードについては、機械管理者にお問い合わせください。
- ［プロパティ］タブにある［セキュリティー］>［セキュリティー一般］>［HTTPS］の［有効］にチェックを付けて、通信を暗号化している場合、CentreWare Internet Servicesにアクセスするには、Webブラウザーのアドレス欄には「http」ではなく「https」から始まるアドレスを入力してください。
  IPアドレスの入力例
  https://192.168.100.79/
  インターネットアドレスの入力例
  https://www.example.com/

CentreWare Internet Servicesが表示されない場合は、「CentreWare Internet Services利用時のトラブル」(P.293)を参照してください。

CentreWare Internet Servicesの画面構成

CentreWare Internet Servicesの画面構成について説明します。

上部フレーム

ウィンドウの上部に表示されるフレームです。ロゴマーク、本機の機種名、ヘルプへのリンク、各機能に移動する為のタブ（リンク）が表示されます。

CentreWare Internet Servicesの各機能の詳細については、このフレームの［ヘルプ］をクリックして表示されるヘルプを参照してください。

右側フレーム、左側上部フレーム

右側フレームと左側上部フレームの表示内容は、各機能を選択するたびに変わります。各機能を選択したときに、右側フレームと左側上部フレームには、設定可能な機能、および情報が表示されます。

左側下部フレーム

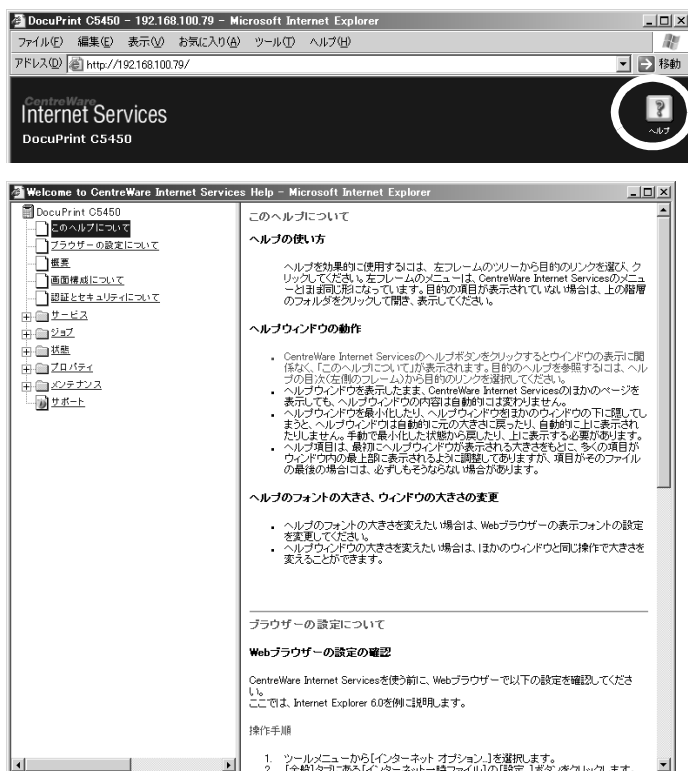
弊社のホームページへのリンクが表示されます。

CentreWare Internet Servicesで利用できる主な機能は、次のとおりです。

通信ポート / プロトコルの設定

CentreWare Internet Services を利用した、通信ポート / プロトコルの設定ができます。設定できる項目は、「CentreWare Internet Services での通信設定について」(P.81) を参照してください。

オンラインヘルプの使い方

オンラインヘルプで、各画面で設定できる項目の詳細について確認できます。

タブごとの主な機能

■サービス

コンピューターに保存されているファイルを指定してプリントできます。

■ジョブ

ジョブ一覧、およびジョブ履歴の表示、ジョブの削除ができます。

■状態

本機の状態、用紙トレイや排紙トレイの状態、トナーなど消耗品の状態が表示されます。また、管理者は、本機を再起動できます。

■プロパティ

本機の説明や、構成、カウンターの情報が表示されます。

また、次の項目を設定できます。

用紙トレイ、用紙、節電モード、セキュリティー、証明書管理、メール通知、認証 / 集計管理、CWIS の設定、ポート起動、各種ポート、各種プロトコル、エミュレーション、メモリー

■メンテナンス

エラー履歴情報が表示されます。

■サポート

サポート情報が表示されます。

CentreWare Internet Services での通信設定について

CentreWare Internet Services を利用して、通信（ポート / プロトコル）などの様々な設定変更ができます。

補足
- 設定したい項目が表示されていない場合は、［プロパティ］タブの［ポート起動］で目的のポートが起動されているかを確認してください。
- 操作パネルを操作中に CentreWare Internet Services から設定を変更した場合には、操作パネルの画面上に変更した設定内容が表示されません。この場合には、本機の電源を切 / 入してください。

ここでは、ポートやプロトコルの設定に関する説明をします。

補足
- CentreWare Internet Services で設定する項目の詳細は、CentreWare Internet Services 画面の右上にある［ヘルプ］をクリックして、表示されるヘルプを参照してください。

Ethernet

Ethernet インターフェイスの設定手順について説明します。

1 **Web ブラウザーを起動します。**

2 **Web ブラウザーのアドレス入力欄に、本機の IP アドレス、またはインターネットアドレスを入力し、〈Enter〉キーを押します。**

アドレスの入力例は、「設置の確認」(P.78) の手順 2 を参照してください。

補足 ・ポート番号を指定する場合は、インターネットアドレスのあとに「:」を付けて、続けてポート番号を入力してください。

3 **［プロパティ］をクリックします。**

4 **［ポート設定］の左側にある [+] をクリックし、フォルダー内にある項目を表示します。**

5 **［Ethernet］をクリックします。**

6 **［Ethernet 設定］のプルダウンメニューで、Ethernet インターフェイスの通信速度を設定します。**

7 **設定した値を、本機の設定値として反映します。**

1)［新しい設定を適用］ボタンをクリックします。ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。

2) 機械管理者の User ID とパスワードを［ユーザー名］と［パスワード］に入力し、［OK］をクリックします。

補足 ・工場出荷時の設定は、ユーザー名は「11111」、パスワードは「x-admin」です。

3) Web ブラウザーの右フレームが、本機を再起動する表示に変わります。

4)［再起動］をクリックします。本機が再起動し、設定した値が反映されます。

USB

USB の設定手順について説明します。

1 Web ブラウザーを起動します。

2 Web ブラウザーのアドレス入力欄に、本機の IP アドレス、またはインターネットアドレスを入力し、〈Enter〉キーを押します。

アドレスの入力例は、「設置の確認」(P.78) の手順 2 を参照してください。

補足 ・ポート番号を指定する場合は、インターネットアドレスのあとに「:」を付けて、続けてポート番号を入力してください。

3 ［プロパティ］をクリックします。

4 ［ポート設定］の左側にある [+] をクリックし、フォルダー内にある項目を表示します。

5 ［USB］をクリックします。

6 次の設定をします。

補足 ・設定項目の詳細は、CentreWare Internet Services 画面の右上にある［ヘルプ］をクリックして、表示されるヘルプを参照してください。

1)［自動排出時間］の設定をします。

2)［Adobe 通信プロトコル］のプルダウンメニューで、プロトコルを設定します。

補足 ・Adobe 通信プロトコルは、オプションの PS3 キットヘイセイ 2 ショタイを接続した場合だけ、設定します。

7 設定した値を、本機の設定値として反映します。

1)［新しい設定を適用］ボタンをクリックします。ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。

2) 機械管理者の User ID とパスワードを［ユーザー名］と［パスワード］に入力し、［OK］をクリックします。

補足 ・工場出荷時の設定は、ユーザー名は「11111」、パスワードは「x-admin」です。

3) Web ブラウザーの右フレームが、本機を再起動する表示に変わります。

4)［再起動］をクリックします。本機が再起動し、設定した値が反映されます。

EtherTalk

EtherTalkの設定手順について説明します。

補足 ・オプションのPS3キットヘイセイ2ショタイを接続した場合だけ、EtherTalkを設定します。

1 **Webブラウザーを起動します。**

2 **Webブラウザーのアドレス入力欄に、本機のIPアドレス、またはインターネットアドレスを入力し、〈Enter〉キーを押します。**

アドレスの入力例は、「設置の確認」(P.78) の手順2を参照してください。

補足 ・ポート番号を指定する場合は、インターネットアドレスのあとに「:」を付けて、続けてポート番号を入力してください。

3 **［プロパティ］をクリックします。**

4 **［プロトコル設定］の左側にある［+］をクリックし、フォルダー内にある項目を表示します。**

5 **［EtherTalk］をクリックします。**

6 **次の設定をします。**

補足 ・設定項目の詳細は、CentreWare Internet Services画面の右上にある［ヘルプ］をクリックして、表示されるヘルプを参照してください。

1)［プリンター名］を設定します。

2)［ゾーン名］を設定します。

7 **設定した値を、本機の設定値として反映します。**

1)［新しい設定を適用］ボタンをクリックします。ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。

2) 機械管理者のUser IDとパスワードを［ユーザー名］と［パスワード］に入力し、［OK］をクリックします。

補足 ・工場出荷時の設定は、ユーザー名は「11111」、パスワードは「x-admin」です。

3) Webブラウザーの右フレームが、本機を再起動する表示に変わります。

4)［再起動］をクリックします。本機が再起動し、設定した値が反映されます。

SMB

SMB の設定手順について説明します。

1 Web ブラウザーを起動します。

2 Web ブラウザーのアドレス入力欄に、本機の IP アドレス、またはインターネットアドレスを入力し、〈Enter〉キーを押します。

アドレスの入力例は、「設置の確認」(P.78) の手順 2 を参照してください。

補足 ・ポート番号を指定する場合は、インターネットアドレスのあとに「:」を付けて、続けてポート番号を入力してください。

3 [プロパティ] をクリックします。

4 [プロトコル設定] の左側にある [+] をクリックし、フォルダー内にある項目を表示します。

5 [SMB] をクリックします。

6 [ワークグループ名] を設定します。

7 [ホスト名] を設定します。

8 [最大セッション数] を設定します。

9 [TBCP フィルター] を有効にする場合は、[有効] のチェックを付けます。

補足 ・オプションの PS3 キットヘイセイ 2 ショタイを接続した場合だけ、設定します。

10 [Unicode サポート] を有効にする場合は、[有効] のチェックを付けます。

11 [自動マスターモード] を設定する場合は、[する] のチェックを付けます。

12 [パスワード暗号化] を設定する場合は、[する] のチェックを付けます。

13 設定した値を、本機の設定値として反映します。

1) [新しい設定を適用] ボタンをクリックします。ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。

2) 機械管理者の User ID とパスワードを [ユーザー名] と [パスワード] に入力し、[OK] をクリックします。

補足 ・工場出荷時の設定は、ユーザー名は「11111」、パスワードは「x-admin」です。

3) Web ブラウザーの右フレームが、本機を再起動する表示に変わります。

4) [再起動] をクリックします。本機が再起動し、設定した値が反映されます。

NetWare

NetWare の設定手順について説明します。

1 Web ブラウザーを起動します。

2 Web ブラウザーのアドレス入力欄に、本機の IP アドレス、またはインターネットアドレスを入力し、〈Enter〉キーを押します。

アドレスの入力例は、「設置の確認」(P.78) の手順 2 を参照してください。

補足 ・ポート番号を指定する場合は、インターネットアドレスのあとに「:」を付けて、続けてポート番号を入力してください。

3 ［プロパティ］をクリックします。

4 ［プロトコル設定］の左側にある［+］をクリックし、フォルダー内にある項目を表示します。

5 ［NetWare］をクリックします。

6 ［装置名］を設定します。

7 ［動作モード］のプルダウンメニューで、動作モードを設定します。

8 ［ファイルサーバー名］を設定します。

補足 ・この項目は、バインダリーサービスで使用する場合だけ、設定します。

9 ［通知言語］のプルダウンメニューで、言語を設定します。

10 ［キュー探索間隔］を設定します。

11 ［検索回数］を設定します。

12 ［パスワード］を設定します。

1)［パスワード］を入力します。

2)［パスワードの確認入力］に、［パスワード］で入力したパスワードを入力します。

13 ［TBCPフィルター］を有効にする場合は、［有効］のチェックを付けます。

補足 ・オプションの PS3 キットヘイセイ 2 ショタイを接続した場合だけ、設定します。

14 ［NDS-ツリー名］を設定します。

補足 ・この項目は、ディレクトリーサービスで使用する場合だけ、設定します。

15 ［NDS- コンテキスト名］を設定します。

補足 ・この項目は、ディレクトリーサービスで使用する場合だけ、設定します。

16 ［トランスポートプロトコル-フレームタイプ］のプルダウンメニューで、フレームタイプを設定します。

17 ［SLP-アクティブディスカバリー］を有効にする場合は、［有効］のチェックを付けます。

18 設定した値を本機の設定値として反映します。

1) ［新しい設定を適用］ボタンをクリックします。ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。

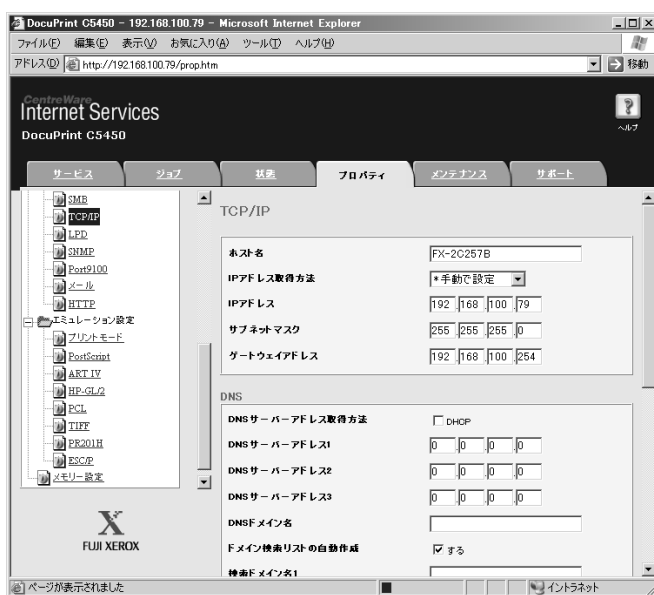
2) 機械管理者の User ID とパスワードを［ユーザー名］と［パスワード］に入力し、［OK］をクリックします。

補足 ・工場出荷時の設定は、ユーザー名は「11111」、パスワードは「x-admin」です。

3) Web ブラウザーの右フレームが、本機を再起動する表示に変わります。

4) ［再起動］をクリックします。本機が再起動し、設定した値が反映されます。

TCP/IP

TCP/IP の設定手順について説明します。

1 Web ブラウザーを起動します。

2 Web ブラウザーのアドレス入力欄に、本機の IP アドレス、またはインターネットアドレスを入力し、〈Enter〉キーを押します。

アドレスの入力例は、「設置の確認」(P.78) の手順 2 を参照してください。

補足 ・ポート番号を指定する場合は、インターネットアドレスのあとに「:」を付けて、続けてポート番号を入力してください。

3 ［プロパティ］をクリックします。

4 ［プロトコル設定］の左側にある［+］をクリックし、フォルダー内にある項目を表示します。

5 ［TCP/IP］をクリックします。

6 ［ホスト名］を設定します。

7 ［IP アドレス取得方法］のプルダウンメニューで、取得方法を設定します。

8 ［IP アドレス］を設定します。

補足 ・［IP アドレス取得方法］で、［DHCP から取得］、［BOOTP から取得］、［RARP から取得］、［DHCP/Autonet から取得］のどれかを選択している場合は、この項目の設定は必要ありません。

9 ［サブネットマスク］と［ゲートウェイアドレス］を設定します。

補足 ・［IP アドレス取得方法］で、［DHCP から取得］、［BOOTP から取得］、［RARP から取得］、［DHCP/Autonet から取得］のどれかを選択している場合は、この項目の設定は必要ありません。

10 DNS を設定します。

1) ［DNS サーバーアドレス取得方法］で、DHCP を使用する場合は、［DHCP］のチェックを付けます。

2) ［DNS サーバーアドレス 1 ～ 3］を設定します。

補足 ・［DNS サーバーアドレス取得方法］で、［DHCP］を選択している場合は、この項目の設定は必要ありません。

3) ［DNS ドメイン名］を設定します。

4) ［ドメイン検索リストの自動作成］をする場合は、［する］のチェックを付けます。

5)［検索ドメイン名 1 ～ 3］を設定します。

6)［タイムアウト］を設定します。

7)［DNS の動的更新］を設定する場合は、［する］のチェックを付けます。

11 WINS を設定します。

1)［WINS サーバーアドレス取得方法］で、DHCP を使用する場合は、［DHCP］のチェックを付けます。

2)［プライマリー WINS サーバーアドレス］を設定します。

補足 ・［WINS サーバーアドレス取得方法］で、［DHCP］を選択している場合は、この項目の設定は必要ありません。

3)［セカンダリー WINS サーバーアドレス］を設定します。

補足 ・［WINS サーバーアドレス取得方法］で、［DHCP］を選択している場合は、この項目の設定は必要ありません。

12 必要に応じて、アクセス制御リストを設定します。

1)［有効］のチェックを付けます。

2)［編集］ボタンをクリックします。ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。

3) 機械管理者の User ID とパスワードを［ユーザー名］と［パスワード］に入力し、［OK］をクリックします。

補足 ・工場出荷時の設定は、ユーザー名は「11111」、パスワードは「x-admin」です。

4)［受付 IP アドレス］を設定します。

5)［IP アドレスマスク］を設定します。

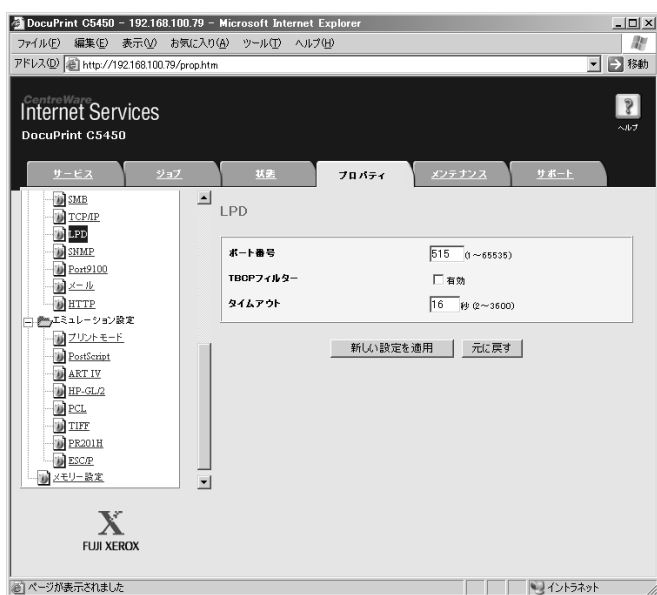
6)［新しい設定を適用］ボタンをクリックします。

7) Web ブラウザーの右フレームが、本機を再起動する表示に変わります。

13 設定した値を、本機の設定値として反映します。

1)［再起動］をクリックします。本機が再起動し、設定した値が反映されます。

LPD

LPD の設定手順について説明します。

1 Web ブラウザーを起動します。

2 Web ブラウザーのアドレス入力欄に、本機の IP アドレス、またはインターネットアドレスを入力し、〈Enter〉キーを押します。

アドレスの入力例は、「設置の確認」(P.78) の手順 2 を参照してください。

補足 ・ポート番号を指定する場合は、インターネットアドレスのあとに「:」を付けて、続けてポート番号を入力してください。

3 ［プロパティ］をクリックします。

4 ［プロトコル設定］の左側にある［+］をクリックし、フォルダー内にある項目を表示します。

5 ［LPD］をクリックします。

6 ［ポート番号］を設定します。

補足 ・ほかのポート番号と同じ番号を使用しないでください。

7 ［TBCP フィルター］を有効にする場合は、［有効］のチェックを付けます。

補足 ・オプションの PS3 キットヘイセイ 2 ショタイを接続した場合だけ、設定します。

8 ［タイムアウト］を設定します。

9 設定した値を、本機の設定値として反映します。

1) ［新しい設定を適用］ボタンをクリックします。ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。

2) 機械管理者の User ID とパスワードを［ユーザー名］と［パスワード］に入力し、［OK］をクリックします。

補足 ・工場出荷時の設定は、ユーザー名は「11111」、パスワードは「x-admin」です。

3) Web ブラウザーの右フレームが、本機を再起動する表示に変わります。

4) ［再起動］をクリックします。本機が再起動し、設定した値が反映されます。

SNMP

SNMP の設定手順について説明します。

1 Web ブラウザーを起動します。

2 Web ブラウザーのアドレス入力欄に、本機の IP アドレス、またはインターネットアドレスを入力し、〈Enter〉キーを押します。

アドレスの入力例は、「設置の確認」(P.78) の手順 2 を参照してください。

補足 ・ポート番号を指定する場合は、インターネットアドレスのあとに「:」を付けて、続けてポート番号を入力してください。

3 [プロパティ] をクリックします。

4 [プロトコル設定] の左側にある [+] をクリックし、フォルダー内にある項目を表示します。

5 [SNMP] をクリックします。

6 コミュニティー名を変更する場合は、[コミュニティー名登録（取得専用)]、[コミュニティー名登録（取得 / 書き込み用)]、[コミュニティー名登録（Trap 通知用)] を設定します。

補足 ・通常は、設定を変更しないでください。

7 [システム担当者] を設定します。

8 設定した値を、本機の設定値として反映します。

1) [新しい設定を適用] ボタンをクリックします。ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。

2) 機械管理者の User ID とパスワードを [ユーザー名] と [パスワード] に入力し、[OK] をクリックします。

補足 ・工場出荷時の設定は、ユーザー名は「11111」、パスワードは「x-admin」です。

3) Web ブラウザーの右フレームが、本機を再起動する表示に変わります。

4) [再起動] をクリックします。本機が再起動し、設定した値が反映されます。

IPP

IPP ポートの設定手順について説明します。

1 Web ブラウザーを起動します。

2 Web ブラウザーのアドレス入力欄に、本機の IP アドレス、またはインターネットアドレスを入力し、〈Enter〉キーを押します。

アドレスの入力例は、「設置の確認」(P.78) の手順 2 を参照してください。

補足 ・ポート番号を指定する場合は、インターネットアドレスのあとに「:」を付けて、続けてポート番号を入力してください。

3 [プロパティ] をクリックします。

4 [プロトコル設定] の左側にある [+] をクリックし、フォルダー内にある項目を表示します。

5 [IPP] をクリックします。

6 [追加ポート番号] を設定します。

補足 ・ほかのポート番号と同じ番号を使用しないでください。

7 [TBCP フィルター] を有効にする場合は、[有効] のチェックを付けます。

補足 ・オプションの PS3 キットヘイセイ 2 ショタイを接続した場合だけ、設定します。

8 [管理者モード] を有効にする場合は、[有効] のチェックを付けます。

9 [DNS 使用] を有効にする場合は、[有効] のチェックを付けます。

10 [タイムアウト] を設定します。

11 設定した値を、本機の設定値として反映します。

1) [新しい設定を適用] ボタンをクリックします。ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。

2) 機械管理者の User ID とパスワードを [ユーザー名] と [パスワード] に入力し、[OK] をクリックします。

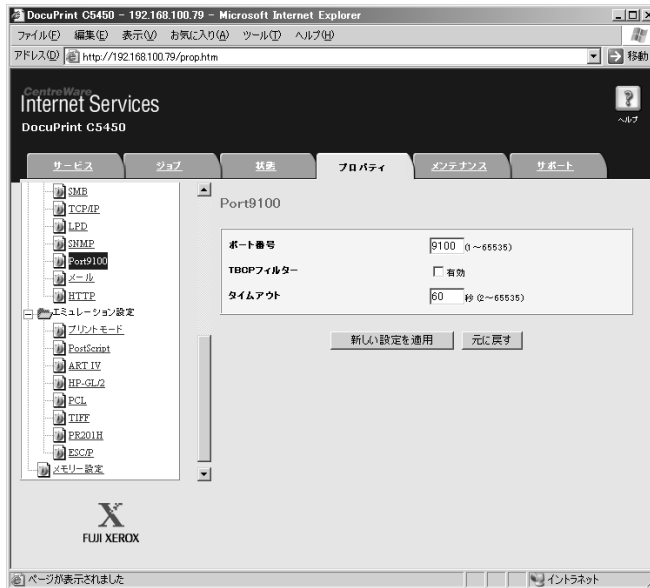
補足 ・工場出荷時の設定は、ユーザー名は「11111」、パスワードは「x-admin」です。

3) Web ブラウザーの右フレームが、本機を再起動する表示に変わります。

4) [再起動] をクリックします。本機が再起動し、設定した値が反映されます。

Port9100

Port9100 ポートの設定手順について説明します。

補足 ・HP-UX を使用する場合、Port9100 ポートを起動にしてください。

1 **Web ブラウザーを起動します。**

2 **Web ブラウザーのアドレス入力欄に、本機の IP アドレス、またはインターネットアドレスを入力し、〈Enter〉キーを押します。**

アドレスの入力例は、「設置の確認」(P.78) の手順 2 を参照してください。

補足 ・ポート番号を指定する場合は、インターネットアドレスのあとに「:」を付けて、続けてポート番号を入力してください。

3 **［プロパティ］をクリックします。**

4 **［プロトコル設定］の左側にある［+］をクリックし、フォルダー内にある項目を表示します。**

5 **［Port9100］をクリックします。**

6 **［ポート番号］を設定します。**

補足 ・ほかのポート番号と同じ番号を使用しないでください。

7 **［TBCP フィルター］を有効にする場合は、［有効］のチェックを付けます。**

補足 ・オプションの PS3 キットヘイセイ 2 ショタイを接続した場合だけ、設定します。

8 **［タイムアウト］を設定します。**

9 **設定した値を、本機の設定値として反映します。**

1)［新しい設定を適用］ボタンをクリックします。ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。

2) 機械管理者の User ID とパスワードを［ユーザー名］と［パスワード］に入力し、［OK］をクリックします。

補足 ・工場出荷時の設定は、ユーザー名は「11111」、パスワードは「x-admin」です。

3) Web ブラウザーの右フレームが、本機を再起動する表示に変わります。

4)［再起動］をクリックします。本機が再起動し、設定した値が反映されます。

メール

ポート起動

メール機能で使用するポートの起動手順について説明します。

1 **Web ブラウザーを起動します。**

2 **Web ブラウザーのアドレス入力欄に、本機の IP アドレス、またはインターネットアドレスを入力し、〈Enter〉キーを押します。**

アドレスの入力例は、「設置の確認」(P.78) の手順 2 を参照してください。

補足 ・ポート番号を指定する場合は、インターネットアドレスのあとに「:」を付けて、続けてポート番号を入力してください。

3 **［プロパティ］をクリックします。**

4 **［ポート起動］をクリックします。**

5 **メール機能で使用するポートを起動します。**

1) メールプリントを使用する場合は、[メール受信] の [起動] のチェックを付けます。

2) メール通知、ジョブの終了通知を使用する場合は、［メール通知］の［起動］のチェックを付けます。

6 **設定した値を、本機の設定値として反映します。**

1) ［新しい設定を適用］ボタンをクリックします。ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。

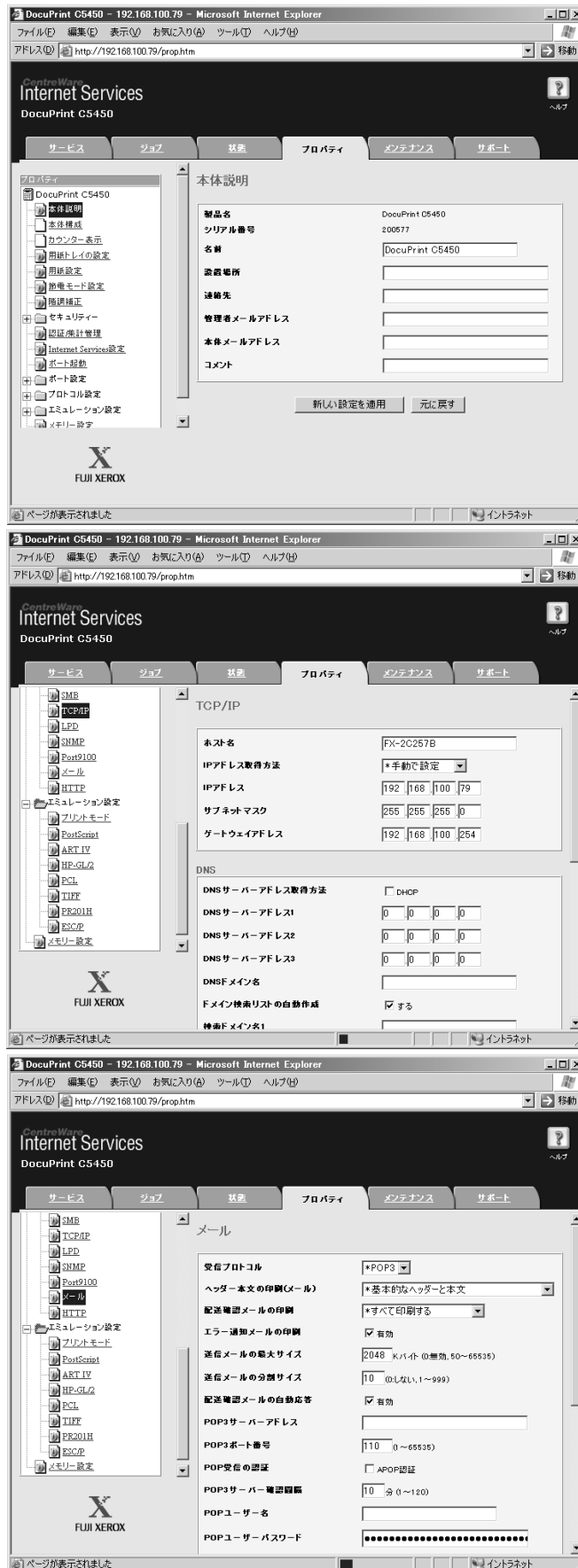
2) 機械管理者の User ID とパスワードを［ユーザー名］と［パスワード］に入力し、［OK］をクリックします。

補足 ・工場出荷時の設定は、ユーザー名は「11111」、パスワードは「x-admin」です。

3) Web ブラウザーの右フレームが、本機を再起動する表示に変わります。

4) ［再起動］をクリックします。本機が再起動し、設定した値が反映されます。

項目設定

メール機能の各項目の設定手順を説明します。

1 **Web ブラウザーを起動します。**

2 **Web ブラウザーのアドレス入力欄に、本機の IP アドレス、またはインターネットアドレスを入力し、〈Enter〉キーを押します。**

アドレスの入力例は、「設置の確認」(P.78) の手順 2 を参照してください。

補足 ・ポート番号を指定する場合は、インターネットアドレスのあとに「:」を付けて、続けてポート番号を入力してください。

3 **［プロパティ］をクリックします。**

4 **本機と管理者のメールアドレスを設定します。**

1)［本体説明］をクリックします。

2)［管理者メールアドレス］を設定します。

3)［本体メールアドレス］を設定します。

5 **［プロトコル設定］の左側にある［+］をクリックし、フォルダー内にある項目を表示します。**

6 **［TCP/IP］をクリックします。**

7 **［ホスト名］を設定します。**

8 **DNS を設定します。**

補足 ・DNS の設定は、POP3 サーバーや SMTP サーバーのアドレスを IP アドレスではなく、ドメイン名形式で設定している場合に必要です。

1)［DNS サーバーアドレス取得方法］で、DHCP を使用する場合は、［DHCP］のチェックを付けます。

2)［DNS サーバーアドレス 1 ～ 3］を設定します。

補足 ・［DNS サーバーアドレス取得方法］で、［DHCP］を選択している場合は、この項目の設定は必要ありません。

3)［DNS ドメイン名］を設定します。

4)［ドメイン検索リストの自動作成］をする場合は、［する］のチェックを付けます。

5)［検索ドメイン名 1 ～ 3］を設定します。

6)［タイムアウト］を設定します。

7)［DNS の動的更新］を設定する場合は、［する］のチェックを付けます。

9 **［プロトコル設定］にある［メール］をクリックします。**

10 **［受信プロトコル］のプルダウンメニューで、受信プロトコルを設定します。**

補足 ・この項目は、メールプリントを使用する場合に設定します。

11 **［ヘッダー本文の印刷 (メール)］のプルダウンメニューで、メールヘッダーのプリント方法を設定します。**

補足 ・この項目は、メールプリントを使用する場合に設定します。

12 **［配送確認メールの印刷］のプルダウンメニューで、配送確認メールのプリント方法を設定します。**

補足 ・この項目は、メールプリントを使用する場合に設定します。

13 **［エラー通知メールの印刷］を有効にする場合は、［有効］のチェックを付けます。**

14 **［送信メールの最大サイズ］を指定します。メール送信時に、何ページでメールを分割するかを指定します。**

15 **［配送確認メールの自動応答］を有効にする場合は、［有効］のチェックを付けます。**

補足 ・この項目は、メールプリントを使用する場合に設定します。

16 POP3 サーバーを設定します。

補足 ・この項目は、メールプリントを使用する場合で、[受信プロトコル] に [POP3] を指定した場合に設定します。

1) [POP3 サーバーアドレス] を設定します。

2) [POP3 ポート番号] を設定します。

3) [POP 受信の認証] を設定します。

4) [POP3 サーバー確認間隔] を設定します。

5) [POP ユーザー名] を設定します。

6) [POP ユーザーパスワード] を入力します。

17 [SMTP サーバーアドレス] を設定します。

補足 ・この項目は、メール通知、ジョブの終了通知を使用する場合に設定します。

18 [SMTP ポート番号] を設定します。

19 [SMTP 送信の認証] のプルダウンメニューで、SMTP 送信の認証を方法を設定します。

補足 ・この項目は、メール通知、ジョブの終了通知を使用する場合に設定します。

20 [SMTP 認証ユーザー] を設定します。

補足 ・この項目は、メール通知、ジョブの終了通知を使用する場合に設定します。POP 受信の場合は設定しません。

21 [SMTP 認証パスワード] を設定します。

補足 ・この項目は、メール通知、ジョブの終了通知を使用する場合に設定します。POP 受信の場合は設定しません。

22 メール送受信制限を設定します。

補足 ・この項目は、メールプリントを使用する場合に設定します。

1) [ドメインによる受信制限] のプルダウンメニューで、[受信許可] または [受信禁止] を選択します。

2) [ドメインリストの編集] をクリックします。

3) 受信許可を選択した場合は、受信を許可するドメインを、受信禁止を選択した場合は、受信を禁止するドメインを設定します。

4) [新しい設定を適用] ボタンをクリックします。

5) Web ブラウザーの [戻る] ボタンを、メール設定画面が表示されるまでクリックします。

23 設定した値を、本機の設定値として反映します。

1) [新しい設定を適用] ボタンをクリックします。ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。

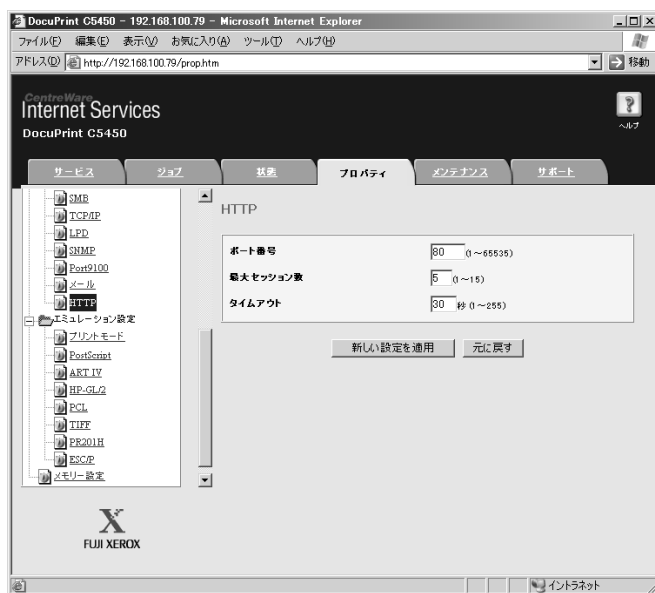
2) 機械管理者の User ID とパスワードを [ユーザー名] と [パスワード] に入力し、[OK] をクリックします。

補足 ・工場出荷時の設定は、ユーザー名は「11111」、パスワードは「x-admin」です。

3) Web ブラウザーの右フレームが、本機を再起動する表示に変わります。

4) [再起動] をクリックします。本機が再起動し、設定した値が反映されます。

HTTP

HTTP ポートの設定手順について説明します。

1 Web ブラウザーを起動します。

2 Web ブラウザーのアドレス入力欄に、本機の IP アドレス、またはインターネットアドレスを入力し、〈Enter〉キーを押します。

アドレスの入力例は、「設置の確認」(P.78) の手順 2 を参照してください。

補足 ・ポート番号を指定する場合は、インターネットアドレスのあとに「:」を付けて、続けてポート番号を入力してください。

3 [プロパティ] をクリックします。

4 [プロトコル設定] の左側にある [+] をクリックし、フォルダー内にある項目を表示します。

5 [HTTP] をクリックします。

6 [ポート番号] を設定します。

補足 ・ほかのポート番号と同じ番号を使用しないでください。

7 [最大セッション数] を設定します。

8 [タイムアウト] を設定します。

9 設定した値を、本機の設定値として反映します。

1) [新しい設定を適用] ボタンをクリックします。ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。

2) 機械管理者の User ID とパスワードを [ユーザー名] と [パスワード] に入力し、[OK] をクリックします。

補足 ・工場出荷時の設定は、ユーザー名は「11111」、パスワードは「x-admin」です。

3) Web ブラウザーの右フレームが、本機を再起動する表示に変わります。

4) [再起動] をクリックします。本機が再起動し、設定した値が反映されます。

■HTTP の通信を暗号化する場合について

HTTP を利用して、本機とネットワーク上にあるほかのコンピューターの間で通信する場合に、通信データを暗号化できます。

HTTP を利用するポートには、SOAP ポート、インターネットサービス（HTTP）ポート、IPP ポートがあります。

通信データの暗号化には、SSL と TLS プロトコルが使用されます。また暗号化された通信を解読するには、SSL と TLS で利用する証明書を利用します。

SSL と TLS で利用する証明書は、CentreWare Internet Services で作成できます。作成した証明書の有効期限は 1 年です。また、作成済みの証明書を本機に取り込むこともできます。

証明書の取り込みについては、CentreWare Internet Services のオンラインヘルプを参照してください。

注記 ・本機で生成した自己証明書、または証明書の文字コードが UTF-8 で記載された証明書を使って SSL 通信を行う場合、次の現象が発生します。
- ・Windows 98SE 以前の OS 環境で Internet Explorer を利用すると証明書の発行者 / 発行先が正しく表示されません。
- ・Mac OS X 10.2 以降の OS 環境で Internet Explorer を利用すると SSL で接続できません。これは、証明書の文字コード（UTF-8）を OS が認識できないためです。この OS 環境でご利用の場合は、Netscape 7 を使用してください。

補足 ・HTTP の通信を暗号化することによって、プリントのときに通信データを暗号化（SSL 暗号化通信）できます。

ここでは、証明書を CentreWare Internet Services で作成し、暗号化の通信を行う設定手順について説明します。

1 **Web ブラウザーを起動します。**

2 **Web ブラウザーのアドレス入力欄に、本機の IP アドレス、またはインターネットアドレスを入力し、〈Enter〉キーを押します。**

アドレスの入力例は、「設置の確認」(P.78) の手順 2 を参照してください。

補足 ・ポート番号を指定する場合は、インターネットアドレスのあとに「:」を付けて、続けてポート番号を入力してください。

3 **［プロパティ］をクリックします。**

4 **［セキュリティー］の左側にある［+］をクリックし、フォルダー内にある項目を表示します。**

5 **［セキュリティー一般］をクリックします。**

6 **証明書を生成します。**

1)［自己証明書の生成］ボタンをクリックします。

2)［公開キーのサイズ］を設定します。

3)［発行者］を設定します。

4)［証明書の生成］ボタンをクリックします。ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。

5) 機械管理者の User ID とパスワードを［ユーザー名］と［パスワード］に入力し、［OK］をクリックします。

補足 ・工場出荷時の設定は、ユーザー名は「11111」、パスワードは「x-admin」です。

7 **Web ブラウザーの再読み込みを行います。**

8 **［セキュリティー］の左側にある［+］をクリックし、フォルダー内にある項目を表示します。**

9 **［セキュリティー一般］をクリックします。**

10 **［HTTPS］の［有効］にチェックを付けます。**

11 **［ポート番号］を設定します。**

補足 ・ほかのポート番号と同じ番号を使用しないでください。

12 **設定した値を、本機の設定値として反映します。**

1)［新しい設定を適用］ボタンをクリックします。

2) Web ブラウザーの右フレームが、本機を再起動する表示に変わります。

3)［再起動］をクリックします。本機が再起動し、設定した値が反映されます。

通信を暗号化した場合、CentreWare Internet Services にアクセスするには、Web ブラウザーのアドレス欄には「http」ではなく「https」から始まるアドレスを入力します。

アドレスの入力例は、「設置の確認」(P.78) の手順 2 を参照してください。

4　プリントの基本操作

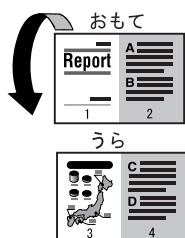
この章では、本機でできるプリントの種類や、基本操作について説明しています。

プリントの種類

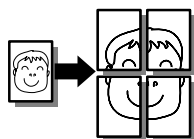
本機の主なプリント機能について紹介します。

そのほかのプリント機能については、プリンタードライバー画面の［ヘルプ］をクリックして表示されるプリンタードライバーのヘルプを参照してください。プリントの仕方については、「プリントの仕方」(P.111) を参照してください。

補足 ・**［プリンタ構成］タブで、装着しているオプションの設定を行わないと使用できない機能があります。使用できない機能は、グレー表示されて選択できません。**

■まとめて 1 枚（N アップ）と両面プリント

両面プリント機能と、複数の原稿を 1 枚に縮小してプリントする「まとめて 1 枚」を併用して、4 ページ分（2 アップの場合）の原稿が、1 枚の用紙の表裏で収まります。

プリント方法については、「複数ページをまとめて 1 枚にプリントする（N アップ）」(P.125)、「用紙の両面にプリントする（両面プリント）」(P.126) を参照してください。

■拡大連写

1 ページ分のプリントデータを、複数枚の用紙に分割して用紙サイズいっぱいに拡大してプリントします。大型ポスターなどを作製するときに使用します。

プリント方法については、「1 ページを拡大して複数枚の用紙に分割してプリントする（拡大連写）」(P.127) を参照してください。

■小冊子作成

正しいページ順の小冊子になるように、両面プリントとページ配分を組み合わせてプリントします。

プリント方法については、「面付けプリントで小冊子を作成する（小冊子作成）」(P.128) を参照してください。

■OHP 合紙

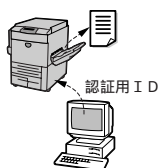
OHP フィルムをプリントするときに、フィルムとフィルムの間に、自動的に用紙を挿入します。フィルムの内容が確認しやすくなります。

プリント方法については、「OHP のフィルムとフィルムの間に白紙合紙を挿入する（OHP 合紙）」(P.129) を参照してください。

■スタンプ

プリントデータに、「社外秘」などの特定の文字を重ね合わせて、プリントします。

プリント方法については、「出力物にスタンプを押す（スタンプ）」(P.130) を参照してください。

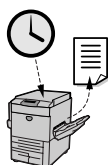
■セキュリティープリント

プリントを指示したデータを、認証用ユーザー ID ごとに、一時的に本機内に蓄積させ、プリントしたいときに本機側の指示でプリントできます。機密文書などをプリントする場合に使用します。

プリント方法については、「機密文書をプリントする（セキュリティープリント）」(P.131) を参照してください。

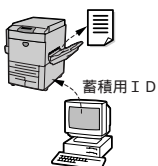
■サンプルプリント

複数の部数をプリントする場合、試しに 1 部だけプリントして内容を確認し、残りの部数を本機側からプリントできます。

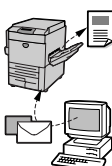
プリント方法については、「出力結果を確認してからプリントする（サンプルプリント）」(P.134) を参照してください。

■時刻指定プリント

プリントを指示したデータを一時的に本機内に蓄積させ、指定した時刻にプリントできます。

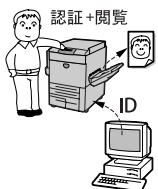
プリント方法については、「指定した時刻にプリントする（時刻指定プリント）」(P.137) を参照してください。

■認証プリント

プリント指示したデータを、蓄積用ユーザー ID ごとに、一時的に本機内に蓄積させ、プリントしたいときに本機側の指示でプリントできます。

プリント方法については、「ユーザーを認証して情報漏えいリスクを抑止する（認証プリント）」(P.142) を参照してください。

■メールプリント

コンピューターから本機に、TIFF 形式、または PDF 形式の文書を添付したメールを送信できます。受信したメールは、自動的にプリントされます。

操作方法については、「文書をメールでプリンターに送る（メールプリント）」(P.145) を参照してください。

■プライベートプリント

プリントを指示したデータを一時的に認証用ユーザー ID ごとに蓄積させ、プリントしたいときに本機側の指示でプリントできます。必要な文書だけ選択してプリントできるため、無駄な出力を抑えることができます。また、認証されたユーザーの文書だけが本機に表示されるので、プライバシーの保護を図ることができます。機械管理者に管理されている特定ユーザーの認証 / 集計管理に向いています。

補足 ・ **無駄な文書を蓄積させたくない場合は、認証成功したジョブのみ蓄積するように設定する必要があります。**

プリント方法については、「ユーザー ID ごとにプリントデータを蓄積する（プライベートプリント）」(P.139) を参照してください。

プリントの流れ（Windows）

Windows 環境からプリントする場合の基本的な流れを説明します。（ご使用になるコンピューターや、システム構成によって、異なる場合があります。）

コンピューター側で使用するアプリケーションソフトウエアを起動する

操作については、アプリケーションソフトウエアの説明書を参照してください。

必要に応じて

メニュー操作をする

コンピューターから印刷するデータを送信する前に、次のことを確認してください。
① 使用するポート状態を確認する
② 使用するポートのプリントモードを確認する

操作については、「仕様設定」(P.207) を参照してください。

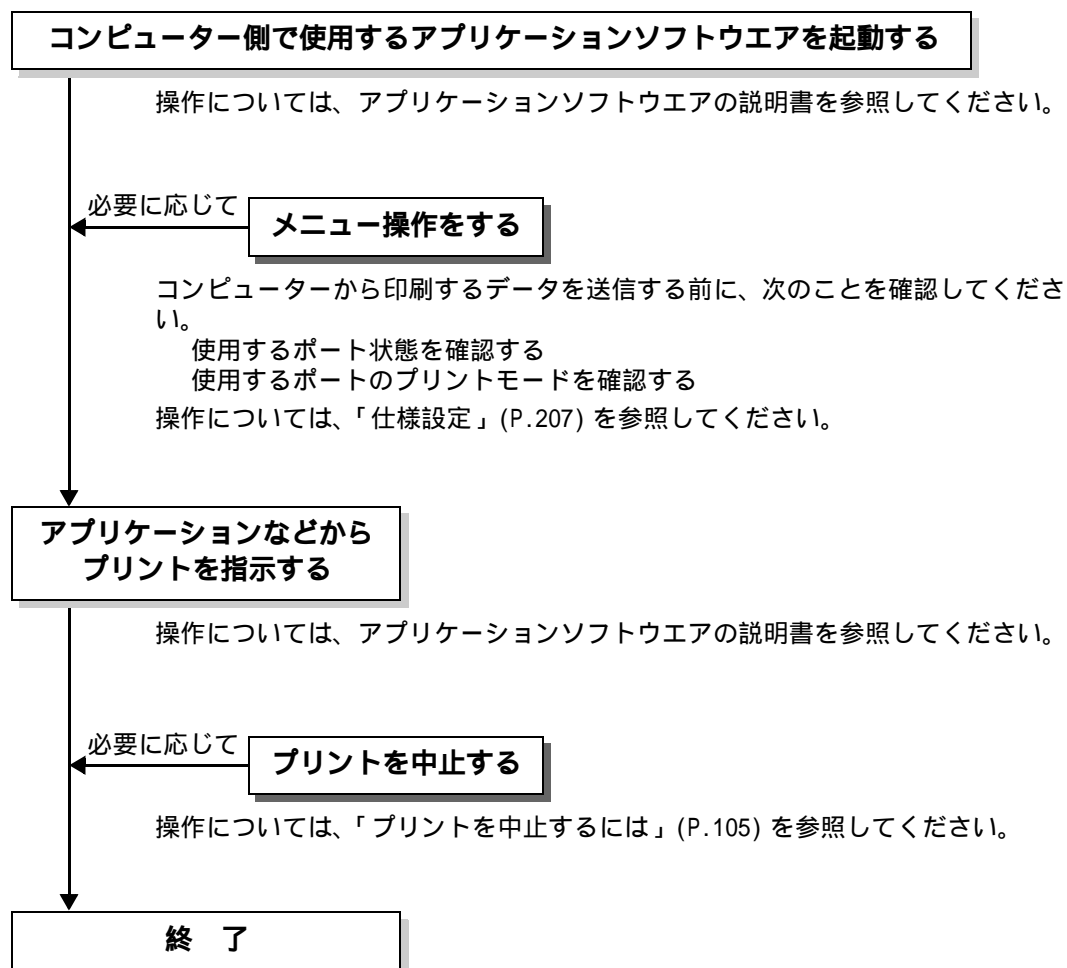
アプリケーションなどから プリントを指示する

操作については、アプリケーションソフトウエアの説明書を参照してください。

必要に応じて

プリントを中止する

操作については、「プリントを中止するには」(P.105) を参照してください。

終　了

基本操作

プリントの手順は、お使いのアプリケーションソフトウエアによって異なります。詳細は各アプリケーションソフトウエアの説明書を参照してください。

プリント機能については、プリンタードライバー画面の［ヘルプ］をクリックして表示されるプリンタードライバーのヘルプを参照してください。

1 **アプリケーションソフトウエアの［ファイル］メニューから、［印刷］を選択します。**

2 **［プリンタ名］を確認し、必要に応じて［プロパティ］をクリックします。**

3 **必要に応じて各項目を設定します。**

4 **［OK］をクリックします。**

5 **［印刷］ダイアログボックスで、［OK］をクリックします。**

これで、プリントデータがプリンターに送信されます。

プリントを中止するには

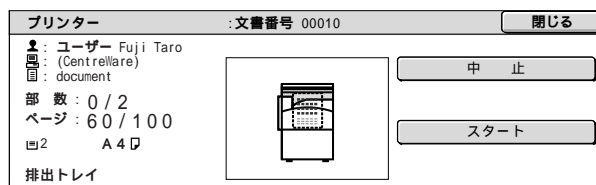
コンピューター側で操作する

画面右下のタスクバー上のプリンターアイコンをダブルクリックします。

表示されたウィンドウから、中止したいドキュメント名をクリックし、削除（〈Delete〉キーを押す）します。

プリンター側で操作する

1 **〈ストップ〉ボタンを押します。**

2 **［中止］を押します。**

プリント機能の設定について

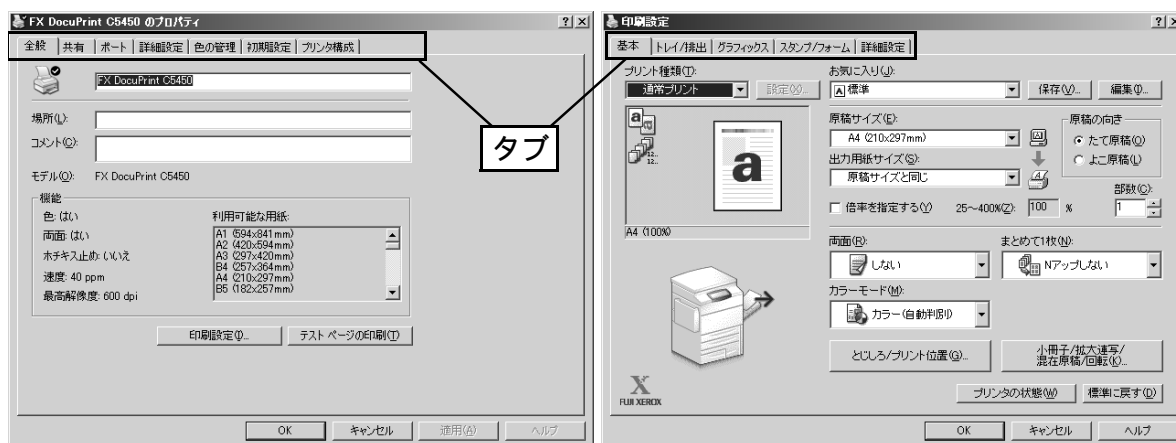
ほとんどのプリント機能は、アプリケーションからプリントするときに表示するプリンタードライバーのプロパティ画面や、お使いのコンピューターにインストールしたプリンターアイコンのプロパティ画面で、各タブを切り替えて設定します。プリンタードライバーの設定項目の説明や設定方法などについては、ART EX プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

ヘルプの使い方については、「プリンタードライバーのヘルプ」(P.107) を参照してください。

注記 ・[プリンタの構成]タブで、装着しているオプションの設定を行わないと使用できない機能があります。使用できない機能は、グレー表示されて、設定できません。

プロパティ画面

■［スタート］メニューの［プリンタと FAX］をクリックし､使用するプリンターのプロパティ画面を表示した場合

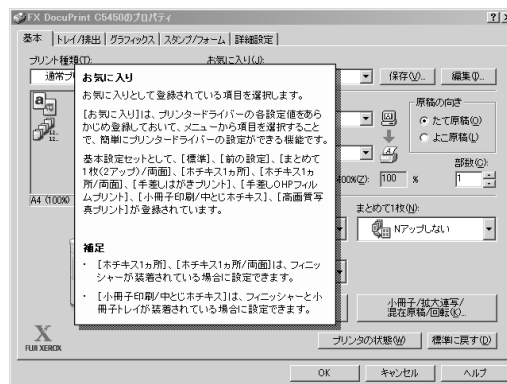
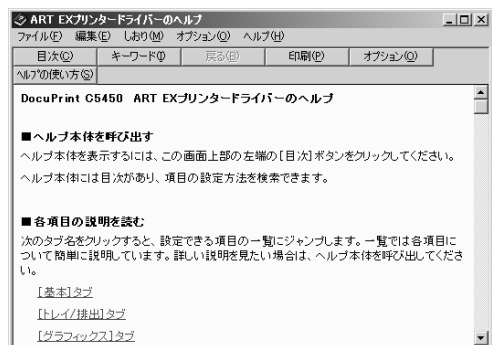
■ アプリケーションからのプリント設定で､プリンターのプロパティ画面を表示した場合

プリンタードライバーのヘルプ

プリンタードライバーのヘルプを使って、プリンタードライバー画面に表示されている項目の説明や、各機能の設定方法を確認できます。プリンタードライバーのヘルプの表示方法は、次のとおりです。

1 ［スタート］メニューの［プリンタと FAX］をクリックし、使用するプリンターのプロパティを表示します。

2 使用する機能によって、各タブを選択し、［?］をクリックして知りたい機能の項目をクリックするか、右下の［ヘルプ］をクリックします。

3 ヘルプが表示されます。

■［?］を使用した場合

■［ヘルプ］をクリックした場合

便利な機能

本機を便利に使いこなすための機能について説明します。

よく使う設定を登録してプリントする（お気に入り）

プリンタードライバーで、よく使う設定をお気に入りに登録できます。お気に入りに登録すると、プリントのたびにプリンタードライバーを設定する手間が省けます。

ここでは、お気に入りの登録、削除について説明します。

その他の操作については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

お気に入りに登録する

次の条件でプリントする場合を例に、よく使う設定をお気に入りに登録する方法を説明します。

- A4 サイズの原稿
- 複数ページ
- 2 アップ
- A4 サイズの用紙にプリント

ここでは、Windows XP のワードパッドを例に説明します。その他の OS 環境での手順も同様です。

1. ［ファイル］メニューから、［印刷］を選択します。
2. 本機を選択し、［詳細設定］をクリックします。
3. 各タブで、登録したい設定をします。
4. ［基本］タブで、［お気に入り］の横の［保存］をクリックします。

5. ［名前］に登録する設定の名前を入力し、［コメント］に覚え書きを入力します。

6. ［お気に入りの保存］ダイアログボックスの［OK］をクリックします。
7. ［OK］をクリックします。

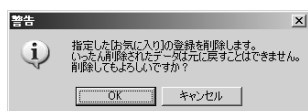
お気に入りを削除する

[基本]タブの[お気に入り]に登録されているお気に入りを削除する方法について説明します。

1 [基本]タブで、[お気に入り]の横の[編集]をクリックします。

2 [お気に入り一覧]から、削除したいお気に入りを選択します。

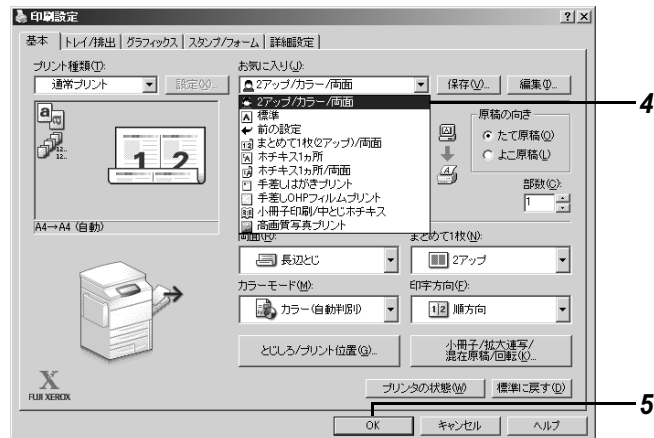
3 [削除]をクリックします。

4 [OK]をクリックすると、削除されます。

登録したお気に入り設定でプリントする

1 ［ファイル］メニューから、［印刷］を選択します。

2 本機を選択し、［詳細設定］をクリックします。

3 ［基本］タブをクリックします。

4 ［お気に入り］で、登録した設定を選択します。

5 ［OK］をクリックし、プリントを実行します。

5 プリントの仕方

この章では、プリントの仕方について説明しています。

特殊用紙にプリントする

プリンタードライバーで選択できる用紙種類と、本機にセットできる用紙種類を以下に示します。

トレイ／坪量／紙質	坪量 (g/㎡)	トレイ 1，2	トレイ 3，4	トレイ 5（手差し）
		64 ～ 176g/㎡	64 ～ 176g/㎡	64 ～ 280g/㎡
厚紙 1	105 ～ 176	○	○	○
厚紙 2	177 ～ 280	×	×	○
再生紙	64 ～ 104	○	○	○
普通紙うら面	64 ～ 104	○	○	○
穴あき紙	64 ～ 104	○	○	○
コート紙 1	105 ～ 176	×	×	○
コート紙 2	177 ～ 280	×	×	○
厚紙 1 うら *	105 ～ 176	×	×	○
厚紙 2 うら *	177 ～ 280	×	×	○
コート紙 1 うら *	105 ～ 176	×	×	○
コート紙 2 うら *	177 ～ 280	×	×	○
ラベル紙 1	105 ～ 176	×	×	○
ラベル紙 2	177 ～ 280	×	×	○
インデックス紙 1	105 ～ 176	×	×	○
インデックス紙 2	177 ～ 280	×	×	○
OHP	-	○	○	○
タックフィルム	-	×	×	○

*** 片面にプリントした用紙の裏面にプリントするとき、またはコート紙、厚紙 2 を、トレイ 5（手差し）にセットして、両面プリントするときに選択します。**

用紙については、「用紙について」(P.170) を参照してください。

用紙トレイにセットする用紙の種類や優先順位、また、用紙別の画質処理の設定など、用紙やトレイに関連する設定については、「用紙 / トレイの設定」(P.221) を参照してください。

用紙トレイ 5（手差し）を使用して特殊用紙にプリントする

ここでは、Windows XP のワードパッドを例に説明します。その他の OS 環境での手順も同様です。

補足 ・本機のプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。

1 手差しトレイに、特殊用紙をセットします。

用紙トレイ 5（手差し）の使い方については、「用紙トレイ 5（手差し）に用紙をセットする」(P.179) を参照してください。

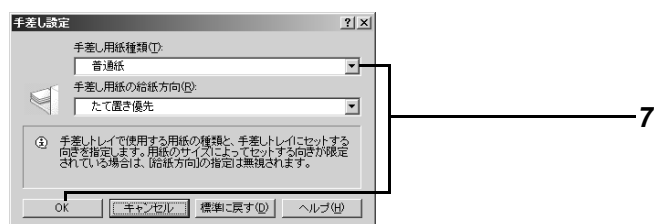
2 ［ファイル］メニューの［印刷］をクリックします。

3 本機を選択し、［詳細設定］をクリックします。

4 ［トレイ / 排出］タブをクリックします。

5 ［用紙トレイ選択］から、［トレイ 5（手差し）］を指定します。

6 ［手差し設定］をクリックします。

7 ［手差し用紙種類］から用紙の種類を選択し、［OK］をクリックします。

8 ［OK］をクリックし、プリントを実行します。

用紙トレイ 1 〜 4 を使用して特殊用紙にプリントする

用紙トレイ 1 〜 4 に特殊用紙をセットしてプリントする場合は、操作パネルで、トレイの用紙種類を設定します。

「用紙トレイのサイズ / 用紙種類」(P.221) を参照して、設定を行ってください。

ここでは、Windows XP のワードパッドを例に説明します。その他の OS 環境での手順も同様です。

補足 ・本機のプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。

1 トレイ 1 〜 4 に、特殊用紙をセットします。

用紙トレイ 1 〜 4 の使い方については「用紙をセットする」(P.176) を参照してください。

2 ［ファイル］メニューの［印刷］をクリックします。

3 本機を選択し、［詳細設定］をクリックします。

4 ［トレイ / 排出］タブをクリックします。

5 ［用紙トレイ選択］から［トレイ 1］をクリックします。

6 ［OK］をクリックし、プリントを実行します。

はがき / 封筒にプリントする

郵便はがき、封筒（定形長 3 号封筒）にプリントする方法を説明します。

用紙トレイ 5（手差し）の使い方については、「用紙トレイ 5（手差し）に用紙をセットする」(P.179) を参照してください。

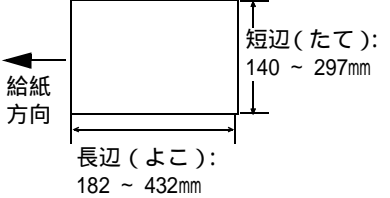
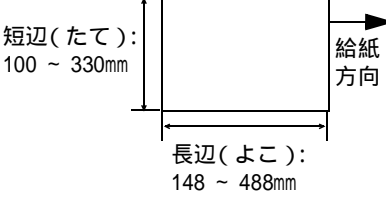
はがき / 封筒のセット方法

用紙トレイ 5（手差し）に、郵便はがき、または封筒（定形長 3 号封筒）をセットします。

1. **はがきや封筒のプリントする面を上に向けます。**
2. **はがきをセットする場合は、郵便番号枠側を差込口に向けてセットします。**

注記 ・ 紙づまりの原因となるので、はがきをセットする場合は、はがきの端面すべての紙紛を、布などでふき取ってからセットしてください。

封筒をセットする場合は、開封部の反対側（底の部分）を差込口に向けてセットします。

補足 ・ 用紙上限線を超える量の用紙をセットしないでください。
・ 封筒をセットする向きは、はがきと天地が反対になります。プリンターは、画像を自動的に 180 度回転してプリントします。

プリントの仕方

ここでは、Windows XP のワードパッドを例に説明します。その他の OS 環境での手順も同様です。

補足 ・本機のプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。

1 ［ファイル］メニューの［印刷］をクリックします。

2 本機を選択し、［詳細設定］をクリックします。

3 ［トレイ / 排出］タブをクリックし、［用紙トレイ選択］から、［トレイ 5（手差し）］を指定します。

4 はがき、封筒の場合は、［手差し設定］をクリックし、［手差し用紙種類］から、［厚紙 2（177 ～ 280g/㎡）］を選択し、［OK］をクリックします。

補足 ・はがき、封筒で両面にプリントする場合は、最初のプリント面は［厚紙2（177～280g/㎡）］を選択し、そのうら面をプリントするときは、［厚紙2（177～280g/㎡）うら面］を選択してください。

5 ［基本］タブをクリックし、［原稿サイズ］から、任意の原稿サイズを選択します。

6 ［出力用紙サイズ］から、はがきの場合は［はがき（100 × 148㎜）］を、封筒の場合は、［封筒長形 3 号（120 × 235㎜）］を指定します。

7 ［OK］をクリックし、プリントを実行します。

非定形用紙にプリントする

非定形サイズの用紙にプリントする方法について説明します。

本機で設定できる用紙サイズは、次のとおりです。

非定形サイズの用紙を登録する

非定形サイズの用紙にプリントするには、まず、本機とプリンタードライバーで、非定形サイズの用紙を登録します。

操作パネルでの設定

本機の操作パネルで、非定形サイズを登録します。

非定形サイズの登録については、「用紙 / トレイの設定」(P.221) を参照してください。

プリンタードライバーでの設定

非定形サイズの用紙の登録は、[ユーザー定義用紙] ダイアログボックスで行います。

非定形サイズをユーザー定義サイズとして登録すると、[基本] タブの [原稿サイズ] と [出力用紙サイズ] から、それぞれ [ユーザー定義用紙] が選択できるようになります。

用紙サイズは、20種類まで登録でき、用紙名を付けられます。

用紙サイズは、次のように設定できます。

- **ミリ単位の場合　：短辺 100 ～ 330㎜、長辺 148 ～ 488㎜ の範囲で 0.1㎜ 刻み**
- **インチ単位の場合：短辺 3.94 ～ 12.99inch、長辺 5.83 ～ 19.21inch の範囲で 0.01inch 刻み**

補足
- Windows NT 4.0/Windows 2000/Windows XP/Windows Sever 2003 では、「Administrator」の権利があるユーザーの場合にだけ、設定を変更できます。権利がない場合は、内容の確認だけできます。
- [ユーザー定義用紙] ダイアログボックスの設定は、Windows NT 4.0/Windows 2000/Windows XP/Windows Sever 2003 の場合、ローカルプリンターではコンピューターのフォームデータベースを使用するため、コンピューター上のほかのプリンターにも影響します。ネットワーク共有プリンターではプリントキューが存在するサーバー上のフォームデータベースを使用するため、別のコンピューター上の同じネットワーク共有プリンターにも影響します。Windows 95/Windows 98/Windows Me の場合、プリンターアイコンごとに定義した用紙サイズが設定されるため、コンピューター上のほかのプリンターの設定には影響しません。ネットワーク共有プリンターでも、プリンターアイコンごとに定義した用紙サイズが設定されるため、ほかのコンピューター上の同じネットワーク共有プリンターの設定には影響しません。

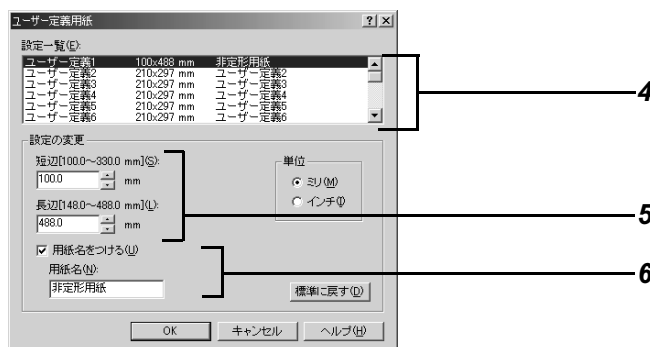
1 [スタート] メニューの [プリンタと FAX] をクリックし、使用するプリンターのプロパティを表示します。

補足
- ご使用の環境によっては、[スタート] メニューの [設定] から、[プリンタ] をクリックして、使用するプリンターのプロパティを表示します。

2 [初期設定] タブをクリックします。

3 ［ユーザー定義用紙］をクリックします。

［ユーザー定義用紙］ダイアログボックスが表示されます。

4 ［設定一覧］リストボックスから、設定するユーザー定義を選択します。

5 ［設定の変更］で、短辺と長辺の長さを指定します。

キー入力、または［▲］［▼］ボタンで指定します。

短辺の値は、範囲内でも長辺より大きくすることはできません。長辺の値は、範囲内でも短辺より小さくすることはできません。

6 用紙名を付ける場合は、［用紙名をつける］チェックボックスをオンにして、［用紙名］に入力します。用紙名の最大文字数は半角で 14 文字、全角で 7 文字です。

7 必要に応じて、手順 4 ～ 6 を繰り返して、用紙サイズを定義します。

8 ［ユーザー定義］ダイアログボックスで［OK］をクリックします。

9 ［初期設定］タブで、［OK］をクリックします。

プリントの仕方

非定形サイズの用紙にプリントする方法を説明します。

ここでは、Windows XP のワードパッドを例に説明します。その他の OS 環境での手順も同様です。

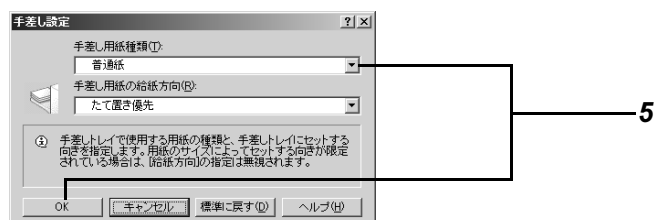
補足 ・プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。

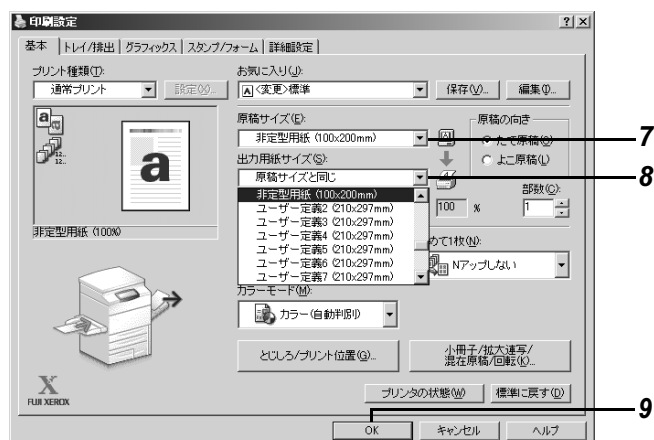
1 ［ファイル］メニューから、［印刷］を選択します。

2 本機を選択し、［詳細設定］をクリックします。

3 ［トレイ / 排出］タブをクリックします。

4 ［用紙トレイ選択］から、使用する用紙トレイを選択します。

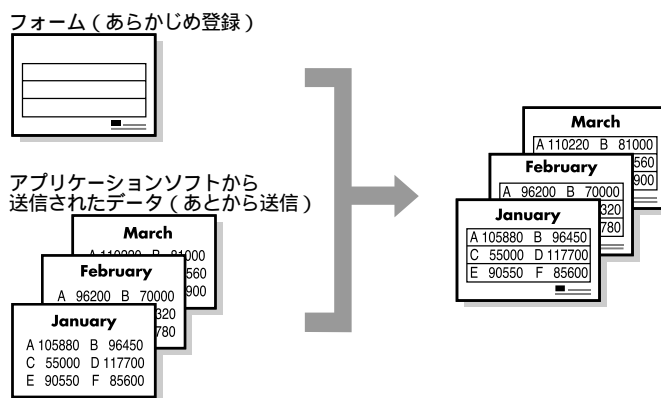
5 用紙トレイ 5（手差し）を使用する場合は、［手差し設定］をクリックし、［手差し用紙種類］から、用紙の種類を選択し、［OK］をクリックします。

6 ［基本］タブをクリックします。

7 ［原稿サイズ］から、原稿のサイズを選択します。

8 ［出力用紙サイズ］から、登録した非定形サイズの用紙を選択します。

9 ［OK］をクリックし、プリントを実行します。

登録したフォームにプリントする（オーバレイ印字）

あらかじめ作成しておいたフォームに、原稿を重ね合わせてプリントできます。この機能を「オーバレイ印字」といいます。複数ページの原稿にも、すべてのページにフォームを重ねてプリントします。

オーバレイ印字をする場合は、あらかじめフォームデータファイルを作成 / 登録してください。

オーバレイ印字の指定は、[スタンプ / フォーム] タブで行います。ここでは、Windows XP のワードパッドを例に説明します。その他の OS 環境での手順も同様です。

補足
- 本機のプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。
- プリントされるカラーモードは、オーバーレイ印字を指定するときのカラーモードにより決定されます。

フォームデータファイルを作成 / 登録する

1. アプリケーションソフトでフォームデータファイルの原稿を作成します。
2. [ファイル] メニューから、[印刷] を選択します。
3. 本機を選択し、[詳細設定] をクリックします。
4. [スタンプ / フォーム] タブをクリックします。
5. [フォーム作成 / 登録] チェックボックスをオンにします。

6. [フォルダ] にバックアップデータを保存するフォルダー名を、127 バイト以内で指定します。

7 ［フォーム名］にフォーム名を、半角英数、半角カタカナを使って、8 文字以内で指定します。

補足 ・ 以前作成したフォームを再登録する場合は、［参照］ボタンをクリックして、バックアップされているフォームを指定し、［再登録］ボタンをクリックします。

8 ［OK］をクリックし、プリントを指示します。

プリンターからは何もプリントされませんが、この時点で、本機にアプリケーションソフトで作成した原稿はフォームファイルとして登録されます。

補足 ・ 登録したフォームは、ART EX フォーム登録リストで確認できます。ART EX フォーム登録リストについては、「レポートをプリントする」(P.263) を参照してください。

フォームを使用してプリントする

1 アプリケーションソフトウエアで、フォームに重ねる原稿を作成します。

2 ［ファイル］メニューから、［印刷］を選択します。

3 本機を選択し、［詳細設定］をクリックします。

4 ［スタンプ / フォーム］タブをクリックします。

5 ［オーバレイ印字］チェックボックスをオンにします。

6 ［使用フォーム名］に、本機に登録されているフォーム名と同じ名前を、半角英数、半角カタカナを使って、8 文字以内で指定します。

7 ［OK］をクリックし、プリントを実行します。

TrueType フォントのプリント方法を設定する

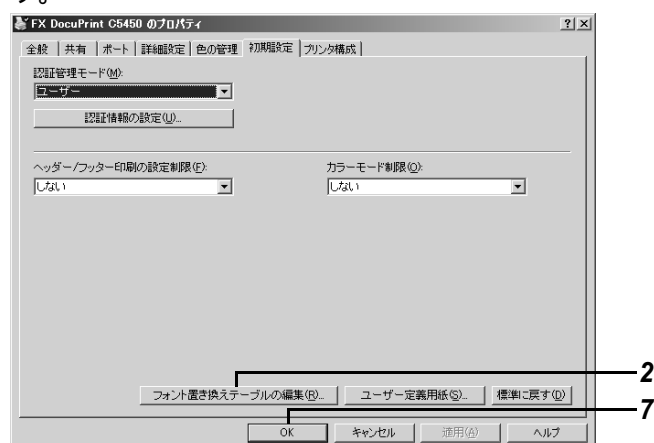
TrueType フォントの置き換えをフォントごとに設定できる TrueType フォント置き換えテーブルの編集方法と、TrueType フォントの置き換え方法について説明します。

TrueType フォント置き換えテーブルを編集する

フォント置き換えテーブルで、TrueType フォントの置き換えをフォントごとに設定できます。フォント置き換えテーブルの編集は、[フォント置き換えテーブルの編集] ダイアログボックスで行います。

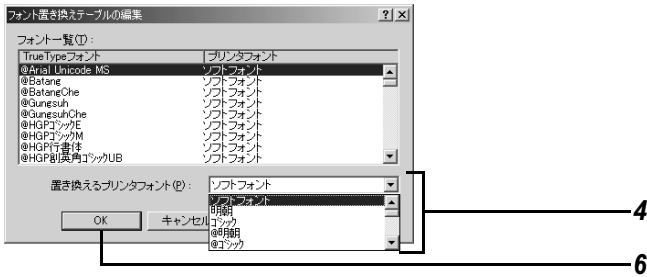
1 [スタート] メニューの [プリンタと FAX] をクリックし、使用するプリンターのプロパティを表示します。

注記 ・ ご使用の環境によっては、[スタート] メニューの [設定] から、[プリンタ] をクリックして、使用するプリンターのプロパティを表示します。

2 [初期設定] タブをクリックし、[フォント置き換えテーブルの編集] をクリックします。

[フォント置き換えテーブルの編集] ダイアログボックスが表示されます。

3 [TrueType フォント] 列には、システムにインストールされているすべての TrueType フォント(Windows 95/Windows 98/Windows Me ではフォントのファミリー名、Windows NT 4.0/Windows 2000/Windows XP/Windows Server 2003 ではフォントのフェイス名)が表示されます。

- [プリンタフォント] 列には、TrueType フォントに対して、実際にプリントに使用されるフォントが表示されます。[ソフトフォント] と表示されているフォントは、プリント時に TrueType フォントをプリンターにダウンロードして使用します。
- [TrueType フォント] 列から、設定を変更するフォントを選択します。

4 **［置き換えるプリンタフォント］から、使用するプリンターフォントを選択します。**
［ソフトフォント］を選択すると、プリント時に TrueType フォントをプリンターにダウンロードして使用します。

5 **必要に応じて、手順 3、4 を繰り返して、置き換えるフォントを指定します。**

6 **［OK］をクリックします。**

7 **［初期設定］タブで、［OK］をクリックします。**

TrueType フォントのプリント方法を設定する

TrueType フォントの置き換え方法を指定して、プリントできます。

選択できる項目は、次のとおりです。

選択肢	内容
［常にプリンタフォントを使う］	すべての TrueType フォントを、プリンターフォントに置き換えてプリントします。文書内で使用されている TrueType フォントにいちばん近いプリンターフォントが自動的に選択され、これに置き換えてプリントします。プリントは速くなりますが、画面表示とプリント結果が一致しないことがあります。
［常に TrueType フォントを使う］	すべての TrueType フォントをプリンターにダウンロードしてプリントします。文書内で使用されている TrueType フォントを、プリンターフォントに置き換えません。プリントは遅くなることがありますが、画面表示とプリント結果は一致します。
［TrueType フォントをプリンタフォントで置き換える］	フォント置き換えテーブルの設定に従って、TrueType フォントをプリンターフォントに置き換えてプリントします。フォント置き換えテーブルでは、プリンターフォントに置き換えるものと、プリンターにダウンロードするものの 2 種類の設定があります。Windows 環境にインストールされているフォントに対して、フォントファミリーごと（Windows 95/Windows 98/Windows Me の場合）、またはフォントフェイスごと（Windows NT 4.0/Windows 2000/Windows XP/Windows Server 2003 の場合）に設定できます。

フォント置き換えテーブルの編集方法については、「TrueType フォント置き換えテーブルを編集する」(P.122) を参照してください。

TrueType フォントの置き換えの指定は、［フォント］タブを表示して行います。

ここでは、Windows XP のワードパッドを例に説明します。その他の OS での手順も同様です。

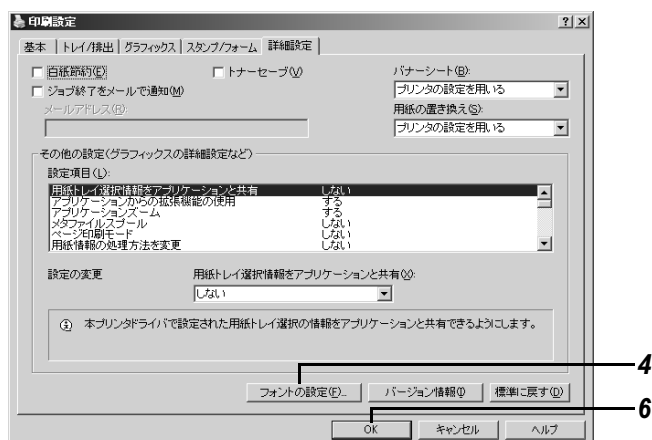
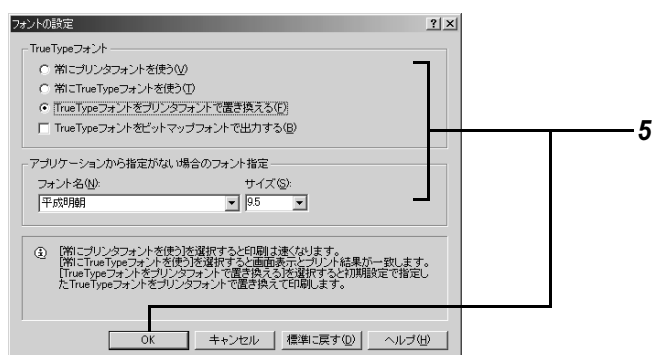
補足 ・プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。

1 **［ファイル］メニューから、［印刷］を選択します。**

2 **本機を選択し、［詳細設定］をクリックします。**

3 **［詳細設定］タブをクリックします。**

プリントの仕方
5

4 ［フォントの設定］をクリックします。

5 設定する内容のラジオボタンを選択し、［OK］をクリックします。

6 ［OK］をクリックし、プリントを実行します。

複数ページをまとめて 1 枚にプリントする（N アップ）

複数ページを、まとめて 1 枚にプリントする方法について説明します。

プリントの仕方

ここでは、Windows XP のワードパッドを例に説明します。その他の OS 環境での手順も同様です。

補足 ・プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。

1 ［ファイル］メニューから、［印刷］を選択します。

2 本機を選択し、［詳細設定］をクリックします。

3 ［基本］タブをクリックし、［まとめて 1 枚］のプルダウンから、1 ページにプリントするページ数（N アップ）を選択します。

4 ［OK］をクリックし、プリントを実行します。

補足 ・「用紙の両面にプリントする（両面プリント）」（P.126）の、両面プリントと組み合わせると、1 枚の用紙の表裏に、N アップでプリントできます。［まとめて 1 枚］に［2 アップ］を選択し、両面プリントを指定すると、4 ページ分が 1 枚の用紙の表裏で収まります。

用紙の両面にプリントする（両面プリント）

用紙の表裏にプリントする方法について説明します。

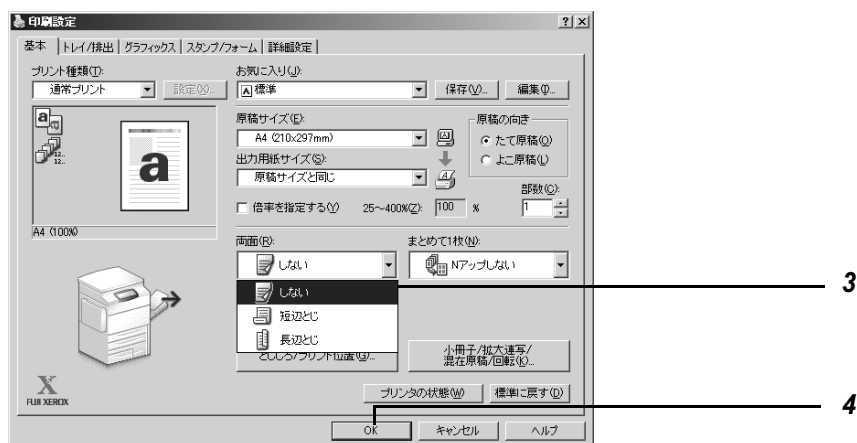
プリントの仕方

ここでは、Windows XP のワードパッドを例に説明します。その他の OS 環境での手順も同様です。

補足 ・プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。

1 ［ファイル］メニューから、［印刷］を選択します。

2 本機を選択し、［詳細設定］をクリックします。

3 ［基本］タブをクリックし、［両面］のプルダウンから、とじる辺を選択します。

補足 ・両面プリントには、「長辺とじ」と「短辺とじ」があります。とじる辺に合わせて、どちらかを選択します。長辺とじは、用紙の長辺、短辺とじは、用紙の短辺を軸に、表と裏のイメージの上方向が一致するようにプリントされます。

・変更の結果は、ドライバー画面の左上の仕上がりイメージで確認できます。

4 ［OK］をクリックし、プリントを実行します。

補足 ・「複数ページをまとめて 1 枚にプリントする（N アップ）」（P.125）の、N アップと組み合わせて使用すると、1 枚の用紙の表裏に N アップでプリントできます。たとえば、［まとめて 1 枚］に［2 アップ］を選択し、両面プリントを指定すると、4 ページ分が 1 枚の用紙の表裏で収まります。

1ページを拡大して複数枚の用紙に分割してプリントする（拡大連写）

1 ページを拡大して、複数枚の用紙に分割してプリントする方法について説明します。この機能は、「拡大連写」といいます。ポスター作製などに使用できます。

プリントの仕方

ここでは、Windows XP のワードパッドを例に説明します。その他の OS 環境での手順も同様です。

補足 ・プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。

1 ［ファイル］メニューから、［印刷］を選択します。

2 本機を選択し、［詳細設定］をクリックします。

3 ［基本］タブをクリックし、［小冊子 / 拡大連写 / 混在原稿 / 回転］をクリックします。

4 ［拡大連写］を選択します。

1)［拡大連写の設定］で、［出力枚数］を選択します。

2) 必要に応じて、［のりしろの線をつける］をチェックします。

補足 ・チェックすると、プリントされた用紙を貼り合わせる目安として、各用紙の四隅と各辺にのりしろの線を付けます。

3)［原稿 180 °回転］で、原稿の向きを選択します。

補足 ・設定内容は、左上の画面に表示されます。

5 ［OK］をクリックします。

6 ［OK］をクリックして、プリントを実行します。

面付けプリントで小冊子を作成する（小冊子作成）

面付けプリントで、小冊子を作成する方法について説明します。

プリントした用紙を重ね合わせ、中央で二つ折りにして、中とじ冊子（小冊子）になるようにプリントできます。この機能を「小冊子作成」といいます。指定した用紙サイズにページが収まるように、自動的に拡大 / 縮小して、片面に 2 ページずつ、両面に長辺とじでプリントします。

プリントの仕方

ここでは、Windows XP のワードパッドを例に説明します。その他の OS 環境での手順も同様です。

補足 ・プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。

1 ［ファイル］メニューから、［印刷］を選択します。

2 本機を選択し、［詳細設定］をクリックします。

3 ［基本］タブをクリックし、［小冊子 / 拡大連写 / 混在原稿 / 回転］をクリックします。

4 ［小冊子作成］を選択します。

1)［小冊子作成の設定］で、各項目を設定します。

各項目の詳細については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

2)［原稿 180 °回転］で、原稿の向きを選択します。

補足 ・設定内容は、左上の画面に表示されます。

5 ［OK］をクリックします。

6 ［OK］をクリックして、プリントを実行します。

OHP のフィルムとフィルムの間に白紙合紙を挿入する（OHP 合紙）

OHP フィルムを 1 枚プリントするごとに、合紙を 1 枚自動的に挿入してプリントできます。

プリントの仕方

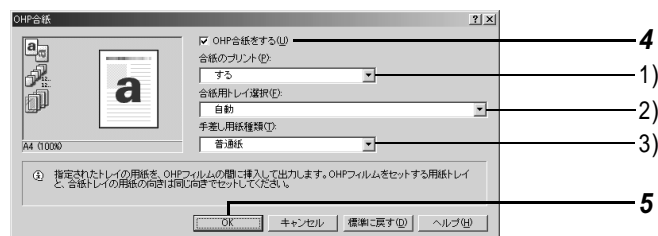
ここでは、Windows XP のワードパッドを例に説明します。その他の OS 環境での手順も同様です。

補足 • プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。
• 指定されたトレイの用紙を、OHP フィルムの間に挿入して出力します。OHP フィルムをセットする用紙トレイと、合紙トレイの用紙の向きは同じ方向でセットしてください。
• 用紙の設定については、「用紙をセットする」(P.176) を参照してください。
• 用紙トレイの設定については、「用紙 / トレイの設定」(P.221) を参照してください。
• 合紙用の用紙は、OHP フィルムと同じサイズで、同じ向きにセットしてください。
•「OHP 合紙」機能を使用する場合、部数は 1 部固定になります。

1 ［ファイル］メニューから、［印刷］を選択します。

2 本機を選択し、［詳細設定］をクリックします。

3 ［トレイ / 排出］タブをクリックし、［OHP 合紙］をクリックします。

4 ［OHP 合紙をする］をチェックします。

1) ［合紙のプリント］で、白紙を挿入する場合は、［しない（白紙挿入）］を、OHP 用紙のプリントと同じ内容を、合紙にプリントして挿入する場合は、［する］を選択します。

2) 合紙用のトレイを選択します。

補足 •［自動］を選択すると、本機で指定されている合紙用の用紙トレイが使用されます。

3) トレイ 5（手差し）で使用する用紙の種類を設定します。

補足 • ここで設定した用紙種類は、［手差し設定］ダイアログボックスの［手差し用紙種類］、［表紙 / 合紙付け］ダイアログボックスの［おもて表紙用トレイ選択］の［トレイ 5（手差し）］、［うら表紙用トレイ選択］の［トレイ 5（手差し）］、［合紙用トレイ選択］の［トレイ 5（手差し）］に反映されます。
• 設定内容は、左上の画面に表示されます。

5 ［OK］をクリックします。

6 ［OK］をクリックして、プリントを実行します。

出力物にスタンプを押す（スタンプ）

出力するファイルに、スタンプを重ねてプリントできます。

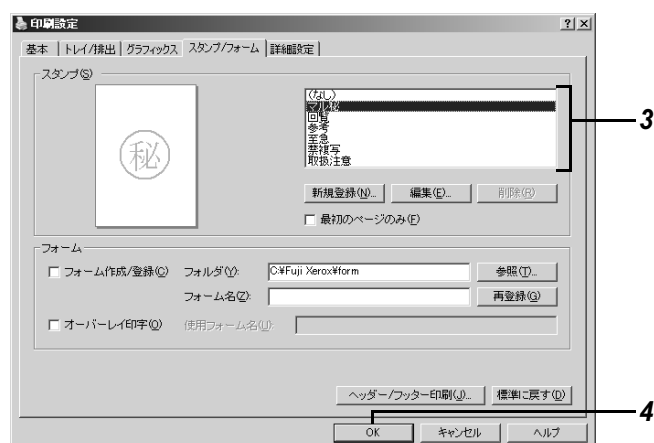
プリントの仕方

ここでは、Windows XP のワードパッドを例に説明します。その他の OS 環境での手順も同様です。

補足 ・プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。

1 ［ファイル］メニューから、［印刷］を選択します。

2 本機を選択し、［詳細設定］をクリックします。

3 ［スタンプ / フォーム］タブをクリックし、［スタンプ］を選択します。

補足 ・設定内容は、左上の画面に表示されます。

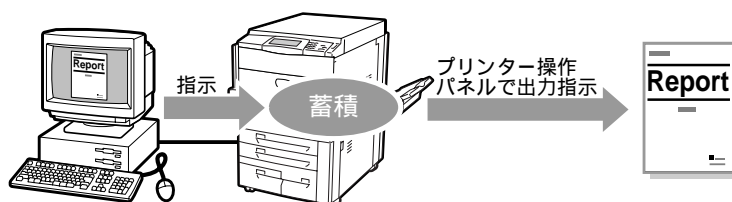
4 ［OK］をクリックして、プリントを実行します。

スタンプの新規登録、編集については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

機密文書をプリントする（セキュリティープリント）

本機は、「セキュリティープリント」（機密文書）機能が使用できます。

注記 ・ 内蔵ハードディスクは、故障する可能性があります。ハードディスク内に蓄積している文書で大切なデータは、バックアップを取ることをお勧めします。

コンピューター上で、プリントデータにセキュリティー（暗証番号を付ける）をかけて本機にプリントを指示し、プリントデータをプリンター内に一時的に蓄積させたあと、プリンターの操作パネルでプリントを開始できます。この機能を「セキュリティープリント」といいます。また、セキュリティーをかけないでプリントデータをプリンターに蓄積させることもできます。頻繁に使用する文書をプリンターに蓄積しておけば、コンピューターから何度もプリントを指示することなく、本機側での指示だけでプリントさせることができます。

補足 ・「認証プリントの設定」（P.249）で、[プライベートプリントに保存] を選択すると、操作パネルには [プライベートプリント] が表示され、[セキュリティープリント] は、表示されません。
・「認証プリントの設定」の「受信制御」（P.250）で、受信したジョブをプライベートプリントまたは認証プリントに保存するよう設定した場合は、プリンタードライバーで、セキュリティープリントを指示しても、[セキュリティープリント] には保存されません。

プリントの仕方

セキュリティープリントをする方法を説明します。

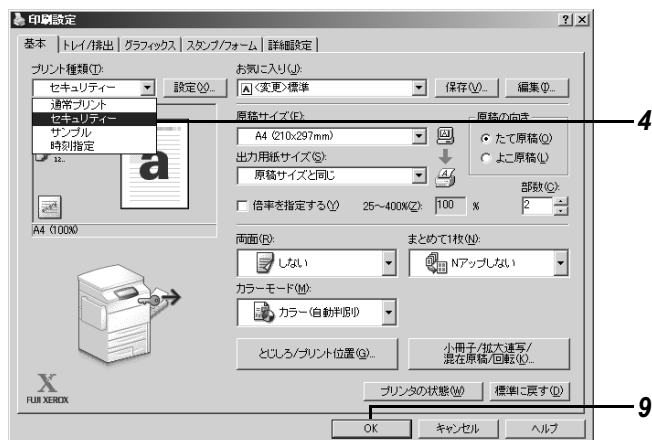
まず、セキュリティープリントの設定をコンピューター側で行い、プリント指示をします。そのあと、プリンター側で出力指示を行い、プリントデータを出力します。

プリンタードライバーでの設定

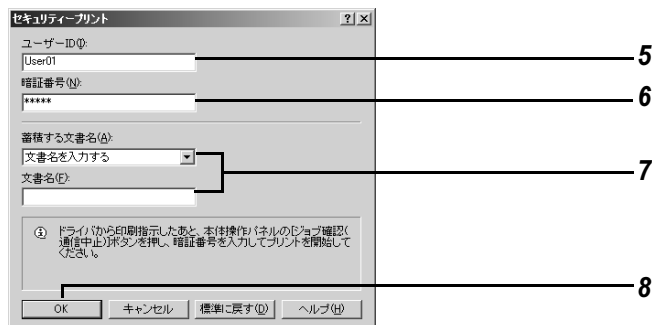
ここでは、Windows XP のワードパッドを例に説明します。その他の OS での手順も同様です。

補足 ・ プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。

1. **[ファイル] メニューから、[印刷] を選択します。**
2. **本機を選択し、[詳細設定] をクリックします。**
3. **[基本] タブをクリックます。**

4 ［プリント種類］から、［セキュリティー］を選択します。

［セキュリティープリント］ダイアログボックスが表示されます。

5 ［ユーザー ID］にユーザー ID を入力します。

補足 ・ユーザー ID は、半角で 24 文字、全角で 12 文字以内で入力します。

6 暗証番号を付ける場合は、［暗証番号］に、暗証番号を入力します。

補足 ・暗証番号は、半角数字で 4 文字まで入力できます。

7 ［蓄積する文書名］から、［文書名を入力する］、または［自動取得］を選択します。

補足 ・［文書名を入力する］を選択した場合は、［文書名］を 24 バイト（半角で 24 文字、全角で 12 文字）以内で入力します。
・［自動取得］を選択した場合、ドキュメント名などが、蓄積する文書名になります。ドキュメント名などが 24 バイトを超える場合は、文書名が日付などに置き換わります。

8 ［OK］をクリックします。

9 ［基本］タブで［OK］をクリックし、プリントを実行します。

操作パネルでの操作

操作パネルで、本機に蓄積されたプリントデータをプリントします。

補足 ・操作パネルでの操作は、ジョブ確認でも同様に操作できます。ジョブ確認での操作については、「セキュリティープリント」（P.165）を参照してください。

1 操作パネルのメニュー画面で、［セキュリティープリント］を押します。

2 **確認したいユーザーを選択し、［文書確認 / プリント］を押します。**

補足 • ［最新の情報に更新］を押すと、最新の情報が表示されます。
• ［▲］を押して前画面、［▼］を押して次画面を表示できます。
• 数字ボタンで 3 桁の番号を入力すると、直接指定できます。

3 **暗証番号を入力し、［確定］を押します。**

補足 • 暗証番号が設定されていない場合、［暗証番号］画面は表示されません。

4 **プリントしたい文書を選択し、［プリント実行］を押します。**

補足 • ［全文書選択］を押すと、すべての文書を選択できます。また、全文書選択を解除するには、再度ボタンを押します。

5 **プリント実行後の文書の処理を選択します。**

■プリント後削除する

文書のプリントを開始します。実行後、文書は削除されます。

■プリント後削除しない

文書のプリントを開始します。実行後も、文書はそのまま保存されています。

■取り消し

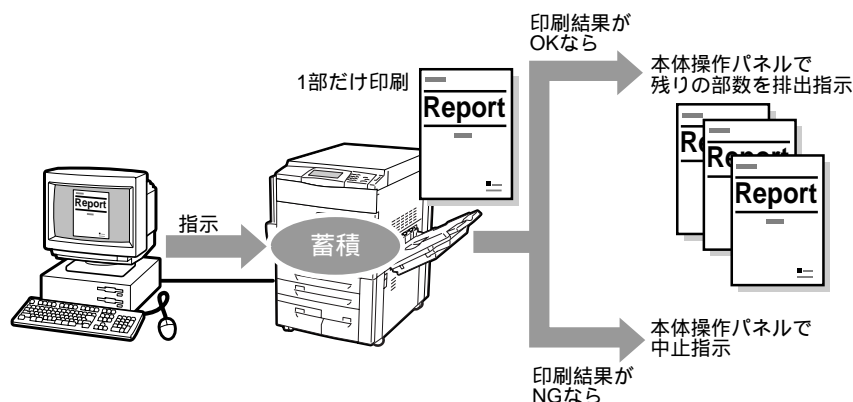
文書のプリントを取り消します。

出力結果を確認してからプリントする（サンプルプリント）

本機は、「サンプルプリント」（出力結果を確認してから、残りの部数をプリントする）機能が使用できます。

注記 ・内蔵ハードディスクは、故障する可能性があります。ハードディスク内に蓄積している文書で大切なデータは、バックアップを取ることをお勧めします。

補足 ・「認証プリントの設定」の「受信制御」（P.250）で、受信したジョブをプライベートプリントまたは認証プリントに保存するよう設定した場合は、プリンタードライバーで、サンプルプリントを指示しても、[サンプルプリント］には保存されません。

複数部数をプリントする場合、まず 1 部だけプリントし、残りの部数はプリント結果を確認してから、操作パネルでプリントを開始できます。この機能を、「サンプルプリント」といいます。

プリントの仕方

サンプルプリントをする方法を説明します。

まず、サンプルプリントの設定をコンピューター側で行い、プリント指示をします。そのあと、プリンター側で出力指示を行い、プリントデータを出力します。

プリンタードライバーでの設定

ここでは、Windows XP のワードパッドを例に説明します。その他の OS での手順も同様です。

補足 ・プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。

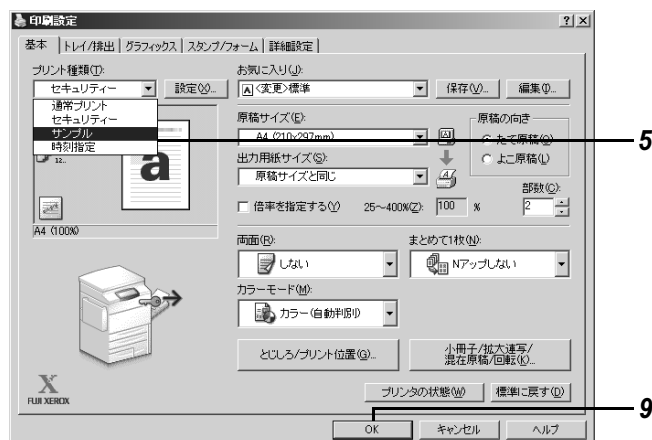
1 ［ファイル］メニューから、［印刷］を選択します。

2 本機を選択し、［詳細設定］をクリックします。

3 ［基本］タブをクリックます。

4 部数を 2 部以上に設定します。

5 ［プリント種類］から、［サンプル］を選択します。

補足 ・プリント部数を 2 部以上に設定しないと、［サンプル］は表示されません。

［サンプルプリント］ダイアログボックスが表示されます。

6 ［ユーザー ID］にユーザー ID を入力します。

補足 ・ユーザー ID は、半角で 24 文字、全角で 12 文字以内で入力します。

7 ［蓄積する文書名］から、［文書名を入力する］、または［自動取得］を選択します。

補足 ・［文書名を入力する］を選択した場合は、［文書名］を 24 バイト（半角で 24 文字、全角で 12 文字）以内で入力します。
・［自動取得］を選択した場合、ドキュメント名などが、蓄積する文書名になります。ドキュメント名などが 24 バイトを超える場合は、文書名が日付などに置き換わります。

8 ［OK］をクリックします。

9 ［基本］タブで［OK］をクリックし、プリントを実行します。

操作パネルでの操作

操作パネルで、本機に蓄積されたプリントデータをプリントします。

補足 ・操作パネルでの操作は、ジョブ確認でも同様に操作できます。ジョブ確認での操作については、「サンプルプリント」(P.166) を参照してください。

1 操作パネルのメニュー画面で、［サンプルプリント］を押します。

プリントの仕方

5

2 **確認したいユーザーを選択し、[文書確認 / プリント] を押します。**

補足
- [最新の情報に更新] を押すと、最新の情報が表示されます。
- [▲] を押して前画面、[▼] を押して次画面を表示できます。
- 数字ボタンで 3 桁の番号を入力すると、直接指定できます。

3 **暗証番号を入力し、[確定] を押します。**

補足
- 暗証番号が設定されていない場合、[暗証番号] 画面は表示されません。

4 **プリントしたい文書を選択し、[プリント実行] を押します。**

補足
- [全文書選択] を押すと、すべての文書を選択できます。また、全文書選択を解除するには、再度ボタンを押します。

5 **[はい] を押します。**

■はい

文書のプリントを開始します。実行後、文書は削除されます。

■いいえ

文書のプリントを取り消します。

指定した時刻にプリントする（時刻指定プリント）

本機は、時刻指定プリント機能を使用できます。時刻指定プリントとは、あらかじめ文書を登録しておき、設定した時刻に自動的にプリントする機能です。

注記
- 内蔵ハードディスクは、故障する可能性があります。ハードディスク内に蓄積している文書で大切なデータは、バックアップを取ることをお勧めします。
- 指定した時刻になる前に、本機の電源を切った場合は、時刻の指定は無効になり、再び本機の電源が入った直後にプリントが開始されます。時刻指定プリントをしている場合は、本機の電源を切らないでください。

補足
- この機能で指定できる時刻は、プリント指示したときから 24 時間以内です。
- 「認証プリントの設定」の「受信制御」（P.250）で、受信したジョブをプライベートプリントまたは認証プリントに保存するよう設定した場合は、プリンタードライバーで、時刻指定プリントを指示しても、［時刻指定プリント］には保存されません。

プリントの仕方

時刻指定プリントをする方法を説明します。

プリンタードライバーでの設定

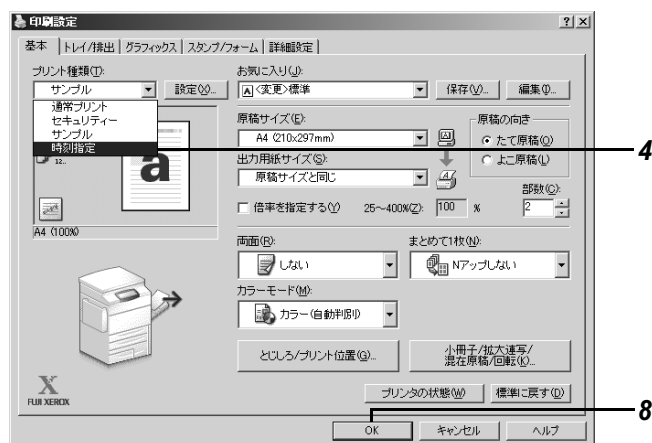
ここでは、Windows XP のワードパッドを例に説明します。その他の OS での手順も同様です。

補足
- プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。

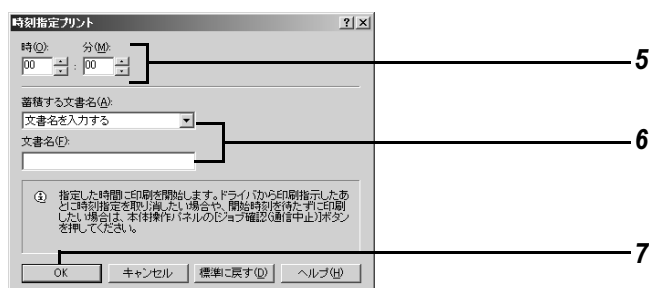
1 ［ファイル］メニューから、［印刷］を選択します。

2 本機を選択し、［詳細設定］をクリックします。

3 ［基本］タブをクリックます。

4 ［プリント種類］から、［時刻指定］を選択します。

［時刻指定プリント］ダイアログボックスが表示されます。

5 **プリントを開始する時間を、［時］、［分］で設定します。**

補足 ・時刻は、24 時間制です。

6 **［蓄積する文書名］から、［文書名を入力する］、または［自動取得］を選択します。**

補足 ・［文書名を入力する］を選択した場合は、［文書名］に文書の名前を入力します。入力できる文字は、半角英数、半角カタカナで 12 バイトまでです。
・［自動取得］を選択した場合、ドキュメント名などが、蓄積する文書名になります。ドキュメント名などが 24 バイトを超える場合は、文書名が日付などに置き換わります。

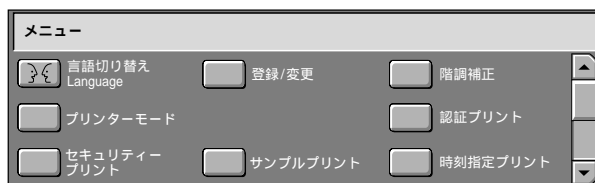
7 **［OK］をクリックします。**

8 **［基本］タブで［OK］をクリックし、プリントを実行します。**
指定した時刻になると、プリントが開始されます。

操作パネルでの操作

操作パネルで、本機に蓄積されたプリントデータをプリントします。

補足 ・操作パネルでの操作は、ジョブ確認でも同様に操作できます。ジョブ確認での操作については、「時刻指定プリント」（P.167）を参照してください。

1 **操作パネルのメニュー画面で、［時刻指定プリント］を押します。**

2 **プリントしたい文書を選択し、［プリント実行］を押します。**

3 **［はい（プリント開始）］を押します。**

■はい（プリント開始）

文書のプリントを開始します。実行後、文書は削除されます。予定時刻にはプリントされません。

■いいえ（開始しない）

文書のプリントを取り消します。

ユーザー ID ごとにプリントデータを蓄積する（プライベートプリント）

本機は、認証用ユーザー ID ごとにプリントデータを蓄積させる、プライベートプリント機能を使用できます。プリントしたいときに、本機側の指示でプリントできるので、無駄なプリントを抑えることができます。また、認証されたユーザーの文書だけが本機に表示されるので、プライバシーの保護を図ることができます。

注記 ・ 内蔵ハードディスクは、故障する可能性があります。ハードディスク内に蓄積している文書で大切なデータは、バックアップを取ることをお勧めします。

補足 ・ 無駄な文書を蓄積させたくない場合は、「認証プリントの設定」の「認証が不正のジョブ」（P.250）の設定を、［ジョブを中止］に設定してください。認証が成功したジョブだけ、蓄積されます。

プライベートプリントの設定

プライベートプリントをする方法を説明します。

本機で受信したプリントジョブを、プライベートプリントに保存する設定をした場合、受信したプリントジョブは、認証用ユーザー ID ごとに保存されます。

操作パネルでの設定

プライベートプリント機能を有効にするには、まず、本機の操作パネルで、プライベートプリントを設定し、認証 / 集計機能を有効にします。本機に、プライベートプリントを設定すると、プリントデータは、プリンターに蓄積され、操作パネルで認証、およびプリントを実行するまで、出力されません。

プライベートプリントの設定については、「認証プリントの設定」(P.249) を参照してください。

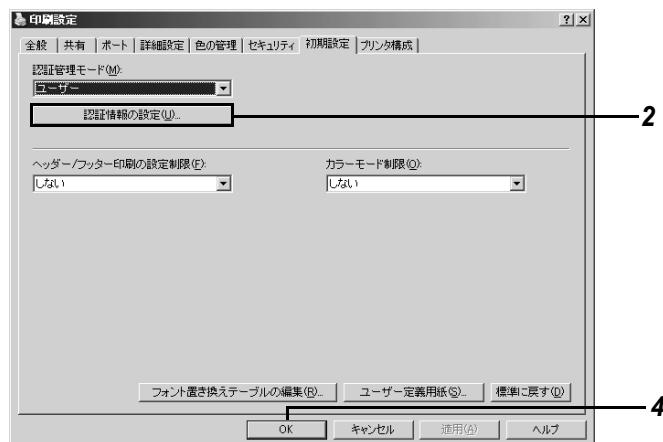
プライベートプリントのプリント方法については、「プリントの仕方」(P.141) を参照してください。

認証 / 集計機能の設定については、「認証 / 集計の運用」(P.251) を参照してください。

プリンタードライバーでの設定

プライベートプリントをするには、プリンタードライバーで、［User ID］と［パスワード］を設定します。この認証情報は、常に同じ認証情報を使用する方法と、ジョブごとに認証情報を入力する方法の、2 種類があります。

1 ［スタート］メニューの［プリンタと FAX］をクリックし、使用するプリンターのプロパティを表示します。

2 ［初期設定］タブをクリックし［認証情報の設定］をクリックします。

■常に同じ認証情報を使用する

1)［常に同じ認証情報を使用する］をチェックします。

2)［User ID の指定］で、［ログイン名を使用する］、または［ID を入力する］の、どちらかを選択します。

注記 • ［User ID］は、本機に登録されているものに合わせてください。
• 使用する［User ID］は、本機の管理者に確認してください。

• ［ログイン名を使用する］

User ID（ジョブオーナー名）として、Windows のログイン名が使用されます。［User ID］は、「ログインユーザー名」になります。

• ［ID を入力する］

User ID（ジョブオーナー名）を入力する場合に選択します。
下に表示される［User ID］に、User ID を入力します。

補足 • ［User ID］は、32 バイト（半角で 32 文字、全角で 16 文字）以内で入力します。

3)［パスワード］を設定します。

注記 • ［パスワード］は、本機に登録されているものに合わせてください。
• 使用する［パスワード］は、本機の管理者に確認してください。

補足 • ［User ID］の［パスワード］を、半角英数字で 4 〜 12 文字の範囲で入力します。入力した文字は、* で表示されます。

■ジョブごとに認証情報を入力する

1)［ジョブごとに認証の入力画面を表示する］をチェックします。

2) 必要に応じて、詳細を設定します。

各項目の詳細については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

3 ［認証情報の設定］ダイアログボックスの［OK］をクリックします。

4 プリンターのプロパティ画面で、［OK］をクリックします。

プリントの仕方

プリントの仕方について説明します。

コンピューターから操作する

「基本操作」(P.105) を参照して、コンピューターから、プリントデータを本機に送信します。本機のプライベートプリントに、プリントデータが蓄積されます。

蓄積されたプリントデータをプリントする

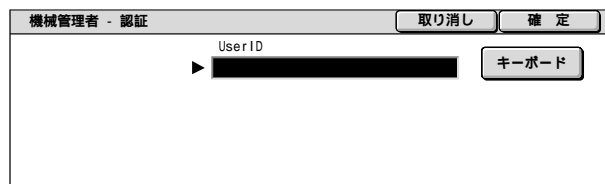
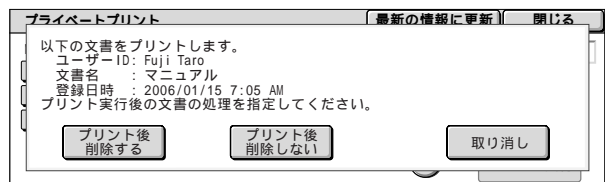
本機に蓄積されたプリントデータをプリントする操作手順は、次のとおりです。

補足 ・プライベートプリントに蓄積された文書のプリントは、「ジョブを確認する」(P.160) でも操作できます。ジョブ確認での操作については、「プライベートプリント」(P.162) を参照してください。

1 〈認証（仕様設定 / 登録）〉ボタンを押します。

2 数字ボタンまたは［キーボード］を押して、表示されるキーボードを使って、User ID を入力し、確定を押します。

補足 ・パスワードが必要な場合は、パスワードを入力してください。

3 操作パネルのメニュー画面で、［プライベートプリント］を押します。

4 プリントしたい文書を選択し、［プリント実行］を押します。

5 プリント実行後の文書の処理を選択します。

- ［プリント後削除する］
  文書のプリントを開始します。実行後、文書は削除されます。
- ［プリント後削除しない］
  文書のプリントを開始します。実行後も、文書はそのまま保存されています。
- ［取り消し］
  文書のプリントを取り消します。

ユーザーを認証して情報漏えいリスクを抑止する（認証プリント）

本機は、認証プリント機能を使用できます。認証プリントとは、プリント時にユーザーを認証して、紙面による情報漏えいリスクを抑止する機能です。

注記 ・内蔵ハードディスクは、故障する可能性があります。ハードディスク内に蓄積している文書で大切なデータは、バックアップを取ることをお勧めします。

認証プリントの設定

認証プリントの設定方法を説明します。

本機で受信したプリントジョブを、認証プリントに保存する設定をした場合、受信したプリントジョブは、蓄積用ユーザー ID ごとに保存されます。蓄積用ユーザー ID は、プリンタードライバーで設定します。蓄積用ユーザー ID が設定されていないプリントジョブは、［ユーザー ID なし］に、保存されます。

操作パネルでの設定

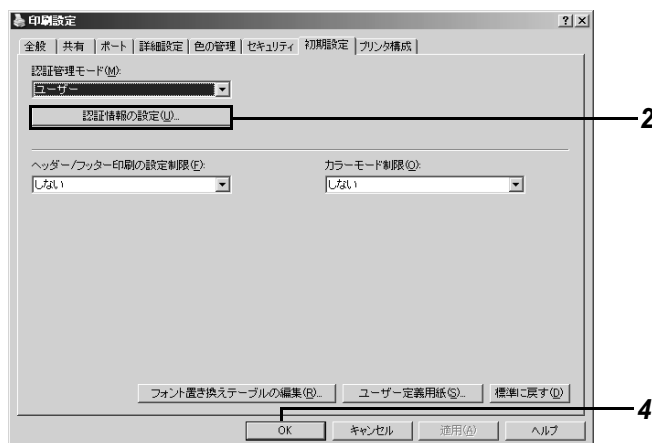
認証プリント機能を有効にするには、まず、本機の操作パネルで、認証プリントを設定します。本機に、認証プリントを設定すると、プリントデータは、プリンターに蓄積され、操作パネルでプリントを実行するまで、出力されません。

認証プリントの設定については、「認証プリントの設定」(P.249) を参照してください。
認証プリントのプリント方法については、「プリントの仕方」(P.143) を参照してください。

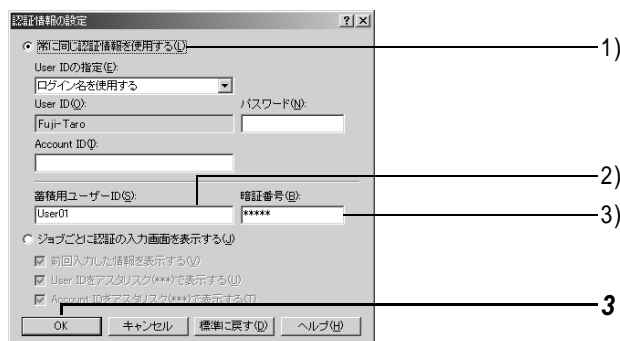
プリンタードライバーでの設定

認証プリントをするには、プリンタードライバーで、［蓄積用ユーザー ID］と［暗証番号］を設定します。この認証情報は、常に同じ認証情報を使用する方法と、ジョブごとに認証情報を入力する方法の、2 種類があります。

1 ［スタート］メニューの［プリンタと FAX］をクリックし、使用するプリンターのプロパティを表示します。

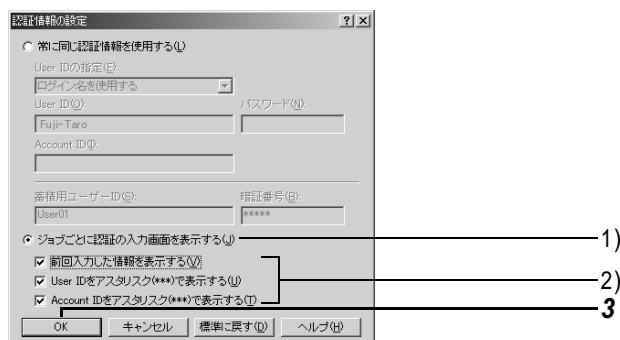
2 ［初期設定］タブをクリックし［認証情報の設定］をクリックします。

■常に同じ認証情報を使用する

1)［常に同じ認証情報を使用する］をチェックします。

2)［蓄積用ユーザー ID］を設定します。

補足 ・［蓄積用ユーザー ID］に入力した文字列は、本機の認証プリント機能で、保存文書を識別するための名前として表示されます。User ID とは異なり、本機に登録されている情報ではありません。
・蓄積用ユーザー ID は、24 バイト（半角で 24 文字、全角で 12 文字）以内で入力します。

3)［暗証番号］を設定します。

補足 ・蓄積用ユーザー ID に対する暗証番号を、半角数字で 12 文字以内で入力します。入力した番号は、* で表示されます。
・空欄のまま［OK］ボタンをクリックすると、暗証番号なしの設定になります。

■ジョブごとに認証情報を入力する

1)［ジョブごとに認証の入力画面を表示する］をチェックします。

2) 必要に応じて、詳細を設定します。

各項目の詳細については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

3 ［認証情報の設定］ダイアログボックスの［OK］をクリックします。

4 プリンターのプロパティ画面で、［OK］をクリックします。

プリントの仕方

認証プリントの仕方について説明します。

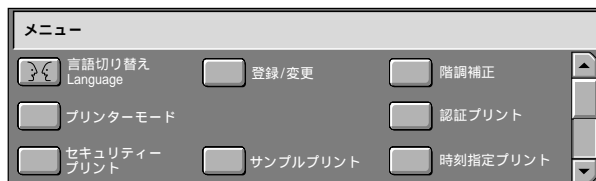
コンピューターから操作する

「基本操作」(P.105) を参照して、コンピューターから、プリントデータを本機に送信します。本機の認証プリントに、プリントデータが蓄積されます。

蓄積されたプリントデータをプリントする

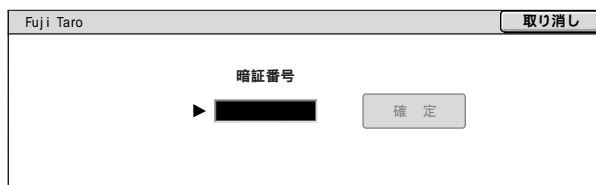
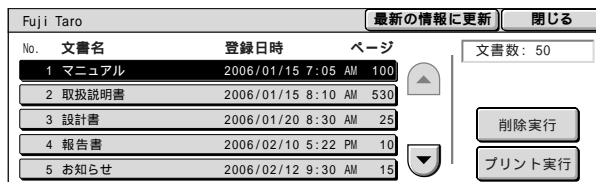
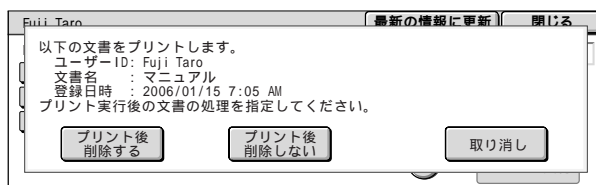
本機に蓄積されたプリントデータをプリントする操作手順は、次のとおりです。

補足 ・認証プリントに蓄積された文書のプリントは、「ジョブを確認する」(P.160) でも操作できます。ジョブ確認での操作については、「認証プリント」(P.163) を参照してください。

1 **操作パネルのメニュー画面で、[認証プリント]を押します。**

2 **確認したいユーザーを選択し、[文書確認 / プリント]を押します。**

補足 • [最新の情報に更新]を押すと、最新の情報が表示されます。
• [▲]を押して前画面、[▼]を押して次画面を表示できます。
• 数字ボタンで 3 桁の番号を入力すると、直接指定できます。

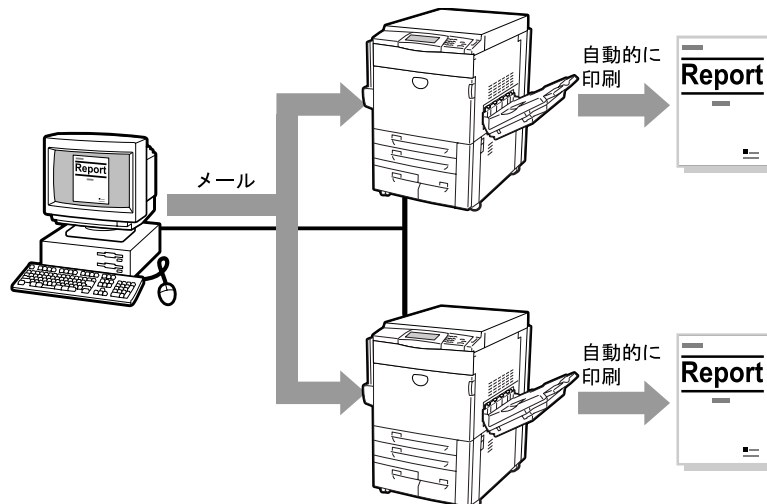
3 **暗証番号を入力し、[確定]を押します。**

補足 • 暗証番号が設定されていない場合、[暗証番号]画面は表示されません。

4 **プリントしたい文書を選択し、[プリント実行]を押します。**

5 **プリント実行後の文書の処理を選択します。**

• **[プリント後削除する]**
文書のプリントを開始します。実行後、文書は削除されます。
• **[プリント後削除しない]**
文書のプリントを開始します。実行後も、文書はそのまま保存されています。
• **[取り消し]**
文書のプリントを取り消します。

文書をメールでプリンターに送る（メールプリント）

プリンターがネットワークに接続され、TCP/IP での通信、およびメールの送受信ができる環境がある場合は、コンピューターからプリンターあてにメール送信できます。

コンピューターから送信されたメールの本文、およびメールに添付された TIFF 形式、PDF 形式の文書が、プリンターからプリントされます。

この機能を「メールプリント」といいます。

メールプリントをするための環境設定

メールプリント機能を使用するためには、お使いのネットワーク環境にある各種サーバー（SMTP サーバーや POP3 サーバーなど）の設定が必要です。

メール環境の設定については、「メール機能の設定」(P.61) を参照してください。

補足 ・メール環境の設定については、ネットワーク管理者にご相談ください。

メールを送信する

送信できる添付ファイル

添付文書として送信できるのは、次のファイルです。

- PDF ファイル
- Tiff ファイル

ここでは、Outlook Express を例にコンピューターから各プリンターにメールを送信する方法を説明します。

1 お使いのメールソフトウエアで本文を作成し、TIFF または、PDF ファイルの添付文書がある場合は添付します。

注記 ・メールの本文は、テキスト形式だけ使用できます。お使いのメールソフトウエアの設定で、メール本文の形式をテキスト形式にしてください。

補足 ・添付ファイルの拡張子が、「.tif」、または「.pdf」以外の場合は、正しくプリントされないことがあります。
・最大 31 文書まで添付できます。

2 あて先に本機のメールアドレスを入力します。

3 メールを送信します。

本機でメールを受信後、自動的にプリントされます。

補足
- メール本文、および添付文書は、受信プリンター側の以下の設定でプリントされます。なお、どの場合も、オフセット排出機能の指定は無効になります。
- メール本文：
  コンピューターにインストールされている、本機用の ART EX プリンタードライバーの初期値
- TIFF ファイルの添付文書：
  CentreWare Internet Services の［エミュレーション設定］にある［TIFF］の［使用するメモリー設定］で設定されている論理プリンターの初期値
- PDF ファイルの添付文書：
  「プリンターモード」(P.257) の、[PDF エミュレーション設定] に設定されている値

メールによる文書送信時のご注意

セキュリティーに関するご注意

メールは、世界中のコンピューターとつながったインターネットを伝送経路として使用します。そのため、第三者に盗み見られたり、改ざんされたりしないよう、セキュリティーに関しての注意が必要です。

したがって、重要情報はセキュリティーが確保されているほかの方法を利用することをお勧めします。また、不用メールの受信を防止するため、本機のメールアドレスを、不用意に第三者に開示しないことをお勧めします。

受信許可ドメインの設定

本機では、特定のドメインからだけのメールを受信するように設定できます。

受信許可ドメインの設定方法については、CentreWare Internet Services のオンラインヘルプを参照してください。

カラープリントの詳細な設定をする（印刷モード）

カラーでプリントする場合の詳細な設定ができます。設定は、［グラフィックス］タブを表示して行います。ここでは、［グラフィックス］タブで設定できる画質などの印刷モードについて説明します。

［カラーモード］について

［カラーモード］は、［カラー（自動判別）］、［白黒］から選択します。

選択肢	内容
カラー（自動判別）	原稿のページごとに、カラーか白黒かが自動的に判別されます。白黒以外の色が使われている場合は、カラーでプリントされます。白黒だけが使われている場合は、白黒でプリントされます。
白黒	白黒でプリントされます。

また、［自動モードのあいまい判定］をオンにすると、［カラー（自動判別）］を選択しているときに、カラーと白黒の判定の基準をゆるめます。有彩色を含む色も、ある程度無彩色と判定し、白黒モードで出力します。

［印刷モード］について

［印刷モード］は、［標準］、［高画質］、［高精細］から選択します。

選択肢	内容
標準	画質と速度のバランスを保ちながら、速くプリントします。
高画質	高画質でプリントしたい場合に選択します。
高精細	細かい線がなどを、より高い解像度でプリントしたい場合に選択します。

補足
- ［高画質］、［高精細］を選択した場合は、［標準］を選択した場合よりもプリント時間が長くなることがあります。
- プリントに時間がかかる場合は、［詳細設定］タブの［設定項目］で［ページ印刷モード］の設定を［する］に変更してプリントをお試しください。プリント時間が短縮される場合があります。

［画質調整モード］について

［画質調整モード］は、［おすすめ］、［ICM 調整（システム）］、［CMS 調整（アプリケーション）］、［色変換しない］から選択します。［おすすめ］を選択した場合は、［おすすめ画質タイプ］から、画質タイプを選択します。

［おすすめ］

弊社独自の方式で、画質調整を行います。

画質タイプを選択するときは、ART EX プリンタードライバー画面の左上に表示される画質イメージを参考にしてください。選択できる項目は、次のとおりです。

選択肢	内容
標準	文字やグラフ、写真などが混在した文書をプリントします。
写真	写真やグラデーションをより美しく再現できます。sRGB で表現される画像のプリントに適しています。
プレゼンテーション	色を鮮やかに調整してプリントします。プレゼンテーション資料に適しています。

選択肢	内容
Web ページ	ページなどディスプレイ表示を再現したい場合に効果的です。
CAD	細い線で描かれた図面や細かい文字の多い原稿をプリントする場合に適しています。
POP	POP のように鮮やかな色を使用した原稿をプリントしたい場合に効果的です。

[ICM 調整(システム)]

Windows 98/Windows Me/Windows 2000/Windows XP/Windows Server 2003 の ICM 機能を使用して色変換を行います。[ICM 調整(システム)]は、Windows 98/Windows Me/Windows 2000/Windows XP/Windows Server 2003 の場合に、表示されます。

[ICM 調整(システム)]を選択した場合は、[インテント]から色の変換方式を選択します。

補足 ・本機用の ICC プロファイルを使用するには、ICC プロファイルを「x(ドライブ名):\[Windows システムディレクトリー]\color\」にコピーします。

選択できる項目は、次のとおりです。

選択肢	内容
鮮やかさ (Saturation)	プレゼンテーションなどのグラフィックスの再現性がよくなるように色変換します。
コントラスト (Perceptual)	写真などのイメージの再現性がよくなるように色変換します。
カラーメトリック (Colorimetric)	プリンターで再現できるな色だけを適切に再現し、再現範囲外の色は他の色に変換します。

[CMS 調整(アプリケーション)]

プリンタードライバーは、色変換をしません。独自の CMS(カラーマネージメントシステム)を持つアプリケーションからプリントする場合は、プリンターの特性に合わせて色変換された色データをプリンタードライバーに指示します。この場合、プリンタードライバーで二重に色変換をしないように、この項目を選択します。

[写真画質の自動補正]

プリントする原稿の特長に合わせて、プリント方法を指定します。ページ内の写真などのイメージデータを、指定した画質タイプの特性に応じて、自動で補正します。

補足 ・[グラフィックス]タブ、または[基本]タブの[カラーモード]が[白黒]の場合と、[画質調整モード]が[ICM 調整(システム)]、または[CMS 調整(アプリケーション)]の場合には、ここでの設定は選択できません。
・[ICM 調整(システム)]は、Windows 98/Windows Me/Windows 2000/Windows XP/Windows Server 2003 で表示されます。

プリントの仕方

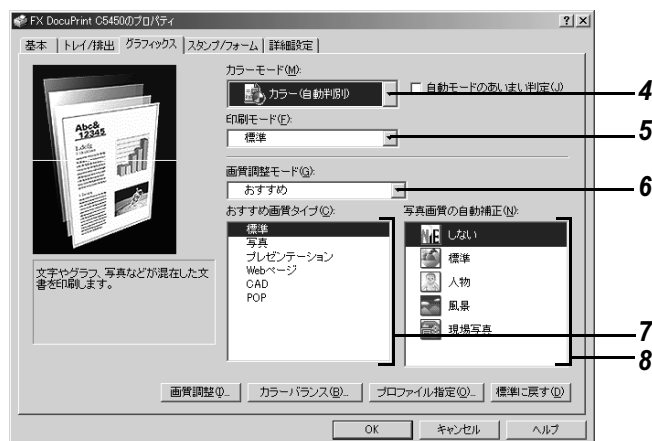
ここでは、Windows XP のワードパッドを例に説明します。その他の OS 環境での設定も同様です。

補足 ・本機のプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。

1 ［ファイル］メニューから、［印刷］を選択します。

2 ［プリンタ名］を確認し、［詳細設定］をクリックします。

3 ［グラフィックス］タブをクリックします。

4 ［カラーモード］から、［カラー（自動判別）］または［白黒］を選択します。

補足 ・変更の結果は、左上の画質イメージで確認できます。

5 ［印刷モード］から、［標準］、［高画質］、［高精細］のどれかを選択します。

6 ［画質調整モード］から、モードを選択します。

7 ［画質調整モード］で［おすすめ］を選択した場合は、［おすすめ画質タイプ］から、画質タイプを選択します。［ICM 調整（システム）］を選択した場合は、［インテント］から、色の変換方式を選択します。

補足 ・［ICM 調整（システム）］は、Windows 98/Windows Me/Windows 2000/Windows XP/Windows Server 2003 の場合に表示されます。

8 ［写真画質の自動補正］で、原稿の特長に合わせてプリント方法を選択します。

9 ［OK］をクリックし、プリントを実行します。

画質を調整してプリントする

画質について、詳細な設定をしてプリントできます。

設定は、グラフィックスプロパティを表示して行います。グラフィックスプロパティには 3 つのタブがあります。

それぞれのタブで設定できる項目は、次のとおりです。

タブ名	内容
画質調整	明度 / 彩度 / コントラストを原稿全体、または文字、図 / 表 / グラフ、写真の原稿要素ごとに調整できます。
カラーバランス	ブラック / シアン / マゼンタ / イエローのトナー濃度を微調整できます。それぞれ低濃度、中濃度、高濃度の設定ができます。
プロファイル指定	原稿画像を忠実に再現するために、デバイス(モニター、スキャナーなど)の特性に合わせた、色温度 / ガンマ指定の設定や、ICC プロファイルの指定ができます。

明度 / 彩度 / コントラストを調整する

明度 / 彩度 / コントラストは、原稿全体、または[文字]、[図 / 表 / グラフ]、[写真]の原稿要素ごとに調整できます。

明度 / 彩度 / コントラストは、それぞれ -100 〜 100 の範囲で、1 刻みに指定できます。原稿要素ごとに設定した場合は、プリントするページ内の要素を自動的に判断し、それぞれの設定値を適用します。

項目名	内容
明度	色の明暗の度合いを表します。明度が高いほど白に近く見えます。
コントラスト	白から黒までの明暗の変化の度合いを表します。コントラストが高いほど明暗の変化がはっきりします。
彩度	色の鮮やかさの度合いです。彩度が高いほど色が鮮やかです。

調整は、[画質調整]タブを表示して行います。

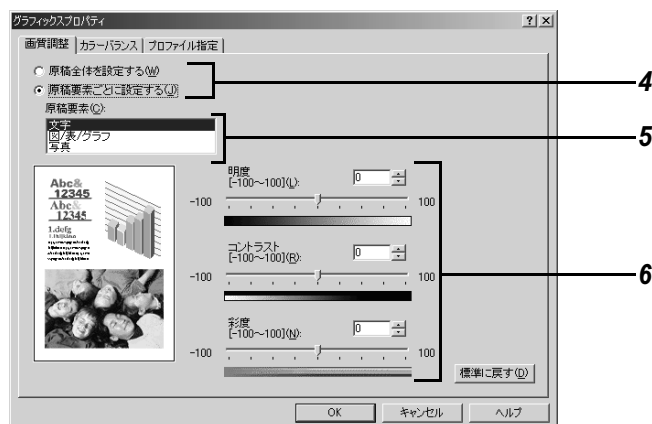
ここでは、Windows XP のワードパッドを例に説明します。その他の OS での手順も同様です。

補足
- [グラフィックス]タブの[画質調整]モードが[ICM 調整(システム)]、または[CMS 調整(アプリケーション)]の場合は、明度 / 彩度 / コントラストは調整できません。[ICM 調整(システム)]は、Windows 98/Windows Me/Windows 2000/Windows XP/Windows Server 2003 の場合に表示されます。
- [グラフィックス]タブの[カラーモード]が[白黒]の場合は、彩度は調整できません。
- プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。

1. [ファイル]メニューから、[印刷]を選択します。
2. [プリンタ名]を確認し、[詳細設定]をクリックします。

3 ［グラフィックス］タブをクリックし、［画質調整］をクリックします。

グラフィックスプロパティが開き、［画質調整］タブが表示されます。

4 ［原稿全体を設定する］、または［原稿要素ごとに設定する］をクリックします。

5 ［原稿要素ごとに設定する］を選択した場合は、下のリストボックスから原稿要素を選択します。

6 明度 / 彩度 / コントラストを調整します。キー入力、またはスライドバーで、-100 ～ 100 の範囲で、1 刻みに調整します。

補足 ・変更の結果は、左側の画質イメージで確認できます。

7 ［OK］をクリックします。

カラーバランスを調整する

CMYK（シアン / マゼンタ / イエロー / ブラック）のトナー濃度を調整してプリントできます。

各色とも低濃度 / 中濃度 / 高濃度に対して、それぞれ -3 ～ +3 の範囲で、7 段階の調整ができます。

調整は、［カラーバランス］タブを表示して行います。

ここでは、Windows XP のワードパッドを例に説明します。その他の OS での手順も同様です。

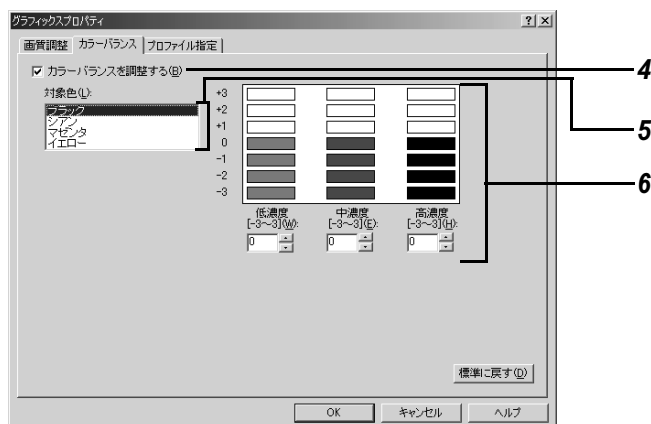
補足 ・プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。
・［グラフィックス］タブの［カラーモード］が［白黒］の場合は、ブラックだけ調整できます。

1 ［ファイル］メニューから、［印刷］を選択します。

2 ［プリンタ名］を確認し、［詳細設定］をクリックします。

3 ［グラフィックス］タブをクリックし、［カラーバランス］をクリックします。

グラフィックスプロパティが開き、［カラーバランス］タブが表示されます。

4 ［カラーバランスを調整する］チェックボックスをオンにします。

5 ［対象色］のリストボックスから、調整する色を選択します。

6 濃度を調整します。

補足 ・低濃度 / 中濃度 / 高濃度のグラフの下の［▲］［▼］ボタンを使い、-3 ～ +3 の範囲で、7 段階の調整ができます。変更の結果は、グラフに表示されます。

7 ［OK］をクリックします。

デバイス（モニター、スキャナーなど）の特性の違いを補正する

原稿画像を忠実に再現するために、デバイス（モニター、スキャナーなど）の特性に合わせた補正を行ってプリントできます。

補正方法には［色温度 / ガンマ指定］と、［ICC プロファイル指定］があります。

［色温度 / ガンマ指定］は、すべての原稿要素に適応する［色温度］と［ガンマ補正］が指定できます。

項目名	内容
色温度	使用しているモニターの設定に合わせて、すべての原稿要素の色あいを変化させます。モニターの特性に最も近いものを選択してください。［5000K（D50）］、［6500K（D65）］、［9300K］から選択できます。
ガンマ補正	すべての原稿要素の明るさを変化させます。［1.0］、［1.4］、［1.8］、［2.2］、［2.6］から選択できます。

［ICC プロファイル指定］は、［モニター］と［入力画像］に対して ICC プロファイルを指定できます。ICC プロファイルとは、デバイスの色に関する特性を記述したファイルです。選択できる ICC プロファイルは、モニターと RGB スキャナーのものに限ります。

項目名	内容
モニター	文字、図、表、グラフに適応する ICC プロファイルを指定します。［しない］、または「最後に選択された有効なプロファイル名」を選択します。通常は、使用しているモニターの ICC プロファイルを選択します。
入力画像	イメージデータに適応する ICC プロファイルを指定します。［しない］、［モニターと同じ］、「最後に選択された有効なプロファイル名」から選択します。通常は、イメージを入力した RGB スキャナーの ICC プロファイルを選択します。

補足 ・「最後に選択された有効なプロファイル名」は、以前に ICC プロファイルを指定したことがある場合に表示されます。

また、［モニター］、［入力画像］ともに、ICC プロファイルを任意のフォルダーから読み込むことができます。［ICC プロファイルの選択］ダイアログボックスでは、ICC プロファイル拡張子の「.icm」を持つファイルだけが表示されます。指定できるファイル名は、フルパスで半角 128 文字です。

［ICC プロファイルの選択］ダイアログボックスを開くときのデフォルトディレクトリーは、次のとおりです。

Windows 98/Me/2000/XP/Server 2003:

x:\［Windows システムディレクトリー］\color

補足 ・「x」は、システムが入っているドライブ名を表しています。

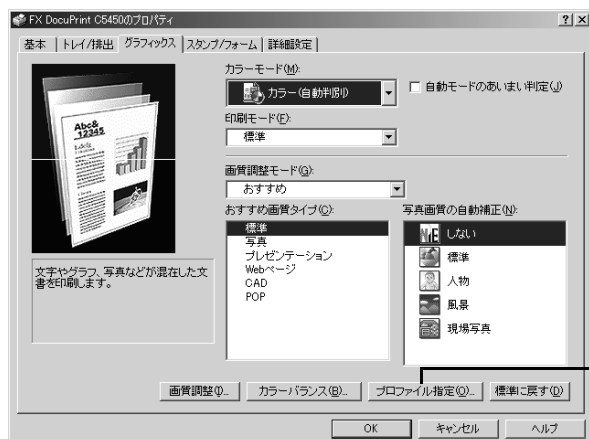
調整は、［プロファイル指定］タブを表示して行います。

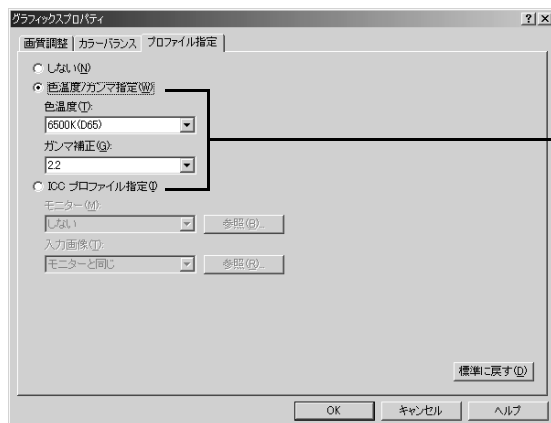
ここでは、Windows XP のワードパッドを例に説明します。その他の OS での手順も同様です。

補足 ・［グラフィックス］タブの［画質調整］モードが［ICM 調整（システム）］、または［CMS 調整（アプリケーション）］の場合は、補正できません。［ICM 調整（システム）］は、Windows 98/Windows Me/Windows 2000/Windows XP/Windows Server 2003 の場合に表示されます。
・プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。

1 **［ファイル］メニューから、［印刷］を選択します。**

2 **［プリンタ名］を確認し、［プロパティ］をクリックします。**

3 ［グラフィックス］タブをクリックし、［プロファイル指定］をクリックします。

グラフィックスプロパティが開き、［プロファイル指定］タブが表示されます。

4 ［色温度 / ガンマ指定］、または［ICC プロファイル指定］をクリックして、補正方法を選択します。

5 選択した補正方法の詳細を指定します。

6 ［OK］をクリックします。

PDF/TIFF ファイルを直接プリントする（コンテンツブリッジ）

本機では、PDF/TIFF ファイルをプリンタードライバーを使用しないで直接プリンターに送信してプリントできます。プリントデータが直接プリンターに送信されるので、プリンタードライバーを使用してプリントするときよりも簡単で高速にプリントされます。PDF/TIFF ファイルを直接プリントする方法には、次の 2 種類があります。

■コンテンツブリッジを使用する

コンテンツブリッジを使用して PDF ファイルをプリントするには、弊社ソフトウエアの ContentsBridge Utility を使用する方法と、lpr コマンドなどを使って直接プリンターに送信してプリントする方法があります。

補足 • ContentsBridge Utility を使用する場合は、「ContentsBridge Utility を使用して PDF/TIFF ファイルをプリントする」（P.156）を参照してください。lpr コマンドなどを使用する場合は、「ContentsBridge Utility を使用しないで PDF/TIFF ファイルをプリントする」（P.158）を参照してください。

■PostScript の機能を使用する

PS3 キットヘイセイ 2 ショタイ（オプション）を装着している場合は、PostScript の機能を使用して PDF ファイルを直接プリンターに送信してプリントできます。

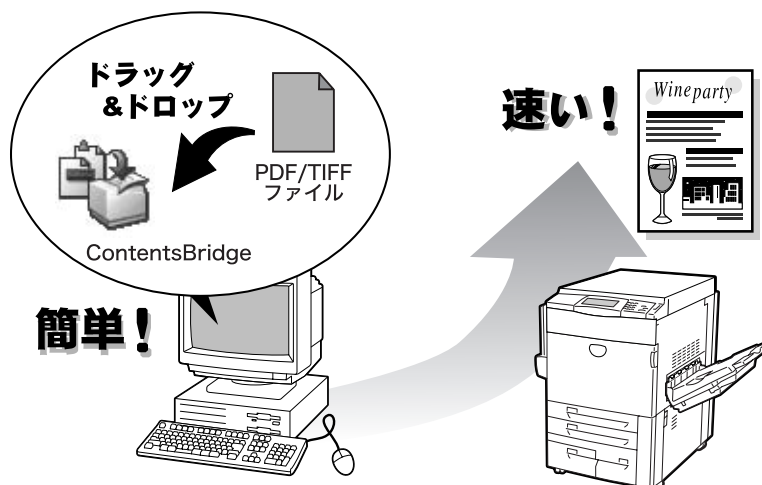
補足 • PostScript の機能を使用して PDF ファイルを直接プリントするときは、「PDF ダイレクトプリントを使用するには」（P.349）の「プリント処理モード」を「PS」に設定してから、「ContentsBridge Utility を使用しないで PDF/TIFF ファイルをプリントする」（P.158）を参照してプリントしてください。

注記 • USB ポートを使用して PDF ファイルを直接プリントするときは、ContentsBridge Utility を使用してください。

プリントできる PDF ファイル

プリントできる PDF ファイルは、PDF1.6（Adobe Acrobat 7）仕様準拠（PDF1.4 で追加された一部機能は除く）です。

補足 • PDF ファイルの作成方法によって、プリンターに直接プリントできないことがあります。その場合は、PDF ファイルを開き、プリンタードライバーを使ってプリントしてください。

ContentsBridge Utility を使用して PDF/TIFF ファイルをプリントする

ContentsBridge Utility の動作環境

●対象 OS

Windows Windows 98/Windows Me/Windows 2000/Windows XP/Windows Server 2003

ContentsBridge Utility をインストールする

コンピューターの任意のフォルダーまたはデスクトップに、ドライバー CD キットの CD-ROM を使って ContentsBridge をインストールします。

インストール方法ついては、ドライバー CD キットの CD-ROM 内のマニュアル（HTML 文書）を参照してください。

ContentsBridge Utility で設定できる項目

［基本］
- 印刷範囲
- 印刷部数
- ［注釈］を印刷する
- カラーモード
- 印刷モード
- 出力用紙サイズ
- レイアウト
- 両面

［トレイ / 排出］
- 用紙トレイ選択
- 用紙種類
- ホチキス
- パンチ

［詳細設定］
- プリント種類
- バナーシートを出力する
- PDFセキュリティーをチェックする

PDF/TIFF ファイルをプリントする

1 **デスクトップの［ContentsBridge］アイコンをダブルクリックします。**

［ContentsBridge］ダイアログボックスが表示されます。

2 ［プリンタ］を本機に設定します。

3 ［印刷するファイル］にプリントする PDF/TIFF ファイルのパスを入力するか、［参照］をクリックして対象のファイルを指定します。

4 ［印刷設定］をクリックします。

［印刷設定］ダイアログボックスが表示されます。

5 各項目を設定します。

6 ［印刷設定］ダイアログボックスの［OK］をクリックします。

7 ［ContentsBridge］ダイアログボックスで［印刷］をクリックします。

プリントデータがプリンターに送信されます。
このとき、PDF/TIFF ファイルにパスワードが設定されている場合は、ダイアログボックスが表示されます。PDF/TIFF ファイルに設定されているパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

8 ［ContentsBridge］ダイアログボックスの［閉じる］をクリックします。

PDF/TIFF ファイルを、簡単な手順でプリントする

本機を通常使うプリンターに設定し、［ContentsBridge.exe］のショートカットアイコンをデスクトップ上に作成すると、PDF/TIFF ファイルを簡単な手順でプリントできます。

1 プリントするPDF/TIFFファイルを、ContentsBridge.exeのショートカットアイコン上にドラッグ & ドロップします。

［ContentsBridge］ダイアログボックスが表示されます。

2 **[ContentsBridge] ダイアログボックスでプリント形式を設定する場合は、[印刷設定] をクリックします（①）。**

設定する必要がない場合は、[ContentsBridge] ダイアログボックスの [印刷] をクリックします（②）。

プリントデータがプリンターに送信されます。

通常使うプリンターが選択されます。

チェックすると次に起動するときからは、PDF ファイルをドラッグ&ドロップするだけでプリントデータがプリンターに送信されます。

補足 ・チェックを解除する場合は、ショートカットアイコンをダブルクリックして起動してください。次にドラッグ & ドロップしたときには、再び [ContentsBridge] ダイアログボックスが表示されます。

[OK] をクリックし、[ContentsBridge] ダイアログボックスで [印刷] をクリックすると、プリントデータがプリンターに送信されます。

ContentsBridge Utility を使用しないで PDF/TIFF ファイルをプリントする

ContentsBridge Utility を使用しないで、PDF ファイルを直接 lpr コマンドなどを使ってプリンターに送信しプリントします。この場合、次の項目は操作パネルの設定に従ってプリントされます。

- **出力部数**
- **両面**
- **印刷モード**
- **ソート**
- **レイアウト**
- **用紙サイズ**
- **カラーモード**
- **プリント処理モード**

項目について、詳しくは「PDF ダイレクトプリントを使用するには」(P.349) を参照してください。

補足 ・「プリント処理モード」は、PS3 キットヘイセイ 2 ショタイ（オプション）が装着されている場合に表示されます。
・「レイアウト」は、「プリント処理モード」で「PDF Bridge」が選択されている場合に表示されます。
・lpr コマンドを使ってプリントする場合、部数の指定は lpr コマンドで行います。操作パネルの「出力部数」の設定は無効になります。なお、lpr コマンドで部数の指定をしない場合は、1 部として処理されます。

lpr コマンドを使って PDF/TIFF ファイルをプリントする場合は、操作パネルまたは CentreWare Internet Services を使って、プリンター側の LPD プロトコルを起動しておく必要があります。

操作パネルの操作は「TCP/IP（LPD/Port9100）での設置」(P.54)、CentreWare Internet Services の操作は「LPD」(P.90) を、参照してください。

対象 OS

Windows NT 4.0/Windows 2000/Windows XP/Windows Server 2003

PDF/TIFF ファイルをプリントする

lpr コマンドを使って PDF/TIFF ファイルをプリントする場合の、コンピューター側の指定例は、次のとおりです。

補足 ・空白（スペース）は、△で表します。

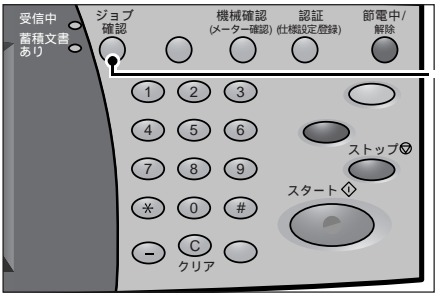
例：プリンターの IP アドレスが 192.168.1.100 で、setup.pdf ファイルをプリントする

```
C:\>lpr△-P△lp△-S△192.168.1.100△setup.pdf
```

〈Enter〉キー

ジョブを確認する

ジョブ確認では、実行中や実行待ちのジョブや、完了したジョブなどを確認できます。また、プリントを中止したり、ジョブを削除したりすることもできます。

1 **〈ジョブ確認〉ボタンを押します。**

［ジョブ確認］画面では、次のことができます。

■ジョブの確認 ［実行中 / 待ち］タブ

実行中や実行待ちのジョブをリストで確認したり、詳細を表示できます。また、実行中や実行待ちのジョブを中止できます。

詳細については、「実行中 / 実行待ちのジョブを確認する」(P.161) を参照してください。

■完了したジョブの状態確認 ［実行完了］タブ

完了したジョブの状態を表示できます。また、詳細を表示できます。

詳細については、「完了したジョブを確認する」(P.161) を参照してください。

■保存文書の確認 ［保存文書］タブ

認証プリント、セキュリティープリント、サンプルプリント、時刻指定プリントに保存されている文書のプリントや削除ができます。

詳細については、「保存文書をプリント / 削除する」(P.162) を参照してください。

実行中 / 実行待ちのジョブを確認する

実行中や実行待ちのジョブを確認する方法について説明します。

確認画面では、ジョブを中止したり、ジョブを優先的に実行したりできます。

1 〈ジョブ確認〉ボタンを押します。

2 実行中/実行待ちのジョブを確認します。

補足 ・［▲］を押して前画面、［▼］を押して次画面を表示できます。

3 ジョブを中止、または再開する場合は、該当するジョブを選択します。

4 ［中止］または［スタート］を選択します。

■中止

実行中や実行待ちのジョブの処理を中止します。

■ストップ

ジョブの処理を一時停止します。

■スタート

一時停止されたジョブを再開します。

完了したジョブを確認する

完了したジョブを確認する方法について説明します。

ジョブが正常に完了したかどうかを、確認できます。また、ジョブを選択すると、詳細を表示できます。

1 〈ジョブ確認〉ボタンを押します。

2 ［実行完了］タブを押します。

補足 ・［▲］を押して前画面、［▼］を押して次画面を表示できます。

3 ジョブの詳細を確認する場合は、該当するジョブを選択します。

4 確認後、［閉じる］を押します。

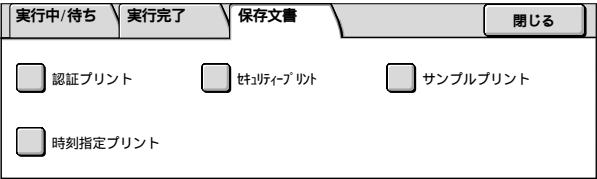
保存文書をプリント / 削除する

セキュリティープリントやサンプルプリントなどの機能で保存された文書、および認証プリントの受信制御で保存された文書を、プリントしたり、削除する方法について説明します。

各機能の詳細と参照先は、次のとおりです。

1 〈ジョブ確認〉ボタンを押します。

2 ［保存文書］タブを押します。

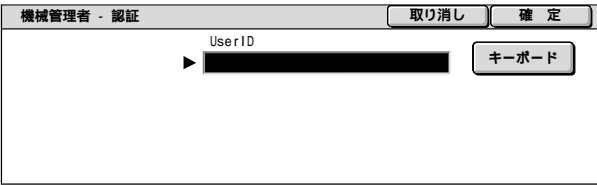
補足 ・［セキュリティープリント］は､「認証プリントの設定」（P.249）によって､［セキュリティープリント］と､［プライベートプリント］の､どちらかが表示されます。

プライベートプリント

「認証プリントの設定」(P.249) の［受信制御］で、プライベートプリントに保存するよう設定した場合、受信したプリントジョブは、認証用ユーザー ID ごとに保存されます。

補足 ・この項目は､「認証プリントの設定」(P.249) の［受信制御］が、次のどちらかの設定の場合に表示されます。
- ［プリンターの認証に従う］で［認証成功したジョブ］に［プライベートプリントに保存］が設定されている場合
- ［プライベートプリントに保存］が設定されている場合

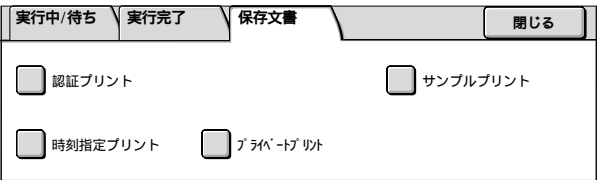
プライベートプリントに保存された文書のプリント、および削除方法について説明します。

1 〈認証（仕様設定 / 登録）〉ボタンを押します。

2 数字ボタン、または［キーボード］を押して表示されるキーボードを使って、User ID を入力し、［確定］を押します。

3 <ジョブ確認>ボタンを押します。

4 [保存文書] タブを押します。

5 ［プライベートプリント］を押します。

補足 ・機械管理者で認証した場合は、［プライベートプリント］を押すと認証用ユーザーID 一覧が表示されます。確認したいユーザー ID を選択して、［文書確認 / プリント］を押すと文書一覧が表示されます。

6 プリントまたは削除したい文書を選択します。

補足 ・[全文書選択] を押すと、すべての文書を選択できます。また、全文書選択を解除するには、再度ボタンを押します。

■[削除実行] を選択した場合

注記 ・削除した文書は、元に戻すことはできません。

1) [はい(削除する)] を選択します。

- [はい(削除する)]

  文書を削除します。

- [いいえ(削除しない)]

  文書の削除を取り消します。

■[プリント実行] を選択した場合

1) プリントしたあとの文書の処理を選択します。

- [プリント後削除する]

  文書のプリントを開始します。実行後、文書は削除されます。

- [プリント後削除しない]

  文書のプリントを開始します。実行後も、文書はそのまま保存されています。

- [取り消し]

  文書のプリントを取り消します。

認証プリント

「認証プリントの設定」(P.249) の [受信制御] で、認証プリントに保存するよう設定した場合、受信したプリントジョブは、蓄積用ユーザー ID ごとに保存されます。プリンタードライバー側で、蓄積用ユーザー ID が設定されていないジョブや、パスワードなどの認証情報が間違っているジョブは、「ユーザー ID なし」に保存されます。

補足 ・認証プリントは、プライベートプリントには保存できない、ユーザー ID なしのジョブ(Contents Bridge、CentreWare Internet Srvices を利用したプリント、メールプリントなど) も保存できるため、ユーザー ID なしのジョブも認証してプリントできます。

認証プリントに保存された文書のプリント、および削除方法について説明します。

1 〈認証 (仕様設定 / 登録)〉ボタンを押します。

2 数字ボタンまたは [キーボード] を押して表示されるキーボードを使って、User ID を入力し、[確定] を押します。

3 <ジョブ確認> ボタンを押します。

4 [保存文書] タブを押します。

5 [認証プリント] を押します。

6 **確認したいユーザーを選択し、[文書確認 / プリント] を押します。**

補足 ・[最新の情報に更新] を押すと、最新の情報が表示されます。
・[▲] を押して前画面、[▼] を押して次画面を表示できます。
・数字ボタンで 3 桁の番号を入力すると、直接指定できます。

7 **暗証番号を入力し、[確定] を押します。**

補足 ・暗証番号が設定されていない場合、[暗証番号] 画面は表示されません。

8 **プリントまたは削除したい文書を選択します。**

■[削除実行] を選択した場合

認証プリントで保存された文書を削除します。

注記 ・削除した文書は、元に戻すことはできません。

1) [削除実行] を押します。

2) [はい(削除する)]を選択します。

- **[はい (削除する)]**
  文書を削除します。
- **[いいえ (削除しない)]**
  文書の削除を取り消します。

■[プリント実行] を選択した場合

認証プリントで保存された文書をプリントします。

1) [プリント実行] を押します。

2) プリント実行後の文書の処理を選択します。

- **[プリント後削除する]**
  文書のプリントを開始します。実行後、文書は削除されます。
- **[プリント後削除しない]**
  文書のプリントを開始します。実行後も、文書はそのまま保存されています。
- **[取り消し]**
  文書のプリントを取り消します。

セキュリティープリント

セキュリティープリントの機能によって保存された文書のプリント、および削除方法について説明します。

セキュリティープリントの操作方法については、「機密文書をプリントする（セキュリティープリント）」(P.131) を参照してください。

補足 • この項目は、「認証プリントの設定」(P.249) の［受信制御］が、次の設定の場合は表示されません。
- ［プリンターの認証に従う］で［認証成功したジョブ］に［プライベートプリントに保存］が設定されている場合
- ［プライベートプリントに保存］が設定されている場合

• ［認証プリントの設定］の［受信制御］で、受信したジョブを、プライベートプリントまたは認証プリントに保存するよう設定した場合は、プリンタードライバーで、セキュリティープリントを指示しても、［保存文書］の［セキュリティープリント］には保存されません。

1 ［セキュリティープリント］を押します。

2 確認したいユーザーを選択し、［文書確認 / プリント］を押します。

補足 • ［最新の情報に更新］を押すと、最新の情報が表示されます。
• ［▲］を押して前画面、［▼］を押して次画面を表示できます。
• 数字ボタンで 3 桁の番号を入力すると、直接指定できます。

3 暗証番号を入力し、［確定］を押します。

補足 • 暗証番号が設定されていない場合、［暗証番号］画面は表示されません。

4 プリントまたは削除したい文書を選択します。

補足 • ［全文書選択］を押すと、すべての文書を選択できます。また、全文書選択を解除するには、再度ボタンを押します。

■［削除実行］を選択した場合

セキュリティープリント文書を削除します。

補足 • あるユーザー ID の文書をすべて削除すると、そのユーザー ID は削除されます。

注記 • 削除した文書は、元に戻すことはできません。

1) ［削除実行］を押します。

2) ［はい（削除する）］を選択します。

• ［はい（削除する)］
文書を削除します。

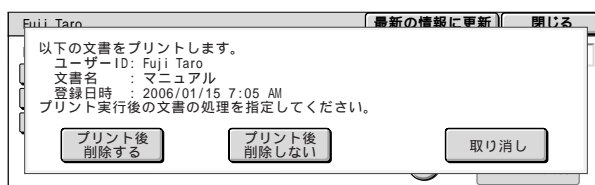
• ［いいえ（削除しない)］
文書の削除を取り消します。

■［プリント実行］を選択した場合

セキュリティープリント文書をプリントします。

1)［プリント実行］を押します。

2) プリント実行後の文書の処理を選択します。

- ［プリント後削除する］
  文書のプリントを開始します。実行後、文書は削除されます。
- ［プリント後削除しない］
  文書のプリントを開始します。実行後も、文書はそのまま保存されています。
- ［取り消し］
  文書のプリントを取り消します。

サンプルプリント

サンプルプリントの機能で保存された文書のプリント、および削除方法について説明します。

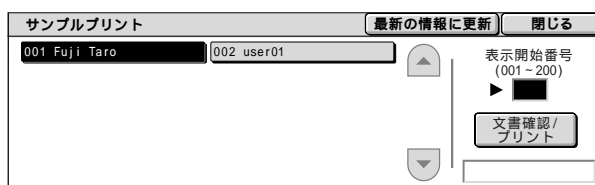
サンプルプリントの操作方法については、「出力結果を確認してからプリントする（サンプルプリント）」(P.134) を参照してください。

補足 ・この項目は、「認証プリントの設定」(P.249) の［受信制御］で、受信したジョブを、プライベートプリントまたは認証プリントに保存するよう設定した場合は、プリンタードライバーで、サンプルプリントを指示しても、［保存文書］の［サンプルプリント］には保存されません。

プリントの仕方 5

1 ［サンプルプリント］を押します。

2 確認したいユーザーを選択し、［文書確認 / プリント］を押します。

補足 ・［最新の情報に更新］を押すと、最新の情報が表示されます。
・［▲］を押して前画面、［▼］を押して次画面を表示できます。
・数字ボタンで 3 桁の番号を入力すると、直接指定できます。

3 プリントまたは削除したい文書を選択します。

補足 ・［全文書選択］を選択すると、すべての文書を選択できます。また、全文書選択を解除するには、再度ボタンを押します。

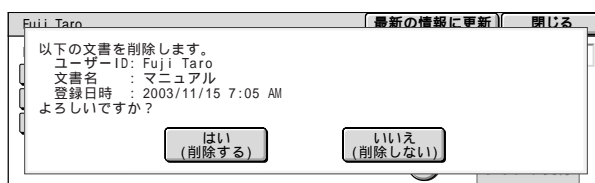
■［削除実行］を選択した場合

サンプルプリント文書を削除します。

注記 ・削除した文書は、元に戻すことはできません。

1)［削除実行］を押します。

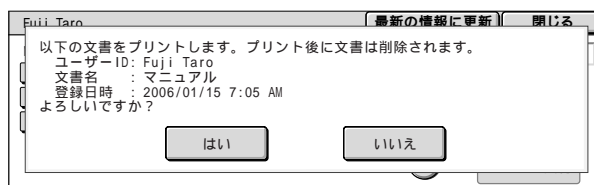
2)［はい（削除する)］を押します。

- ［はい（削除する)］
  文書を削除します。
- ［いいえ（削除しない)］
  文書の削除を取り消します。

■［プリント実行］を選択した場合

サンプルプリント文書をプリントします。残り部数をプリントしたあとは、保存されていたサンプルプリント文書は、削除されます。

1)［プリント実行］を押します。

2)［はい］を押します。

- ［はい］
  文書のプリントを開始します。実行後、文書は削除されます。
- ［いいえ］
  文書のプリントを取り消します。

時刻指定プリント

時刻指定プリントの機能によって保存された文書のプリント、および削除方法について説明します。

時刻指定プリントの操作方法については、「指定した時刻にプリントする（時刻指定プリント）」（P.137）を参照してください。

補足 ・この項目は、「認証プリントの設定」（P.249）の［受信制御］で、受信したジョブを、プライベートプリントまたは認証プリントに保存するよう設定した場合は、プリンタードライバーで、時刻指定プリントを指示しても、［保存文書］の［時刻指定プリント］には保存されません。

1 ［時刻指定プリント］を押します。

2 プリントまたは削除したい文書を選択します。

補足 ・［最新の情報に更新］を押すと、最新の情報が表示されます。
・［▲］を押して前画面、［▼］を押して次画面を表示できます。
・［プリント予定時刻］は、プリントを開始する時刻です。

■［削除実行］を選択した場合

時刻指定プリントで保存されている文書を削除します。

注記 ・削除した文書は、元に戻すことはできません。

1)［削除実行］を押します。

2)［はい（削除する）］を選択します。

- ［はい（削除する）］
  文書を削除します。
- ［いいえ（削除しない）］
  文書の削除を取り消します。

■［プリント実行］を選択した場合

時刻指定プリントで保存されている文書をプリントします。プリントしたあと、文書は削除されます。また、手動でプリント指示をすると、予定時刻にはプリントされません。

1)［プリント実行］を押します。

2)［はい（プリント開始）］を押します。

- はい（プリント開始）
  文書のプリントを開始します。実行後、文書は削除されます。
- いいえ（開始しない）
  文書のプリントを取り消します。

異常終了したときの処理方法

異常終了したときの処理方法について説明します。

プリントジョブの場合

［実行完了］タブに表示されている［状態］が「異常終了」のジョブを選択すると、［実行結果］でエラーコードを確認できます。エラーコードに従って、対処してください。

エラーコードについては、「エラーコード」(P.295) を参照してください。

そのほかのジョブの場合

ジョブ履歴レポートをプリントして、実行結果を確認してください。

ジョブ履歴レポートについては、「ジョブ確認」(P.263) を参照してください。

6 用紙と消耗品

この章では、本機で使用できる用紙の種類、用紙の取り扱いに関する注意事項、用紙の補給方法について説明します。

用紙について

本機で使用できる用紙について説明します。

適正でない用紙を使用した場合、紙づまりや印字品質の低下、故障、および装置破損の原因になることがあります。本機の性能を効果的に活用するために、弊社推奨の用紙をご利用いただくことをお勧めします。

なお、推奨の用紙以外を使用するときは、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にお問い合わせください。

注記 ・水、雨、蒸気などの水分により、プリント面の画像がはがれることがあります。詳しくは弊社のテレフォンセンターまたは販売店にお問い合わせください。

用紙の種類

普通紙（一般紙）

一般に市販されている用紙（一般紙と呼びます）にプリントをする場合は、規格に合った用紙を使用してください。ただし、より鮮明にプリントをするためには、次に紹介する標準紙をご利用いただくことをお勧めします。

用紙トレイ	規格（メートル坪量 / 連量）	セット可能枚数
用紙トレイ 1、2	64 ～ 176g/㎡　連量：55 ～ 151kg	560 枚（P 紙）
用紙トレイ 3		980 枚（P 紙）
用紙トレイ 4		1,280 枚（P 紙）
用紙トレイ 5（手差し）	64 ～ 280g/㎡　連量：55 ～ 240kg	27㎜ まで 250 枚（P 紙）
用紙トレイ 6（大容量）（オプション）	64 ～ 176g/㎡　連量：55 ～ 151kg	2,300 枚（P 紙）

注記 ・プリンタードライバーで選択した用紙サイズや、用紙種類と異なる用紙でプリントしたり、適応していない用紙トレイにセットしてプリントしたりすると、紙づまりの原因になります。適正なプリントをするために、正しい用紙サイズ、用紙種類、用紙トレイを選択してください。

補足 ・メートル坪量とは、1㎡ の用紙 1 枚の質量をいいます。
・連量とは、四六判（788 × 1,091㎜）の用紙 1,000 枚の質量をいいます。
・用紙の画質処理方法を設定できます。設定方法については、「用紙種類別画質処理」（P.223）を参照してください。

標準紙

弊社が推奨する用紙です。

用紙名	メートル坪量（単位：g/㎡）と用紙の種類	画質の処理	用紙の特長と使用上の注意
C^2（シーツー）紙	70：普通紙	普通紙(A)	一般のオフィス用で、白黒 / カラーのどちらにも適している、うら写りの少ない用紙
P 紙	64：普通紙	普通紙(A)	社内配布資料や一般のオフィス用の中厚口用紙
J 紙	82：普通紙	普通紙(B)	白色度が高く発色性に優れ、カラー原稿に幅広く活用できる用紙
JD 紙	98：普通紙	普通紙(B)	カラー原稿を両面ともに忠実に再現するのに適した両面用紙

用紙名	メートル坪量（単位：g/m2）と用紙の種類	画質の処理	用紙の特長と使用上の注意
Green100 紙	67：再生紙	再生紙（A）	古紙パルプ 100% で必要最小限の白色度の再生紙（エコマーク付き）
ブライトリサイクル	67：再生紙	再生紙（A）	古紙パルプ 70% 以上で上質紙と同等の白さと長期保存性に優れたリサイクル PPC 用紙
OHP フィルム（V516）	-	-	枠なしの OHP フィルム **注記** ・故障の原因になりますので、カラー用の OHP フィルム（V556/V558）は、使用しないでください。また、両面プリントをしないでください。 ・カラープリントした OHP フィルムを反射型プロジェクターで投影すると、黒ずんで見える場合があります。 **補足** ・用紙トレイ 5（手差し）にセットし、プリンタードライバーで、［手差し用紙種類］を［OHP フィルム］に設定してください。

使用可能紙

推奨紙以外にも、次の用紙が使用できます。

画質の処理について詳しくは、「用紙種類別画質処理」（P.223）を参照してください。

用紙名	メートル坪量（単位：g/m2）と用紙の種類	画質の処理	用紙の特長と使用上の注意
WR100 紙	67：再生紙	再生紙（A）	古紙パルプ 100% で、上質紙と同等の白色度の高い再生紙
DR 紙	70：再生紙	再生紙（A）	古紙パルプ 70% 配合のカラー用再生紙（エコマーク付）
C2r（シーツーアール）紙	70：再生紙	再生紙（A）	古紙パルプ 70% 配合で、白黒 / カラーのどちらにも使用できる再生紙
Ncolor081	81.4：普通紙	再生紙（B）	J、JD 紙よりも高白色のカラー用紙 植林木 100% で環境に配慮した用紙です。
ecolor081	81.4：普通紙	再生紙（B）	新聞古紙を主原料にした再生パルプを 100% 使用した用紙 グリーン購入法にも適合した環境配慮型の用紙です。
P（厚口）紙	78：普通紙	普通紙（A）	うら写りが少なく両面プリントに適した厚口用紙
グリーンペーパー HG	75：普通紙	普通紙（A）	発塵が少ない筆記適性にも優れた高速プリンター対応の用紙

用紙名	メートル坪量（単位：g/㎡）と用紙の種類	画質の処理	用紙の特長と使用上の注意
Color Copy	90：普通紙	普通紙(B)	高白色、高平滑な上質紙
	100：普通紙	普通紙(B)	
	120：厚紙 1	厚紙 1（A)	
	160：厚紙 1	厚紙 1（B)	
	200：厚紙 2	厚紙 2（A)	
	250：厚紙 2	厚紙 2（A)	
OK プリンス上質	104：普通紙	普通紙(B)	適度な白色度と不透明度がある上質紙
	127.9：厚紙 1	厚紙 1（A)	
	157：厚紙 1	厚紙 1（B)	
	209：厚紙 2	厚紙 2（A)	
Ncolor104	104：普通紙	普通紙(B)	J、JD 紙よりも高白色のカラー用紙 植林木 100% で環境に配慮した用紙です。
Ncolor127	127：厚紙 1	厚紙 1（A)	
Ncolor157	157：厚紙 1	厚紙 1（B)	
Ncolor209	209：厚紙 2	厚紙 2（A)	
リサイクルカラーペーパー 100	67：再生紙	再生紙(A)	古紙パルプ 100% のカラーペーパー再生紙 表紙、合紙、インデックスに適する用紙で、4 色あります。
P 紙（2 穴）	穴あき用紙	-	穴あき用紙 補足 ・穴あき用紙は、穴の部分が先端になるようにセットします。

特殊用紙

用紙トレイ 5（手差し）を使用すると、次の用紙にもプリントできます。これらの用紙を特殊用紙と呼びます。使用できる主な特殊用紙は、次のとおりです。

画質の処理について詳しくは、「用紙種類別画質処理」(P.223) を参照してください。

用紙名	用紙の種類	画質の処理	用紙の特長と使用上の注意
郵便はがき	厚紙 2	厚紙 2（D)	郵便はがき 注記 ・故障の原因になりますので、インクジェット用郵便はがきは、使用しないでください。 補足 ・プリンタードライバーで、［出力用紙サイズ］を［はがき（100 × 148㎜)］に、［手差し用紙種類］を［厚紙 2（177 ～ 280g/㎡)］に設定してください。
郵便はがき 4 連	厚紙 2	厚紙 2（D)	ミシン目入りの郵便はがき用紙（A4 にはがき 4 枚分） 補足 ・プリンタードライバーで、［手差し用紙種類］を［厚紙 2（177 ～ 280g/㎡)］に設定してください。

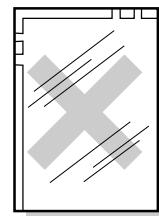
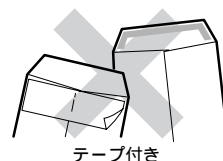
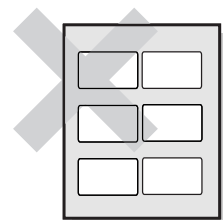
用紙名	用紙の種類	画質の処理	用紙の特長と使用上の注意
郵便往復はがき	厚紙 2	厚紙 2（D）	郵便往復はがき **注記** ・故障の原因になりますので、インクジェット用郵便はがきは、使用しないでください。 **注記** ・プリンタードライバーで、［手差し用紙種類］を［厚紙 2（177 ～ 280g/m²）］に設定してください。
定形長 3 号封筒（120 × 235㎜）	厚紙 2	厚紙 2（E）	Ncolor 封筒 **注記** ・定形長 3 号封筒を使用する場合は、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にお問い合わせください。 **補足** ・プリンタードライバーで、［出力用紙サイズ］を［封筒長形 3 号（120 × 235㎜）］に、［手差し用紙種類］を［厚紙 2（177 ～ 280g/m²）］に設定してください。
ラベル用紙（V860/V862）	ラベル紙 1	-	シール用紙です。1 面のタイプと 20 面（A4）の 2 種類あります。 **注記** ・故障の原因になりますので、弊社指定以外のラベル用紙は、使用しないでください。また、両面プリントをしないでください。 **補足** ・プリンタードライバーで、［手差し用紙種類］を［ラベル紙 1（105 ～ 176g/m²）］に設定してください。
DT 名刺用紙リサイクルホワイト（Z187）	厚紙 2	厚紙 2（A）	環境対応の古紙配合率 70% のリサイクル名刺用紙 名刺・カード作成にお勧めです。
DT 名刺用紙リサイクルクリーム（Z193）	厚紙 2	厚紙 2（A）	
名刺用紙再生ホワイト（ZGAA0275）	厚紙 2	厚紙 2（A）	環境対応の古紙配合率 100% のリサイクル名刺用紙 名刺・カード作成にお勧めです。
名刺用紙再生クリーム（ZGAA0276）	厚紙 2	厚紙 2（A）	

補足 ・そのほかの厚紙などの特殊紙については、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にお問い合わせください。

使用できない用紙

弊社が推奨していない用紙 /OHP フィルムを使用された場合、故障や用紙づまりの原因になります。本製品には、弊社が推奨する用紙 /OHP フィルムをご使用ください。

フルカラー用
OHPフィルム

- FUJI XEROX フルカラー OHP フィルムのように白い枠付きの OHP フィルム（V556/V558）、257 × 257mm（V302）
- 電飾フィルム
- 弊社推奨の OHP フィルム以外
- 90g/m² 以下のコート紙
- デジタルコート紙（光沢タイプ）
- 色地用布地転写用紙
- 布地転写用紙
- スーパートレース 50/60
- 水転写紙
- ハイトレース
- スタートレース
- インクジェット専用紙
- インクジェット用 OHP フィルム
- インクジェット用郵便はがき
- 感熱紙 / 熱転写用紙
- 黒い折り紙
- 一度プリントしたラベル紙
- ゼログラフィックフォトペーパー
- 155 ℃の熱で変質するインクを使った用紙
- ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いた用紙
- 貼り合わせた用紙、のりが付いた用紙
- のり付け部分がのりでベタついている封筒
- 湿っている用紙、ぬれている用紙
- 本機以外のプリンターやコピー機で一度プリントした用紙
- 台紙全体がラベルなどで覆われてないもの
- しわや折れ、破れのある用紙
- 凹凸や留め金のある封筒
- 厚すぎる用紙、薄すぎる用紙
- 表面加工したカラー用紙
- 静電気で密着している用紙
- カーボン紙
- 表面に特殊コーティングされた用紙
- ざら紙や繊維質の用紙など、表面が滑らかでない用紙
- 酸性紙を使用した場合は、文字がぼやけることがあります。そのときは中性紙に替えてください。

テープ付き

台紙全体がラベルに
覆われていない

用紙の保管と取り扱い

■用紙を保管するときは、次のことに気を付けてください。

- 用紙はキャビネットの中や、湿気が少ない場所に保管してください。用紙が湿気を含むと、用紙づまりや画質不良の原因になります。
- 開封後、用紙の残りは包装紙に包んで保管してください。このとき、防湿剤を入れることをお勧めします。
- 用紙は、折れや曲がりを防ぐために、立てかけずに水平に保管してください。

■用紙をトレイにセットする前に、次の事項を守ってください。

- 用紙の束は、きちんとそろえてからセットしてください。
- 折りめ、しわが入った用紙は使用しないでください。
- 波をうったような用紙や、カールした用紙は、使用しないでください。
- サイズの異なる用紙を重ねてセットしないでください。
- OHP フィルムやラベル用紙は、紙づまりを起こしたり複数枚が同時に送られたりすることがあるので、よくさばいてからご使用ください。
- 連続してOHPフィルムに出力する場合、OHPフィルムどうしが貼り付いてしまうおそれがあります。約 20 枚を目安に排出トレイから取り出し、よくさばいて温度を下げてください。

用紙をセットする

ここでは、用紙トレイに用紙をセットする方法について説明します。

■用紙トレイにセットする用紙の種類について

用紙トレイにセットした用紙のサイズと向きは、機械が自動的に検知しますが、用紙の種類は、設定が必要です。通常、各トレイは、普通紙が設定されています。ほかの種類の用紙をセットする場合は、設定を変更してください。また、用紙に名前を付けて、ユーザー定義用紙として設定することもできます。ユーザー定義用紙は 5 種類まで設定できます。

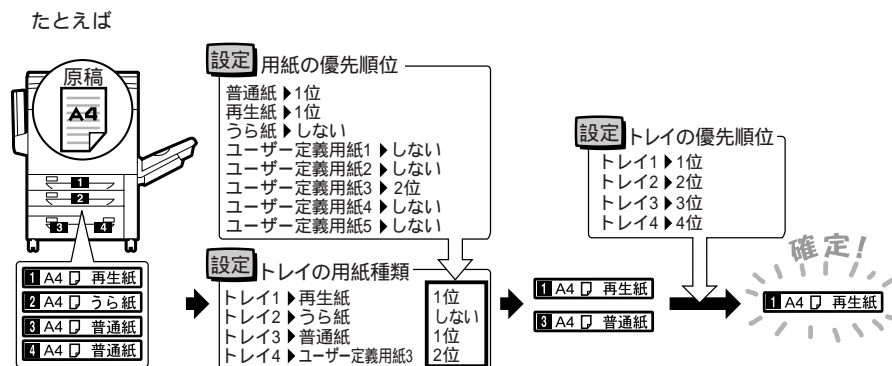
用紙トレイの用紙種類を変更する場合は、「用紙の設定を変更する」(P.187) を参照してください。

■自動トレイ選択について

ART EX プリンタードライバーのプロパティ画面で、[トレイ / 排出] タブの [用紙トレイ選択] を [自動] にしてプリントを指示すると、機械はプリントする原稿のサイズと向きから、該当する用紙トレイを選択します。これを、「自動トレイ選択」と呼びます。

■用紙補給について

プリント中に用紙がなくなると、操作パネルのタッチパネルディスプレイにメッセージが表示されます。メッセージに従って、用紙を補給してください。用紙を補給すると自動的にプリントが再開されます。

補足 ・紙づまりを起こしたり複数枚が同時に送られたりすることがあるので、用紙トレイにセットする前に、用紙をよくさばいてください。

補足 ・用紙トレイ 5(手差し)は、自動トレイ選択の対象外です。
・プリント中に用紙がなくなったときは、プリントしていた用紙と同じサイズで同じ向きの用紙が入ったトレイを選択して、プリントを続けます(自動トレイ切り替え機能)。このとき、[用紙の優先順位] を [自動トレイ選択しない] に設定している種類の用紙が入ったトレイには、切り替えません。

[用紙トレイのサイズ / 用紙種類]、[用紙種類の優先順位]、[用紙トレイの優先順位] の設定や、用紙の置き替え機能設定については、「用紙 / トレイの設定」(P.221) を参照してください。また、CentreWare Internet Services からも同様の設定ができます。

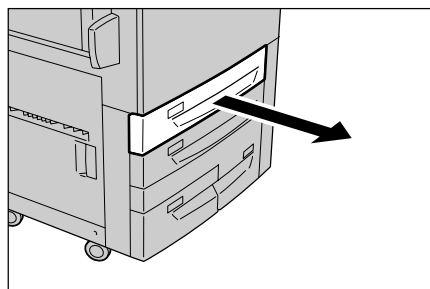
用紙トレイ 1、2 に用紙をセットする

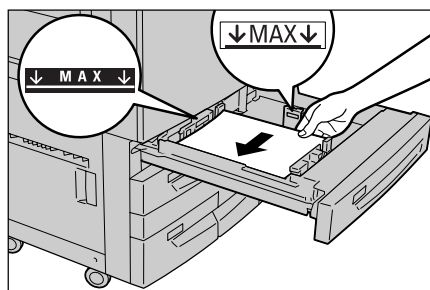
用紙トレイ 1、2 に用紙をセットする手順について説明します。

用紙サイズや向きを変更する場合は、「用紙トレイの用紙サイズを変更する」(P.182) を参照してください。

1 用紙トレイを、手前に止まるところまで引き出します。

> **⚠ 注意**
> **用紙トレイを引き出すときは、ゆっくりと引き出してください。トレイを勢いよく引き出すと、ひざなど身体にぶつかりケガの原因となるおそれがあります。**

注記
- 本機がジョブを処理しているあいだは、ジョブで使用している用紙トレイを引き出さないでください。
- 紙づまりや用紙セットの間違いをしないために、用紙トレイに残っている用紙の上に用紙を補給しないでください。残っている用紙は、取り除いたあと、新しくセットした用紙の上に重ねてください。

2 プリントする面を下にして、用紙の端を左側にそろえてセットします。

注記
- 用紙上限線（図の MAX 位置）を超える量の用紙をセットしないでください。紙づまりや故障の原因になります。
- 用紙トレイ 1、2 の右側空きスペースには、用紙や物を置かないでください。紙づまりや故障の原因になります。

3 奥に突き当たるところまで、用紙トレイをゆっくりと押し込みます。

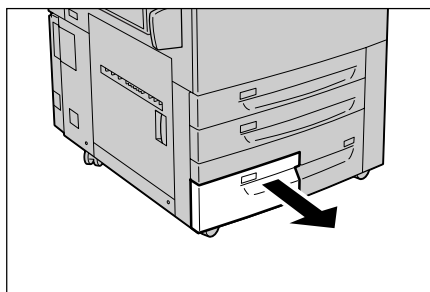
用紙トレイ 3 に用紙をセットする

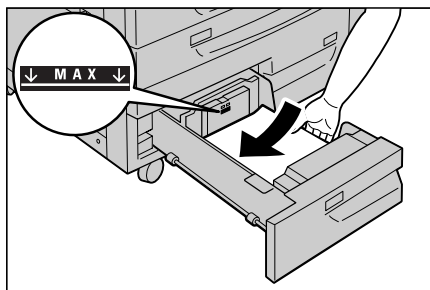
用紙トレイ 3 に用紙をセットする手順について説明します。

用紙サイズや向きを変更する場合は、「用紙トレイの用紙サイズを変更する」（P.182）を参照してください。

1 **用紙トレイ 3 を、手前に止まるところまで引き出します。**

> **⚠注意**
> **用紙トレイを引き出すときは、ゆっくりと引き出してください。トレイを勢いよく引き出すと、ひざなど身体にぶつかりケガの原因となるおそれがあります。**

注記
- 本機がジョブを処理しているあいだは、ジョブで使用している用紙トレイを引き出さないでください。
- 紙づまりや用紙セットの間違いをしないために、用紙トレイに残っている用紙の上に用紙を補給しないでください。残っている用紙は、取り除いたあと、新しくセットした用紙の上に重ねてください。

2 **プリントする面を下にして、用紙を左側にそろえてセットします。**

注記 ・用紙上限線（図の MAX 位置）を超える量の用紙をセットしないでください。紙づまりや故障の原因になります。

3 **奥に突き当たるところまで、用紙トレイをゆっくりと押し込みます。**

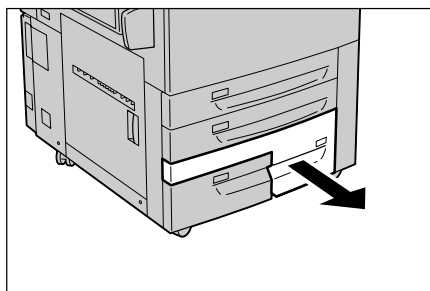
用紙トレイ 4 に用紙をセットする

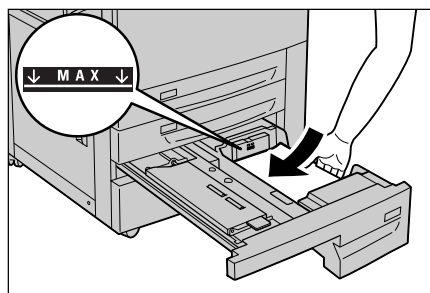
用紙トレイ 4 に用紙をセットする手順について説明します。

用紙サイズや向きを変更する場合は、「用紙トレイの用紙サイズを変更する」（P.182）を参照してください。

1 **用紙トレイ 4 を、手前に止まるところまで引き出します。**

> **⚠注意**
> **用紙トレイを引き出すときは、ゆっくりと引き出してください。トレイを勢いよく引き出すと、ひざなど身体にぶつかりケガの原因となるおそれがあります。**

注記
- 本機がジョブを処理しているあいだは、ジョブで使用している用紙トレイを引き出さないでください。
- 紙づまりや用紙セットの間違いをしないために、用紙トレイに残っている用紙の上に用紙を補給しないでください。残っている用紙は、取り除いたあと、新しくセットした用紙の上に重ねてください。

2 **プリントする面を下にして、用紙を左側にそろえてセットします。**

注記 ・ 用紙上限線（図の MAX 位置）を超える量の用紙をセットしないでください。紙づまりや故障の原因になります。

3 **奥に突き当たるところまで、用紙トレイをゆっくりと押し込みます。**

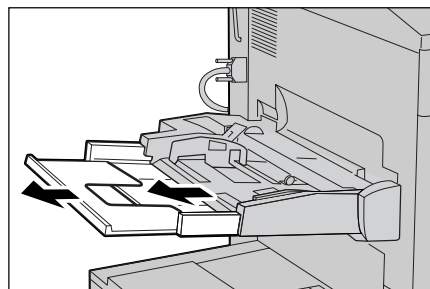
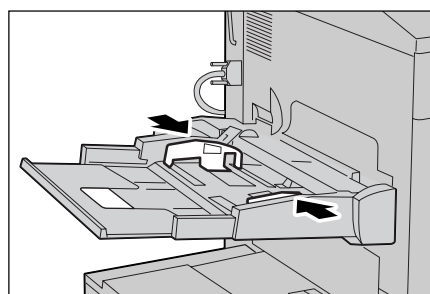
用紙トレイ 5（手差し）に用紙をセットする

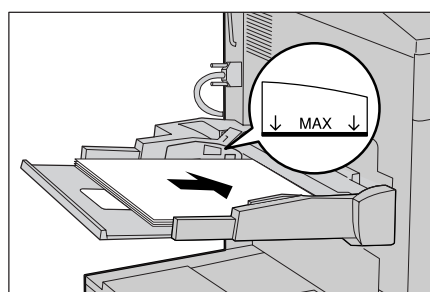
用紙トレイ 1 〜 4、6 にセットできないサイズや種類の用紙にプリントする場合は、用紙トレイ 5（手差し）を使用します。
ここでは、用紙トレイ 5（手差し）に用紙をセットする方法について説明します。
プリントの詳細な指示は、プリンタードライバーの［トレイ / 排出］タブで設定します。そのとき、セットする用紙の種類も設定します。

注記 ・ 紙づまりや用紙セットの間違いをしないために、用紙がなくなるまで包装紙から用紙を取り出さないでください。

補足 ・ 用紙トレイ 5（手差し）に残っている用紙はすべて取り出してから、追加する用紙と合わせてセットしてください。

1 **必要に応じて、用紙トレイ 5（手差し）を開きます。**

補足 ・ 必要に応じて、延長トレイを引き出します。延長トレイは、2 段階に引き出せます。延長トレイを引き出すときは、ゆっくりと引き出してください。

2 **用紙ガイドレバーの中央部を持ち、セットする用紙のサイズに合わせます。**

3 **プリントする面を上にして、用紙を用紙ガイドに沿って、軽く奥に突き当たるまで差し込みます。**

注記 ・ 種類が異なる用紙を一緒にセットしないでください。
・ 用紙上限線（図の MAX 位置）を超える量の用紙をセットしないでください。紙づまりや故障の原因になります。

4 **非定形サイズの用紙をセットした場合は、用紙サイズに合うように、用紙ガイドレバーを微調整します。**

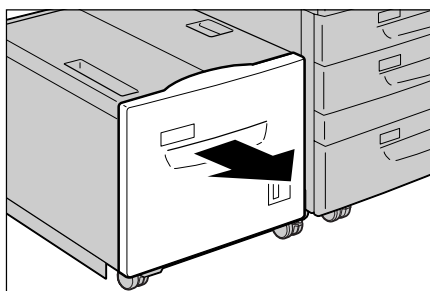
用紙トレイ 6 に用紙をセットする

オプションの用紙トレイ 6 に用紙をセットする手順について説明します。

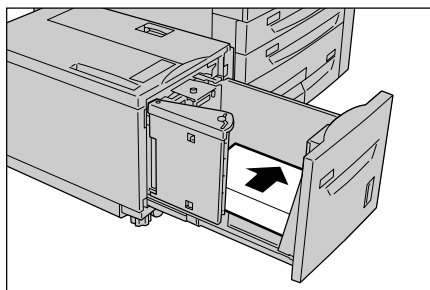
用紙サイズや向きを変更する場合は、「用紙トレイの用紙サイズを変更する」(P.182) を参照してください。

(P.182)

1 用紙トレイ 6 を、手前に止まるところまで引き出します。

> ⚠ **注意**
> **用紙トレイを引き出すときは、ゆっくりと引き出してください。トレイを勢いよく引き出すと、ひざなど身体にぶつかりケガの原因となるおそれがあります。**

注記
- 本機がジョブを処理しているあいだは、ジョブで使用している用紙トレイを引き出さないでください。
- 紙づまりや用紙セットの間違いをしないために、用紙トレイに残っている用紙の上に用紙を補給しないでください。残っている用紙は、取り除いたあと、新しくセットした用紙の上に重ねてください。

2 プリントする面を上にして、用紙を右側にそろえてセットします。

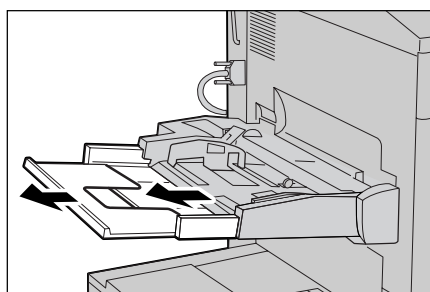
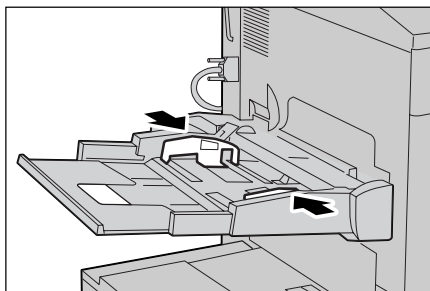
注記
- 用紙上限線を超える量の用紙をセットしないでください。紙づまりや故障の原因になります。

3 奥に突き当たるところまで、用紙トレイをゆっくりと押し込みます。

インデックス用紙をセットする

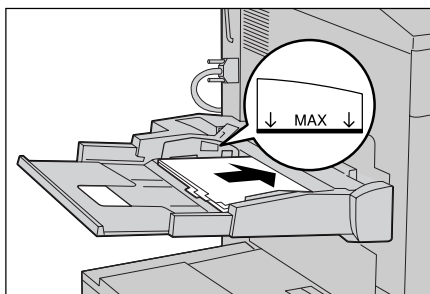
用紙トレイ 5（手差し）にインデックス用紙をセットする手順について説明します。

注記
- 用紙トレイ 1 ～ 4、6 には、インデックス用紙はセットできません。

1 用紙トレイ 5（手差し）を開きます。

補足
- 必要に応じて、延長トレイを引き出します。延長トレイは、2 段階に引き出せます。延長トレイを引き出すときは、ゆっくりと引き出してください。

2 **用紙ガイドレバーの中央部を持ち、セットする用紙のサイズに合わせます。**

3 **プリントする面を上にし、用紙の上辺を手前にして、用紙を用紙ガイドに沿って軽く奥に突き当たるまで差し込みます。**

注記 • 種類が異なる用紙を一緒にセットしないでください。

• 用紙上限線（図のMAX位置）を超える量の用紙をセットしないでください。紙づまりや故障の原因になります。

用紙トレイの用紙サイズを変更する

ここでは、用紙トレイ 1 〜 4、6 の用紙サイズを変更する方法について説明します。

補足
- **用紙トレイ 1 〜 4、6 には、用紙の紙質が設定されています。通常は、「普通紙」が設定されています。異なる紙質の用紙に変える場合は、印字品質を保つため、セットする用紙に合わせて、紙質の設定を変更してください。**
  紙質の設定については、「用紙トレイのサイズ / 用紙種類」(P.221) を参照してください。
- **用紙トレイ 1、2 には、非定形サイズの用紙をセットできます。セットする場合は、用紙サイズの登録が必要です。登録方法については、「用紙トレイのサイズ / 用紙種類」(P.221) を参照してください。**

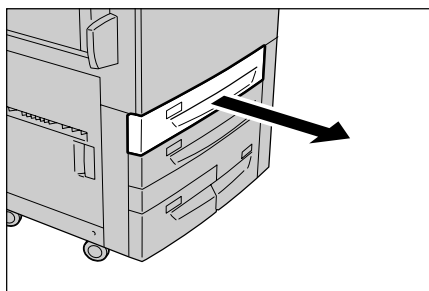
セットできる用紙サイズについては、「本体の主な仕様」(P.330) を参照してください。

非定形サイズの用紙にプリントする方法は、「非定形用紙にプリントする」(P.117) を参照してください。

用紙トレイ 1、2 の用紙サイズを変更する

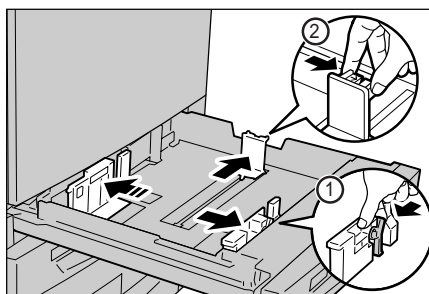
用紙トレイ 1、2 の用紙サイズを変更する方法について説明します。

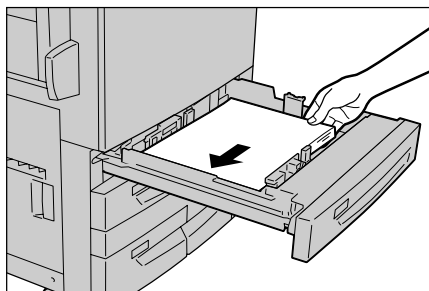
1 **用紙トレイを、手前に止まるところまで引き出します。**

> **⚠注意**
> **用紙トレイを引き出すときは、ゆっくりと引き出してください。トレイを勢いよく引き出すと、ひざなど身体にぶつかりケガの原因となるおそれがあります。**

注記 • **本機がジョブを処理しているあいだは、ジョブで使用している用紙トレイを引き出さないでください。**

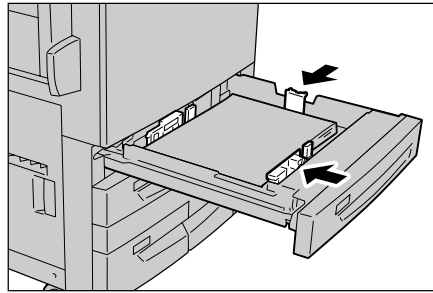
2 **用紙がセットされている場合は、用紙を取り出します。**

3 **縦ガイドクリップを指でつまみ、用紙サイズに合わせます（1）。右側の横ガイドクリップを指でつまみ、用紙サイズに合わせます（2）。**

4 **位置が正しいことを確認して、ガイドクリップを放します。**

5 **プリントする面を下にして、用紙の端を左側にそろえてセットします。**

注記
- **用紙上限線を超える量の用紙をセットしないでください。紙づまりや故障の原因になります。**
- **用紙トレイ 1、2 の右側空きスペースには、用紙や物を置かないでください。紙づまりや故障の原因になります。**

6 2 か所のガイドクリップを、それぞれつまみながら移動し、用紙に軽く当てるように合わせます。

7 奥に突き当たるところまで、用紙トレイをゆっくりと押し込みます。

補足 ・ 用紙トレイには、用紙サイズに応じて、ラベルを貼ります。

用紙トレイ 3、4 の用紙サイズを変更する

用紙トレイ 3、4 の用紙サイズを変更する方法について説明します。

用紙トレイ 3 の用紙サイズを変更する

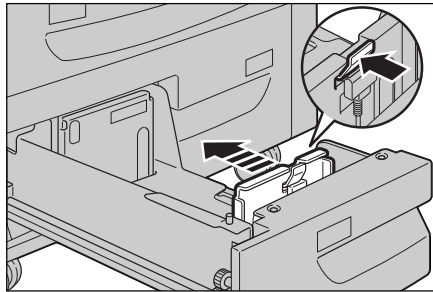
1 用紙トレイ 3 を、手前に止まるところまで引き出します。

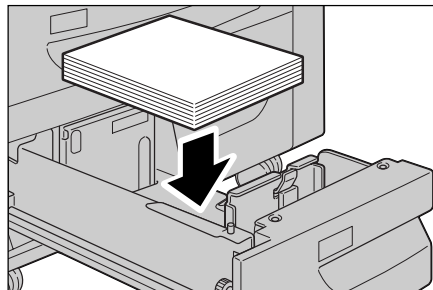
> ⚠注意
> 用紙トレイを引き出すときは、ゆっくりと引き出してください。トレイを勢いよく引き出すと、ひざなど身体にぶつかりケガの原因となるおそれがあります。

注記 ・ 本機がジョブを処理しているあいだは、ジョブで使用している用紙トレイを引き出さないでください。

2 用紙がセットされている場合は、用紙を取り出します。

3 ガイドクリップを指でつまみ、用紙サイズに合わせます。

4 位置が正しいことを確認して、ガイドクリップを放します。

5 プリントする面を下にして、用紙の端を左側にそろえてセットします。

注記 ・ 用紙上限線を超える量の用紙をセットしないでください。紙づまりや故障の原因になります。

6 ガイドクリップをつまみながら移動し、用紙に軽く当てるように合わせます。

7 奥に突き当たるところまで、用紙トレイをゆっくりと押し込みます。

補足 ・ 用紙トレイには、用紙サイズに応じて、ラベルを貼ります。

用紙トレイ 4 の用紙サイズを変更する

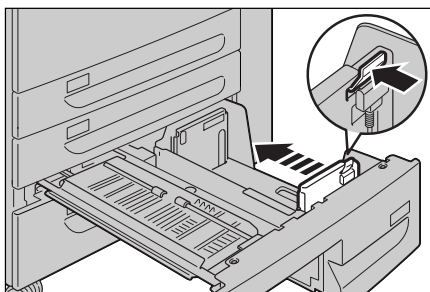
1 用紙トレイ 4 を、手前に止まるところまで引き出します。

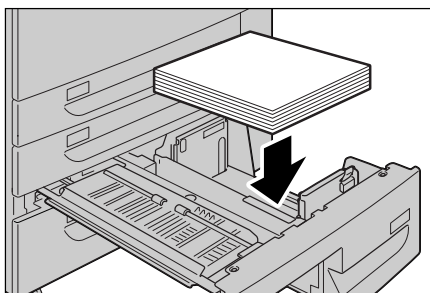
> ⚠注意
> 用紙トレイを引き出すときは、ゆっくりと引き出してください。トレイを勢いよく引き出すと、ひざなど身体にぶつかりケガの原因となるおそれがあります。

注記 ・本機がジョブを処理しているあいだは、ジョブで使用している用紙トレイを引き出さないでください。

2 用紙がセットされている場合は、用紙を取り出します。

3 ガイドクリップを指でつまみ、用紙サイズに合わせます。

4 位置が正しいことを確認して、ガイドクリップを放します。

5 プリントする面を下にして、用紙の端を左側にそろえてセットします。

注記 ・用紙上限線を超える量の用紙をセットしないでください。紙づまりや故障の原因になります。

6 ガイドクリップをつまみながら移動し、用紙に軽く当てるように合わせます。

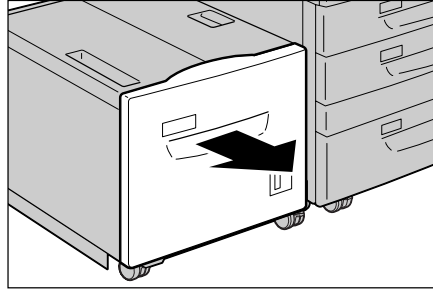
7 奥に突き当たるところまで、用紙トレイをゆっくりと押し込みます。

補足 ・用紙トレイには、用紙サイズに応じて、ラベルを貼ります。

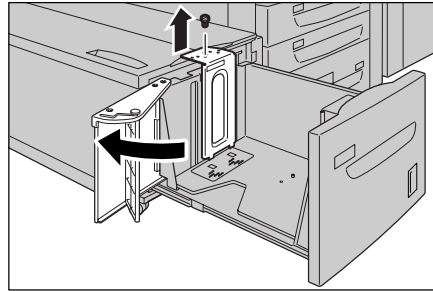
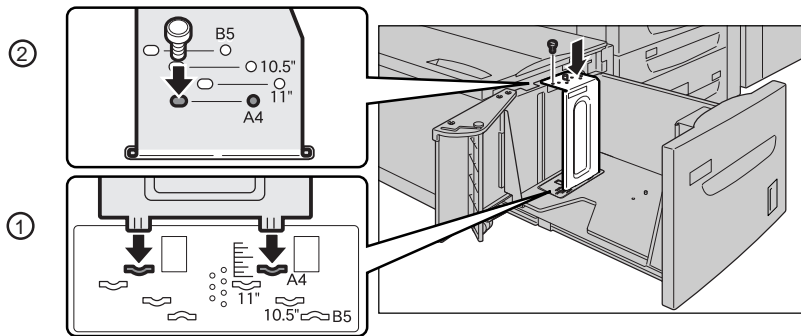
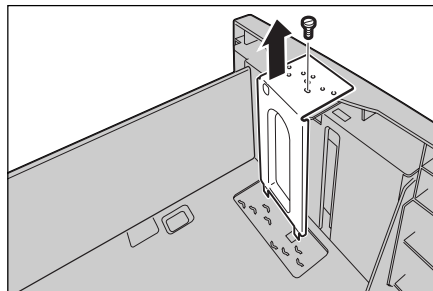
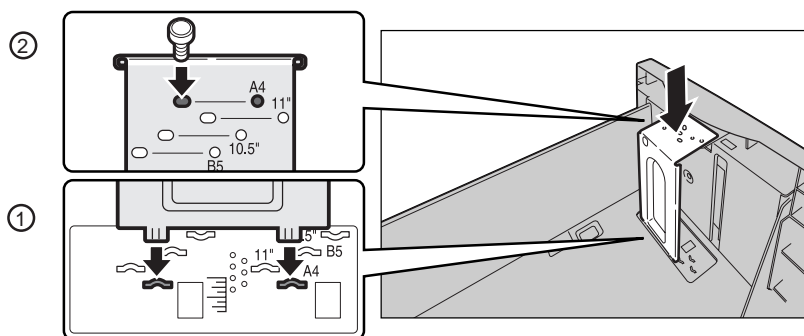
用紙トレイ 6 の用紙サイズを変更する

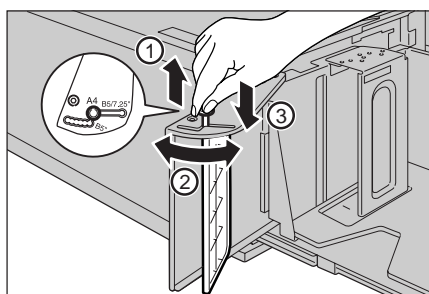
用紙トレイ 6 の用紙サイズを変更する方法について説明します。

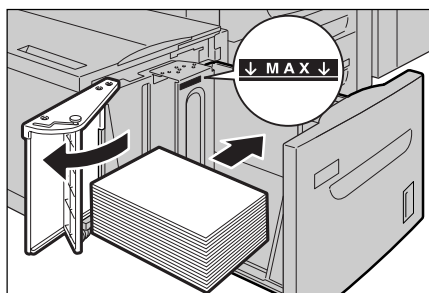
1 用紙トレイ 6 を、手前に止まるところまで引き出します。

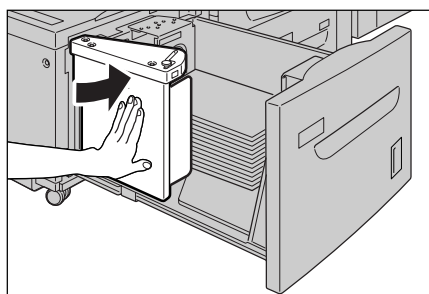
⚠注意
用紙トレイを引き出すときは、ゆっくりと引き出してください。トレイを勢いよく引き出すと、ひざなど身体にぶつかりケガの原因となるおそれがあります。

注記 ・本機がジョブを処理しているあいだは、ジョブで使用している用紙トレイを引き出さないでください。

2 用紙がセットされている場合は、用紙を取り出します。

3 エンドガイドを開いて、奥のガイドのネジを外し、ガイドを用紙トレイから外します。

4 ガイドの下部にある突起を、用紙サイズの穴に差し込み（1）、ガイドの上面にある用紙サイズの穴に、用紙トレイの突起を差し込んで、ネジを締めます（2）。

5 手前のガイドのネジを外し、ガイドを用紙トレイから外します。

6 **ガイドの下部にある突起を、用紙サイズの穴に差し込み(1)、ガイドの上面にある用紙サイズの穴に、用紙トレイの突起を差し込んで、ネジを締めます(2)。**

7 **図のようにエンドガイドのレバーを引き上げ、溝に沿って移動させて(1)、レバーの位置を用紙サイズに合わせ(2)、レバーを下ろします(3)。**

補足 ・エンドガイドの 8.5" の左側の溝は使用しません。

8 **エンドガイドを開き、プリントする面を上にして、用紙の端を右側にそろえてセットします。**

補足 ・最大収容枚数または用紙上限線(図の MAX 位置)を超える用紙をセットしないでください。

9 **エンドガイドをしっかり閉じます。**

補足 ・ガイドは、用紙の幅に正しく合わせてください。ガイドの位置がずれていると、用紙が正常に搬送されず、紙づまりの原因になることがあります。

10 **奥に突き当たるところまで、用紙トレイをゆっくりと押し込みます。**

用紙の設定を変更する

ここでは、用紙トレイの用紙種類、および用紙種類別の画質処理の設定を変更する方法について説明します。

また、用紙種類に対して画質処理を設定すると、さらに用紙に合った画質が得られます。

補足 ・ **用紙種類に表示されるユーザー用紙 1 ～ 5 は、ユーザーが任意で名称をつけられる用紙です。**
ユーザー用紙 1 ～ 5 の名称の設定方法については、「ユーザー用紙の名称設定」(P.221) を参照してください。
用紙種類別の画質処理について詳しくは、「用紙種類別画質処理」(P.223) を参照してください。

1 **〈認証（仕様設定 / 登録）〉ボタンを押します。**

2 **数字ボタンまたは［キーボード］を押して表示されるキーボードを使って、User ID を入力し、［確定］を押します。**

補足 ・ User IDの初期値は､｢11111｣です。認証管理機能を利用している場合､パスワードが必要な場合があります。パスワードの初期値は、｢x-admin｣です。

3 **［仕様設定 / 登録］を押します。**

4 **［仕様設定］を押します。**

5 **［共通設定］を押します。**

仕様設定 / 閉じる / 共通設定 / ネットワーク設定 / プリンター設定 / メール設定 / 保存文書設定

6 ［用紙 / トレイの設定］を押します。

7 ［用紙トレイのサイズ/用紙種類］を押します。

8 ［設定項目］で、用紙種類を変更する用紙トレイを選択し、［確認 / 変更］を押します。

補足 ・［▲］を押して前画面、［▼］を押して次画面を表示できます。

9 ［用紙種類］を押します。

10 設定する用紙種類を選択し、［閉じる］を押します。

補足 ・［▲］を押して前画面、［▼］を押して次画面を表示できます。

11 ［用紙種類］が、変更した値になっていることを確認して、［閉じる］を押します。

12 ［閉じる］を押します。

13 ［用紙種類別画質処理］を押します。

14 ［設定項目］で、画質処理を変更する用紙種類を選択し、［確認 / 変更］を押します。

補足 ・［▲］を押して前画面、［▼］を押して次画面を表示できます。

15 変更する画質処理の設定値を選択し、［決定］を押します。

16 変更した［設定項目］の［現在の設定値］が、変更した値になっていることを確認して、［閉じる］を押します。

17 ［仕様設定 / 登録］画面が表示されるまで、［閉じる］を押します。

18 ［作業終了］を押して、機械管理者モードを終了します。

消耗品について

本機には、次のような消耗品、および定期交換部品が用意されています。本機に適した規格で作られていますので、次の消耗品 / 定期交換部品の使用をお勧めします。

消耗品 / 定期交換部品の名称	商品コード	形態	プリント可能ページ数
ドラムカートリッジ（ブラック）*1	CT350460	1 個 /1 箱	約 231,000 ページ
ドラムカートリッジ（カラー）*2	CT350461	1 個 /1 箱	約 100,000 ページ
トナーカートリッジ（ブラック）	CT200852	1 個 /1 箱	約 10,000 ページ
トナーカートリッジ（シアン）	CT200853	1 個 /1 箱	約 10,000 ページ
トナーカートリッジ（マゼンタ）	CT200854	1 個 /1 箱	約 10,000 ページ
トナーカートリッジ（イエロー）	CT200855	1 個 /1 箱	約 10,000 ページ
トナー回収ボトル	CWAA0554	1 個 /1 箱	約 50,000 ページ
ホチキス針 (フィニッシャー C 用)	CWAA0540	5000 針× 3 セット /1 箱	-
ホチキス針中とじ用 タイプ XC（4PCS）	CWAA0501	5000 針× 4 セット /1 箱	-

*1 B［R1］

*2 Y、M、C［R2/R3/R4］（カラー共通）

補足 • プリントできるページ数は、プリント条件や、原稿の内容によって大きく変化します。上の表のプリント可能ページ数を、だいたいの目安にしてください。
• 消耗品 / 定期交換部品によっては、対応機種名が「ApeosPort C6550 I/C5540 I」、または「DocuCentre C6550 I/C5540 I」となっているものがあります。その場合も、DocuPrint C5450 でご利用いただけます。

消耗品 / 定期交換部品の取り扱いについて

- 消耗品 / 定期交換部品の箱は、立てた状態で保管しないでください。
- 消耗品 / 定期交換部品は、使用するまでは開封しないで、次のような場所を避けて保管してください。
  - 高温多湿の場所
  - 火気がある場所
  - 直射日光が当たる場所
  - ほこりが多い場所
- 消耗品/定期交換部品を使用するときは、消耗品/定期交換部品の箱や容器に記載された取り扱い上の注意をよく読んでから、使用してください。
- 消耗品 / 定期交換部品は、予備を用意することをお勧めします。
- 消耗品 / 定期交換部品を発注するときは、商品コードを確認のうえ、弊社の商品センターまたは販売店にご注文ください。
- 弊社が推奨していないトナーカートリッジ、トナー回収ボトル、ホチキスカートリッジを使用された場合、装置本来の品質や性能を発揮できないおそれがあります。本製品には、弊社が推奨するトナーカートリッジ、トナー回収ボトル、ホチキスカートリッジをご使用ください。

消耗品の状態確認

消耗品の状態は、［消耗品確認］画面で参照できます。
各消耗品の状態は、「良好」、「予備を用意」、「要交換」などで表示されます。
トナーの場合は、0 ～ 100% で残量も表示されます。

消耗品確認については、「消耗品確認」（P.268）を参照してください。

トナーカートリッジを交換する

トナーカートリッジの交換時期になると、操作パネルのタッチパネルディスプレイにメッセージが表示されます。

交換しないでプリントを続けると、メッセージが表示されたあと、K（ブラック）は約 1,300 ページ、C（シアン）/M（マゼンタ）/Y（イエロー）は約 1,000 ページのプリントで機械は停止します。

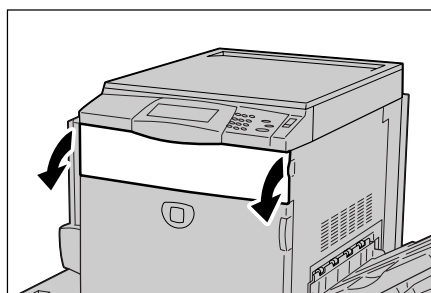
トナーカートリッジの交換は、機械が動作中の場合でも可能です。

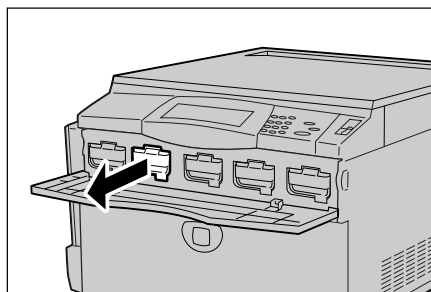
補足
- カラートナーがなくなった場合でも、白黒のプリントはできます。なお、用紙種類は普通紙だけです。
- 使用可能ページ数は、A4（▯）の用紙を使用した場合の枚数です。使用可能ページ数は、印字内容、用紙のサイズ、種類、使用環境などによって異なりますので、あくまでも目安としてお考えください。

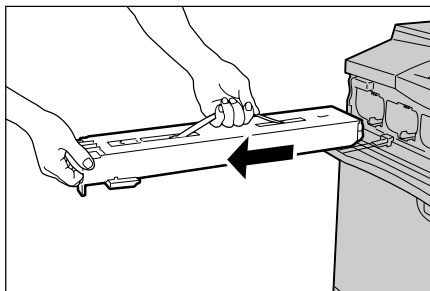
⚠警告

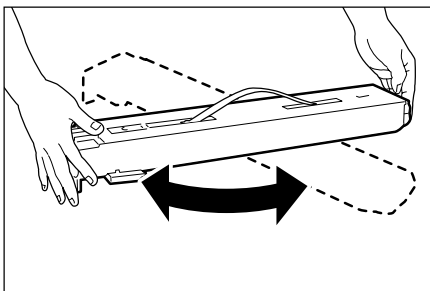
- **トナーカートリッジを、絶対に火中に投じないでください。カートリッジ内に残っているトナーの粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。**
- **床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、または石けん水を湿らした布等でふき取ってください。掃除機を用いると微粒子のトナーが掃除機内部に充満し、電気接点の火花により、粉じん発火となる可能性があります。**

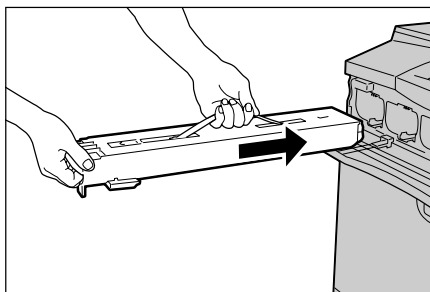
注記
- トナーカートリッジを交換するとき、トナーがこぼれて床面などを汚すことがあります。あらかじめ床に紙などを敷いて作業することをお勧めします。
- 使用済みのトナーカートリッジは、処理が必要です。弊社または販売店にお渡しください。
- 弊社が推奨していないトナーカートリッジを使用された場合、装置本来の品質や性能を発揮できないおそれがあります。本製品には、弊社が推奨するトナーカートリッジをご使用ください。
- トナー残量が少なくなってきている場合、プリント中に機械が停止してメッセージが表示されることがあります。その場合は、トナーカートリッジを交換すると、プリントは継続されます。
- トナーカートリッジを交換するときは、本機の電源を入れたままの状態にしておいてください。
- 使いかけのトナーカートリッジを使用すると、「×××トナーカートリッジ［×］を交換してください。」とメッセージが表示されたあとに、プリントできる枚数が大きく異なることがあります。

1 **トナーカバーを開けます。**

2 **メッセージに表示されている色のハンドルに手をかけて引き出します。**

補足
- 「Y」はイエロー、「M」はマゼンタ、「C」はシアン、「K1」「K2」はブラックです。

3 **トナーカートリッジをゆっくり引き出しながら、トナーカートリッジ上部の取っ手を持って、トナーカートリッジを取り出します。**

> ⚠警告
> **トナーカートリッジを、絶対に火中に投じないでください。カートリッジ内に残っているトナーの粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。**

注記
- トナーカートリッジはゆっくり引き出してください。トナーが飛び散ることがあります。
- 使用済みのトナーカートリッジは、弊社または販売店にお渡しください。

4 **取り出したトナーカートリッジと同じ色の新しいトナーカートリッジを箱から取り出し、上下左右によく振ります。**

5 **トナーカートリッジをゆっくりと奥に突き当たるまで差し込みます。**

補足
- 「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。

6 **トナーカバーを閉じます。**

トナー回収ボトルを交換する

トナー回収ボトルがトナーでいっぱいになると、操作パネルのタッチパネルディスプレイにメッセージが表示されます。

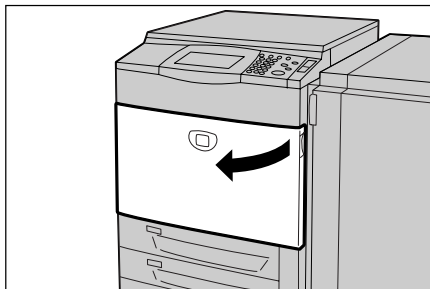
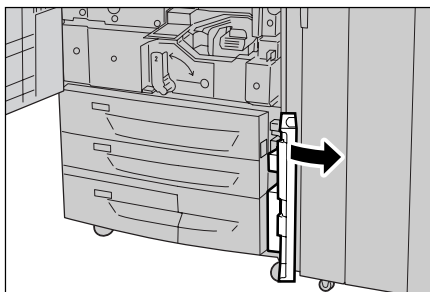
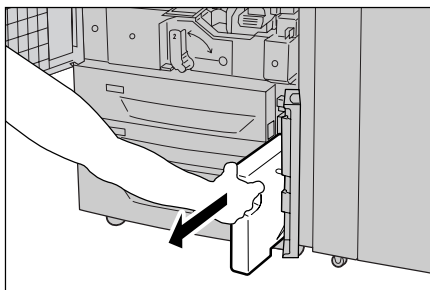
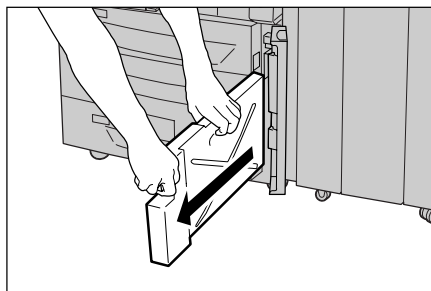
交換しないでプリントを続けると、メッセージが表示されたあと、約 3,000 ページのプリントで機械は停止します。

⚠警告

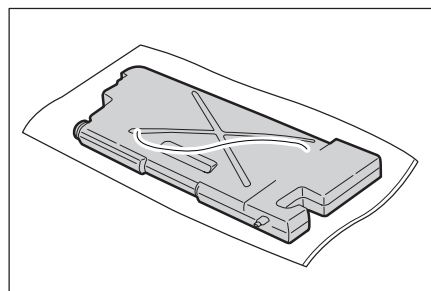
- **トナー、トナー回収ボトル、または、トナーの入った容器を絶対に火中に投じないでください。粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。**
- **床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、または石けん水を湿らした布等でふき取ってください。掃除機を用いると微粒子のトナーが掃除機内部に充満し、電気接点の火花により、粉じん発火となる可能性があります。**

注記
- トナー回収ボトルを交換するとき、回収されたトナーがこぼれて床面を汚すことがあります。あらかじめ床に紙などを敷いて作業することをお勧めします。
- 使用済みのトナー回収ボトルは、処理が必要です。弊社または販売店にお渡しください。
- 弊社が推奨していないトナー回収ボトルを使用された場合、装置本来の品質や性能を発揮できないおそれがあります。本製品には、弊社が推奨するトナー回収ボトルをご使用ください。
- トナー回収ボトルを交換するときは、本機の電源を入れたままの状態にしておいてください。

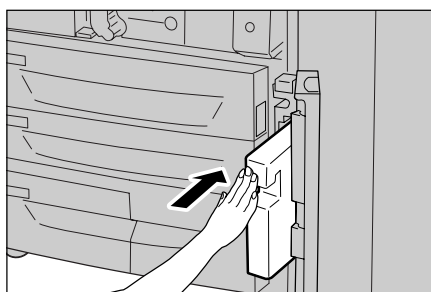
補足
- 使用可能ページ数は、A4（▯）の用紙を使用した場合の枚数です。
- 使用可能ページ数は、印字内容、用紙のサイズ、種類、使用環境などによって異なりますので、あくまでも目安としてお考えください。

1 **機械が停止していることを確認し、フロントカバーを開けます。**

2 **トナー回収ボトルカバーを開けます。**

3 **トナー回収ボトルを半分ほど引き出します。**

4 **ボトル上部の中央部分を持ち、トナー回収ボトルを取り出します。**

5 **使用済みのトナー回収ボトルは、両手でしっかり持って、専用のビニール袋に収納します。**

⚠警告

トナー、トナー回収ボトル、またはトナーの入った容器を絶対に火中に投じないでください。粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。

注記
- 使用済みのトナー回収ボトルは、弊社または販売店にお渡しください。
- 使用済みのトナー回収ボトルは、専用のビニール袋に必ず入れ、同封されている輪ゴムでしっかりと、ビニール袋の口を閉じてください。ビニールの口が開いていると、回収中にトナー漏れが起こることがあります。

6 **新しいトナー回収ボトル上部の中央部を持ち、奥に突き当たるまで差し込みます。**

注記
- トナー回収ボトルを差し込むときには、引き出したときのように、トナー回収ボトルの取っ手を握らないでください。

7 **トナー回収ボトルカバーを閉じます。**

8 **フロントカバーを閉じます。**

補足
- フロントカバーが少しでも開いていると、メッセージが表示され、機械が作動しません。

ドラムカートリッジ「R1」を交換する

ドラムカートリッジの交換時期になると、「ドラムカートリッジ［R1］を交換してください。」というメッセージが、操作パネルのタッチパネルディスプレイに表示されます。

表示されたドラムカートリッジの位置（[R1]）を確認し、ドラムカートリッジを交換してください。

交換しないで使い続けると、メッセージが表示されたあと、約 6,500 ページのプリントで機械は停止します。

⚠注意

- ドラムカートリッジを絶対に加熱したり、表面をはがしたりしないでください。健康を害する原因となるおそれがあります。
- ドラムカートリッジの交換は、弊社エンジニアに説明を受けた方のみ、作業してください。

注記
- ドラムカートリッジが入っているユニットを引き出した場合、2 分以内にユニットの上全体に、同梱の黒シートをかぶせてください。ドラムカートリッジに光が当たることによって、画質に影響が出るおそれがあります。
- 弊社が推奨していないドラムカートリッジを使用された場合、装置本来の品質や性能を発揮できないおそれがあります。本製品には、弊社が推奨するドラムカートリッジをご使用ください。

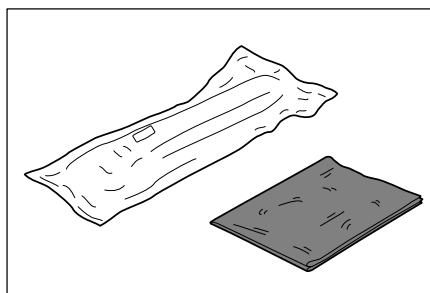
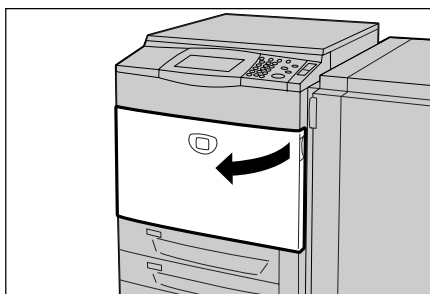
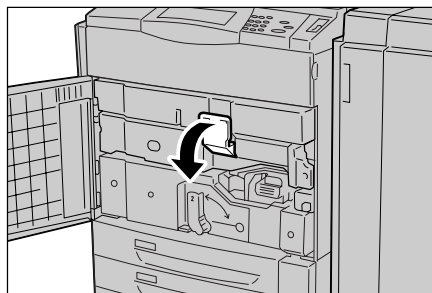
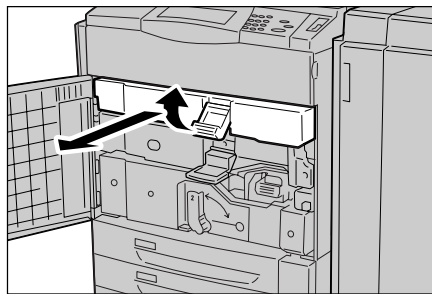
補足
- ドラムカートリッジを、直射日光や室内蛍光灯の強い光に当てないでください。また、ドラムの表面に触れたり、傷を付けたりしないでください。きれいなプリントができなくなることがあります。
- 使用済みのドラムカートリッジは処理が必要です。弊社または販売店にお渡しください。
- ドラムカートリッジを交換するときは、本機の電源を入れたままの状態にしておいてください。電源を切ると、本機のメモリー上に蓄えられた情報が消去されます。
- 使用可能ページ数は、A4（▯）の用紙を使用した場合の枚数です。
- 使用可能ページ数は、印字内容、用紙のサイズ、種類、使用環境などによって異なりますので、あくまでも目安としてお考えください。
- 「ドラムカートリッジ［R1］を交換してください。」が表示されたあとは、プリント汚れが発生することがあります。

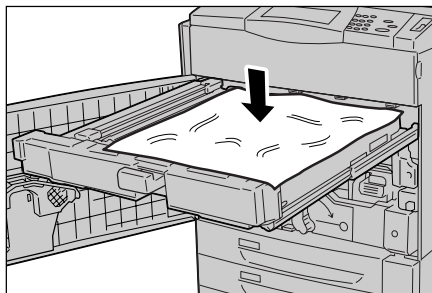
1 新しいドラムカートリッジと、同梱されている黒シートを箱から取り出しておきます。

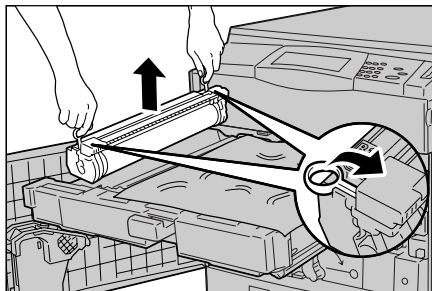
注記
- ドラムカートリッジは平らな場所に置いてください。
- ドラムカートリッジを立てた状態で置かないでください。

2 機械が停止していることを確認し、フロントカバーを開けます。

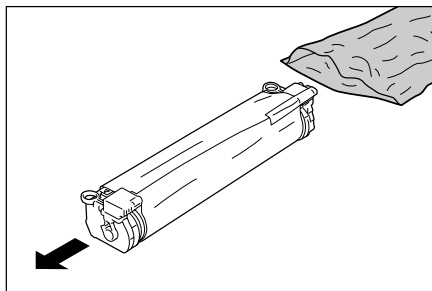
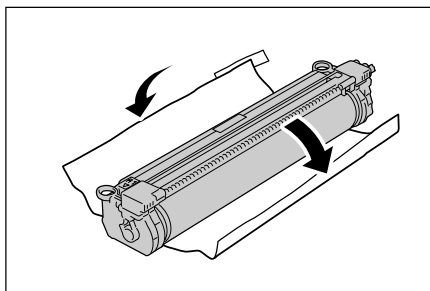
用紙と消耗品

6

3 「R1-R4」レバーを手前に引き下げます。

4 ユニットの取っ手を持ち、ユニットを引き出します。

5 ドラムカートリッジ「R1」以外のユニットの上に、箱から取り出しておいた同梱の黒シートをかぶせます。

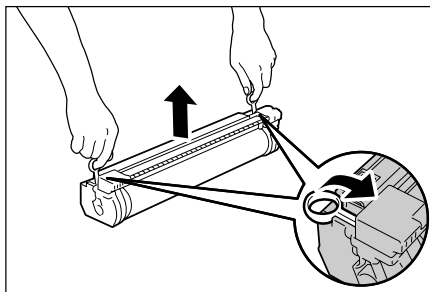
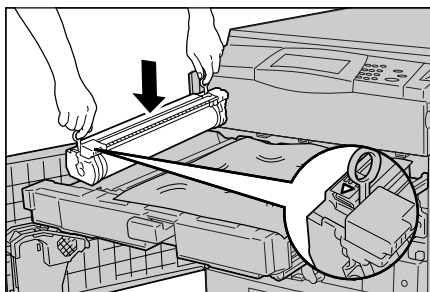
注記 ・画質に影響するため、必ず黒シートをかぶせて作業してください。

6 ドラムカートリッジの両端にあるリングを持ち、上方向に取り出します。

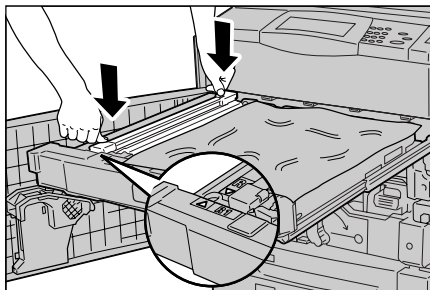
リングに指をかけて持ち上げてください。

7 使用済みのドラムカートリッジを、空箱に収納します。

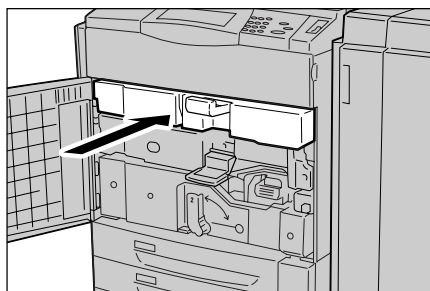
8 新しいドラムカートリッジが入っている袋を開け、取り出します。

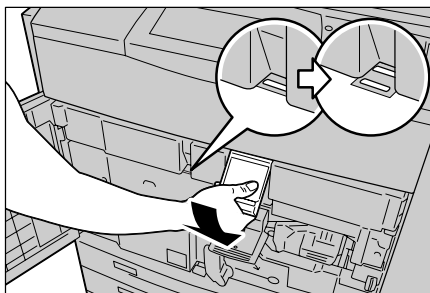
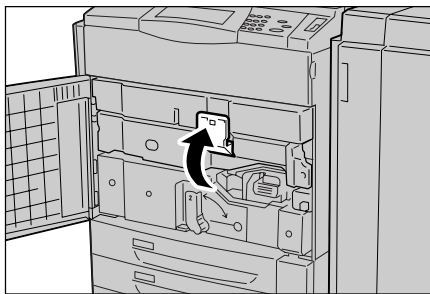
注記 ・袋から取り出すときに、ドラムの表面に触れたり、傷を付けたりしないでください。

9 **ドラムカートリッジの保護シートを、下に敷くように開きます。**

10 **ドラムカートリッジの両端にあるリングを持ち上げます。**

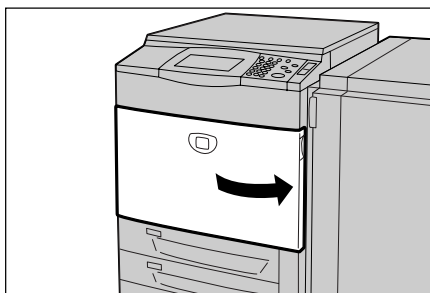
リングに指をかけて持ち上げてください。

青いドラム面に触らないでください。

11 **ドラムカートリッジの（▼）部を手前にして、ガイドに沿って置きます。**

12 **ドラムカートリッジの両端を上から押して水平にセットします。**

補足 ・（▼）と（▲）が合っていることを確認してください。

13 **ユニットの上にかぶせておいた黒シートを取り外します。**

14 **ユニットを奥まで押し込みます。**

15 **ユニット部の取っ手を格納します。**

補足 ・正しく格納されると、ガイドシールの線が 2 本見えるようになります。

16 **「R1-R4」レバーを閉じます。**

17 **フロントカバーを閉じます。**

補足 ・フロントカバーが少しでも開いていると、メッセージが表示され、機械が作動しません。

ドラムカートリッジ「R2」/「R3」/「R4」を交換する

ドラムカートリッジの交換時期になると、「ドラムカートリッジ［R ×］を交換してください。」というメッセージが、操作パネルのタッチパネルディスプレイに表示されます。

表示されたドラムカートリッジの位置（［R2］/［R3］/［R4］）を確認し、該当するドラムカートリッジを交換してください。

交換しないで使い続けると、メッセージが表示されたあと、約 4,200 ページのプリントで機械は停止します。

> **⚠注意**
> - **ドラムカートリッジを絶対に加熱したり、表面をはがしたりしないでください。健康を害する原因となるおそれがあります。**
> - **ドラムカートリッジの交換は、弊社エンジニアに説明を受けた方のみ、作業してください。**

注記
- ドラムカートリッジが入っているユニットを引き出した場合、2 分以内にユニットの上全体に、同梱の黒シートをかぶせてください。ドラムカートリッジに光が当たることによって、画質に影響が出るおそれがあります。
- 弊社が推奨していないドラムカートリッジを使用された場合、装置本来の品質や性能を発揮できないおそれがあります。本製品には、弊社が推奨するドラムカートリッジをご使用ください。

補足
- ドラムカートリッジを、直射日光や室内蛍光灯の強い光に当てないでください。また、ドラムの表面に触れたり、傷を付けたりしないでください。きれいなプリントができなくなることがあります。
- 使用済みのドラムカートリッジは処理が必要です。弊社または販売店にお渡しください。
- ドラムカートリッジを交換するときは、本機の電源を入れたままの状態にしておいてください。電源を切ると、本機のメモリー上に蓄えられた情報が消去されます。
- 使用可能ページ数は、A4（▯）の用紙を使用した場合の枚数です。
- 使用可能ページ数は、印字内容、用紙のサイズ、種類、使用環境などによって異なりますので、あくまでも目安としてお考えください。
- 「ドラムカートリッジ［R ×］を交換してください。」が表示されたあとは、プリント汚れが発生することがあります。

1 新しいドラムカートリッジと、同梱されている黒シートを箱から取り出しておきます。

注記
- ドラムカートリッジは平らな場所に置いてください。
- ドラムカートリッジを立てた状態で置かないでください。

2 機械が停止していることを確認し、フロントカバーを開けます。

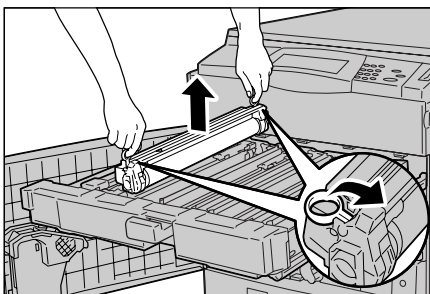
用紙と消耗品

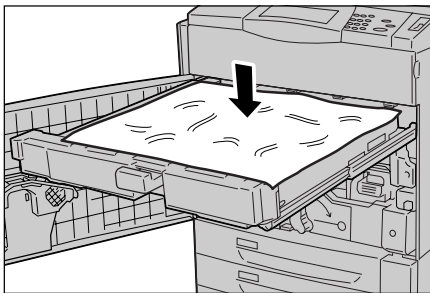
6

3 「R1-R4」レバーを手前に引き下げます。

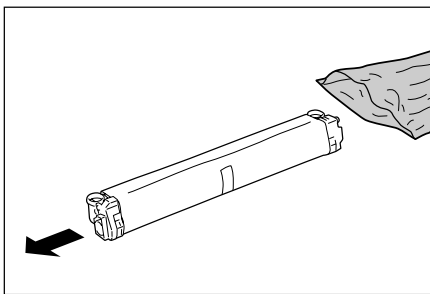
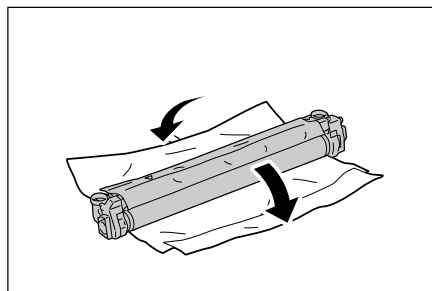
4 ユニットの取っ手を持ち、ユニットを引き出します。

5 ドラムカートリッジの両端にあるリングを持ち、上方向に取り出します。

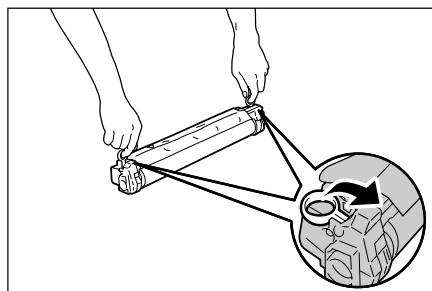
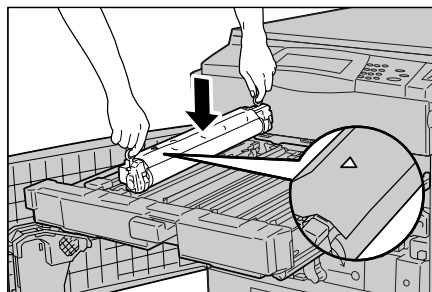
補足 ・ここではR2の場合を例に説明します。

6 使用済みのドラムカートリッジを、空箱に収納します。

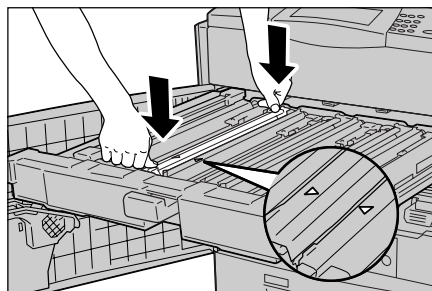
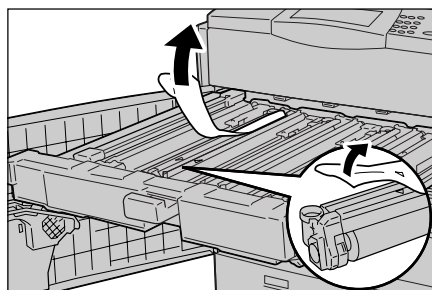
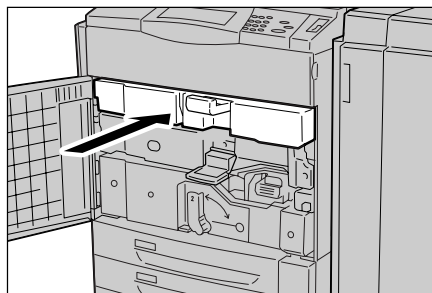
7 引き出したユニットの上全体に、箱から取り出しておいた同梱の黒シートをかぶせます。

注記 ・画質に影響するため、必ず黒シートをかぶせて作業してください。

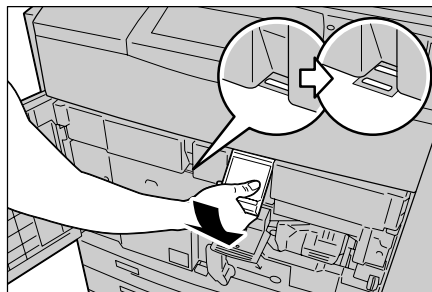
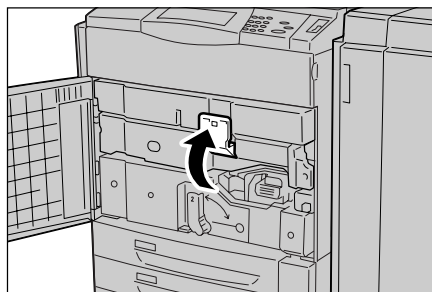
8 新しいドラムカートリッジが入っている袋を開け、取り出します。

注記 ・袋から取り出すときに、ドラムの表面に触れたり、傷を付けたりしないでください。

9 **ドラムカートリッジの保護シートを、下に敷くように開きます。**

10 **ユニットの上にかぶせておいた黒シートを取り外します。**

11 **ドラムカートリッジの両端にあるリングを持ち上げます。**

青いドラム面に触らないでください。

12 **ドラムカートリッジの（▶）部を手前にして、ガイドに沿って置きます。**

13 **ドラムカートリッジの両端を上から押して水平にセットします。**

補足 ・（▶）と（◀）が合っていることを確認してください。

14 **ドラムカートリッジの上面のフィルムシートをはがします。**

15 ユニットを奥まで押し込みます。

16 ユニット部の取っ手を格納します。

補足 ・正しく格納されると、ガイドシールの線が 2 本見えるようになります。

17 「R1-R4」レバーを閉じます。

18 フロントカバーを閉じます。

補足 ・フロントカバーが少しでも開いていると、メッセージが表示され、機械が作動しません。

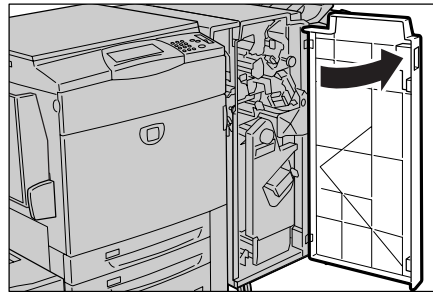
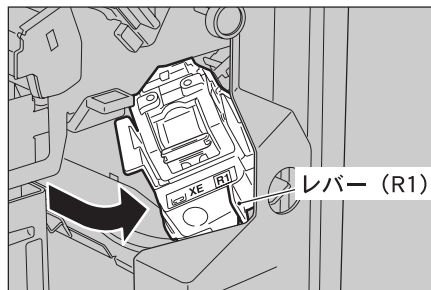
ホチキスカートリッジを交換する

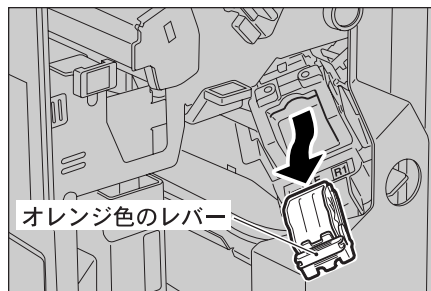
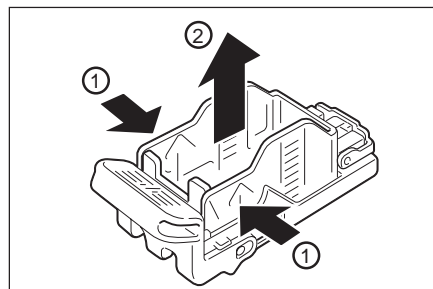
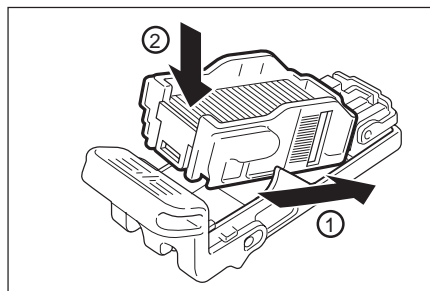
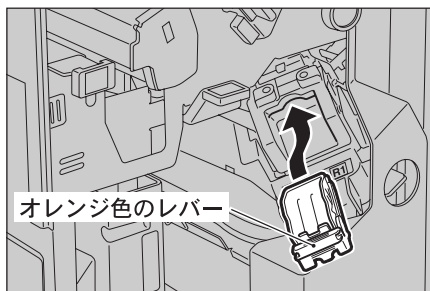
オプションのフィニッシャー C または中とじフィニッシャー C を装着している場合、ホチキスカートリッジの交換時期になると、操作パネルのタッチパネルディスプレイにメッセージが表示されます。メッセージが表示されたら、新しいホチキスカートリッジと交換してください。

ここでは、中とじフィニッシャー C を例に説明します。フィニッシャー C も手順は同様です。

注記 ・ 弊社が推奨していないホチキスカートリッジを使用された場合、装置本来の品質や性能を発揮できないおそれがあります。本製品には、弊社が推奨するホチキスカートリッジをご使用ください。

補足 ・ ホチキスカートリッジを注文するときは、弊社の商品センターまたは販売店に連絡してください。

1 機械が停止していることを確認し、フィニッシャーのフロントカバーを開けます。

2 ホチキスカートリッジホルダーのレバー「R1」を持って、ホチキスカートリッジホルダーを右端（手前）へ引き寄せます。

3 オレンジ色のレバーを持って、ホチキスカートリッジを取り出します。

補足 ・ ホチキスカートリッジは、しっかりセットされています。取り出すときは、強めにホチキスカートリッジを引いてください。

4 空になった針ケースの左右をつまみ（1）、図の方向にカートリッジからホチキス針ケースを取り出します（2）。

5 **新しいホチキス針ケースを用意し、ホチキスカートリッジにホチキス針ケースを先端から挿入し（1)、後方を押してセットします（2)。**

6 **オレンジ色のレバーを持って、ホチキスカートリッジを「カチッ」と音がするまで押し込みます。**

7 **ホチキスカートリッジホルダーを元の位置にセットします。**

8 **フィニッシャーのフロントカバーを閉じます。**

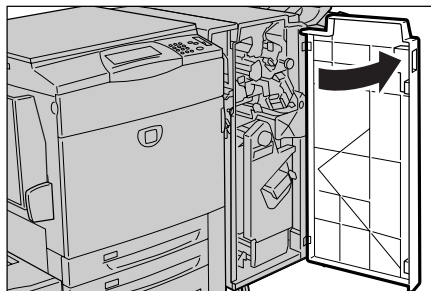
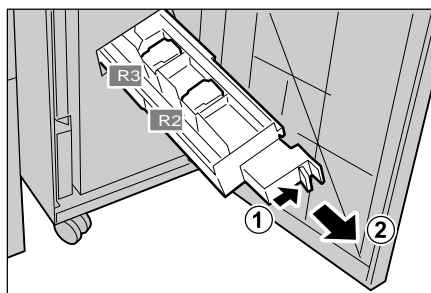
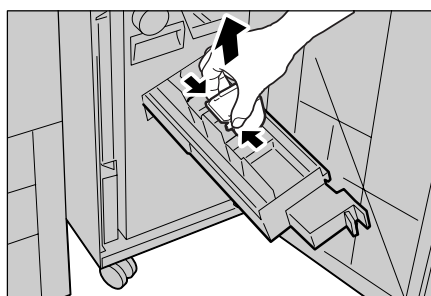
補足 ・ フィニッシャーのフロントカバーが少しでも開いていると、メッセージが表示され、機械が作動しません。

小冊子（中とじ）用ホチキスカートリッジを交換する

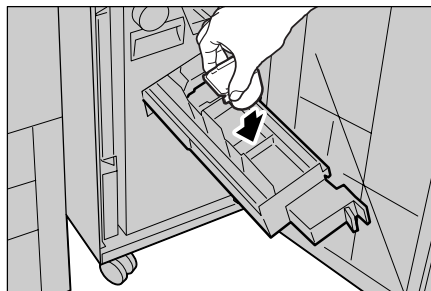
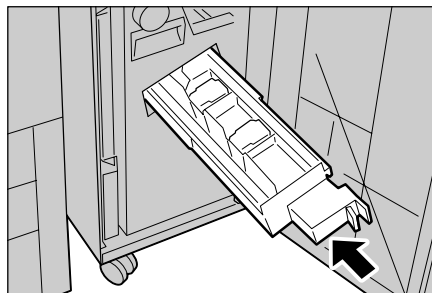
中とじフィニッシャー C（オプション）を装着している場合、小冊子（中とじ）用ホチキスカートリッジの交換時期になると、操作パネルのタッチパネルディスプレイにメッセージが表示されます。メッセージが表示されたら、新しいホチキスカートリッジと交換してください。

注記 ・弊社が推奨していないホチキスカートリッジを使用された場合、装置本来の品質や性能を発揮できないおそれがあります。本製品には、弊社が推奨するホチキスカートリッジをご使用ください。

補足 ・ホチキスカートリッジを注文するときは、弊社の商品センターまたは販売店に連絡してください。

1 **機械が停止していることを確認し、フィニッシャーのフロントカバーを開けます。**

2 **レバー「R2 R3」を右側に押しながら(1)、ユニットを引き出します(2)。**

3 **小冊子（中とじ）用ホチキスカートリッジの左右にあるツメを持ち、そのまま上に引きながら取り出します。**

4 **新しい小冊子（中とじ）用ホチキスカートリッジの、左右にあるツメを持ちながら元の位置に戻し、上から軽く押して、「カチッ」と音がすることを確認します。**

用紙と消耗品

6

5 ユニットを元の位置に戻します。

6 フィニッシャーのフロントカバーを閉じます。

補足 ・フィニッシャーのフロントカバーが少しでも開いていると、メッセージが表示され、機械が作動しません。

7 仕様設定

本機の各機能には、工場出荷時の値（初期値）が設定されていますが、使用環境に合わせて設定値を変更できます。設定値の変更は、機械管理者モードに入って、［仕様設定 / 登録］画面で行います。

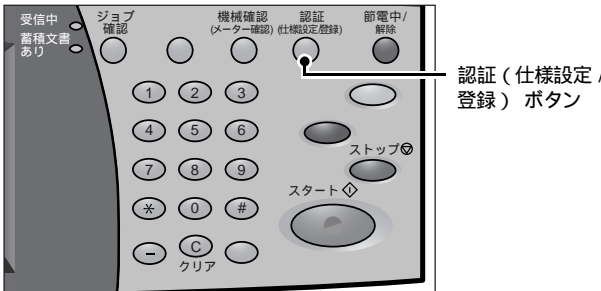
この章では、機械管理者を対象に、設定値を変更できる機能と設定手順について説明します。

仕様設定の流れ

仕様を設定 / 変更するには、機械管理者モードに入る必要があります。

ここでは、仕様設定の基本的な操作について説明します。仕様設定の流れと参照先は、次のとおりです。

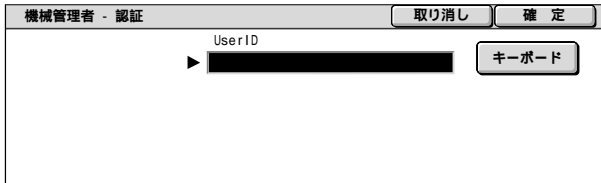
Step1 機械管理者モードに入る

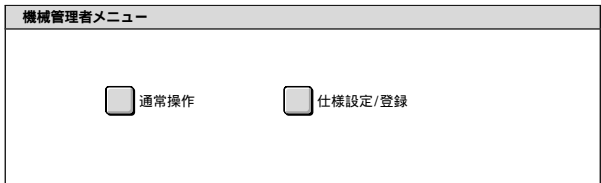
1 〈認証（仕様設定 / 登録）〉ボタンを押します。

Step2 機械管理者の User ID、パスワードを入力する

機械管理者モードに入るために、機械管理者の User ID を入力します。また、認証管理機能を利用している場合、パスワードが必要な場合があります。

機械管理者の User ID、およびパスワードは、本機を設置したあと、すぐに変更することをお勧めします。設定方法については、「機械管理者情報の設定」(P.243) を参照してください。

1 数字ボタンまたは［キーボード］を押して表示されるキーボードを使って、機械管理者の User ID を入力し、［確定］を押します。

補足 • User IDの初期値は、「11111」です。認証管理機能を利用している場合、パスワードが必要なときがあります。パスワードの初期値は、「x-admin」です。

Step3 機械管理者メニューから操作モードを選択する

1 ［仕様設定 / 登録］を押します。

■通常操作

機械管理者モードのまま、通常の操作ができます。

補足 ・［通常操作］から入ったモードを解除する場合は、次の操作をしてください。
①〈認証（仕様設定 / 登録）〉ボタンを押します。
②［認証］画面で、［取り消し］を押します。

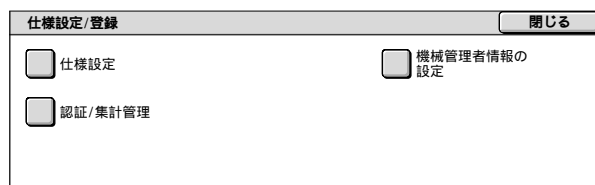
■仕様設定 / 登録

各仕様の設定または登録ができます。

Step4 ［仕様設定 / 登録］画面から項目を選択する

［仕様設定 / 登録］画面で、設定する項目を選択します。

仕様設定 / 登録で設定できる項目については、「仕様設定メニュー一覧」(P.211) を参照してください。

1 設定する項目を選択します。

仕様設定

各機能の初期値などを設定 / 変更できます。

■共通設定

機械本体の仕様にかかわる設定ができます。

詳細については、「共通設定」(P.216) を参照してください。

■ネットワーク設定

ポートやプロトコルなどの設定ができます。

設定できる項目については、「ネットワーク設定」(P.231) を参照してください。

■プリンター設定

メモリーの設定やプリント時の動作などの設定ができます。

詳細については、「プリンター設定」(P.233) を参照してください。

■メール設定

メール機能の初期値、アドレス検索、その他の設定などの設定ができます。

詳細については、「メール設定」(P.239) を参照してください。

■保存文書設定

保存文書に関する設定ができます。

詳細については、「保存文書設定」(P.241) を参照してください。

機械管理者情報の設定

機械管理者モードに入るための、機械管理者 ID、および機械管理者パスワードの設定ができます。

詳細については、「機械管理者情報の設定」(P.243) を参照してください。

認証 / 集計管理

本機を利用するユーザーを制限したり、ユーザーごとの管理ができます。

詳細については、「認証 / 集計管理」(P.245) を参照してください。

Step5 機能を設定する

1. **任意の機能を設定します。**
2. **機能を設定したら、[決定] を押します。**

Step6 機械管理者モードを終了する

1. **設定が終わったら、[仕様設定 / 登録] 画面が表示されるまで、[閉じる] を押します。**
2. **[作業終了] を押します。**

仕様設定メニュー一覧

次の表は、設定できる仕様の項目一覧です。なお、表示される項目は、本機の構成によって異なります。

共通設定

システム時計 / タイマー設定（P.216）	• 日付（P.217） • 時刻（P.217） • 時刻サーバー（NTP）と同期（P.217） ・時刻サーバーへの接続（P.217） ・接続間隔（P.217） ・時刻サーバー IP アドレス（P.217） • 自動リセット（P.217） • ジョブ自動解除（P.218） • プリント起動（P.218） • 節電モード移行時間（P.218）
音の設定（P.219）	• 正常入力音（P.219） • 異常入力音（P.219） • 準備完了音（P.219） • 正常終了音（P.219） • 異常終了音（P.219） • 異常警告音（P.220） • 用紙切れ警告音（P.220） • トナー残量警告音（P.220） • 自動リセット事前通知音（P.220） • 基点音（P.220）
初期画面の設定（P.220）	• 初期表示言語（P.220）
用紙 / トレイの設定（P.221）	• ユーザー用紙の名称設定（P.221） • 用紙トレイのサイズ / 用紙種類（P.221） ・用紙サイズ（P.222） ・用紙種類（P.222） ・自動選択条件（P.222） • トレイセット時の用紙変更画面表示（P.222） • 用紙トレイの優先順位（P.223） • 用紙種類の優先順位（P.223） • 用紙種類別画質処理（P.223） • 自動トレイ切り替え（P.224）
階調補正（P.225）	• 階調補正（P.225）
レポート設定（P.225）	• ジョブ履歴レポート（P.225） • レポートの両面プリント（P.225）
保守（P.226）	• ハードディスク初期化（P.226） • データの一括削除（P.226）
その他の設定（P.227）	• オフセット排出（排出トレイ）（P.227） • プリントジョブの追い越し（P.227） • プリント用紙サイズ初期値（P.227） • サイズ検知切り替え（P.228） • ミリ / インチ切り替え（P.229） • キーボード入力制限（P.229） • アップダウンボタンの操作（P.229） • 消耗品情報画面の表示（P.229） • ハードディスクの上書き消去（P.229） • データの暗号化（P.229） • カストマーエンジニアの操作制限（P.230） • ソフトウエアダウンロード（P.230） • 光沢機能の使用（P.230）

ネットワーク設定

ポート設定（P.231）	• USB • LPD • NetWare • SMB • IPP • EtherTalk • Port9100 • SNMP • メール受信 • メール通知サービス • UPnP ディスカバリー • BMLinkS • インターネットサービス（HTTP） • SOAP
プロトコル設定（P.232）	• Ethernet 設定 • TCP/IP-IP アドレス取得方法 • TCP/IP-IP アドレス • TCP/IP- サブネットマスク • TCP/IP- ゲートウェイアドレス • TCP/IP- 受け付け IP アドレス制限
本体メールアドレス / ホスト名（P.232）	• メールアドレス • ホスト名 • ドメイン名
POP3 サーバー設定（P.232）	• POP3 サーバー - 指定方法 • POP3 サーバー -IP アドレス • POP3 サーバー - サーバー名 • POP3 サーバー - ポート番号 • POP3 サーバー - 受信間隔 • POP3 サーバー - ログイン名 • POP3 サーバー - パスワード • POP 受信パスワードの暗号化
SMTP サーバー設定（P.232）	• SMTP サーバー - 指定方法 • SMTP サーバー -IP アドレス • SMTP サーバー - サーバー名 • SMTP サーバー - ポート番号 • 送信時の認証方式 • SMTP AUTH- ログイン名 • SMTP AUTH- パスワード
受信ドメインの制限（P.232）	• 制限方法 • ドメイン 1 ～ 50
その他の設定（P.232）	• メール受信プロトコル

プリンター設定

メモリー設定（P.233）	• PostScript 使用メモリー（P.234） • ART EX フォームメモリー（P.234） • ART IV, ESC/P, 201H フォームメモリー（P.234） • ART IV ユーザー定義用メモリー（P.234） • HP-GL/2 オートレイアウト用メモリー（P.234） • 受信バッファ -USB（P.234） • 受信バッファ -LPD（P.234） • 受信バッファ -NetWare（P.235） • 受信バッファ -SMB（P.235） • 受信バッファ -IPP（P.235） • 受信バッファ -EtherTalk（P.235） • 受信バッファ -Port9100（P.235）
フォーム削除（P.236）	• ART EX（P.236） • ART IV（P.236） • ESC/P（P.236） • PC-PR201H（P.236）
その他の設定（P.236）	• プリント可能領域（P.236） • 用紙の置き換え（P.237） • 用紙種類不一致時の処理（P.237） • 未登録フォーム指定時の処理（P.237） • ID 印字（P.237） • バナーシート出力（P.237） • バナーシートトレイ（P.238） • PostScript のカラーモード初期値（P.238） • PostScript の用紙選択（P.238） • PS フォント未搭載時の処理（P.238） • PostScript のフォント置き換え（P.238）

メール設定

その他の設定（P.239）	• 受信メールシートのプリント（P.239） • エラー通知メールの自動プリント（P.240） • 開封確認（MDN）要求への応答（P.240） • 開封確認（MDN）機能の使用（P.240） • 送達確認メールの自動プリント（P.240）

保存文書設定

保存文書設定（P.241）	• 文書の保存期間（P.241） • 認証プリント文書の削除（P.241） • セキュリティープリント文書の削除（P.242） • プライベートプリント文書の削除（P.242） • サンプルプリント文書の削除（P.242） • プリント時の確認画面表示（P.242）

機械管理者情報の設定

機械管理者 ID（P.243）	-
機械管理者パスワード（P.243）	-
機械管理者 ID の認証失敗によるアクセス拒否（P.244）	-

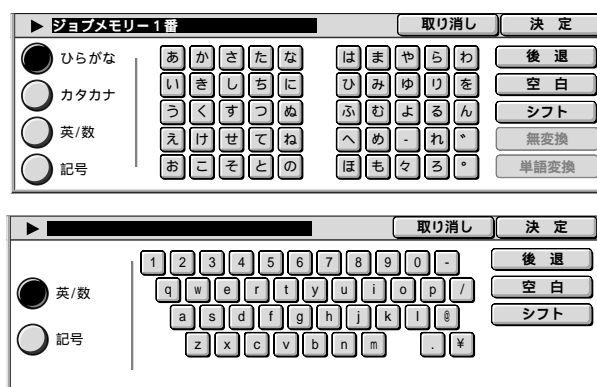
認証 / 集計管理

ユーザー登録 / 集計確認（P.245）	• User ID（P.246） • ユーザー名（P.246） • パスワード（P.246） • プリンターの制限（P.246） ・カラーモード制限（P.246） ・上限ページ数（P.246） • 累積ページ数のリセット（P.247） • すべての登録内容を削除（P.247）
登録内容の削除 / 集計リセット（P.247）	• 全ユーザーの登録内容（P.248） • 全ユーザーのカラーモード制限（P.248） • 全ユーザーの上限ページ数（P.248） • 全ユーザーの集計管理データ（P.248） • プリンター集計データ（P.248）
認証情報の設定（P.248）	• User ID の代替表記（P.248） • User ID の入力表示（P.248） • Account ID の代替表記（P.249） • Account ID の入力表示（P.249） • 認証失敗の記録（P.249） • 認証情報の保存先（P.249）
認証プリントの設定（P.249）	• 受信時の PJL 命令制御（P.250） • 出力時の PJL 命令制御（P.250） • 受信制御（P.250）
本体パネルのパスワード使用（P.251）	-
認証 / 集計の運用（P.251）	• 認証しない（P.251） • 本体認証 / 集計（P.252） • ネット認証 / 集計（P.252） ・認証情報の照合（P.252）

仕様設定

7

文字の入力方法について

操作中に、文字を入力する画面が表示されることがあります。ここでは、文字を入力する方法について、説明します。

入力できる文字は、ひらがな、カタカナ、漢字、数字、英字、記号です。

項目	説明
ひらがなの入力	[ひらがな] を選択します。 [シフト] を選択すると、小さいひらがなが表示されます。もとに戻すときは、もう一度 [シフト] を選択します。
カタカナの入力	[カタカナ] を選択します。 [シフト] を選択すると、小さいカタカナが表示されます。もとに戻すときは、もう一度 [シフト] を選択します。
アルファベットや数字の入力	[英 / 数] を選択します。 [シフト] を選択すると、アルファベットの大文字が表示されます。もとに戻すときは、もう一度 [シフト] を選択します。
記号の入力	[記号] を入力します。
漢字の入力	[ひらがな] を選択して、1 文字に変換される分のひらがなを入力したあと、[単語変換] を選択します。[漢字変換] 画面に該当する漢字が表示されるので、希望の漢字を選択します。 [次候補] を選択すると、さらに候補の漢字が表示されます。[前候補] を選択すると、表示が戻ります。 変換しない場合は、[無変換] を選択します。入力したひらがなをそのままにして、次の文字入力に進みます。
スペースの入力	[空白] を選択します。
濁点、半濁点の入力	[゛]、[゜] を選択します。
文字の消去	[後退] を選択します。1 文字ずつ消去できます。

入力できる漢字については、「表示できる漢字一覧」(P.356) を参照してください。

共通設定

［共通設定］では、機械本体の仕様にかかわる設定ができます。各項目の詳細と参照先は、次のとおりです。

1 ［仕様設定 / 登録］画面で、［仕様設定］を押します。

［仕様設定 / 登録］画面を表示する方法については、「仕様設定の流れ」(P.208) を参照してください。

2 ［共通設定］を押します。

3 設定 / 変更する項目を選択します。

システム時計 / タイマー設定

時刻をセットしたり、節電やリセットなどの機能が働くまでの時間（タイマー）を設定します。

1 ［システム時計/タイマー設定］を押します。

2 設定/変更する項目を選択し、［確認 / 変更］を押します。

補足 ・［▲］を押して前画面、［▼］を押して次画面を表示できます。

3 ［▲］［▼］または数字ボタンで数値を入力します。

補足 ・項目によっては、数字ボタンで入力できない場合もあります。

4 ［決定］を押します。

日付

本機のシステム時計の日付を指定します。ここで指定された日付がリストやレポートにプリントされます。

1 ［日付］を選択し、［確認 / 変更］を押します。

2 日付の形式を選択します。

3 年 / 月 / 日を指定します。

時刻

本機のシステム時計の時刻を、12 時間制表示、または 24 時間制表示で指定します。ここで指定された時刻が、リストやレポートにプリントされます。

1 ［時刻］を選択し、［確認 / 変更］を押します。

2 表示形式を選択します。

3 ［12 時間制表示］を選択した場合は、［午前（AM）］または［午後（PM）］を選択します。

4 時 / 分を指定します。

時刻サーバー（NTP）と同期

時刻サーバー（NTP:Network Time Protocol）の時刻と同じになるように、サーバーから時刻を取得し、本機の時間を合わせることができます。

1 ［時刻サーバー（NTP）と同期］を選択し、［確認 / 変更］を押します。

2 任意の項目を選択し、［確認 / 変更］を押します。

■時刻サーバーへの接続

時刻サーバーに接続するかどうかを選択します。［しない］に設定すると、時刻サーバーから時刻を取得しません。

■接続間隔

設定されているサーバーに、接続するまでの時間を指定します。

1 ～ 500 時間の範囲で 1 時間刻みに指定します。

■時刻サーバー IP アドレス

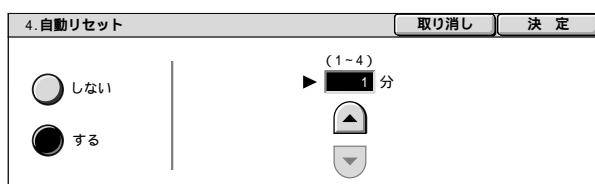
時刻を取得するサーバーの IP アドレスを、0 ～ 255 の値で指定します。

補足 ・244 ～ 255.XXX.XXX.XXX、および 127.XXX.XXX.XXX は指定できません。

自動リセット

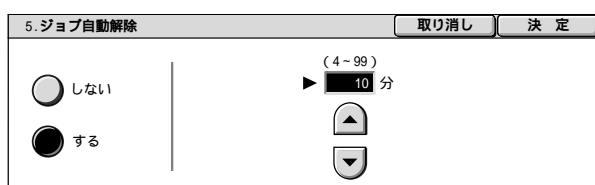
何も操作をしない状態で一定の時間が経過したとき、自動的に初期画面に戻るまでの時間を指定します。

1～4分の範囲で1分刻みに指定します。指定しない場合は、［しない］を選択してください。

1 ［自動リセット］を選択し、［確認 / 変更］を押します。
2 ［しない］または［する］を選択します。
3 ［する］を選択した場合は、時間を指定します。

ジョブ自動解除

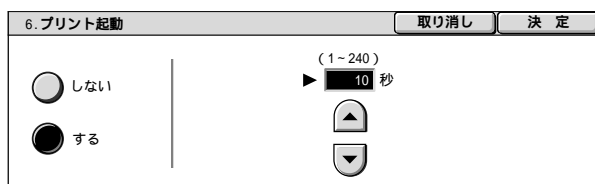
本機に、エラー（用紙の補給、用紙づまりなど）が発生したとき、現在のジョブを解除して、次のジョブを実行できるまでの時間を指定します。このとき、実行できるジョブは機械のエラーが発生している部分を使用しないものに限ります。

4 ～ 99 分の範囲で 1 分刻みに指定します。指定しない場合は、［しない］を選択してください。

1 ［ジョブ自動解除］を選択し、［確認 / 変更］を押します。
2 ［しない］または［する］を選択します。
3 ［する］を選択した場合は、時間を指定します。

プリント起動

操作の終了後から、次のプリント処理を伴うジョブを実行するまでの時間を指定します。

1 ～ 240 秒の範囲で 1 秒刻みに指定します。［しない］を選択すると、本機の準備ができたら、すぐにプリントします。

1 ［プリント起動］を選択し、［確認 / 変更］を押します。
2 ［しない］または［する］を選択します。
3 ［する］を選択した場合は、時間を指定します。

節電モード移行時間

節電モードには、「低電力モード」と「スリープモード」があり、設定時間が経過すると次のように移行し、消費電力を下げます。

「本機を最後に操作」→「低電力モード」→「スリープモード」

1 ［節電モード移行時間］を選択し、［確認 / 変更］を押します。
2 低電力モード、スリープモードを指定します。

■最終操作から低電力モードまで

最終操作から低電力モードに移行するまでの時間を指定します。

1 〜 240 分の範囲で 1 分刻みに指定します。

補足 ・[最終操作からスリープモードまで]の時間は、[最終操作から低電力モードまで]の時間以上になるように指定してください。

■最終操作からスリープモードまで

最終操作からスリープモードに移行するまでの時間を、1 〜 240 分の範囲で 1 分刻みに指定します。

音の設定

ジョブの終了や本機の異常などを知らせる音を、鳴らすかどうかを設定します。

1 [音の設定]を押します。

2 設定/変更する項目を選択し、[確認/変更]を押します。

補足 ・[▲]を押して前画面、[▼]を押して次画面を表示できます。

3 設定値を選択します。

4 [決定]を押します。

正常入力音

操作パネルのタッチパネルディスプレイに表示されるボタンを、正しく選択したときに鳴る音を設定します。

音量は、[大]、[中]、[小]から選択できます。音を鳴らさない場合は、[なし]を選択してください。

異常入力音

選択できないボタンを選択したときや、エラーが発生しているときに操作をしたときに鳴る音を設定します。

音量は、[大]、[中]、[小]から選択できます。音を鳴らさない場合は、[なし]を選択してください。

準備完了音

電源を入れたときなど、本機がプリントできる状態になったときに鳴る音を設定します。

音量は、[大]、[中]、[小]から選択できます。音を鳴らさない場合は、[なし]を選択してください。

正常終了音

ジョブが正常に終了したときに鳴る音を設定します。

音量は、[大]、[中]、[小]から選択できます。音を鳴らさない場合は、[なし]を選択してください。

異常終了音

ジョブが異常終了したときに鳴る音を設定します。
音量は、[大]、[中]、[小]から選択できます。音を鳴らさない場合は、[なし]を選択してください。

異常警告音

原稿や用紙が詰まるなどの異常が発生し、ジョブが異常状態のまま保留になったときに鳴る音を設定します。

音量は、[大]、[中]、[小] から選択できます。音を鳴らさない場合は、[なし] を選択してください。

用紙切れ警告音

用紙トレイの用紙切れによって、ジョブが異常状態のまま保留になったときに鳴る音を設定します。

音量は、[大]、[中]、[小] から選択できます。音を鳴らさない場合は、[なし] を選択してください。

トナー残量警告音

トナーカートリッジが交換時期になったときに鳴る音を設定します。

音量は、[大]、[中]、[小] から選択できます。音を鳴らさない場合は、[なし] を選択してください。

自動リセット事前通知音

自動リセット機能を設定している場合に、自動的に初期画面に戻る、5 秒前に鳴る音を設定します。

音量は、[大]、[中]、[小] から選択できます。音を鳴らさない場合は、[なし] を選択してください。

基点音

トグル動作をするボタン（繰り返し押すことで設定を切り替えることができるボタン）の、基準となる音を設定します。

音量は、[大]、[中]、[小] から選択できます。音を鳴らさない場合は、[なし] を選択してください。

初期画面の設定

電源を入れたときの初期画面表示を設定します。

1 [初期画面の設定] を押します。

2 設定/変更する項目を選択し、[確認/変更] を押します。

3 設定値を設定します。

4 [決定] を押します。

初期表示言語

本機で表示する言語を切り替えることができます。[日本語] または [英語] から選択できます。

言語の切り替え操作には、機械管理者モードから設定する方法と、一般ユーザーが設定する方法の 2 つがあります。

- 機械管理者モードから設定する

  本機の電源を入れたときの標準言語になり、電源を切 / 入しても設定は保持されています。

- **一般ユーザーが設定する**

  ［メニュー］画面の［言語切り替え］で言語を設定している場合は、本機の電源を切 / 入すると、設定は無効になります。

注記 ・［英語］に設定する場合は、ASCII 文字以外の文字は入力しないでください。

用紙 / トレイの設定

トレイにセットする用紙の種類や優先順位、また、用紙別の画質処理の設定など、用紙やトレイに関連する項目を設定します。

1. **［用紙 / トレイの設定］を押します。**
2. **設定する項目を選択します。**
3. **設定/変更する項目を選択し、［確認 / 変更］を押します。**
4. **設定値を設定します。**
5. **［決定］を押します。**

ユーザー用紙の名称設定

ユーザー用紙 1 ～ 5 に、普通紙、上質紙、再生紙の用紙に限り、名称を付けられます。ひらがな、カタカナ、漢字、英数字、記号を使って、全角で 12 文字まで設定できます。

たとえば、色紙に「色紙」と付けたり、上質紙に「表紙用」などと用途に応じた名称を付けることもできます。

文字の入力方法については、「文字の入力方法について」(P.215) を参照してください。

1. **［ユーザー用紙の名称設定］を押します。**
2. **設定/変更する項目を選択し、［確認 / 変更］を押します。**
3. **名前を入力します。**

用紙トレイのサイズ / 用紙種類

用紙トレイにセットする用紙のサイズ、用紙種類、自動選択条件を設定します。

補足 ・トレイ 5（手差し）は、用紙種類だけ設定できます。

1. **［用紙トレイのサイズ/用紙種類］を押します。**
2. **設定 / 変更する用紙トレイを選択し、［確認 / 変更］を押します。**

   補足 ・［▲］を押して前画面、［▼］を押して次画面を表示できます。
3. **設定 / 変更する項目を選択します。**

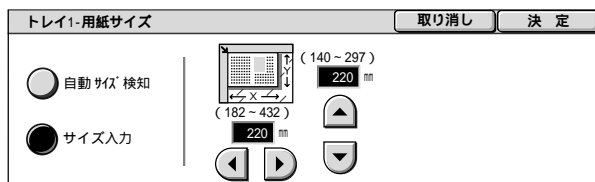
■用紙サイズ

用紙トレイ 1、2、6 にセットした定形サイズの用紙は自動で検知しますが、非定形サイズの用紙をセットする場合は、たてよこのサイズを指定する必要があります。

注記
- 紙づまりやエラーの原因になることがあるので、ガイドを用紙サイズに合わせてください。また、トレイを検知できないことがあります。そのような場合は、トレイ 5（手差し）を使用してください。
- トレイ 3、4 の用紙サイズは変更できません。

1) ［用紙サイズ］を押します。

2) ［自動サイズ検知］または［サイズ入力］を選択します。

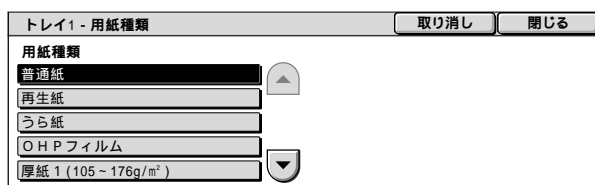
3) ［サイズ入力］を選択した場合は、［▲］［▼］［◀］［▶］で用紙サイズを指定します。

- 自動サイズ検知
  トレイにセットされている定形サイズの用紙を自動で検知します。
- サイズ入力
  非定形サイズをセットする場合、トレイ 1、2 は X 方向（よこ）を 182 〜 432㎜、Y 方向（たて）を 140 〜 297㎜、トレイ 6 は X 方向（よこ）を 210 〜 241㎜、Y 方向（たて）を 297 〜 330㎜ の範囲で 1㎜ 刻みに指定します。

■用紙種類

トレイ 1 〜 4、6 では、6 種類の用紙とユーザー用紙 1 〜 5 から選択できます。
トレイ 5（手差し）では、18 種類の用紙とユーザー用紙 1 〜 5 から選択できます。

1) ［用紙種類］を押します。

2) 用紙の種類を選択します。

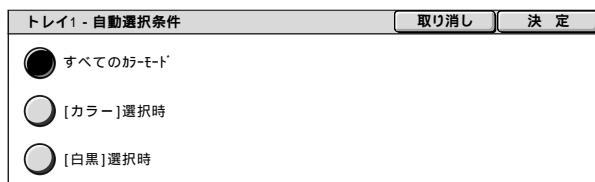
補足
- ［▲］を押して前画面、［▼］を押して次画面を表示できます。

■自動選択条件

カラーモードの設定による、自動トレイ選択の制限を設定します。設定したカラーモード以外の場合は、自動トレイ選択の対象外になります。[すべてのカラーモード]、[[カラー］選択時]、[[白黒］選択時］から選択します。

自動トレイ選択とは、適切な用紙がセットされたトレイを、機械が自動的に選択してプリントすることです。

設定できるのは、用紙トレイ 1 〜 4、6 です。

1) ［自動選択条件］を押します。

2) カラーモードを選択します。

トレイセット時の用紙変更画面表示

用紙トレイを出し入れしたときに、対象トレイの設定変更画面（［用紙トレイのサイズ / 用紙種類］画面）を表示するかどうかを設定します。

トレイ 5（手差し）は、対象外です。

用紙トレイの優先順位

自動トレイ選択時の用紙トレイの優先順位を設定します。

自動トレイ選択とは、適切な用紙がセットされたトレイを、機械が自動的に選択してプリントすることです。

設定できるのは、用紙トレイ 1 〜 4、6 です。トレイ 5(手差し)は対象外です。

1 **[用紙トレイの優先順位]を押します。**

2 **[確認 / 変更]を押します。**

3 **1〜5番目のどれかを選択し、トレイ 1 〜 4、6 のトレイを割り当てます。**

補足 ・各優先順位に同じ用紙トレイは設定できません。

用紙種類の優先順位

自動トレイ選択時の用紙の種類の優先順位を設定します。

自動トレイ選択とは、適切な用紙がセットされたトレイを、機械が自動的に選択してプリントすることです。

設定できるのは、普通紙、再生紙、うら紙、ユーザー用紙 1 〜 5 です。

トレイの優先順位よりも、用紙種類の設定が優先されます。
ただし、異なる用紙種類に同じ優先順位を設定した場合は、トレイの優先順位によって、選択される用紙が決まります。

トレイの優先順位については、「用紙トレイの優先順位」(P.223) を参照してください。

1 **[用紙種類の優先順位] を押します。**

2 **設定/変更する項目を選択し、[確認 / 変更]を押します。**

3 **優先順位を選択します。**

用紙種類別画質処理

普通紙、再生紙、厚紙 1、厚紙 1(うら面)、厚紙 2、厚紙 2(うら面)、コート紙 1、コート紙 1(うら面)、ユーザー用紙 1 〜 5 の各用紙に、画質の処理方法が設定できます。

機械は、プリントをするとき、[用紙トレイの用紙種類]で設定している用紙の種類と、その用紙の種類に設定されている画質処理によって、画質をコントロールします。

1 **[用紙種類別画質処理] を押します。**

2 **設定/変更する項目を選択し、[確認 / 変更]を押します。**

3 **画質処理を選択します。**

4 **[決定]を押します。**

設定できる項目については、下表を参照してください。

用紙の特長と使用上の注意については、「用紙の種類」(P.170) を参照してください。

設定値	内容
普通紙（A）	坪量 64 〜 80g/㎡ の用紙に該当します。
普通紙（B）	坪量 81 〜 104g/㎡ の用紙に該当します。
普通紙（C）	第二原図、薄手コート紙などに対応します。
再生紙（A）	坪量 64 〜 80g/㎡ の表面の粗い再生紙などに該当します。
再生紙（B）	坪量 81 〜 104g/㎡ の表面の粗い再生紙などに該当します。
厚紙 1（A）	坪量 105 〜 128g/㎡ の用紙に該当します。
厚紙 1（B）	坪量 129 〜 176g/㎡ の用紙に該当します。
厚紙 2（A）	坪量 177 〜 255g/㎡ の用紙に該当します。
厚紙 2（B）	坪量 256 〜 280g/㎡ の用紙に該当します。
厚紙 2（C）	坪量 177g/㎡ 以上の私製はがきに該当します。
厚紙 2（D）	坪量 177g/㎡ 以上の郵便はがきに該当します。
厚紙 2（E）	封筒などに該当します。
コート紙 1（A）	坪量 105 〜 128g/㎡ のコート紙に該当します。
コート紙 1（B）	坪量 129 〜 176g/㎡ のコート紙に該当します。

補足 ・設定値に「（うら）」とあるものは、一度プリントした用紙の裏面にプリントするときに設定します。

自動トレイ切り替え

選択しているトレイの用紙がなくなったときの、トレイの切り替え方法を設定します。

1 ［自動トレイ切り替え］を押します。

2 ［確認 / 変更］を押します。

3 切り替え方法を選択します。

■切り替える（［自動］選択時）

［用紙選択］の［自動］を選択している場合だけ、適切な用紙がセットされたトレイを、機械が自動的に選択します。

■常に切り替える

［用紙選択］の設定にかかわらず、状況に応じて、適切な用紙がセットされたトレイを、機械が自動的に選択します。

補足 ・次の場合は、自動トレイ切り替えは働きません。
- トレイ 5（手差し）を選択している場合
- 普通紙、再生紙、うら紙、ユーザー定義用紙以外の用紙をセットしている用紙トレイを選択している場合
- ［用紙種類の優先順位］で［自動トレイ選択しない］に設定されている用紙をセットしている用紙トレイを選択している場合

階調補正

プリント画質の色階調がずれた場合に、階調を補正して、本機のプリント画質を一定の品質に保てます。

自動階調補正の操作方法については、「階調補正を実行する」(P.274) を参照してください。

補足 ・階調補正を定期的に実行しても色階調が補正されない場合、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にお問い合わせください。

1 **スクリーン種別を選択します。**

■解像度優先スクリーン

テキストのように、精細度を重視する部分に対する補正をするときに使用します。

■階調優先スクリーン

グラデーションなどを含むグラフィックスや、写真イメージのように、階調の滑らかさに対する補正をするときに使用します。

2 **［実行］ボタンを押すと、それぞれのチャートを出力します。**

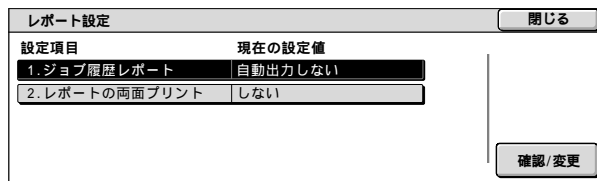
階調補正の仕方については、「階調補正を実行する」(P.274) を参照してください。

レポート設定

レポートのプリントに関する設定をします。

1 **［レポート設定］を押します。**

2 **設定/変更する項目を選択し、［確認/変更］を選択します。**

補足 ・［▲］を押して前画面、［▼］を押して次画面を表示できます。

3 **設定値を選択します。**

4 **［決定］を押します。**

ジョブ履歴レポート

処理を行ったジョブの合計が50件になったときに、［ジョブ履歴レポート］を自動的にプリントさせるかどうかを設定できます。自動的にプリントされるレポートは、すべてのジョブがプリントされます。

レポートの両面プリント

レポート / リストをプリントするときに、片面でプリントするか両面でプリントするかを設定します。

保守

ハードディスクの初期化や、データの一括削除ができます。

1 ［保守］を押します。

2 実施する項目を選択します。

ハードディスク初期化

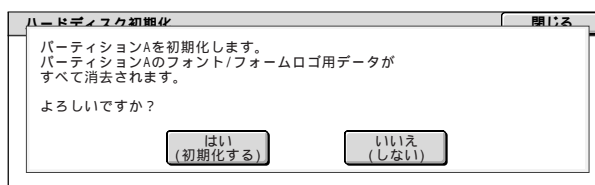
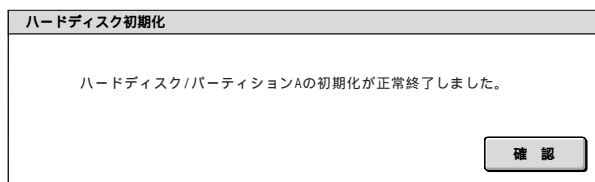
ハードディスクにあるデータを初期化します。

初期化によって消去されるデータは、追加フォント、ART EX、ART IV、PC-PR201H（オプション）、ESC/P の各フォーム、ART IVユーザー定義データ、SMB フォルダーです。

補足
- お使いの機種によっては表示されない項目があります。
- セキュリティープリント文書やログは、消去されません。

1 ［ハードディスク初期化］を押します。

2 初期化するパーティションを選択し、［実行］を押します。

3 ［はい（初期化する）］を押します。

4 初期化が正常に終了した場合は、右のメッセージ画面が表示されるので、［確認］を押します。

データの一括削除

この機能は、弊社が本機を回収するときに、お客様の機密情報の漏えいを防ぐためのものです。データの一括削除を実行すると、本機に登録 / 設定したデータがすべて削除されます。

本機能は、使用しないでください。

その他の設定

機械の本体にかかわる、そのほかの設定をします。

1 ［その他の設定］を押します。

2 設定/変更する項目を選択し、[確認/変更］を押します。

補足 ・［▲］を押して前画面、［▼］を押して次画面を表示できます。

3 設定値を選択します。

4 ［決定］を押します。

オフセット排出（フィニッシャートレイ）

フィニッシャートレイのオフセット機能の動作を設定します。

補足 ・この機能は、お使いの機種によっては表示されません。利用するにはオプションが必要になります。詳しくは、弊社の営業担当者にお尋ねください。

オフセット排出（排出トレイ）

排出トレイのオフセット機能の動作を設定します。

用紙を排出するときに、位置をずらして用紙を排出することを、「オフセット」といいます。直前の用紙の排出位置が手前ならば、次は奥にずらして排出します。このオフセット機能の動作を設定します。

補足 ・この機能は、お使いの機種によっては表示されません。利用するにはオプションが必要になります。詳しくは、弊社の営業担当者にお尋ねください。

■しない

オフセット排出をしません。

■セット単位

セットした部数単位で、位置をずらして用紙を排出します。

■ジョブ単位

ジョブ（プリント指示）単位で、位置をずらして用紙を排出します。

プリントジョブの追い越し

本機が何らかの原因で実行開始できない（プリントを開始しようとしたときに、用紙トレイの用紙がなくなったなど）場合、ほかに実行開始できるジョブがあるときに、ジョブの追い越しを禁止するかどうかを設定します。

補足 ・セキュリティープリントやサンプルプリントなどの蓄積文書は、追い越し許可の対象外です。

プリント用紙サイズ初期値

レポート / リストをプリントするときに、通常使う用紙サイズを設定します。
A4、8.5 × 11" の 2 種類から選択できます。

サイズ検知切り替え

定形サイズの用紙を自動的に検知するときの、用紙サイズを設定します。

AB 系（8 × 13"）、AB 系、AB 系（八開 / 十六開）、AB 系（8 × 13"/8 × 14"）、インチ系の 5 種類から選択できます。

自動検知できるサイズの組み合わせについては、次の表を参考にしてください。

用紙サイズグループ	AB 系（8 × 13"）				AB 系				AB 系（八開 / 十六開）				AB 系（8 × 13"/ 8 × 14"）				インチ系			
セットする場所 / サイズ / 向き	トレイ 1 ～ 2	トレイ 3 ～ 4	トレイ 5（手差し）	トレイ 6	トレイ 1 ～ 2	トレイ 3 ～ 4	トレイ 5（手差し）	トレイ 6	トレイ 1 ～ 2	トレイ 3 ～ 4	トレイ 5（手差し）	トレイ 6	トレイ 1 ～ 2	トレイ 3 ～ 4	トレイ 5（手差し）	トレイ 6	トレイ 1 ～ 2	トレイ 3 ～ 4	トレイ 5（手差し）	トレイ 6
A6▭	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
A5▭	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	×	×	×	×
A5▯	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
A4▭	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×	×
A4▯	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
A3▭	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	×	×
B6▭	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
B6▯	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
B5▭	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×
B5▯	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×
B4▭	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	×	×
5.5 × 8.5▭	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×
5.5 × 8.5▯	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
7.25 × 10.5▯	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	○
8 × 10▭	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×
8 × 10▯	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
8.5 × 11▭	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	○	×
8.5 × 11▯	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○
8.5 × 13▭	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	×	×
8.5 × 14▭	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×
11 × 17▭	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	○	×
十六開▭	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
十六開▯	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×
八開▭	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
郵便はがき▭	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
定形長 3 号封筒▭	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
写真 2L▯	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
4 × 6▭	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
4 × 6▯	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

ミリ / インチ切り替え

画面に表示される単位を、ミリまたはインチに切り替えます。

キーボード入力制限

本機で表示される仮想キーボードの表示方法を、制限するかどうかを設定します。異なる文字セット間での言語切り替え時に、文字化けと誤動作を防止するため、入力範囲を ASCII だけに制限できます。［する（ASCII のみ）］を選択すると、表示されるキーボードは ASCII 文字だけになります。

アップダウンボタンの操作

スクロールボタンを押し続けたときに、スクロール動作を実施するかどうかを設定します。

■押し続け操作を禁止

スクロールボタンを押し続けても、スクロールしません。

■押し続け操作を許可

スクロールボタンを押し続けただけ、スクロールします。

消耗品情報画面の表示

交換が必要な消耗品がある場合に、消耗品の状態を自動的に表示させるかどうかを設定します。

■しない

消耗品情報画面を表示しません。

■電源投入時

電源を入れたときに表示します。

■自動リセット時

自動リセットが働いたときに表示します。

ハードディスクの上書き消去

ハードディスクの上書き消去をするかどうかを設定します。設定する場合は、上書きする回数を、1 回または 3 回から選択できます。

ハードディスクからデータを削除したあと、それらの情報が記録されていた領域に情報を持たないデータで上書きします。そうすることによって、ハードディスクに記録されていたデータの不正な取り出し / 復元を防ぎます。システムが一時的に保存したデータにも対応します。

注記
- 上書き処理中に本機の電源を切った場合、未終了のファイルがハードディスク上に残る場合があります。
- 1 回の上書きでデータは消去されますが、3 回の上書き消去により、削除したデータを読み取られる可能性はより低くなります。ただし、時間がかかります。
- 上書き処理中は、通常操作の処理速度が低下することがあります。

データの暗号化

本機のハードディスクに記録されるデータを、暗号化するかどうかを設定します。

データの暗号化を設定すると、ハードディスクにデータを書き込むときに自動的に暗号化されます。暗号化することによって、保存データへの不正なアクセスなどを防ぎます。設定する場合は、暗号化キーの設定をします。

1 ［データの暗号化］を押します。

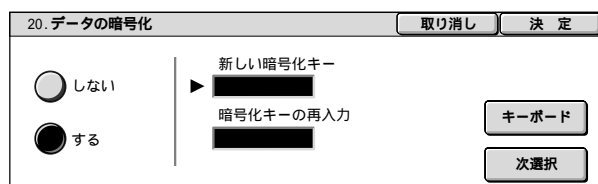
2 ［する］を押します。

3 ［キーボード］を押し、12 桁の暗号化キーを入力します。

補足 ・暗号化キーは、工場出荷時には「111111111111」（12 桁）が設定されています。

4 ［決定］を押します。

5 同様の手順で、もう一度、同じ暗号化キーを入力します。

20.データの暗号化　取り消し　決定
しない
する
新しい暗号化キー
暗号化キーの再入力
キーボード
次選択

データの復旧について

暗号化されたデータは、次の場合は復旧できません。

- ハードディスクに障害が発生したとき
- 暗号化キーを忘れたとき
- ［カストマーエンジニアの操作制限］を［する］に設定して、機械管理者の User ID、およびパスワードを忘れたとき

データ暗号化機能の利用開始と設定変更について

データの暗号化の設定 / 解除、および暗号化キーを変更した場合、本機を再起動する必要があります。対応する記憶領域（ハードディスク）は、再起動時に初期化されます。このとき、切り替え前のデータは保証されません。

記憶領域には、次のようなデータが保存されます。
- スプールされるプリントデータ
- セキュリティープリント、サンプルプリントなどのプリントデータ
- フォームオーバーレイ機能のフォーム

注記 ・データの暗号化機能の利用開始と設定変更は、必ず、必要な設定や文書を保存してから行ってください。

カストマーエンジニアの操作制限

［ハードディスクの上書き消去］、［データの暗号化］の操作と、機械管理者の User ID、およびパスワードの変更を、カストマーエンジニアに許可するかどうかを設定します。

注記 ・［する］に設定した場合、機械管理者の User ID、およびパスワードは絶対に忘れないでください。機械管理者の User ID、およびパスワードを忘れた場合は、本機を工場出荷時の状態に戻す必要がありますので、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にお問い合わせください。

ソフトウエアダウンロード

この機能は、カストマーエンジニアが設定します。弊社のテレフォンセンターまたは販売店にお問い合わせください。

光沢機能の使用

光沢機能を表示するかどうかを設定します。

プリンタードライバーの印刷モードで次の機能を使用する場合、［許可］に設定します。

- ART-EX ドライバー：光沢
- PostScript ドライバー：高画質

補足 ・プリンタードライバーから上記の印刷モードを使用する場合は、本機に 1024MB のシステムメモリーが必要です。

ネットワーク設定

［ネットワーク設定］には、クライアントに接続されている、本機のインターフェイスの種類を設定する［ポート設定］と、その通信に必要な条件を設定する［プロトコル設定］があります。

ネットワーク設定の詳細については、「プリンター環境の設定」(P.45) を参照してください。

CentreWare Internet Services を使うと、さらに詳細な設定ができます。詳しくは、「CentreWare Internet Services について」(P.77) を参照してください。

各設定の詳細と参照先は、次のとおりです。

1 ［仕様設定 / 登録］画面で、［仕様設定］を押します。

［仕様設定 / 登録］画面を表示する方法については、「仕様設定の流れ」(P.208) を参照してください。

2 ［ネットワーク設定］を押します。

3 設定 / 変更する項目を選択します。

ポート設定

クライアントに接続されている本機のインターフェイスの設定をします。［ポート設定］では、次の項目を設定できます。

1. USB
2. LPD
3. NetWare
4. SMB
5. IPP
6. EtherTalk
7. Port9100
8. SNMP
9. メール受信
10. メール通知サービス
11. UPnP ディスカバリー
12. BMLinkS
13. インターネットサービス（HTTP）
14. SOAP

仕様設定

7

プロトコル設定

通信に必要な条件を設定します。［プロトコル設定］では、次の項目を設定できます。

1．Ethernet 設定
2．TCP/IP-IP アドレス取得方法
3．TCP/IP-IP アドレス
4．TCP/IP- サブネットマスク
5．TCP/IP- ゲートウェイアドレス
6．TCP/IP- 受け付け IP アドレス制限

本体メールアドレス / ホスト名

本体メールアドレス、ホスト名を設定します。［本体メールアドレス / ホスト名］では、次の項目を設定できます。

1．メールアドレス
2．ホスト名
3．ドメイン名

POP3 サーバー設定

POP3 サーバーについて設定します。［POP3 サーバー設定］では、次の項目を設定できます。

1．POP3 サーバー - 指定方法
2．POP3 サーバー -IP アドレス
3．POP3 サーバー - サーバー名
4．POP3 サーバー - ポート番号
5．POP3 サーバー - 受信間隔
6．POP3 サーバー - ログイン名
7．POP3 サーバー - パスワード
8．POP 受信パスワードの暗号化

SMTP サーバー設定

SMTP サーバーについて設定します。［SMTP サーバー設定］では、次の項目を設定できます。

1．SMTP サーバー - 指定方法
2．SMTP サーバー -IP アドレス
3．SMTP サーバー - サーバー名
4．SMTP サーバー - ポート番号
5．送信時の認証方式
6．SMTP AUTH- ログイン名
7．SMTP AUTH- パスワード

受信ドメインの制限

受信ドメインについて設定します。［受信ドメインの制限］では、次の項目を設定できます。

1．制限方法
2．～ 51．ドメイン 1 ～ 50

その他の設定

そのほかの設定をします。［その他の設定］では、次の項目を設定できます。

1．メール受信プロトコル

プリンター設定

［プリンター設定］では、プリンター機能に関する仕様の設定をします。

CentreWare Internet Services を使うと、さらに詳細な設定ができます。詳しくは、「CentreWare Internet Services について」（P.77）を参照してください。

各設定の詳細と参照先は、次のとおりです。

1 ［仕様設定 / 登録］画面で、［仕様設定］を押します。

［仕様設定 / 登録］画面を表示する方法については、「仕様設定の流れ」（P.208）を参照してください。

2 ［プリンター設定］を押します。

3 設定 / 変更する項目を選択します。

メモリー設定

インターフェイスごとに、受信バッファ（クライアントから送信されるデータを一時的に蓄えておく場所）のメモリー容量を設定します。

受信バッファ容量は、使用状況と目的に応じて変更できます。受信バッファ容量を増やすと、各インターフェイスに対応するクライアントの解放が早くなることがあります。

エミュレーションキット（オプション）、または PS3 キットヘイセイ 2 ショタイが装着されている場合は、PC-PR201H のフォーム格納用のメモリー容量を設定したり、HP-GL/2 オートレイアウト用メモリーを表示したりできます。

注記
- メモリー容量を変更すると、メモリーがリセットされるので、各メモリー領域に格納されているデータは、すべて消去されます。
- メモリーの全体量を超えた割り振りはできません。電源を入れたときに、設定値が搭載メモリー容量を超えた場合は、システムによって自動的に調整されます。

1 ［メモリー設定］を押します。

2 設定/変更する項目を選択し、［確認 / 変更］を押します。

補足 ・［▲］を押して前画面、［▼］を押して次画面を表示できます。

3 設定値を設定します。

4 ［決定］を押します。

補足 ・ ポートが［停止］に設定されている場合は、対応する各項目は表示されません。
・ クライアントから送信されるデータ量によっては、メモリーの容量を増やしてもクライアントの解放時間が変わらない場合があります。

PostScript 使用メモリー

PostScript の使用メモリー容量を指定します。

8.00 ～ 96.00MB の範囲で 0.25MB 刻みに指定します。

補足 ・ この機能は、お使いの機種によっては表示されません。利用するにはオプションが必要になります。詳しくは、弊社の営業担当者にお尋ねください。
・ 指定できる最大値は、メモリーの空き容量によって変化します。

ART EX フォームメモリー

ART EX で使用するフォームの保存先を表示します。

ART IV, ESC/P, 201H フォームメモリー

ART IV、ESC/P、201H で使用するフォームの保存先を表示します。

ART IV ユーザー定義用メモリー

ART IVのユーザー定義で使うメモリー容量を指定します。

32 ～ 2048KB の範囲で 32KB 刻みに指定します。

補足 ・ 指定できる最大値は、メモリーの空き容量によって変化します。

HP-GL/2 オートレイアウト用メモリー

HP-GL/2 のオートレイアウト機能の保存先を表示します。

補足 ・ この機能は、エミュレーションキットまたは PS3 キットヘイセイ 2 ショタイが装着されている場合に、表示されます。

受信バッファ -USB

USB の受信バッファを設定します。

64 ～ 1024KB の範囲で 32KB 刻みに指定します。

補足 ・ この機能は、お使いの機種によっては表示されません。利用するにはオプションが必要になります。詳しくは、弊社の営業担当者にお尋ねください。

受信バッファ -LPD

■スプールしない

スプール処理は行われません。あるクライアントからの LPD のプリント処理をしている間は、ほかのクライアントからの同じインターフェイスでのデータを受信できません。LPD 専用の受信バッファのメモリー容量を、1024 ～ 2048KB の範囲で 32KB 刻みに指定します。

■メモリースプール

スプール処理を行います。スプール処理用の受信バッファは、メモリーが使用されます。この候補値を選択したときは、スプール処理用の受信バッファのメモリー容量を、0.50 ～ 32.00MB の範囲で 0.25MB 刻みに指定します。
なお、指定したメモリー容量よりも大きいプリントデータは、受信できません。このようなときは、［ハードディスクスプール］、または［スプールしない］を選択してください。

■ハードディスクスプール

スプール処理を行います。スプール処理用の受信バッファは、ハードディスクが使用されます。

受信バッファ -NetWare

NetWare の受信バッファを設定します。

64 〜 1024KB の範囲で 32KB 刻みに指定します。

受信バッファ -SMB

■スプールしない

スプール処理は行われません。あるクライアントからの SMB のプリント処理をしている間は、ほかのクライアントからの同じインターフェイスでのデータを受信できません。SMB専用の受信バッファのメモリー容量を、64〜1024KBの範囲で32KB刻みに指定します。

■メモリースプール

スプール処理を行います。スプール処理用の受信バッファは、メモリーが使用されます。この候補値を選択したときは、スプール処理用の受信バッファのメモリー容量を、0.50 〜 32.00MB の範囲で 0.25MB 刻みに指定します。
なお、指定したメモリー容量よりも大きいプリントデータは、受信できません。この場合は、［ハードディスクスプール］、または［スプールしない］を選択してください。

■ハードディスクスプール

スプール処理を行います。スプール処理用の受信バッファは、ハードディスクが使用されます。

受信バッファ -IPP

■スプールしない

スプール処理は行われません。あるクライアントからの IPP のプリント処理をしている間は、ほかのクライアントからの同じインターフェイスでのデータを受信できません。IPP専用の受信バッファのメモリー容量を、64〜1024KBの範囲で32KB刻みに指定します。

■ハードディスクスプール

スプール処理を行います。スプール処理用の受信バッファは、ハードディスクが使用されます。

受信バッファ -EtherTalk

EtherTalk の受信バッファを設定します。

1024 〜 2048KB の範囲で 32KB 刻みに指定します。

受信バッファ -Port9100

Port9100 の受信バッファを設定します。

64 〜 1024KB の範囲で 32KB 刻みに指定します。

フォーム削除

登録されている ART EX、ART IV、ESC/P、PC-PR201H のフォームを削除します。

1 ［フォーム削除］を押します。
2 フォームを削除するプリントモードを選択します。
3 数字ボタンでフォーム番号を入力し、［確定］を押します。
4 フォーム名称を確認し、［データ削除］を押します。

■ART EX

ART EX プリンタードライバー用フォームを削除します。

■ART IV

ART IV用フォームを削除します。

■ESC/P

エミュレーションの ESC/P 用フォームを削除します。

■PC-PR201H

エミュレーションの PC-PR201 用フォームを削除します。

■フォーム番号

削除する項目を選択すると、フォーム番号を入力できるようになります。フォーム番号を 1 ～ 2048 の範囲で指定します。

■フォーム名称

フォーム番号を入力したあとに［確定］を押すと、入力された番号と一致するフォーム名称が表示されます。

その他の設定

プリンターで使用する用紙に関する設定をします。

1 ［その他の設定］を押します。
2 設定/変更する項目を選択し、［確認/変更］を押します。

補足 ・［▲］を押して前画面、［▼］を押して次画面を表示できます。

3 設定値を選択します。
4 ［決定］を押します。

プリント可能領域

プリント可能領域を拡張するかどうかを設定します。

プリント可能領域については、「プリント可能領域」(P.334) を参照してください。

仕様設定
7

用紙の置き換え

自動トレイ選択によって選択された用紙サイズがセットされたトレイがない場合に、ほかの用紙トレイにセットされている用紙に置き換えてプリントをするかどうかを設定します。置き換えをする場合は、サイズを設定します。

■用紙補給を表示

置き換えはしないで、用紙補給のメッセージを表示します。

■大きいサイズを選択

選択されている用紙サイズの次に大きなサイズの用紙に置き換えて、等倍でプリントします。

■近いサイズを選択

選択されている用紙サイズに最も近いサイズの用紙に置き換えてプリントします。必要に応じて、自動的にイメージを縮小することがあります。

補足 ・クライアント側から指定があった場合は、クライアント側の指定が優先されます。

■トレイ 5（手差し）を選択

トレイ 5（手差し）にセットされている用紙にプリントします。

用紙種類不一致時の処理

用紙トレイにセットされている用紙種類と指定した用紙種類に、不一致が生じた場合の処理を設定します。

■プリントする

用紙種類が異なっていても、そのままプリントします。

■確認画面を表示する

処理方法の確認画面を表示します。

■設定変更画面を表示する

選択された用紙トレイの用紙種類を変更する画面を表示します。

未登録フォーム指定時の処理

フォームデータファイル（オーバーレイ印字）にプリント指示されたフォームが、ホスト側のコンピューターに未登録だった場合に、ジョブをプリントするかどうかを設定します。［プリントする］を選択した場合、指定したフォームがないため、データだけがプリントされます。

ここで設定した値は、ホスト側のコンピューターからプリント指示をするときの、プリント設定メニューに追加されます。

ID 印字

プリンタードライバーを使ってプリントする場合、ユーザーを区別するために、プリントする用紙にユーザー識別情報を印字するかどうかを設定します。ユーザー識別情報のうち、先頭の 64 文字まで印字されます。

印字する位置を［左上］、［右上］、［左下］、［右下］から選択します。

補足 ・ID 印字機能を使用するには、あらかじめプリンタードライバーで、User ID の設定が必要です。設定方法については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
・ユーザー識別情報が取得できない場合は、「UnknownUser」と印字されます。

バナーシート出力

ほかに排出された用紙と区別しやすいように、仕分け用の用紙（バナーシート）を挿入して排出するかどうかを設定します。

補足 ・ホチキスを設定している場合でも、バナーシートはホチキスとめはされません。
・Macintosh からのプリントジョブのバナーシートには、文書名は表示されません。
・バナーシートをプリントした場合は、メーターに加算されます。

■出力しない

バナーシートはプリントしません。

■スタートシート

プリントジョブの前にプリントされます。

■エンドシート

プリントジョブのあとにプリントされます。

■スタートシート＋エンドシート

プリントジョブの前と、あとにプリントされます。

バナーシートトレイ

仕分け用の用紙（バナーシート）に使用する用紙トレイを設定します。

［トレイ 1］～［トレイ 4］、［トレイ 6］から選択します。

PostScript のカラーモード初期値

Adobe PS、PDF 用のカラーモードの初期値を設定します。

補足 ・この機能は、お使いの機種によっては表示されません。利用するにはオプションが必要になります。詳しくは、弊社の営業担当者にお尋ねください。

PostScript の用紙選択

PostScript の DMS（Deferred Media Selection）機能を有効にするかどうかを設定します。

補足 ・この機能は、お使いの機種によっては表示されません。利用するにはオプションが必要になります。詳しくは、弊社の営業担当者にお尋ねください。

PS フォント未搭載時の処理

ジョブで指定された PostScript フォントがなかった場合の処理を設定します。

補足 ・この機能は、お使いの機種によっては表示されません。利用するにはオプションが必要になります。詳しくは、弊社の営業担当者にお尋ねください。

■プリントを中止する

プリントを中止します。

■フォントを置き換えてプリントする

ジョブで指定されたフォントを、置き換えてプリントします。置き換えられるフォントは、Courier です。

置き換えられたフォントが日本語の場合は、正しくプリントされません。日本語フォントでプリントする場合は、［PostScript のフォント置き換え］で［ATCx を使用する］を選択してください。

PostScript のフォント置き換え

ジョブで指定されたPostScriptフォントがなかった場合、フォントの置き換えでATCxを使用するかどうかを設定します。

ATCx 機能は、ジョブで指定されたフォントが本機に搭載されていない日本語フォントの場合に、本機に搭載されている日本語の PostScript フォントに置き換えてプリントする機能です。

補足 ・この機能は、お使いの機種によっては表示されません。利用するにはオプションが必要になります。詳しくは、弊社の営業担当者にお尋ねください。

メール設定

［メール設定］では、メール機能に関する仕様の設定をします。

各設定の詳細と参照先は次のとおりです。

1 ［仕様設定 / 登録］画面で、［仕様設定］を押します。

［仕様設定 / 登録］画面を表示する方法については、「仕様設定の流れ」(P.208) を参照してください。

2 ［メール設定］を押します。

3 設定 / 変更する項目を選択します。

その他の設定

メールを送信するときの仕様に関する設定をします。

1 ［その他の設定］を押します。

2 設定/変更する項目を選択し、［確認 / 変更］を押します。

補足 ・［▲］を押して前画面、［▼］を押して次画面を表示できます。

3 設定値を選択します。

4 ［決定］を押します。

受信メールシートのプリント

本機のメールアドレスにあてたメールを受信したときの、プリント動作について設定できます。

■しない

添付文書だけをプリントします。

■ヘッダーすべてと本文をプリント

メールヘッダーと本文をプリントします。

■ヘッダーの一部と本文をプリント

メールヘッダーの一部（From/To/Subject/Date）と本文をプリントします。

［本文がなければプリントしない］にチェックを付けると、本文があるときだけプリントします。

エラー通知メールの自動プリント

間違ったアドレスを設定したり、エラーが発生して送信できなかった場合に、エラーメールを自動的にプリントするかどうかを設定します。

補足 ・エラー通知メールのジョブ処理は、正常にプリントされた場合でも［ジョブ確認］画面、またはジョブ履歴レポートでは、「異常終了」と表示されます。

開封確認（MDN）要求への応答

開封確認（MDN）を要求されたときに、送信相手に応答するかどうかを設定します。

■しない

応答しません。

■する

開封したことを自動的に知らせます。

開封確認（MDN）機能の使用

本機からメールを送信した場合に、送信先で開封確認を要求するダイアログボックスを表示させるメールにするかどうかを設定します。

■禁止

開封確認（MDN）機能は使用できません。

■許可

開封確認（MDN）機能は、すべてのユーザーに許可されます。

送達確認メールの自動プリント

送信結果のメール（DSN 返信メール /MDN 返信メール）を自動的にプリントするかどうかを設定します。

■しない

送信結果のメールは自動プリントしません。

■する

送信結果のメールが自動的にプリントされます。

■不達時のみプリントする

送信に失敗したときだけ、プリントされます。

保存文書設定

［保存文書設定］では、本機に保存された文書の処理方法について設定します。

1 ［仕様設定 / 登録］画面で、［仕様設定］を押します。

［仕様設定 / 登録］画面を表示する方法については、「仕様設定の流れ」(P.208) を参照してください。

2 ［保存文書設定］を押します。

保存文書設定

保存文書を自動削除するかどうかを設定します。保存期間と削除する日（経過日数）、削除する時刻を指定できます。

また、各保存文書ごとに削除する / しないの設定ができます。

1 ［保存文書設定］を押します。

2 設定/変更する項目を選択し、［確認 / 変更］を押します。

3 設定値を設定します。

4 ［決定］を押します。

保存文書設定　閉じる

設定項目	現在の設定値
1. 文書の保存期間	設定しない
2. 認証ﾌﾟﾘﾝﾄ文書の削除	無効
3. ｾｷｭﾘﾃｨﾌﾟﾘﾝﾄ文書の削除	無効
4. ｻﾝﾌﾟﾙﾌﾟﾘﾝﾄ文書の削除	無効
5. ﾌﾟﾘﾝﾄ時の確認画面表示	する

確認/変更

文書の保存期間

文書の保存期間を設定します。自動的に削除する場合は、削除する日（経過日数）と時刻を指定できます。この設定は、各保存文書に共通の設定となります。

1 ［文書の保存期間］を選択し、［確認 / 変更］を押します。

2 ［設定しない］または［設定する］を選択します。

3 ［設定する］を選択した場合は、［▲］［▼］で、保存期間、保存期間経過後の削除時刻を指定します。

■保存期間

文書の保存期間を、1 〜 14 日の範囲で指定します。

■保存期間経過後の削除時刻

保存期間が過ぎた文書の削除する時刻を、0 〜 23 時、00 〜 59 分の範囲で指定します。

認証プリント文書の削除

認証プリント文書を、保存期間経過後に削除するかどうかを設定します。

セキュリティープリント文書の削除

セキュリティープリント文書を、保存期間経過後に削除するかどうかを設定します。

補足 ・この項目は、「認証プリントの設定」(P.249) の［受信制御］が、次のどちらかの設定の場合には、表示されません。
- ［プリンターの認証に従う］で［認証成功したジョブ］に［プライベートプリントに保存］が設定されている場合
- ［プライベートプリントに保存］が設定されている場合

プライベートプリント文書の削除

プライベートプリントを、保存期間経過後に削除するかどうかを設定します。

補足 ・この項目は、「認証プリントの設定」(P.249) の［受信制御］が、次のどちらかの設定の場合に表示されます。
- ［プリンターの認証に従う］で［認証成功したジョブ］に［プライベートプリントに保存］が設定されている場合
- ［プライベートプリントに保存］が設定されている場合

サンプルプリント文書の削除

サンプルプリント文書を、保存期間経過後に削除するかどうかを設定します。

プリント時の確認画面表示

部数変更できる文書のプリントは、確認画面で部数を変更します。

［しない］に設定すると、部数変更できる文書も 1 部のままプリントします。

プリント後の文書は削除されます。

機械管理者情報の設定

［機械管理者情報の設定］では、機械管理者 ID、およびパスワードの設定をします。

設定変更の抑止やセキュリティー確保のために、機械管理者 ID、およびパスワードの設定をお勧めします。

各設定の詳細と参照先は、次のとおりです。

1 **［仕様設定 / 登録］画面で、［機械管理者情報の設定］を押します。**

［仕様設定 / 登録］画面を表示する方法については、「仕様設定の流れ」(P.208) を参照してください。

2 **登録 / 変更する項目を選択します。**

機械管理者 ID

機械管理者の User ID を設定します。1 ～ 32 文字まで入力できます。

補足 ・機械管理者の User ID の初期値は、「11111」です。

1 **［機械管理者 ID］を押します。**

2 **［設定する］を押します。**

3 **［キーボード］を押して、［新しい機械管理者 ID］に機械管理者 ID を入力し、［決定］を押します。**

4 **もう一度、［キーボード］を押して、［機械管理者 ID の再入力］に、同じ機械管理者 ID を入力し、［決定］を押します。**

5 **［決定］を押します。**

機械管理者パスワード

機械管理者モードのパスワードを指定します。
セキュリティーを強化するためにも、パスワードの指定をお勧めします。

補足 ・機械管理者のパスワードの初期値は、「x-admin」です。

この項目は、認証 / 集計の運用で、パスワードの使用が［する］に設定されている場合に表示されます。また、機械管理者の User ID を設定してから、パスワードの設定をしてください。

パスワードは、4 ～ 12 桁までの数字が指定できます。

パスワードの使用の有無については、「認証 / 集計の運用」(P.251) を参照してください。

1 ［機械管理者パスワード］を押します。

2 ［キーボード］を押します。

3 ［新しいパスワード］(4 ～ 12 桁) を入力し、［決定］を押します。

4 ［パスワードの再入力］に、同じパスワードを入力し、［決定］を押します。

補足 ・パスワードなしに設定する場合は、空欄にして［決定］を押してください。

機械管理者 ID の認証失敗によるアクセス拒否

機械管理者 ID の認証に連続して失敗した場合、失敗した回数がここで指定した回数に達すると、機械管理者 ID によるアクセスを拒否するように設定できます。

認証回数は、1 ～ 10 回の範囲で指定できます。

補足 ・本機を再起動すると、失敗した回数はリセットされます。
・アクセス拒否状態を解除したいときは、本機の電源スイッチを切 / 入して、本機を再起動してください。

1 ［機械管理者ID認証失敗によるアクセス拒否］を押します。

2 ［する］を押します。

3 ［▲］［▼］で、認証回数を指定します。

4 ［決定］を押します。

仕様設定
7

認証 / 集計管理

［認証 / 集計管理］では、本機の使用を許可されていないユーザーからの操作やアクセスを防ぐために、ユーザーごとに異なる制限を設定したり、各ユーザーごとに使用した用紙の枚数を確認したりできます。

認証 / 集計管理機能を有効にすると、本機を使用するときに、ユーザーごとに設定されている User ID、およびパスワードで、ユーザー認証をします。

各設定の詳細と参照先は、次のとおりです。

1 ［仕様設定 / 登録］画面で、［認証 / 集計管理］を押します。

［仕様設定 / 登録］画面を表示する方法については、「仕様設定の流れ」(P.208) を参照してください。

仕様設定/登録　閉じる
仕様設定　機械管理者情報の設定
認証/集計管理

2 設定 / 変更する機能を選択します。

ユーザー登録 / 集計確認

認証 / 集計管理を有効にする場合、登録したユーザーの認証を行うために、User ID、およびユーザー名を登録します。

本機を利用するユーザーには、カラーモードの使用や枚数の上限を設定できます。また、登録したユーザーごとの累積ページの確認などができます。ユーザーデータは、1,000 件まで登録できます。

補足 ・この項目は、「認証 / 集計の運用」(P.251) で、［ネット認証 / 集計］を選択しているときは表示されません。

1 ［ユーザー登録/集計確認］を押します。

2 ユーザー登録したい［No.］を選択し、［登録 / 確認］を押します。

補足
- ［No.］はユーザー管理番号です。
- ［▲］を押して前画面、［▼］を押して次画面を表示できます。
- 数字ボタンで 4 桁の番号を入力すると、ユーザーを直接指定できます。

3 任意の項目を選択して、設定します。

4 ［決定］を押します。

User ID

本機を利用するための User ID を、半角で 32 文字まで入力できます。

ユーザー名

ユーザー名を設定します。半角で 32 文字（全角で 16 文字）まで入力できます。

文字の入力方法については、「文字の入力方法について」(P.215) を参照してください。

パスワード

パスワードを指定します。セキュリティーを強化するためにも、パスワードの指定をお勧めします。パスワードは、4 ～ 12 桁の範囲で指定できます。

プリンターの制限

プリンターのカラーモードの制限、上限ページ数を指定できます。

1 ［プリンターの制限］を押します。

2 カラーモードの制限を設定する場合は、［カラーモード制限］を押し、使用できるカラーモードを選択します。

3 ページ数の上限を指定する場合は、［上限ページ数］を押し、数字ボタンでカラーモードの上限ページ数を入力します。

補足 ・［決定 / 次選択］を押すと、入力対象を切り替えることができます。

■カラーモード制限

使用できるカラーモードを設定します。

- 制限なし

  すべてのカラーモードを使用できます。

- 白黒のみ利用可

  白黒だけを使用できます。

■上限ページ数

ページ数の上限を指定します。

- カラー

  「1 ～ 9999999」ページ（7 桁）の範囲で、1 ページ刻みに指定します。

- 白黒

  「1 ～ 9999999」ページ（7 桁）の範囲で、1 ページ刻みに指定します。

累積ページ数のリセット

選択したユーザーの、現在までの累積ページ数をリセットして「0」に戻します。

1 ［累計ページ数のリセット］を押します。

■はい（リセットする）

選択したユーザーの、現在までの累積ページ数をリセットします。リセットすると、元に戻すことはできません。

■いいえ（リセットしない）

累積ページ数のリセットをキャンセルします。

すべての登録内容を削除

選択したユーザーに登録されているデータが、すべて抹消されます。

1 ［すべての登録内容を削除］を押します。

■はい（削除する）

登録したユーザーデータを削除します。削除すると、元に戻すことはできません。

注記 ・文書が大量に残っているときなど、削除に時間がかかる場合があります。

■いいえ（削除しない）

ユーザーデータの削除をキャンセルします。

登録内容の削除 / 集計リセット

全登録ユーザーに対して、一括で登録内容を削除したり、集計データをリセットしたりできます。また、全サービスの集計管理レポートのプリントもできます。

補足 ・この項目は、「認証 / 集計の運用」(P.251) で、[ネット認証 / 集計] を選択しているときは表示されません。

1 ［登録内容の削除/集計データリセット］を押します。

2 全サービスの集計管理レポートをプリントする場合は、［レポートの出力］を押します。

3 削除 / リセットする項目を選択し、［削除 / リセット］を押します。

4 ［はい（削除する)］または［いいえ（削除しない)］を選択します。

■全ユーザーの登録内容

ユーザーごとに登録している設定内容をすべて削除します。また、上限ページ数、累積ページ数、カラーモード制限、プリンター集計データなどのデータも、すべて削除します。

注記 ・文書が大量に残っているときなど、削除に時間がかかる場合があります。

■全ユーザーのカラーモード制限

全ユーザーの［カラーモード制限］の設定を［制限なし］にリセットします。

■全ユーザーの上限ページ数

全ユーザーの上限ページ数を初期値（9999999）にリセットします。

■全ユーザーの集計管理データ

機械管理者を含む、全ユーザーのすべての集計管理データをリセットします。ページ数も、「0」にリセットされます。

■プリンター集計データ

すべてのプリンター集計データをリセットし、自動登録されたジョブオーナー名を削除します。プリントした集計枚数も、「0」にリセットされます。

補足 ・［プリンター集計データ］は、プリンターの認証 / 集計管理をしない設定の場合に表示されます。

■レポートの出力

全サービスの集計管理レポートがプリントされます。

■削除 / リセット

選択した項目のデータを削除 / リセットします。

認証情報の設定

認証を行うときに必要となる情報の設定をします。

1 ［認証情報の設定］を押します。
2 任意の項目を押して、設定します。
3 ［決定］を押します。

User ID の代替表記

操作パネルの〈認証（仕様設定 / 登録）〉ボタンを押したときに表示される［認証］画面の、「User ID」と表示されている表記を、「UserName」や「Number」のように、必要に応じて、変更できます。代替表記は、1 〜 15 文字の範囲で設定できます。

補足 ・設定した値は、レポート / リストの表示、および CentreWare Internet Services からのアクセス時にも反映されます。

User ID の入力表示

User ID を入力したときの文字列の表示方法を設定できます。セキュリティーの強化など、必要に応じて、設定してください。

■そのまま表示する

User ID を入力したときに、設定してある文字列をそのまま画面に表示します。

■隠す

User ID を入力したときは、「*****」のように、文字列を隠して画面に表示します。

Account ID の代替表記

操作パネルの〈認証(仕様設定 / 登録)〉ボタンを押したときに表示される［認証］画面の、「Account ID」と表示されている表記を、「AccountName」や「Number」のように、必要に応じて、変更できます。代替表記は、1 ～ 15 文字の範囲で設定できます。

補足
- この項目は、「認証 / 集計の運用」(P.251) で［ネット認証 / 集計］を選択しているときに表示されます。
- 設定した値は、レポート / リストの表示、および CentreWare Internet Services からのアクセス時にも反映されます。

Account ID の入力表示

Account ID を入力したときの文字列の表示方法を設定できます。セキュリティーの強化など、必要に応じて設定してください。

補足
- この項目は、「認証 / 集計の運用」(P.251) で［ネット認証 / 集計］を選択しているときに表示されます。

■そのまま表示する

Account ID を入力したときに、設定してある文字列をそのまま画面に表示します。

■隠す

Account ID を入力したときは、「*****」のように、文字列を隠して画面に表示します。

認証失敗の記録

不正なアクセスを検知するため、所定時間内に認証に失敗した回数が、ここで指定した［失敗回数］を超えると、エラーとして記録を残します。

1 ［認証失敗の記録］を押します。

2 ［する］を押し、数字ボタンで、失敗回数を入力します。

認証情報の保存先

認証情報の保存先を設定できます。NVM またはハードディスクから選択します。

補足
- この項目は、「認証 / 集計の運用」(P.251) で［ネット認証 / 集計］を選択しているときに表示されます。

認証プリントの設定

受信したプリントジョブを、どのように扱うかを設定します。

1 ［認証プリントの設定］を押します。

2 設定する項目を選択し、［確認/変更］を押します。

3 設定値を設定します。

4 ［決定］を押します。

受信時の PJL 命令制御

PJL 命令で、外部からのプリント受信を制御できます。[しない]を選択したとき、または PJL 命令がないときは、後述の[受信制御]の設定を使用します。

出力時の PJL 命令制御

PJL 命令で、外部からのプリントジョブのプリントを制御できます。

受信制御

受信したプリントジョブを、どのように扱うかを設定します。

プリンタードライバーからのプリント方法については、「プリントの仕方」(P.111) を参照してください。

ジョブの保存先や操作パネルからのプリント方法については、「保存文書をプリント / 削除する」(P.162) を参照してください。

1 [受信制御]を押します。

2 任意の項目を選択します。

3 選択した項目に応じて、ジョブの動作を選択します。

■プリンターの認証に従う

「認証 / 集計の運用」(P.251) の設定に従って、動作します。

補足 ・ プリントジョブを認証する場合は、[認証 / 集計の運用]を[本体認証 / 集計]または[ネット認証 / 集計]に設定してください。

[プリンターの認証に従う]を選択すると、[認証成功のジョブ]、[認証が不正のジョブ]、[User ID なしのジョブ]の項目が表示されます。

- 認証成功のジョブ

  認証に成功したジョブに対する動作を設定します。

  - [プリント]を選択すると、受信したジョブをすべてプリントします。
  - [プライベートプリントに保存]を選択すると、受信したジョブをプライベートプリントに保存します。

補足 ・ [プライベートプリントに保存]に設定すると、プリンタードライバーで、セキュリティープリント、サンプルプリント、時刻指定プリントを指示しても無視されます。

- 認証が不正のジョブ

  認証に失敗したジョブ(プリンタードライバー側で、User ID やパスワードなどの認証情報が間違っているジョブ)に対する動作を設定します。

  - [すべて保存]を選択すると、受信したジョブをすべて保存します。
  - [ジョブを中止]を選択すると、受信したジョブを削除します。

- User ID なしのジョブ

  認証用 User ID が付加されていないジョブ(CentreWare Internet Services を利用したプリント、メールプリントなど)に対する動作を設定します。

  - [プリント]を選択すると、すべてプリントします。
  - [認証プリントに保存]を選択すると、認証プリントに保存します。
  - [ジョブを中止]を選択すると、削除します。

補足 ・ [User ID なしのジョブ]は、CentreWare Internet Services の[プロパティ]タブの左側エリアにある、[認証 / 集計管理]の[ユーザー指定なし印刷の許可]にチェックを付けると、[プリント]になります。[認証プリントに保存]、または[ジョブを中止]に設定すると、CentreWare Internet Services の[ユーザー指定なしの印刷の許可]のチェックが外れます。

■プライベートプリントに保存

認証機能を利用しているいないにかかわらず、User IDが付いたジョブを、すべてプライベートプリントに保存します。User IDを誤って付けてプリント指示された文書も、プライベートプリントに保存します。

補足
- ［プライベートプリントに保存］に設定すると、プリンタードライバーで、セキュリティープリント、サンプルプリント、時刻指定プリントを指示しても無視されます。
- ［プライベートプリントに保存］が設定されると、操作パネルに［セキュリティープリント］は表示されなくなります。

［プライベートプリントに保存］を選択すると、［User IDなしのジョブ］が表示されます。

- User IDなしのジョブ

  認証用User IDが付加されていないジョブ（CentreWare Internet Servicesを利用したプリント、メールプリントなど）に対する動作を設定します。

  - ［プリント］を選択すると、すべてプリントします。
  - ［認証プリントに保存］を選択すると、認証プリントに保存します。
  - ［ジョブを中止］を選択すると、削除します。

補足
- ［User IDなしのジョブ］は、CentreWare Internet Servicesの［プロパティ］タブの左側エリアにある、［認証 / 集計管理］の［ユーザー指定なし印刷の許可］にチェックを付けると、［プリント］になります。［認証プリントに保存］または［ジョブを中止］に設定すると、CentreWare Internet Servicesの［ユーザー指定なしの印刷の許可］のチェックが外れます。

■認証プリントに保存

認証機能を利用しているいないにかかわらず、受信したジョブをすべて認証プリントに保存します。

補足
- ［認証プリントに保存］に設定すると、プリンタードライバーで、セキュリティープリント、サンプルプリント、時刻指定プリントを指示しても無視されます。

本体パネルのパスワード使用

機械管理者、およびユーザーが本機を使用するときに、パスワードを入力するかどうかを設定します。
［する］を選択すると、「機械管理者パスワード」（P.243）、および「ユーザー登録 / 集計確認」の「パスワード」（P.246）の設定が有効になります。
［しない］を選択すると、上記の設定でパスワードが指定されていても、パスワードの入力は要求されません。

注記
- ［本体パネルのパスワード使用］の設定は、本機で認証するときに適用されます。CentreWare Internet Servicesなどの外部からのアクセス時には、パスワードの使用の有無にかかわらず、常にパスワードの入力が必要です。また、認証の方法によっても、常にパスワードの入力が必要な場合があります。

補足
- 機械管理者パスワードは、CentreWare Internet Servicesから設定を変更するときにも使用します。

認証 / 集計の運用

集計管理機能を有効にするかどうか、認証操作を要求するかどうかを設定します。

1 ［認証 / 集計の運用］を押します。

2 任意の項目を選択します。

認証しない

本機で操作するときに、ユーザーの認証 / 集計管理は行いません。

本体認証 / 集計

本機にあらかじめ登録されている認証登録ユーザーを利用して、集計管理を行います。

本体認証については、「認証の概要」(P.270) を参照してください。

ネット認証 / 集計

外部アカウンティングサービスで管理されているユーザー情報を使用して集計管理を行います。ユーザー情報は、外部アカウンティングサービスから登録します。

ネット認証については、「ネット認証」(P.270) を参照してください。

補足 ・［ネット認証 / 集計］に設定すると、操作パネルの〈認証（仕様設定 / 登録)〉ボタンを押したときに表示される［認証］画面で、「Account ID」を入力できるようになります。

■認証情報の照合

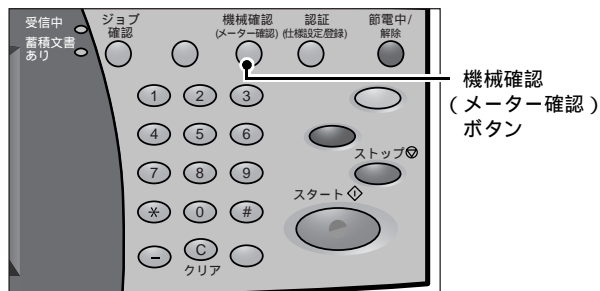
認証情報を照合するかどうかを設定します。
［しない（ログを記録)］に設定すると、[User ID］と［Account ID］の入力は要求されますが、照合は行いません。ただし、入力した情報の本機への記録は行われます。
［する（認証＋集計)］に設定すると、認証情報の照合を行います。

8　日常の管理

この章では、本機の清掃、自動階調補正、レポート / リストのプリント方法について説明します。

機械確認の概要

機械の状態やプリントページ数を、画面で確認できます。また、レポート / リストをプリントして、ジョブの履歴や設定 / 登録内容などを確認できます。

1 〈機械確認(メーター確認)〉ボタンを押します。

[機械確認]画面では、次の確認ができます。

■機械状態の確認

本機の構成、用紙トレイの状態、ハードディスクの上書き消去の状態を確認できます。また、プリンターモードの設定ができます。

詳細については、「機械状態」(P.255)を参照してください。

■メーターの確認 / レポートの出力

メーター別、ユーザー別にプリントページ数を確認できます。また、レポート / リストをプリントして、ジョブの履歴や設定 / 登録内容などを確認できます。

詳細については、「メーター確認」(P.260)を参照してください。

■消耗品の確認

消耗品の状態を確認できます。

詳細については、「消耗品確認」(P.268)を参照してください。

■エラー情報の確認

本機で発生したエラーに関する情報を確認できます。

詳細については、「エラー情報」(P.269)を参照してください。

機械状態

［機械状態］画面では、本機の構成や用紙トレイの状態を確認できます。また、プリンターモードの設定ができます。

［機械状態］画面の機能と参照先は、次のとおりです。

1 〈機械確認（メーター確認）〉ボタンを押します。

2 表示された［機械状態］画面で、機械状態を確認できます。

機械情報

［機械情報］では、シリアル番号、機械構成、ソフトウエアバージョンを確認できます。

1 ［機械情報］を押します。

■保守・操作についてのお問い合わせ

保守・操作についてのお問い合わせ方法について記載されています。

■シリアル番号

本機のシリアル番号を確認できます。

■機械構成

［機械構成］画面が表示されます。

「［機械構成］画面」（P.255）を参照してください。

■ソフトウエアバージョン

［ソフトウエアバージョン］画面が表示されます。

「［ソフトウエアバージョン］画面」（P.256）を参照してください。

［機械構成］画面

本機の構成を確認できます。

1 ［機械構成］を押します。

補足 ・［▲］を押して前画面、［▼］を押して次画面を表示できます。

［機械構成］画面では、次の項目を確認できます。

- 機械構成コード
- 用紙トレイ
- 大容量用紙トレイ
- オフセット排出ユニット
- 出力装置
- 中とじユニット
- 内蔵ハードディスク
- システムメモリーサイズ
- PostScript
- ART IV
- ESC/P
- HP-GL/2
- PCL
- PC-PR201H
- PDF
- USB
- Document Combo-MAC アドレス
- Document Combo-IP アドレス

補足 ・「出力装置」は、フィニッシャー（オプション）の装着の有無を表します。フィニッシャーが装着されている場合は、「フィニッシャー」と表示されます。

［ソフトウエアバージョン］画面

ソフトウエアのバージョンを確認できます。

1 ［ソフトウエアバージョン］を押します。

補足 ・［▲］を押して前画面、［▼］を押して次画面を表示できます。

ソフトウエアバージョン　閉じる

項目	内容
1. Controller ROM	XX.XX.XX
2. IOT ROM	XX.XX.XX
3. SJFI	XX.XX.XX
4. SSMI	XX.XX.XX
5. Finisher C ROM	XX.XX.XX

［ソフトウエアバージョン］画面では、次の項目を確認できます。

- Controller ROM
- IOT ROM
- HCF ROM
- Finisher C ROM
- SJFI
- SSMI

用紙トレイ

本機に設定されている用紙トレイを、一覧で確認できます。画面では、次の項目を確認できます。

- トレイ状態
- 用紙残量
- 用紙サイズ
- 用紙種類

1 ［用紙トレイ］を押します。

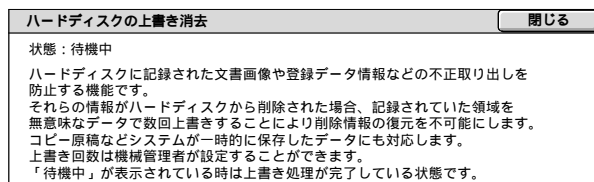
用紙トレイ　閉じる

項目	トレイ状態	用紙残量	用紙サイズ	用紙種類
トレイ 1	正常	100%	A４	普通紙
トレイ 2	正常	25%	A３	普通紙
トレイ 3	正常	75%	A４	普通紙
トレイ 4	正常	50%	A４	普通紙
トレイ 5	–	–	自動ｻｲｽﾞ検知	普通紙

ハードディスクの上書き消去

ハードディスクの上書き処理の状態を確認できます。「待機中」が表示されている場合は、上書き処理が終了している状態です。

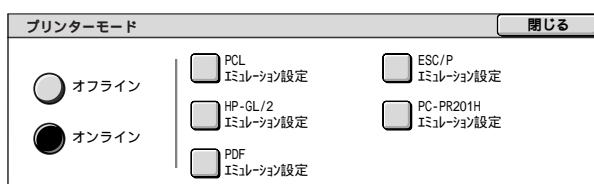
補足 ・[ハードディスクの上書き消去]は、[仕様設定]で[ハードディスクの上書き消去]が設定されている場合に表示されます。詳細については、「ハードディスクの上書き消去」(P.229)を参照してください。

1 [ハードディスクの上書き消去]を押します。

プリンターモード

プリンターモードを設定できます。

補足 ・装着しているオプションによって、表示される項目は異なります。

1 [プリンターモード]を押します。

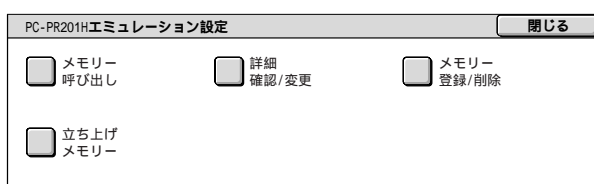
2 [オフライン]または[オンライン]を選択します。

■オフライン

プリンターからのデータ受信ができなくなります。受信中のデータは中断され、プリントされません。

■オンライン

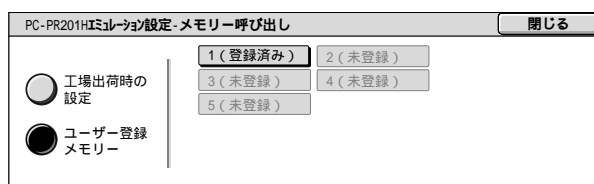
プリンターからのデータ受信をします。

3 プリンターモードを設定するプリント言語を選択します。

4 設定する項目を選択します。

メモリー呼び出し

メモリーに登録したプリンターモードを呼び出して使用できます。

1 [メモリー呼び出し]を押します。

2 使用するメモリー番号を選択します。

■工場出荷時の設定

工場出荷時の設定を使用できます。

■ユーザー登録メモリー

メモリーに登録してある番号が表示されます。

詳細確認 / 変更

プリンターモードの項目番号に設定されている値を確認 / 変更できます。

ESC/P、および PDF のモードメニューで設定できる項目番号については、「ESC/P エミュレーションモード設定項目」(P.338)、「PDF ダイレクトプリント機能の設定項目」(P.349) を参照してください。

HP-GL/2、PCL、および PC-PR201H のモードメニューで設定できる項目番号については、『エミュレーションキット取扱説明書』を参照してください。

1 ［詳細確認 / 変更］を押します。

2 設定する機能の［項目番号］を、数字ボタンで入力します。

3 必要に応じて、［確認］を押します。

4 ［変更］を押します。

5 ［変更値］を、数字ボタンで入力します。

6 ［決定］を押します。

■項目番号

設定する機能の項目番号を入力します。

■現在の設定値

［項目番号］を入力すると、現在設定されている設定値が表示されます。

■変更値

変更後の値を入力します。

メモリー登録 / 削除

ESC/P、HP-GL/2、PC-PR201H では、設定したプリンターモードをメモリーに登録できます。
ESC/P エミュレーション、HP-GL/2 エミュレーションでは 20 件、PC-PR201H エミュレーションでは、5 件まで登録できます。

1 ［メモリー登録 / 削除］を押します。

2 ［現在の設定を登録］または［削除］を選択します。

3 登録または削除するメモリー番号を選択します。

■現在の設定を登録

現在の設定を登録します。登録済みの番号を選択すると、上書きします。登録 / 上書きした番号は、元に戻すことはできません。

■削除

［削除］を押して、削除する番号を選択すると、登録されている番号が削除されます。

注記 ・削除した番号は、元に戻すことはできません。

立ち上げメモリー

メモリーに登録したプリンターモードで、プリンターを起動できます。

1 ［立ち上げメモリー］を押します。

2 ［工場出荷時の設定］または［ユーザー登録メモリー］を選択します。

3 ［ユーザー登録メモリー］を選択した場合は、使用するメモリー番号を選択します。

■工場出荷時の設定

工場出荷時の設定を使用できます。

■ユーザー登録メモリー

メモリーに登録してある番号が表示されます。

パスワード

PDF エミュレーションの場合、PDF ファイルにパスワードが設定されているときは、あらかじめ、そのパスワードを設定しておきます。プリントする PDF ファイルと、ここに設定されているパスワードが一致した場合にだけ、プリントできます。

設定できる文字は、英半角で 32 文字までです。

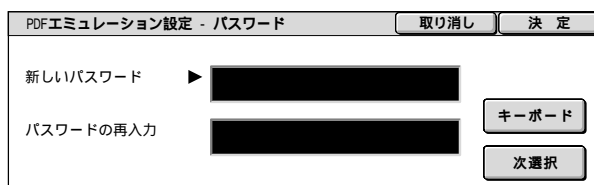
1 ［パスワード］を押します。

2 ［キーボード］を押します。

3 ［新しいパスワード］（32 文字まで）を入力し、［決定］を押します。

4 ［パスワードの再入力］に、同じパスワードを入力し、［決定］を押します。

日常の管理

8

メーター確認

［メーター確認 / レポート出力］画面の［メーター確認］で、メーター別、ユーザー別にプリントページ数を確認できます。メーターは、カラーモードなどによって区分されています。

［メーター確認］の機能と参照先は、次のとおりです。

1 〈機械確認（メーター確認）〉ボタンを押します。

2 ［メーター確認 レポート出力］タブを押します。

3 ［メーター確認］を押します。

■シリアル番号

本機のシリアル番号が表示されます。

■メーター 1

白黒プリントしたページ数が表示されます。

■メーター 2

通常は使用しません。

■メーター 3

カラープリントしたページ数が表示されます。

ユーザー別メーター確認

ユーザー別のカラー / 白黒のプリントページ数を確認できます。

「認証 / 集計の運用」(P.251) で、[本体認証 / 集計] を設定している場合に、現在認証されている User ID のメーターを確認できます。

認証 / 集計管理機能の詳細については、「認証の概要」(P.270) を参照してください。

1 **〈認証（仕様設定 / 登録）〉ボタンを押します。**

2 **数字ボタンまたは［キーボード］を押して表示されるキーボードを使って、User ID を入力します。**

■現在認証されている User ID のメーターを確認する場合

1) メーターを確認するユーザーの User ID を入力し、［確定］を押します。

補足 ・パスワードが必要な場合は、パスワードを入力してください。

2)〈機械確認（メーター確認）〉ボタンを押します。

3) 手順 3 に進んでください。

■機械管理者のメーターを確認する場合

1) 機械管理者モードに入るための User ID を入力し、［確定］を押します。

補足 ・パスワードが必要な場合は、パスワードを入力してください。

2)［通常操作］を押します。

3)〈機械確認（メーター確認）〉ボタンを押します。

4) 手順 3 に進んでください。

機械管理者メニュー

通常操作　仕様設定/登録

3 **［メーター確認 レポート出力］タブを押します。**

4 **［ユーザー別メーター確認］を押します。**

プリントをしたページ数が表示されます。

ユーザー別メーター確認　閉じる

プリンターメーター

	カラー	白黒
今回のカウント：	20	50
これまでの総合計：	1350	3000
上限ページ数：	15000	80000
残りページ数：	13630	76950

機能別カウンターのリセット

機能別に集計したプリント数などのカウントをリセットできます。

機械管理者モードに入るための User ID が設定され、機械管理者モードの［通常操作］から入ったときに表示されます。

1 〈認証（仕様設定 / 登録）〉ボタンを押します。

2 数字ボタンまたは［キーボード］を押して表示されるキーボードを使って、User ID を入力し、［確定］を押します。

補足 ・User IDの初期値は、「11111」です。認証管理機能を利用している場合、パスワードが必要な場合があります。パスワードの初期値は、「x-admin」です。

3 ［通常操作］を押します。

4 〈機械確認（メーター確認）〉ボタンを押します。

5 ［メーター確認 レポート出力］タブを押します。

6 ［機能別カウンターのリセット］を押します。

■リセット

機能別に集計した値をリセットできます。リセットする場合は、表示された確認画面で、［はい（リセットする）］を選択します。

注記 ・リセットすると元に戻すことはできません。

■プリント実行

各カウンターの現在の値を、機能別カウンターレポートとしてプリントできます。

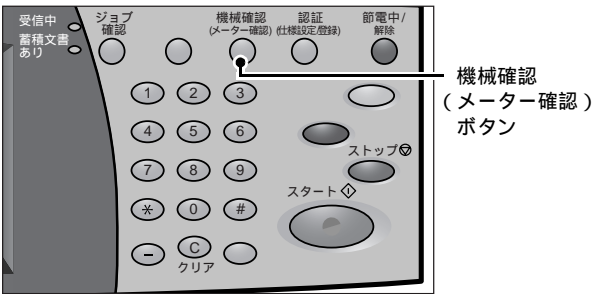
レポートをプリントする

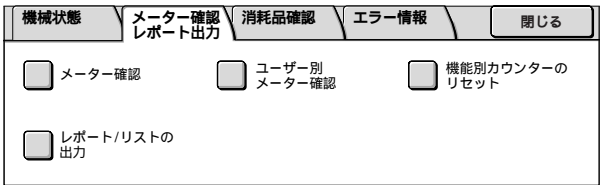
［メーター確認 / レポート出力］画面の［レポート出力］で、レポート / リストをプリントできます。メーター別に、プリントページ数を確認できます。

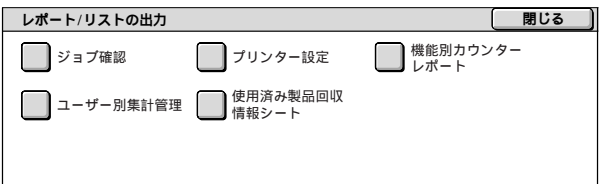
［レポート / リスト］の機能と参照先は、次のとおりです。

補足 ・**表示される項目は、搭載している機能によって異なります。**

レポートをプリントするときの、片面 / 両面設定については、「レポートの両面プリント」(P.225) を参照してください。

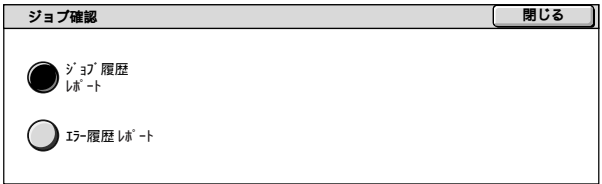
1 〈機械確認（メーター確認）〉ボタンを押します。

2 ［メーター確認 レポート出力］タブを押します。

3 ［レポート/リストの出力］を押します。

4 プリントしたいレポート/リストを選択して、〈スタート〉ボタンを押します。

補足 ・**右は、機械管理者モードの［通常操作］から入ったときの画面です。**

ジョブ確認

1 ［ジョブ確認］を押します。

2 出力するレポート/リストを選択します。

3 〈スタート〉ボタンを押します。

■ジョブ履歴レポート

ジョブの実行結果について確認できます。最新の 200 件までのジョブについて、プリントされます。

補足 ・**ジョブ履歴レポートは、50 件を超えるごとに自動的にプリントさせることもできます。自動プリントの設定方法は、「レポート設定」(P.225) を参照してください。自動プリントの場合は、すべてのジョブの実行結果がプリントされます。**

日常の管理
8

■エラー履歴レポート

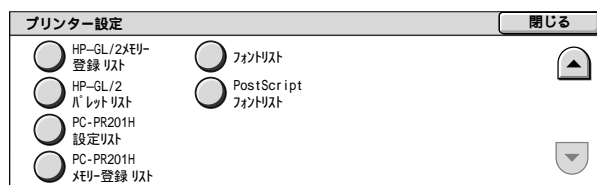
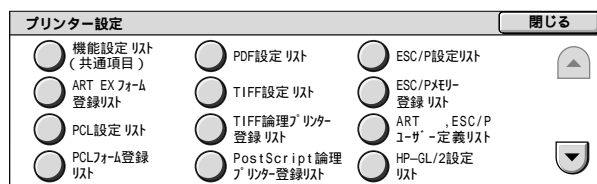
本機に発生したエラーに関する情報がプリントされます。最新の 50 件までのエラーについてプリントされます。

プリンター設定

1 ［プリンター設定］を押します。

2 プリントするレポート/リストを選択します。

3 〈スタート〉ボタンを押します。

補足 ・装着しているオプションによって、表示される項目は異なります。

機能設定リスト（共通項目）

本機のハードウエア構成やネットワーク情報、プリント機能の設定状態が確認できます。

ART EX フォーム登録リスト

オーバーレイ印字機能で、フォームとして登録した文書の一覧がプリントされます。

PDF 設定リスト

PDF プリンターモードでの各設定がプリントされます。

TIFF 設定リスト

TIFF プリンターモードでの各設定がプリントされます。

TIFF 論理プリンター登録リスト

TIFF プリンターモードで作成した論理プリンターの一覧がプリントされます。

TIFF 論理プリンターの設定は、CentreWare Internet Services で行います。各項目については、CentreWare Internet Services のオンラインヘルプを参照してください。

ESC/P 設定リスト

ESC/P エミュレーションモードの各設定がプリントされます。

ESC/P メモリー登録リスト

ESC/P エミュレーションモードのメモリー登録の各設定がプリントされます。

ART IV，ESC/P ユーザー定義リスト

ART、ESC/P で利用できるフォーム、ロゴ、パターンの登録内容がプリントされます。

フォントリスト

本機で使用できるフォントの一覧がプリントされます。

補足 ・プリントされる内容は、装着されているオプションによって異なります。

プリンター関連のオプションを装着したときにプリントできるレポート / リストは、次のとおりです。

- **PS3 キットヘイセイ 2 ショタイ装着時**
  - PostScript 論理プリンター登録リスト
  - PostScript フォントリスト
  - HP-GL/2 設定リスト
  - HP-GL/2 論理プリンター・メモリー登録リスト
  - HP-GL/2 パレットリスト
  - PC-PR201H 設定リスト
  - PC-PR201H 論理プリンター・メモリー登録リスト
  - PCL 設定リスト
  - PCL フォーム登録リスト
- **エミュレーションキット装着時**
  - HP-GL/2 設定リスト
  - HP-GL/2 論理プリンター・メモリー登録リスト
  - HP-GL/2 パレットリスト
  - PC-PR201H 設定リスト
  - PC-PR201H 論理プリンター・メモリー登録リスト
  - PCL 設定リスト
  - PCL フォーム登録リスト

補足 ・PS3 キットヘイセイ 2 ショタイとエミュレーションキットは、同時に装着できません。
詳細については、『エミュレーションキット取扱説明書』を参照してください。

PostScript 論理プリンター登録リスト

PostScript で作成した論理プリンターの一覧がプリントされます。

PostScript 論理プリンターの設定は、CentreWare Internet Services で行います。各項目については、CentreWare Internet Services のオンラインヘルプを参照してください。

PostScript フォントリスト

PostScript で使用できるフォントがプリントされます。

HP-GL/2 設定リスト

HP-GL、HP-GL/2、HP-RTL エミュレーションモードの各設定がプリントされます。

HP-GL/2 メモリー登録リスト

HP-GL、HP-GL/2、HP-RTL エミュレーションモードのメモリー登録の各設定がプリントされます。

HP-GL/2 パレットリスト

HP-GL、HP-GL/2 エミュレーションのペン属性で設定できる 256 色の見本リストをプリントします。

PC-PR201H 設定リスト

PR201H エミュレーションモードの各設定がプリントされます。

PC-PR201H メモリー登録リスト

PR201H エミュレーションモードのメモリー登録の各設定がプリントされます。

PCL 設定リスト

PCL 仮想プリンターの各設定がプリントされます。

PCL フォーム登録リスト

PCL 用に登録したフォームの一覧がプリントされます。

機能別カウンターレポート

各機能別のカウンターレポートをプリントします。

補足 ・[機能別カウンターレポート] は、機械管理者モードの [通常操作] から入ったときに表示できます。

1 [機能別カウンターレポート] を押します。
2 [機能別カウンターレポート] を押します。
3 〈スタート〉ボタンを押します。

プリンター集計 / 集計管理レポート

ユーザー別の集計管理レポートをプリントできます。なお、ユーザー別集計管理レポートは、「認証 / 集計の運用」(P.251) の設定によって、表示される画面が異なります。

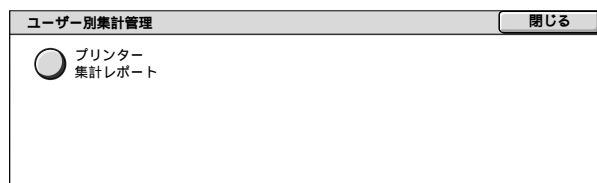
補足 ・[ユーザー別集計管理] は、機械管理者モードの [通常操作] から入ったときに表示されます。

[認証しない] に設定されている場合

■プリンター集計レポート

ジョブオーナー別に、本機でプリントした総ページ数、カラープリントページ数と、白黒プリントページ数を確認できます。次の画面が表示され、プリンター集計レポートをプリントできます。

各機能の集計管理機能の設定については、「認証の概要」(P.270) を参照してください。

1 [ユーザー別集計管理] を押します。
2 [プリンター集計レポート] を押します。
3 〈スタート〉ボタンを押します。

[本体認証 / 集計] または [ネット認証 / 集計] に設定されている場合

■プリンター集計管理レポート

「ユーザー登録 / 集計確認」(P.245) で登録したユーザー別に、本機でプリントした累積ページ数を、カラープリント、白黒プリント、および累積枚数別に確認できます。また、ページ数の上限設定や、カラープリントの制限をしている場合は、それらの設定値が表示されます。

補足 ・[プリンター集計管理レポート] は、「累積ページ数のリセット」(P.247) をした時点からのカウントになります。

次のような画面が表示され、ユーザー別の集計管理レポートをプリントできます。

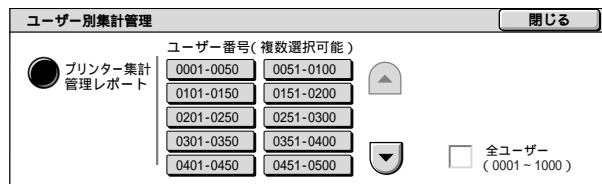
各機能の集計管理機能の設定については、「認証 / 集計管理」(P.245) を参照してください。

1) ［ユーザー別集計管理］を押します。

2) プリントする集計管理レポートを選択します。

3) プリントするユーザー番号の範囲を選択します。

補足 ・［全ユーザー］を押すと、すべてのユーザーが選択されます。

4) 〈スタート〉ボタンを押します。

使用済み製品回収情報シート

使用済みの本機の回収を依頼する場合に、情報シートをプリントできます。お客様から弊社のテレフォンセンターに、本機の情報を通知していただくことによって、本機の回収経路が決定します。

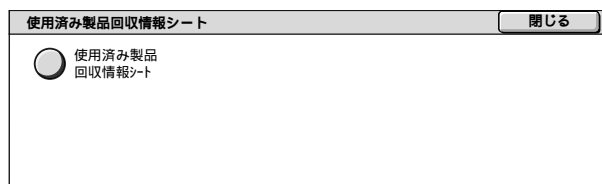
補足 ・［使用済み製品回収情報シート］は、機械管理者モードの［通常操作］から入ったときに表示できます。

1 ［使用済み製品回収情報シート］を押します。

2 ［使用済み製品回収情報シート］を押します。

3 〈スタート〉ボタンを押します。

日常の管理

8

消耗品確認

消耗品の状態は、［消耗品確認］画面で確認できます。消耗品の状態は、「良好」、「まもなく交換時期」、「要交換」などで表示されます。また、トナーの場合は、0 〜 100%で量も表します。

消耗品の状態を確認する手順は、次のとおりです。

消耗品の交換方法については、「用紙と消耗品」(P.169) を参照してください。

1 **〈機械確認（メーター確認）〉ボタンを押します。**

2 **［消耗品確認］タブを押します。**

補足 ・［▲］を押して前画面、［▼］を押して次画面を表示できます。

機械状態 ／ メーター確認 レポート出力 ／ 消耗品確認 ／ エラー情報 ／ 閉じる

消耗品名	状態
1.イエロートナー（Y）	0% ■ ■ ■ ■100%　良好
2.マゼンタトナー（M）	0% ■ ■ ■ ■100%　良好
3.シアントナー（C）	0% ■ ■ ■ ■100%　良好
4.ブラックトナー（K1）	0% ■ ■ ■ ■100%　良好
5.ブラックトナー（K2）	0% ■ ■ ■ ■100%　良好

［消耗品確認］画面では、次の項目を確認できます。なお、ホチキスカートリッジとパンチダストボックスは、フィニッシャーを装着している場合、小冊子ホチキスカートリッジは、中とじフィニッシャー C を装着している場合に表示されます。

- **イエロートナーカートリッジ**
- **マゼンタトナーカートリッジ**
- **シアントナーカートリッジ**
- **ブラックトナーカートリッジ**
- **イエロードラムカートリッジ**
- **マゼンタドラムカートリッジ**
- **シアンドラムカートリッジ**
- **ブラックドラムカートリッジ**
- **トナー回収ボトル**
- **ホチキスカートリッジ**
- **小冊子ホチキスカートリッジ**
- **パンチダストボックス**

注記 ・使いかけのトナーカートリッジを使用した場合、残量表示と実際の残量が合わないことがあります。トナーカートリッジを交換するときは、なるべく新品を使用することをお勧めします。

エラー情報

本機に発生したエラーに関する情報を確認する方法について説明します。

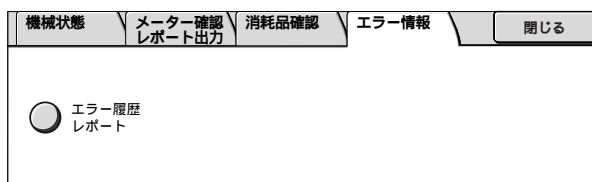
エラー履歴レポートには、最新の 50 件までのエラーが表示されます。表示される項目は、日付、時刻、エラーコード、エラー分類です。

エラー履歴をプリントする方法について説明します。

1 〈機械確認（メーター確認）〉ボタンを押します。

2 ［エラー情報］タブを押します。

3 ［エラー履歴レポート］を押します。

4 〈スタート〉ボタンを押します。

補足 ・［エラー履歴レポート］は、［レポート / リストの出力］画面の［ジョブ確認］からも指示できます。

認証の概要

ここでは、本機で利用できる認証機能について説明します。

認証で管理するユーザーについて

本機の認証機能で管理するユーザーについて説明します。

本機では、ユーザーを次の 4 種類に分類して、本機に対する操作を制限しています。

- 機械管理者
- 認証登録ユーザー
- 認証未登録ユーザー
- 一般ユーザー

機械管理者

使用環境に合わせて、システムの設定値を登録 / 変更できるユーザーです。

機械管理者は、機械管理者 ID という特殊な定義の User ID を使用します。

機械管理者モードへ入るには、認証画面に表示される User ID 欄に、登録されている機械管理者 ID を入力します。

認証登録ユーザー

本機にユーザー登録されているユーザーです。

認証登録ユーザーは、利用が制限されているサービスを利用する場合には、認証画面に表示される User ID 欄に、登録されている User ID を入力します。

認証未登録ユーザー

本機にユーザー登録されていないユーザーです。

認証未登録ユーザーは、利用が制限されているサービスを利用できません。

一般ユーザー

本機を認証モードで使用しないときの一般的なユーザーです。

User ID による認証

本機に登録されている User ID を利用して、認証を行います。

ユーザー情報の登録方法によって、次の 2 種類があります。

本体認証

本体認証は、本機で登録したユーザー情報を使用して、認証管理を行います。

ネット認証

ネット認証は、外部アカウンティングサービスで管理されているユーザー情報を使用して、認証管理を行います。

外部アカウンティングサービスで管理されているユーザー情報は、外部アカウンティングサービスから本機に送られてきて、本機に登録されます。外部アカウンティングサービスで管理されているユーザー情報が更新された場合は、外部アカウンティングサービスからユーザー情報を本機に送信する必要があります。

ネット認証は、複数台の本機で、ユーザー情報を一元管理する場合に向いています。

補足 ・本機が対応している外部アカウンティングサービスには、ApeosWare EasyAdmin などがあります。

認証によって制限される機能について

認証機能を利用することで、本機で利用を制限できる機能について説明します。

制限できる機能は、本機の利用形態によって異なります。

利用形態には、次の 2 つがあります。

- ローカルアクセス
- リモートアクセス

ローカルアクセス

本機の操作パネルから、直接本機を操作することをローカルアクセスといいます。

ローカルアクセスで制御される機能は、次のとおりです。

■プリント

本機に保存されている保存文書を、プリントする場合の操作が、制限できます。

認証プリントが対象になります。

リモートアクセス

CentreWare Internet Services や ApeosWare EasyAdmin などを使って、ネットワークを介して本機を操作することを、リモートアクセスといいます。

リモートアクセスで制御される機能は、次のとおりです。

■プリント

コンピューターなどからのプリント指示が制限できます。

認証機能を利用するには、プリンタードライバーで、User ID やパスワードなどの認証情報を設定する必要があります。

本機に送信されたプリントデータのうち、認証に失敗したプリントデータは、「認証プリント」に設定された内容に従って、本機に保存されるか、削除されます。

■CentreWare Internet Services

本機で認証機能を使用している場合は、Web ブラウザーで本機にアクセスするときに、認証が必要になります。

■ApeosWare EasyAdmin

本機で認証機能を使用している場合は、本機にアクセスするときに認証が必要になります。

管理できる機能とサービスについて

管理できる機能とサービスについて説明します。

User ID による認証によって管理できる機能と対象サービスは、本体認証を使用する場合と、ネット認証を使用する場合で異なります。

認証機能については、「認証 / 集計管理」(P.245) を参照してください。

- 本体認証 / 集計
- ネット認証 / 集計

本体認証 / 集計

本体認証で管理できる機能とサービスは、次のとおりです。

対象サービス	利用制限			ユーザー別の使用量集計
	User ID 認証	カラーモード制限 *1	上限ページ数 *2	
プリント	○	○	○	○
認証プリント	○	○	○	○
レポート / リスト	−	−	−	−

*1 利用できるカラーモードの制限を設定できます。設定方法については、「プリンターの制限」(P.246) を参照してください。

*2 あらかじめ使用できる制限枚数を設定し、使用量が制限に達すると以降の動作を禁止する機能です。設定方法については、「プリンターの制限」(P.246) を参照してください。

ネット認証 / 集計

ネット認証を使用している場合、集計管理情報は DocuHouse で集計管理できます。

本機で管理できる機能とサービスは、次のとおりです。

対象サービス	利用制限			ユーザー別の使用量集計
	User ID 認証	カラーモード制限 *1	上限ページ数 *2	
プリント	○	○	−	−
認証プリント	○	○	−	−
レポート / リスト	−	−	−	−

*1 利用できるカラーモードの制限を設定できます。設定は、外部アカウンティングサービスで行います。

*2 あらかじめ使用できる制限枚数を設定し、使用量が制限に達すると以降の動作を禁止する機能です。設定は、外部アカウンティングサービスで行います。

補足 ・［仕様設定］の［認証 / 集計の運用］にある［ネット認証 / 集計］で［認証情報の照合］を［しない（ログを記録）］に設定している場合、認証は行いません。

［ネット認証 / 集計］については、「ネット認証 / 集計」(P.252) を参照してください。

各機能で集計できるジョブについて

プリントで利用できるジョブの種類ごとに、集計管理できる情報について説明します。

対象サービス（ジョブ）		認証	集計対象ユーザー	管理項目
通常プリント	本機用プリンタードライバー	要	認証ユーザー	プリントカラー面数 / 白黒面数 / 枚数
	本機用プリンタードライバー以外（BMLinkS 利用時など）	− *2	未認証ユーザー	プリントカラー面数 / 白黒面数 / 枚数
セキュリティープリント	文書の蓄積	要	−	−
	文書のプリント	不要 *1	認証ユーザー	プリントカラー面数 / 白黒面数 / 枚数
サンプルプリント	サンプルプリント蓄積、プリント	要	認証ユーザー	プリントカラー面数 / 白黒面数 / 枚数
	サンプルプリント蓄積文書プリント	不要 *1	認証ユーザー	プリントカラー面数 / 白黒面数 / 枚数

対象サービス（ジョブ）		認証	集計対象ユーザー	管理項目
時刻指定プリント	文書の蓄積	要	ー	ー
	文書のプリント	不要 *1	認証ユーザー	プリントカラー面数 / 白黒面数 / 枚数
認証プリント	文書の蓄積	不要	ー	ー
	文書のプリント	要	認証ユーザー	プリントカラー面数 / 白黒面数 / 枚数
プライベートプリント	文書の蓄積	要 / 不要 *3	ー	ー
	文書のプリント	要	認証ユーザー	プリントカラー面数 / 白黒面数 / 枚数
メールプリント		ー *2	未認証者ユーザー	プリントカラー面数 / 白黒面数 / 枚数

*1　本機がジョブを受信した際に認証しているので、プリントする場合の認証は不要です。

*2　CentreWare Internet Services で、[ユーザー指定なし印刷の許可] を [有効] にした場合だけプリントできます。

*3　機械管理者モードの「受信制御」(P.250) の設定によって、要または不要になります。

階調補正を実行する

プリントの濃度や色味の再現性が悪くなってしまった場合に、簡易的に階調を補正できます。階調補正を実行すると、本機のプリント画質を一定の品質に保てます。

階調の補正は、まず、「階調補正チャート」をプリントして、本機に付属の「階調補正用色見本」と濃度を比較します。次に、濃度設定値を求め、プリンターに設定値を入力します。

C(シアン)、M(マゼンタ)、Y(イエロー)、K(ブラック) 各色の低濃度 (L)/ 中濃度 (M)/ 高濃度 (H) を調整できます。

補足
- 階調を補正したあと、濃度設定値を初期化する（工場出荷時の値に戻す）ときは、すべての値を「0」に設定してください。「0」にすると、プリント時に階調補正は機能しません。
  ただし、濃度設定値を工場出荷時の値（すべて「0」）に戻しても、設置時の画質に戻るということではありません。お使いの期間が長くなると、プリンターの経時変化、環境変化、プリント枚数などが影響し、設置時の画質とは異なります。
- 階調補正を定期的に実行しても色階調が補正されない場合、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にお問い合わせください。

スクリーンには、次の 2 種類があります。

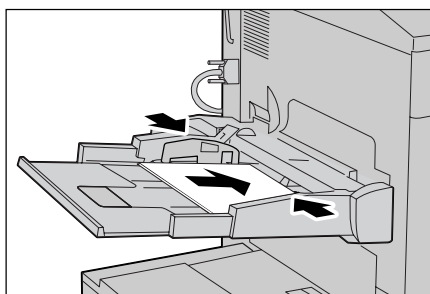
- 解像度優先スクリーン
  テキストのように、精細度を重視する部分に対する補正をするときに使用します。
- 階調優先スクリーン
  グラデーションなどを含むグラフィックスや、写真イメージのように、階調の滑らかさに対する補正をするときに使用します。

階調補正は、A3、A4▯、11 × 17 インチ、8.5 × 11 インチ▯サイズの用紙が使用できます。

補足
- 2 種類のスクリーンタイプの両方を実行することをお勧めします。1 つのスクリーンタイプの補正が終了したら、次のスクリーンタイプを設定して、手順を繰り返してください。

操作パネルでの設定

1 用紙トレイ 5（手差し）に、用紙をセットします。

用紙のセット方法は、「用紙トレイ 5（手差し）に用紙をセットする」(P.179) を参照してください。

2 ［階調補正］を押します。

3 階調を補正するスクリーンタイプを選択します。

補足
- ここでは、［解像度優先スクリーン］を例に説明します。

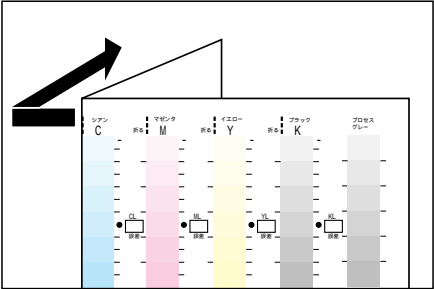
4 ［実行］を押します。

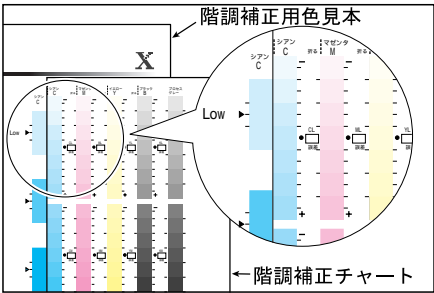
階調補正チャート（解像度優先）がプリントされます。

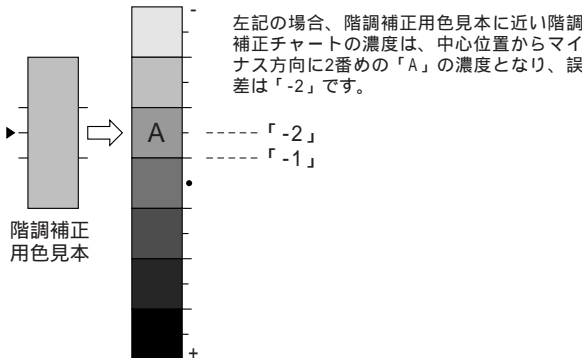
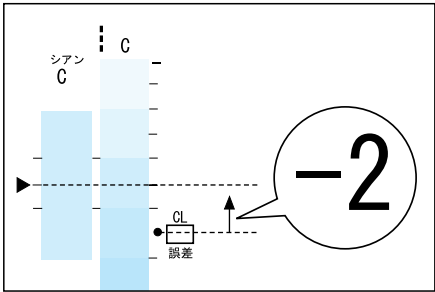
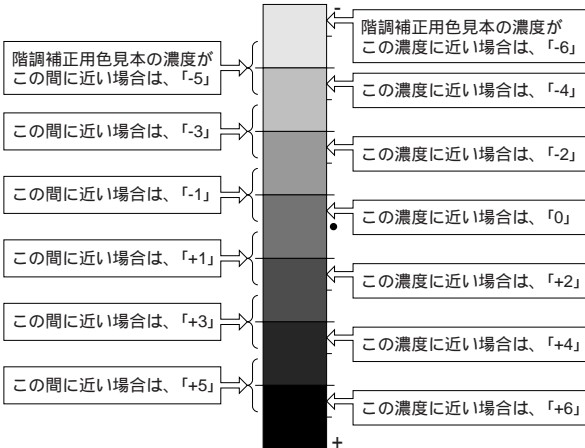
5 ［補正］を押します。

6 プリントしたチャートと、本機に付属の「階調補正用色見本」の濃度を比較して、設定値を決めます。

補足
- 階調補正チャートの補正パッチ 7 個とそれぞれの中間から、色見本の濃度に近いものを探します。設定範囲は、-6 ～ +6 の 13 段階です。
- 階調補正用色見本に記載されている手順もあわせてごらんください。
- ここでは、「シアン」を例に説明します。

1) 印刷した階調補正チャートを、補正する色の上下のガイド（点線）に沿って山折りにします。

2) チャートの補正する濃度を、色見本の同じ濃度の場所に合わせます。

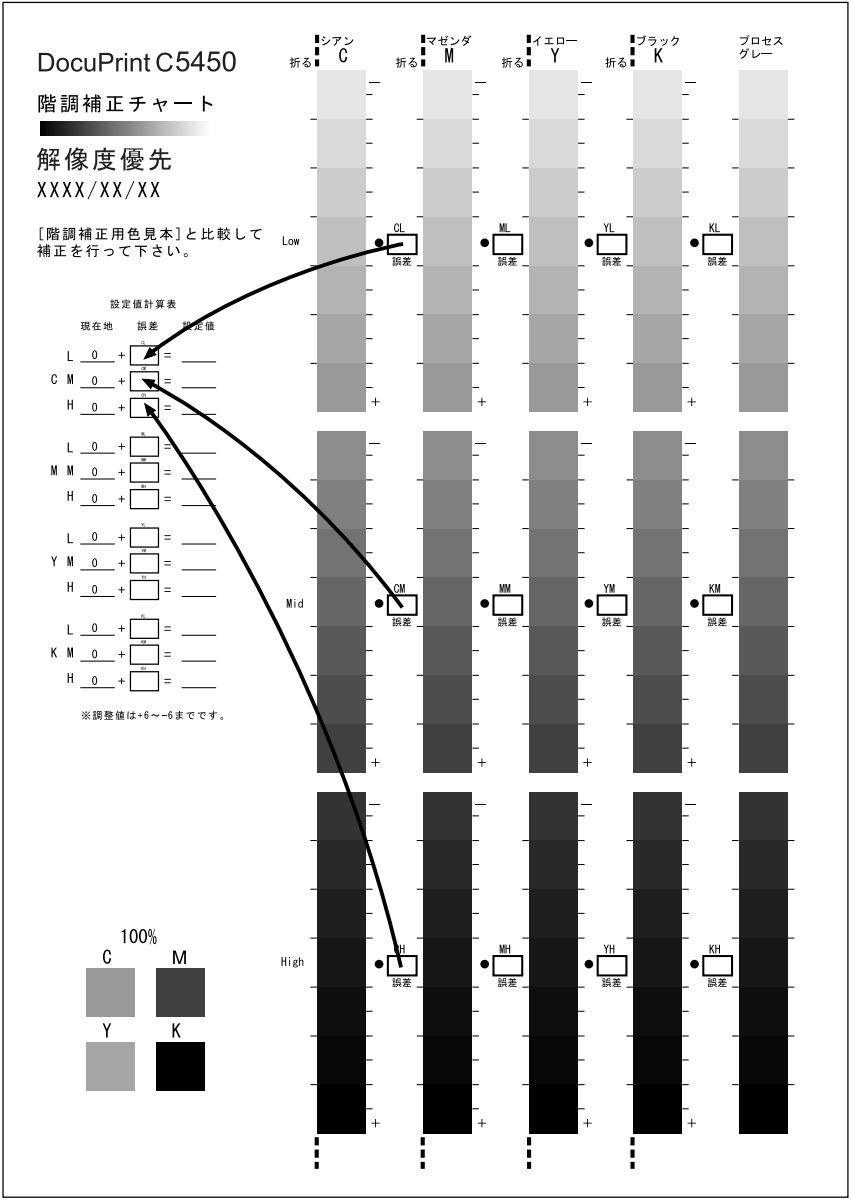
補足 ・低濃度（L）の補正をする場合は、Low と Low を合わせます。

3)「●」印を起点にチャートを上下にずらして、色見本との誤差を目盛りから読み取ります。

補足 ・マイナス（-）とプラス（+）の方向に注意して読み取ってください。

4) 該当する「誤差」ボックスに、誤差を記入します。

5) 同じ色の、ほかの 2 つの濃度も、同様に誤差を読み取ります。

6) 同様に CMYK の残りの色に対して手順 1 ～ 5 を繰り返して、誤差を読み取ります。

7) すべての色の濃度誤差を記入したら、チャートの左側にある「設定値計算表」の「誤差」の該当する箇所に書き写します。

以下は、シアンの例です。

8) 計算表の式に従って設定値を求め、「設定値」に記入します。

「現在値」には、前回の補正時に入力した値が表示されます。

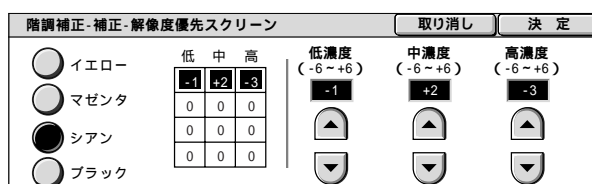
7 手順 5 で求めた値を、操作パネルで入力します。

補足 ・ ここでは、［シアン］を例に説明します。その他の色を補正する場合は、この手順を繰り返してください。

1) ［イエロー］、［マゼンタ］、［シアン］、［ブラック］のどれかを、押します。

2) ［▲］［▼］を押して、値を入力し、［決定］を押します。

8 ［スクリーン種別］の画面で、［閉じる］を押します。

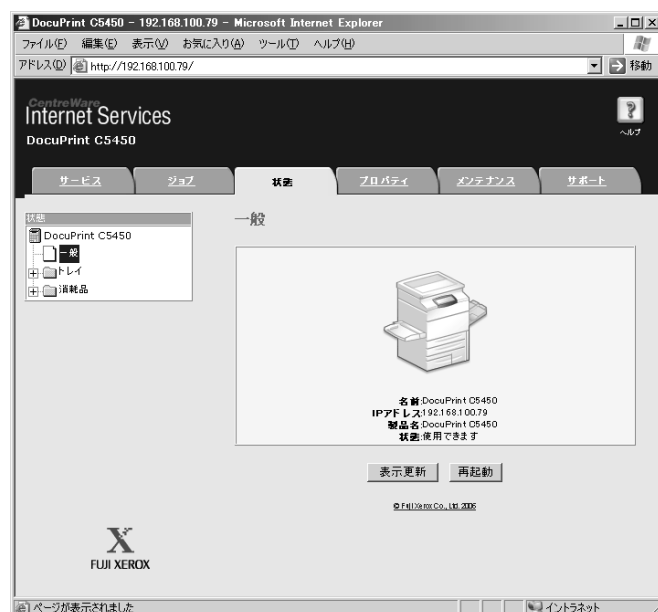
補足 ・ 階調優先スクリーンも、この手順と同じです。
・ 手順6〜7は、CentreWare Internet Service でも、設定できます。次の項を参照してください。

CentreWare Internet Services で設定する

CentreWare Internet Services を利用して、前項の手順 6 で求めた濃度設定値を設定できます。

補足 ・ CentreWare Internet Services を利用するには、コンピューターとプリンターが、TCP/IP で接続された環境が必要です。TCP/IP の設定は、「TCP/IP（LPD/Port9100）での設置」（P.54）を、CentreWare Internet Services の利用については、「CentreWare Internet Services について」（P.77）を、参照してください。

次に、設定手順を説明します。

1 コンピューター上で、Web ブラウザーを起動します。

2 Web ブラウザーのアドレス入力欄に、プリンターの IP アドレス、またはインターネットアドレスを入力し、〈Enter〉キーを押します。

3 ［プロパティ］タブをクリックします。

4 左側エリアの［階調補正］をクリックします。

5 該当する色の濃度を、メニュー値から選択します。

6 同じ色の、ほかの 2 つの濃度も同様に、メニュー値から選択します。

7 CMYK の残りの色に対しても、同様に、メニューから値を選択します。

8 すべての色の濃度設定値が入力できたら、［新しい設定を適用］をクリックします。

本機を清掃する

ここでは、本機の清掃について説明します。

本機外部、パンチダストボックスの清掃方法に分けて説明します。

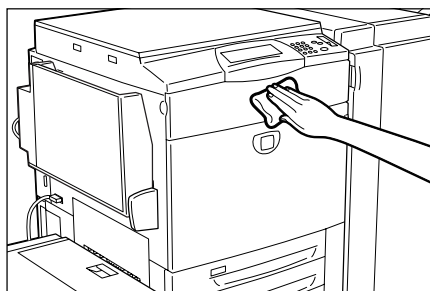
本機外部の清掃

本機外部の清掃について説明します。

注記
- 本機を清掃する場合は電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから必ず抜いてください。電源スイッチを切らないで機械を清掃すると、感電の原因になるおそれがあります。
- ベンジン、シンナーなどの揮発性のものを使用したり、殺虫剤をかけたりすると、カバー類の変色、変形、ひび割れの原因になります。
- 水でぬらしすぎると、機械が故障するおそれがあるので注意してください。

1 水でぬらして固く絞った柔らかい布で、本機の外側をふきます。

補足
- 汚れが取れにくい場合は、柔らかい布に薄めの中性洗剤を少量含ませ、軽くふいてください。

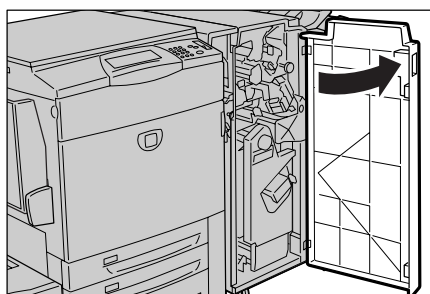
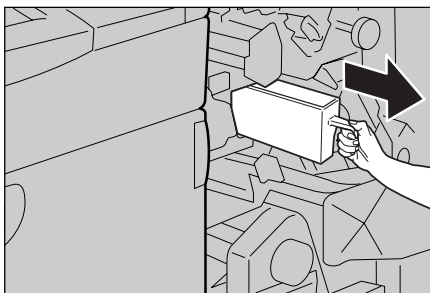
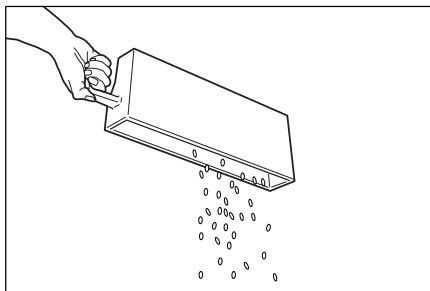
2 柔らかい布で、水分をふき取ります。

パンチダストボックスの切りくずを捨てる（フィニッシャーC、中とじフィニッシャー C 装着時）

オプションのフィニッシャー C または中とじフィニッシャー C を装着している場合、パンチダストボックスの切りくずがいっぱいになると、操作パネルのタッチパネルディスプレイに、メッセージが表示されます。表示されているメッセージに従って、切りくずを捨ててください。

ここでは、中とじフィニッシャー C を例に説明します。フィニッシャー C も、手順は同様です。

パンチダストボックスを引き抜いたときは、必ず、切りくずが残らないように捨ててください。切りくずが残っていると、次の交換メッセージが表示される前に切りくずがいっぱいになり、機械の故障の原因になります。

注記
- パンチダストボックスの切りくずを捨てるときは、本機の電源を入れたままの状態にしておいてください。電源を切ると、切りくずを捨てたことを本機が認識できません。

1 機械が停止していることを確認し、フィニッシャーのフロントカバーを開けます。

2 パンチダストボックス「R4」を手前に引き抜きます。

3 切りくずを、すべて捨てます。

4 空になったパンチダストボックスを、奥まで差し込みます。

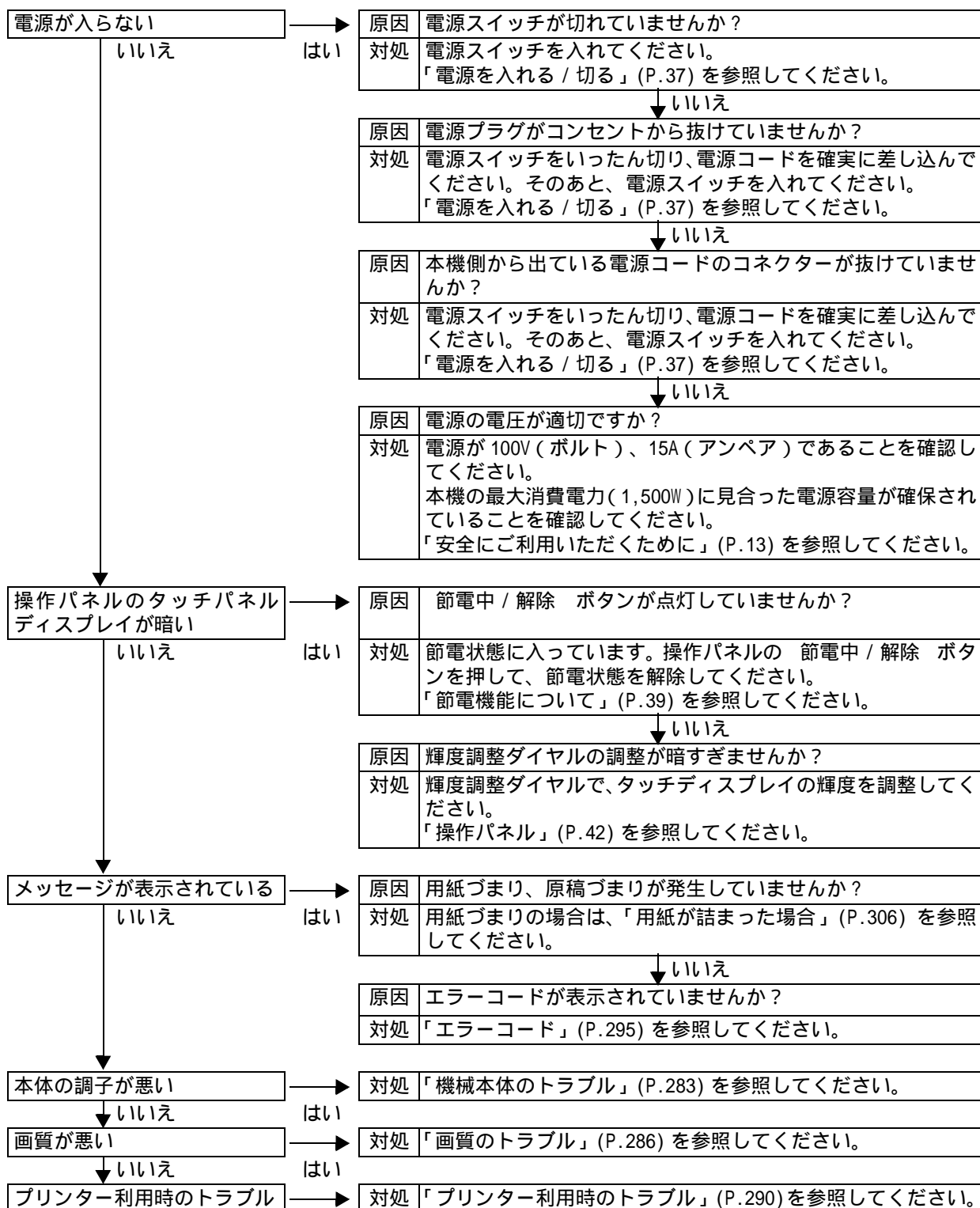
5 フィニッシャーのフロントカバーを閉じます。

補足 ・フィニッシャーのフロントカバーが少しでも開いていると、メッセージが表示され、機械が作動しません。

9 トラブル対処

この章では、本機になんらかのトラブルが発生した場合の対処方法について説明します。

トラブルと思ったら

ここでは、本機になんらかのトラブルが発生した場合の対処方法について説明します。
トラブルが発生した場合は、次の流れに従って、対処してください。

なお、上記のトラブル対処に従って対処しても正常に作動しないときは、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。

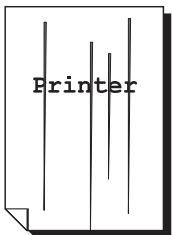
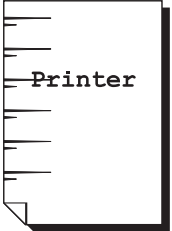
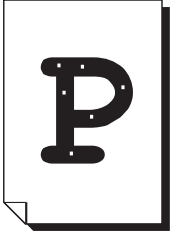
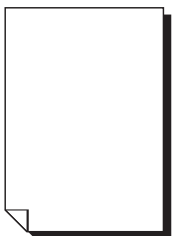
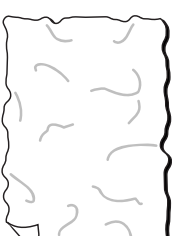
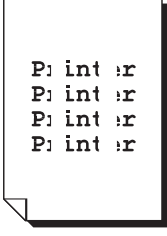
トラブル対処 9

機械本体のトラブル

故障かなと思う前に、もう一度、本機の状態を確認してください。

> **⚠警告**
> **ネジで固定されているパネルやカバーなどは、取扱説明書で指示している箇所以外は、絶対に開けないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。**
> **機械を改造したり、部品を変更して使用しないでください。火災のおそれがあります。**

注記 ・オプションの着脱作業でネジで固定されているパネルやカバーを開ける場合には、必ず各取扱説明書の指示に従ってください。

症　状	原　因	処　置
電源が入らない	電源スイッチが切れていませんか？	電源スイッチを入れてください。 「電源を入れる / 切る」(P.37) を参照してください。
	電源プラグがコンセントに入っていますか？	電源スイッチをいったん切り、電源コードを確実に差し込んでください。そのあと、電源スイッチを入れてください。 「電源を入れる / 切る」(P.37) を参照してください。
	本機側から出ている電源コードのコネクターが抜けていませんか？	
	電源の電圧が適切ですか？	電源が 100V（ボルト）、15A（アンペア）であることを確認してください。 本機の最大消費電力（1,500W）に見合った電源容量が確保されていることを確認してください。 「安全にご利用いただくために」(P.13) を参照してください。
操作パネルのタッチパネルディスプレイが暗い	〈節電中 / 解除〉ボタンが点灯していませんか？	節電状態に入っています。操作パネルの〈節電中 / 解除〉ボタンを押して、節電状態を解除してください。 「節電機能について」(P.39) を参照してください。
	輝度調整ダイヤルの調整が暗すぎませんか？	輝度調整ダイヤルで、操作パネルのタッチパネルディスプレイの輝度を調整してください。 「操作パネル」(P.42) を参照してください。
プリントできない	操作パネルのタッチパネルディスプレイにメッセージが表示されていませんか？	表示されているメッセージに従って処置してください。
	プリンターモードが「オフライン」になっていませんか？	〈機械確認（メーター確認）〉ボタンを押して、[機械確認] 画面の [プリンターモード] を確認してください。「オフライン」になっていたら、[プリンターモード] 画面で、[オンライン] を選択してください。
	電源コードのコネクターが抜けていませんか？	電源スイッチをいったん切り、電源コードを確実に差し込んでください。そのあと、電源スイッチを入れてください。 「電源を入れる / 切る」(P.37) を参照してください。

症　状	原　因	処　置
プリントできない	メモリー容量が不足していませんか？	［印刷モード］を［速度優先］にするか、［印刷保証］を利用して再プリントする、起動しているポートを減らしてプリントページバッファを増やす、または512MB増設メモリーを取り付けて、メモリーを増設してください。 「メモリー設定」（P.233）を参照してください。 補足　・メモリーの容量が不足していると、自動的にポートの状態を「停止」に設定し直して、起動します。 ・メモリーの増設については、弊社のテレフォンセンターまたはカストマーエンジニアにお問い合わせください。
プリントを指示したのに〈受信中〉ランプが点灯しない	インターフェイスケーブルが抜けていませんか？	電源スイッチをいったん切り、電源プラグをコンセントから抜き、インターフェイスケーブルの接続を確認してください。 「インターフェイスケーブルの接続」（P.49）を参照してください。
	コンピューター側の環境が正しく設定されていますか？	プリンタードライバーなど、コンピューター側の環境を確認してください。
	使用するインターフェイスが設定されていますか？	使用するインターフェイスのポート状態を確認してください。 「プリンター環境の設定」（P.45）を参照してください。
用紙トレイ5（手差し）にプリントを指示したのにプリントされない	指定したサイズの用紙がセットされていますか？	表示されたメッセージに従って、正しいサイズの用紙をセットして、再度、プリントを指示してください。 「用紙トレイ5（手差し）に用紙をセットする」（P.179）を参照してください。
印字品質がよくない	画像トラブルが発生しているおそれがあります。	後述の「画質のトラブル」を参照して処置してください。 「画質のトラブル」（P.286）を参照してください。
正しい文字が印字されない（文字化けが起こる）	本機に標準で搭載されていないフォントを使用してプリントしています。	アプリケーションまたはプリンタードライバーの設定を確認してください。PostScript（オプション）を使用している場合は、必要なフォントをダウンロードしてください。
〈受信中〉ランプが点灯、点滅したまま排紙されない	データが本機内部に残っています。	プリントの中止、または残っているデータを排出してください。 「実行中 / 実行待ちのジョブを確認する」（P.161）を参照してください。
用紙トレイの出し入れができない	プリント中にカバーを開けたり、電源を切ったりしませんでしたか？	無理に用紙トレイを出し入れしないで、電源を切ってください。数秒経過後、電源を入れてください。本機がデータを受信できる状態になったことを確認して、用紙トレイの出し入れをしてください。

症　　状	原　　因	処　　置
用紙づまり、紙しわがたびたび発生する	**用紙が用紙トレイに正しくセットされていますか？**	**用紙を正しくセットしてください。** 「用紙をセットする」(P.176) を参照してください。
	用紙トレイが正しくセットされていますか？	**用紙トレイを確実に奥まで押し込んで正しくセットしてください。** 「用紙をセットする」(P.176) を参照してください。
	用紙が湿気を含んでいませんか？	**未開封の用紙と交換してください。** 「用紙をセットする」(P.176) を参照してください。
	用紙がカールしていませんか？	**用紙トレイ内の用紙をうら返すか、未開封の用紙と交換してください。** 「用紙をセットする」(P.176) を参照してください。
	用紙と用紙トレイの設定は正しいですか？	**セットしている用紙に合わせて、正しく用紙と用紙トレイを設定してください。** 「用紙 / トレイの設定」(P.221) を参照してください。
	機械の内部に詰まった用紙や紙片が残っていたり、異物が入っていませんか？	**機械を開けるか、用紙トレイを引き出して、紙片や異物を取り除いてください。** 「用紙が詰まった場合」(P.306)、「用紙をセットする」(P.176) を参照してください。
	規格外の用紙がトレイに入っていませんか？	**使用基準内の用紙と交換してください。** 「用紙の種類」(P.170) を参照してください。
	用紙トレイ内の用紙上限線を超えて、用紙をセットしていませんか？	**用紙トレイ内の用紙上限線を超えないように、用紙をセットしてください。** 「用紙をセットする」(P.176) を参照してください。
	用紙ガイドが正しくセットされていますか？	**用紙を正しくセットして、用紙ガイドを用紙に軽く当てるように合わせてください。** 「用紙をセットする」(P.176)、「用紙トレイの用紙サイズを変更する」(P.182) を参照してください。
	用紙がきれいに裁断されていますか？	**用紙の種類によっては、きれいに裁断されていない場合があります。よくさばいてから用紙をセットしてください。**
用紙トレイ 5（手差し）に用紙をセットして〈スタート〉ボタンを押すとエラーメッセージが表示される	**用紙トレイ 5（手差し）の用紙ガイドの位置がずれていませんか？**	**用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。** 「用紙トレイ 5（手差し）に用紙をセットする」(P.179) を参照してください。
ホチキスとめがうまくいかないとき	**ー**	「ホチキスとめがうまくいかないとき」(P.324) を参照してください。

画質のトラブル

プリント結果の画質が悪い場合は、次の表から最も近いと思われる症状を選び、処置してください。

該当する処置をしても画質が改善されない場合は、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。

症　状	原　因	処　置
プリントがうすい（かすれる、不鮮明） Printer	**用紙が湿気を含んでいます。**	**新しい用紙と交換してください。** 「用紙をセットする」(P.176) を参照してください。
	ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。	**新しいドラムカートリッジと交換してください。** 「ドラムカートリッジ「R1」を交換する」(P.195)、「ドラムカートリッジ「R2」/「R3」/「R4」を交換する」(P.199) を参照してください。
	トナーカートリッジ内にトナーが残っていません。	**新しいトナーカートリッジと交換してください。** 「トナーカートリッジを交換する」(P.191) を参照してください。
黒点または色点がプリントされる Printer	**ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。**	**新しいドラムカートリッジと交換してください。** 「ドラムカートリッジ「R1」を交換する」(P.195)、「ドラムカートリッジ「R2」/「R3」/「R4」を交換する」(P.199) を参照してください。
黒線または色線がプリントされる Printer	**ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。**	**新しいドラムカートリッジと交換してください。** 「ドラムカートリッジ「R1」を交換する」(P.195)、「ドラムカートリッジ「R2」/「R3」/「R4」を交換する」(P.199) を参照してください。

症　状	原　因	処　置
等間隔に汚れが起きる	**用紙搬送路に汚れが付着しています。**	**数枚プリントしてください。**
	ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。	**新しいドラムカートリッジと交換してください。** 「ドラムカートリッジ「R1」を交換する」(P.195)、「ドラムカートリッジ「R2」/「R3」/「R4」を交換する」(P.199) を参照してください。
黒くぬりつぶされた部分に白点が現れる	**使用している用紙が適切ではありません。**	**適切な用紙をセットしてください。** 「用紙の種類」(P.170) を参照してください。
	ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。	**新しいドラムカートリッジと交換してください。** 「ドラムカートリッジ「R1」を交換する」(P.195)、「ドラムカートリッジ「R2」/「R3」/「R4」を交換する」(P.199) を参照してください。
指でこするとかすれる **トナーが定着しない** **用紙がトナーで汚れる**	**用紙が湿気を含んでいます。**	**新しい用紙と交換してください。** 「用紙をセットする」(P.176) を参照してください。
	使用している用紙が適切ではありません。	**適切な用紙をセットしてください。** 「用紙の種類」(P.170) を参照してください。
用紙全体が黒くプリントされる	**ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。**	**新しいドラムカートリッジと交換してください。** 「ドラムカートリッジ「R1」を交換する」(P.195)、「ドラムカートリッジ「R2」/「R3」/「R4」を交換する」(P.199) を参照してください。
	高圧電源の故障が考えられます。	**弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。**

症　状	原　因	処　置
何もプリントされない	**一度に複数枚の用紙が搬送されています（重送）。**	**用紙をよくさばいてからセットし直してください。** 「用紙をセットする」(P.176) を参照してください。
	トナーカートリッジ内にトナーが残っていません。	**新しいトナーカートリッジと交換してください。** 「トナーカートリッジを交換する」(P.191) を参照してください。
	高圧電源の故障が考えられます。	**弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。**
白抜けや白筋または色筋が出る	**用紙が湿気を含んでいます。**	**新しい用紙と交換してください。** 「用紙をセットする」(P.176) を参照してください。
	使用している用紙が適切ではありません。	**適切な用紙をセットしてください。** 「用紙の種類」(P.170) を参照してください。
全体がうっすらとプリントされる	**用紙トレイ 5（手差し）を使用してプリントした場合で、プリンタードライバーで設定した用紙サイズと実際にセットされている用紙の種類とサイズが異なります。**	**用紙トレイ 5（手差し）に、正しい種類とサイズの用紙をセットしてください。** 「用紙トレイ 5（手差し）に用紙をセットする」(P.179) を参照してください。
	一度に複数枚の用紙が搬送されています。	**用紙をよくさばいてからセットし直してください。** 「用紙をセットする」(P.176) を参照してください。
用紙にしわが付く **文字がにじむ**	**使用している用紙が適切ではありません。**	**新しい用紙と交換してください。** 「用紙をセットする」(P.176) を参照してください。
	用紙の継ぎ足しをしています。	
	用紙が湿気を含んでいます。	

症　状	原　因	処　置
縦長に白抜けまたは色抜けする Pr int er Pr int er Pr int er Pr int er	**ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。**	**新しいドラムカートリッジと交換してください。** 「ドラムカートリッジ「R1」を交換する」(P.195)、「ドラムカートリッジ「R2」/「R3」/「R4」を交換する」(P.199) を参照してください。
	トナーカートリッジ内にトナーが残っていません。	**新しいトナーカートリッジと交換してください。** 「トナーカートリッジを交換する」(P.191) を参照してください。
斜めにプリントされる Printer	**用紙トレイのガイドクリップが正しい位置にセットされていません。**	**縦横のガイドクリップを正しい位置にセットしてください。** 「用紙トレイの用紙サイズを変更する」(P.182) を参照してください。

プリンター利用時のトラブル

プリント機能利用時のトラブル対処方法について説明します。

プリントできない

プリントできない場合の対処方法について説明します。

プリンターアイコンにデータが残っている

はい →

原因	本機に電源が入っていない。
対処	本機の電源を入れてください。

↓ いいえ

原因	コンピューターのネットワークケーブルが外れている。
対処	コンピューターのネットワークケーブルをつなげてください。

↓ いいえ

原因	本機のネットワークケーブルが外れている。
対処	本機のネットワークケーブルをつないでください。 「ネットワークケーブルの接続」(P.49) を参照してください。

↓ いいえ

原因	プリンターがオフラインになっている。
対処	〈機械確認（メーター確認）〉ボタンを押して、［機械確認］画面の［プリンターモード］を確認してください。「オフライン」になっていたら、［プリンターモード］画面で、［オンライン］を選択してください。

↓ いいえ

原因	プリンターでエラーが発生している。
対処	エラーの内容を確認して対処してください。

↓ いいえ

原因	IP アドレス、または SMB のネットワークパスが正しく設定されていない。
対処	正しい IP アドレス、または SMB のネットワークパスを設定してください。 「プリンター環境の設定」(P.45) を参照してください。

↓ いいえ

原因	コンピューターと本機の間のネットワークが正常ではない。
対処	ネットワーク管理者に相談してください。

↓ いいえ

原因	ポートが起動していない。
対処	利用しているポートを起動してください。 「プリンター環境の設定」(P.45) を参照してください。

↓ いいえ

原因	プリンターのハードディスクの残り容量が不足している。
対処	不要なデータを削除し、空きスペースを増やしてください。

↓ いいえ

原因	プリンターが複数のコンピュータと接続している。
対処	しばらく待ってから、再度プリントしてください。

いいえ ↓

思ったとおりのプリント結果にならない

プリント結果が予想と違う結果になる場合の対処方法について説明します。

カラーでプリントされない → はい

原因	プリンタードライバーの［カラーモード］で［白黒］が選択されている。
対処	［カラーモード］で［自動］または［カラー］を選択してください。

↓ いいえ

ホチキスされない → はい

原因	フィニッシャーが装着されていない。
対処	ホチキスをするにはフィニッシャーが必要です。フィニッシャーを装着するか、プリンタードライバーでホチキスを解除してください。

↓ いいえ

原因	ホチキスする枚数が 50 枚を超えている。
対処	ホチキス可能枚数は、50 枚までです。プリントする枚数を 50 枚以下にしてください。

↓ いいえ

両面でプリントされない → はい

原因	プリントページバッファが不足している。
対処	メモリーを増設してください。

↓ いいえ

異なった用紙サイズでプリントされる → はい

原因	指定したトレイに異なったサイズの用紙がセットされている。
対処	トレイにセットされている用紙サイズを変更するか、指定した用紙サイズがあるトレイにプリンタードライバーを変更してください。

↓ いいえ

用紙の端にあるイメージが欠ける → はい

原因	本機のプリント可能領域を超えています。
対処	本機のプリント領域を拡張するか、ドキュメントの印字エリアを小さくしてください。

↓ いいえ

コンピューターで指定したフォントとプリント結果のフォントが異なる → はい

原因	プリンタードライバーで、フォントの置き換えを設定している。
対処	フォントの置き換えテーブルを確認してください。

↓ いいえ

いいえ
原因 本機に標準で搭載していないフォントを使用している。
対処 アプリケーション、またはプリンタードライバーの設定を、確認してください。
オプションのPS3キットヘイセイ2ショタイを使用している場合は、必要なフォントをダウンロードしてください。
オフセットされない
はい
原因 プリンターにオフセット機能が装着されていない。
対処 オフセット排出するには、オフセットキャッチトレイまたはフィニッシャーが装着されている必要があります。
いいえ
プリントスピードが遅い
はい
原因 印刷モードで高画質を選択している。
対処 写真などのイメージデータを高画質でプリントするとプリント速度が遅くなります。印刷モードで速度優先を選択してください。
いいえ
プリントオプションで設定した内容が効かない
はい
原因 他機種のプリンタードライバーを使用している。
対処 本機のプリンタードライバをインストールしてください。
いいえ
原因 オプションの装備がプリンターに装着されていない。
対処 本機に装着されているオプションを確認して、プリンター構成を再度設定してください。
いいえ
端が欠ける
はい
原因 本機のプリント可能エリアを超えています。
対処 本機のプリントエリアを拡張するか、ドキュメントの印字エリアを小さくしてください。
いいえ
プリントの色が以前と異なる
はい
原因 色階調がずれている。
対処 階調補正をしてください。
「階調補正を実行する」(P.274) を参照してください。

CentreWare Internet Services 利用時のトラブル

CentreWare Internet Services 利用時のトラブルについて説明します。

症状	処置
CentreWare Internet Services に接続できない	本機は正常に作動していますか？ 本機の電源が入っているか確認してください。
	インターネットサービスが起動されていますか？ 機能設定リストを印刷して確認してください。
	インターネットアドレスは正しく入力されていますか？ インターネットアドレスをもう一度確認してください。接続できない場合は、IP アドレスを入力して接続してください。
	プロキシサーバーを使用していますか？ プロキシサーバーによっては、接続できない場合があります。プロキシサーバーを使わないで、Web ブラウザーの設定を「プロキシサーバーを使用しない」にするか、接続したいアドレスを「プロキシサーバーを使用しない」に設定してください。
Web ブラウザーでしばらくお待ちください等のメッセージが表示されたままになる	そのまましばらくお待ちください。 状態が変わらない場合は、Web ブラウザーの表示を更新してみてください。状態が変わらない場合は、本機が正常に作動しているかを確認してください。
［表示更新］が機能しない	指定されている OS や Web ブラウザーを使用していますか？ 「CentreWare Internet Services について」(P.77) を参照して、使用している OS や Web ブラウザーが使用できるかどうかを確認してください。
左側エリアのメニューを選択しても、右側エリアが更新できない	
画面の表示が崩れる	Web ブラウザーのウィンドウサイズを変更してください。
最新の情報が表示されない	［表示更新］を押してください。
日本語が正しく設定できない	シフト JIS コードを使用してください。また、半角カナ文字は使用できない場合があります。
［新しい設定を適用］を押しても反映されない	入力した値は正しいですか？ 入力できる値以外を入力した場合は、自動的に制限値内に変更されます。
［新しい設定を適用］を押すと、Web ブラウザーに無効なまたは認識されない応答をサーバーが返しましたやデータがありませんなどのメッセージが表示される	ユーザー名とパスワードは正しいですか？ 正しいユーザー名とパスワードを入力してください。
	本機を再起動してください。

メール通知サービス、メールプリント使用時のトラブル

メール通知サービス、メールプリント利用時のトラブルについて説明します。

症状	処置
メールプリントができない	本体メールアドレスは設定されていますか。 CentreWare Internet Services で、設定を確認してください。
	［メール受信］が［起動］に設定されていますか。 CentreWare Internet Services で、設定を確認してください。
	SMTP サーバーの IP アドレス、POP3 サーバーの IP アドレス（受信プロトコルで POP3 を選択している場合）などが、正しく設定されていますか。 CentreWare Internet Services で、設定を確認してください。
	POP ユーザー名と、パスワードが正しく設定されていますか。 CentreWare Internet Services で、設定を確認してください。
	受信許可ドメインを設定していませんか。 CentreWare Internet Services で、自分のドメインが受信許可ドメインに含まれているかどうかを確認してください。
	SMTP サーバー、POP サーバーは正常に作動していますか。 ネットワーク管理者に確認してください。
メールプリントで添付の PDF ファイルがプリントされない	メモリー容量が不足していると、印刷できないことがあります。容量の大きな添付ファイルを頻繁に印刷する場合は、メモリーを増設することをお勧めします。
メール通知サービスで、本機の状態がメールされない	本体メールアドレスは設定されていますか。 CentreWare Internet Services で、設定を確認してください。
	［メール通知］が［起動］に設定されていますか。 CentreWare Internet Services で、設定を確認してください。
	SMTP サーバーの IP アドレス、POP3 サーバーの IP アドレス（受信プロトコルで POP3 を選択している場合）などが、正しく設定されていますか。 CentreWare Internet Services で、設定を確認してください。
	POP ユーザー名と、パスワードが正しく設定されていますか。 CentreWare Internet Services で、設定を確認してください。
	送信する通知項目が正しく設定されていますか。 CentreWare Internet Services のプロパティ画面で、設定を確認してください。
	送信先メールアドレスは正しく入力されていますか。 CentreWare Internet Services のプロパティ画面で、正しい送信先を入力してください。
	SMTP サーバー、POP サーバーは正常に作動していますか。 ネットワーク管理者に確認してください。

エラーコード

エラーコードについて説明します。

エラーが発生してプリントが正常に終了しなかった場合や、本機に故障が発生した場合は、メッセージとエラーコード（***-***）が表示されます。

次の表に記載されていないエラーコードが表示された場合や、記載に従って処置をしても正常に戻らないときは、弊社テレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。

下表でエラーコードを参照して、処置してください。

注記 ・エラーコードが表示されたときは、本機内に残っているプリントデータや、本機のメモリー上に蓄えられた情報は保証されません。

「分類」は、次のようになります。

P: プリント

M: メール

O: その他

エラーコード	分類			原因 / 処置
	P	M	O	
002-770			○	【原因】 ハードディスクの容量が不足しているため、ジョブテンプレート処理ができませんでした。 【処置】 ハードディスク内の不要なデータを削除して、空き容量を増やしてください。
003-761	○			【原因】 自動トレイ選択で選択したトレイの用紙サイズと、自動トレイ切り替え機能によって選択されたトレイの用紙サイズが異なっています。 【処置】 同じサイズの用紙をトレイにセットするか、［用紙種類の優先順位］の設定を変更してください。
012-211 012-212 012-213 012-221 012-223 012-224 012-225 012-226 012-227 012-228 012-229 012-230			○	【原因】 フィニッシャーが故障しました。 【処置】 本機の電源を切 / 入してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。

エラーコード	分類			原因 / 処置
	P	M	O	
012-260 012-261 012-263 012-264 012-265 012-266 012-270 012-271 012-282 012-283 012-284 012-291 012-295 012-296			○	【原因】 フィニッシャーが故障しました。 【処置】 本機の電源を切 / 入してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。
016-210 016-211 016-212 016-213 016-214 016-215 016-216 016-217			○	【原因】 ソフトウエアにエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切 / 入してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。
016-219			○	【原因】 ソフトウエアのライセンスがありません。 【処置】 本機の電源を切 / 入してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。
016-450			○	【原因】 SMB のホスト名が重複しています。 【処置】 ホスト名を変更してください。 「Microsoft Networks(SMB) での設置」(P.58) を参照してください。
016-454			○	【原因】 DNS から、IP アドレスを取得できませんでした。 【処置】 DNSの設定とIPアドレスの取得方法の設定を確認してください。 「IP アドレスの設定手順」(P.51)、「TCP/IP（LPD/Port9100）での設置」(P.54) を参照してください。
016-503		○		【原因】 メール送信時に SMTP サーバーの名前が解決できませんでした。 【処置】 CentreWare Internet Services から SMTP サーバーの設定が正しいか確認してください。また、DNS サーバーの設定が正しいか確認してください。
016-504		○		【原因】 メール送信時に POP3 サーバーの名前が解決できませんでした。 【処置】 CentreWare Internet Services から POP3 サーバーの設定が正しいか確認してください。また、DNS サーバーの設定が正しいか確認してください。
016-505		○		【原因】 メール送信時に POP3 サーバーへのログインに失敗しました。 【処置】 CentreWare Internet Services から POP3 サーバーで使用するユーザー名とパスワードが正しく設定されているか確認してください。

エラーコード	分類			原因 / 処置
	P	M	O	
016-701	○			**【原因】 メモリーが不足したため、ART EX のプリントデータを処理できませんでした。** **【処置】 解像度を低くしたり、両面プリントやNアップをしないで、再度、プリントを指示してください。** プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
016-702	○			**【原因】 プリントページバッファが不足したため、ART EX のプリントデータを処理できませんでした。** **【処置】 次のどれかの方法で処置してください。** **•［印刷モード］を［速度優先］にする** **• 印刷保証を利用する** **• プリントページバッファを増やす** **• メモリーを増設する** 印刷モード、印刷保証については、プリンタードライバーのヘルプ、メモリーについては、「メモリー設定」(P.233) を参照してください。
016-705	○			**【原因】 セキュリティープリント文書が登録できませんでした。** **【処置】 プリントオプションを確認して、再度、プリントを指示してください。ハードディスクが故障している場合は、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。** 「セキュリティープリント」(P.165) を参照してください。
016-706	○			**【原因】 セキュリティープリントの最大ユーザー数（200）を超えたため、ハードディスクの容量が不足しています。** **【処置】 本機内に蓄積されている不要な文書やセキュリティープリントの登録ユーザーを削除してください。** セキュリティープリントのユーザー削除については「セキュリティープリント文書の削除」(P.242) を参照してください。
016-707	○			**【原因】 サンプルプリント文書が登録できませんでした。** **【処置】 プリントオプションを確認して、再度、プリントを指示してください。ハードディスクが故障している場合は、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。** 「サンプルプリント」(P.166) を参照してください。
016-709	○			**【原因】 ART EX 処理でエラーが発生しました。** **【処置】 再度、プリントを指示してください。**
016-710	○			**【原因】 時刻指定プリント文書が登録できませんでした。** **【処置】 プリントオプションを確認して、再度、プリントを指示してください。ハードディスクが故障している場合は、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。** 「時刻指定プリント」(P.167) を参照してください。
016-716	○			**【原因】 ハードディスクの容量を超えたため、TIFF ファイルをスプールできませんでした。** **【処置】 本機内に蓄積されている不要な文書や登録ユーザーを削除して、ハードディスクを装着してください。ハードディスクの装着については、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。** 「保存文書をプリント / 削除する」(P.162) を参照してください。
016-718	○			**【原因】 メモリーが不足したため、PCL のプリントデータを処理できませんでした。** **【処置】 解像度を低くしたり、両面プリントやNアップをしないで、再度、プリントを指示してください。**
016-719	○			**【原因】 プリントページバッファが不足したため、PCL のプリントデータを処理できませんでした。** **【処置】 プリントページバッファを増やしてください。**

エラーコード	分類			原因 / 処置
	P	M	O	
016-720	○			【原因】 PCL のプリントデータに処理できないコマンドが含まれています。 【処置】 プリントデータを確認して、再度、プリントを指示してください。
016-721	○		○	【原因】 プリント処理中にエラーが発生しました。次の原因が考えられます。 ① 仕様設定の［共通設定］で、［用紙種類の優先順位］がすべての用紙で「自動トレイ選択しない」に設定されているときに、自動トレイ選択でプリントを指示している ② ESC/P のコマンドエラー 【処置】 ①については、自動トレイ選択でプリントする場合は、［用紙種類の優先順位］で、用紙のどれかを「自動トレイ選択しない」以外に設定してください。 ②については、プリントデータを確認してください。 「用紙種類の優先順位」(P.223) を参照してください。
016-722	○			【原因】 本機で対応していないホチキスの指定がされました。 【処置】 ホチキスの位置を確認して、再度、プリントを指示してください。
016-723	○			【原因】 本機で対応していないパンチの指定がされました。 【処置】 パンチの位置を確認して、再度、プリントを指示してください。
016-726	○			【原因】 プリントモード指定が［自動］の場合に、プリント言語を自動的に選択できませんでした。 次の原因が考えられます。 ① PS3 キットヘイセイ 2 ショタイ（オプション）が装着されていない状態で、PostScript データを送信した ② エミュレーションキット（オプション）が装着されていない場合に、プリントモード指定を［自動］で、HP-GL/2、201H、PCL のデータを送信した 【処置】 ①については、PS3 キットヘイセイ 2 ショタイの装着が必要です。 ②については、エミュレーションキットの装着が必要です。
016-728	○			【原因】 TIFF ファイルにサポートしていない Tag が含まれていました。 【処置】 プリントデータを確認してください。
016-729	○			【原因】 TIFF ファイルの色数 / 解像度が有効範囲の上限を超えているためプリントできませんでした。 【処置】 TIFF ファイルの色数 / 解像度を変更して、再度、プリントデータを指示してください。
016-730	○			【原因】 ART IV でサポートされていないコマンドを検知しました。 【処置】 プリントデータを確認し、エラーを引き起こすコマンドを削除して、もう一度プリントを指示してください。
016-731	○			【原因】 TIFF データが途切れてプリントできませんでした。 【処置】 再度、プリントを指示してください。
016-732	○			【原因】 エミュレーションで指定したフォームが、ホスト側に登録されていませんでした。 【処置】 フォームデータを再送してください。

エラーコード	分類			原因 / 処置
	P	M	O	
016-733		○		【原因】 ① メール送信時、宛先メールアドレスの@の右側の文字列から IP アドレスを取得できませんでした。 ② メール送信時、@の右側のインターネットアドレスを DNS で解決できませんでした。 【処置】 ①については、宛先メールアドレスが正しく入力されているか確認してください。 ②については、DNS サーバーアドレスを正しく設定してください。
016-746	○			【原因】 受信した PDF には、サポートしていない機能が含まれています。 【処置】 プリンタードライバーを使用してプリントしてください。
016-748	○		○	【原因】 ハードディスクの領域が不足しているため、プリントできません。 【処置】 プリントデータを分割する、複数部プリントしている場合は 1 部ずつプリントするなどで、プリントデータのページ数を少なくしてください。
016-749	○			【原因】 PJL コマンドの構文エラーが発生しました。 【処置】 プリント設定を確認するか、PJL コマンドを訂正してください。
016-751	○			【原因】 PDF Bridge 処理中に構文エラー、未定義コマンドの使用、パラメーターエラー、PDF ファイルの破損が発生しました。 【処置】 プリンタードライバーを使用してプリントしてください。
016-752	○			【原因】 メモリー容量が不足したため、PDF Bridge の処理ができませんでした。 【処置】 印刷モードが「高画質」になっている場合は「標準」に、「標準」の場合は「高速」に変更してください。または、メモリーを増設してください。
016-753	○			【原因】 パスワードで保護されている PDF ファイルを処理する場合で、パスワードが一致しませんでした。 【処置】 正しいパスワードを ContentsBridge で指定してください。
016-755	○			【原因】 印刷禁止指定された PDF ファイルを処理しようとしました。 【処置】 Adobe Reader を使用して、印刷禁止指定を解除して再プリントしてください。
016-756			○	【原因】 サービスの利用が許可されていません。 【処置】 機械管理者に確認してください。
016-757			○	【原因】 入力した暗証番号が間違っています。 【処置】 正しい暗証番号を入力してください。
016-758	○			【原因】 サービスを利用できる部門として登録されていません。 【処置】 集計管理者にご相談ください。
016-759	○			【原因】 サービスを利用できる上限ページ数に達しました。 【処置】 集計管理者にご相談ください。
016-760	○			【原因】 PostScript（オプション）の処理中にエラーが発生しました。 【処置】 次のどれかの方法で処置してください。 • ［印刷モード］を［速度優先］にする • PS 使用メモリーを増やす ［印刷モード］についてはプリンタードライバーのオンラインヘルプ、メモリーについては「メモリー設定」（P.233）を参照してください。

エラーコード	分類			原因 / 処置
	P	M	O	
016-761	○			【原因】 イメージ処理中にエラーが発生しました。 【処置】 ［印刷モード］を［標準］にして、もう一度プリントを指示してください。それでもプリントできない場合は、印刷保証モードでプリントしてください。
016-762	○			【原因】 実装されていないプリント言語が設定されました。 【処置】 ［ポート設定］の［プリントモード指定］で、プリント言語を設定してください。
016-764		○		【原因】 SMTP サーバーに接続できませんでした。 【処置】 SMTP サーバーの管理者にご相談ください。
016-765		○		【原因】 SMTP サーバーのハードディスクの容量がいっぱいのため、メール送信ができませんでした。 【処置】 SMTP サーバーの管理者にご相談ください。
016-766		○		【原因】 SMTP サーバーでエラーが発生しました。 【処置】 SMTP サーバーの管理者にご相談ください。
016-767		○		【原因】 メールアドレスが間違っているため、メール送信ができませんでした。 【処置】 メールアドレスを確認し、もう一度送信してください。
016-768		○		【原因】 本機のメールアドレスが正しくないため、SMTP サーバーに接続できませんでした。 【処置】 本体メールアドレスを確認してください。
016-769		○		【原因】 SMTP サーバーが配送確認（DSN）に対応していません。 【処置】 配送確認（DSN）の設定をしないで、メールを送信してください。
016-773			○	【原因】 本機の IP アドレスが正しく設定されていません。 【処置】 DHCP 環境を確認してください。または、固定の IP アドレスを本機に設定してください。 「IP アドレスの設定手順」(P.51)、「TCP/IP（LPD/Port9100）での設置」(P.54) を参照してください。
016-774			○	【原因】 ハードディスクの容量が不足しているため、圧縮変換処理ができませんでした。 【処置】 ハードディスク内の不要なデータを削除して、空き容量を増やしてください。
016-775			○	【原因】 ハードディスクの容量が不足しているため、画像変換処理ができませんでした。 【処置】 ハードディスク内の不要なデータを削除して、空き容量を増やしてください。
016-776			○	【原因】 画像変換処理中にエラーが発生しました。 【処置】 データの一部は画像変換処理が終了している場合があります。 CentreWare Internet Services でデータを確認してください。 「CentreWare Internet Services について」(P.77) を参照してください。
016-777			○	【原因】 イメージ処理中にハードディスクでエラーが発生しました。 【処置】 ハードディスクが故障している可能性があります。ハードディスクの交換については、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。

エラーコード	分類			原因 / 処置
	P	M	O	
016-788			○	【原因】 Webブラウザーからのファイルの取り出しに失敗しました。 【処置】 次のどれかの方法で処置してから、もう一度、取り出し操作をしてください。 • ブラウザーのページを再表示する • ブラウザーを再起動する • 本機の電源を切 / 入する
016-789		○	○	【原因】 メール処理に必要なハードディスクの容量を越えたため、処理が中断されました。 【処置】 解像度や倍率を低くしてデータ量を少なくしたり、数回に分けて送信してください。
016-793			○	【原因】 ハードディスクの容量が不足しました。 【処置】 ハードディスク内の不要なデータを削除して空き容量を増やすか、ハードディスクを初期化してください。
016-799	○			【原因】 プリントデータに不正なパラメータが含まれています。 【処置】 プリントデータとプリントオプションを確認し、再度、プリントを指示してください。
024-746	○			【原因】 指定した紙質と組み合わせできない機能（用紙サイズ、用紙トレイ、排出トレイ、両面プリントのどれか）が設定されました。 【処置】 プリントデータを確認してください。
024-747	○			【原因】 非定形サイズを指定して、［用紙トレイ選択］を［自動］に設定しているなど、プリントパラメーターの組み合わせが不正です。 【処置】 プリントデータを確認してください。上記の場合は、用紙トレイ 5（手差し）を選択してください。
027-452			○	【原因】 IP アドレスが重複しています。 【処置】 IP アドレスを変更してください。 「IP アドレスの設定手順」(P.51) を参照してください。
027-453			○	【原因】 DHCP サーバーからの IP アドレスの取得に失敗しました。 【処置】 手動で IP アドレスを設定してください。 「IP アドレスの設定手順」(P.51) を参照してください。
027-500		○	○	【原因】 応答メール送信時の SMTP サーバーの名前が解決できませんでした。 【処置】 CentreWare Internet Services から SMTP サーバーの設定が正しいか確認してください。
027-501		○	○	【原因】 POP3 プロトコル利用時に、POP3 サーバーの名前が解決できませんでした。 【処置】 CentreWare Internet Services から POP3 サーバーの設定が正しいか確認してください。
027-502		○	○	【原因】 POP3 プロトコル利用時に、POP3 サーバーへのログインに失敗しました。 【処置】 CentreWare Internet Services から POP3 サーバーで使用するユーザー名とパスワードが正しく設定されているか確認してください。
027-713		○		【原因】 受信したメールが、送信経路で改ざんされている可能性があるため、受信したメールを破棄しました。 【処置】 送信者に、メールが改ざんされている可能性があることを連絡し、メールを再送信してもらってください。

エラーコード	分類			原因 / 処置
	P	M	O	
027-796	○	○	○	【原因】 メール受信時に添付文書だけをプリントするように設定している場合に、文書が添付されていないメールを受信したので、そのメールが破棄されました。 【処置】 メール本文やメールヘッダー情報などもプリントしたい場合は、CentreWare Internet Services のプロパティ画面で、設定を変更してください。 「メール機能の設定」(P.61) を参照してください。
027-797		○	○	【原因】 受信メールの出力先が不正です。 【処置】 正しい出力先を設定して、もう一度メールを送信してください。
047-210	○			【原因】 オフセットキャッチトレイにエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切 / 入してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。
065-210 065-211 065-212 065-213			○	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。
071-210			○	【原因】 用紙トレイ 1 が故障しました。 【処置】 用紙トレイ 1 の用紙セット状態を確認し、電源を切 / 入してください。それでも状態が変わらないときは、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。なお、用紙トレイ 1 以外の用紙トレイは使用できます。
072-210			○	【原因】 用紙トレイ 2 が故障しました。 【処置】 用紙トレイ 2 の用紙セット状態を確認し、電源を切 / 入してください。それでも状態が変わらないときは、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。なお、用紙トレイ 2 以外の用紙トレイは使用できます。
073-210			○	【原因】 用紙トレイ 3 が故障しました。 【処置】 用紙トレイ 3 の用紙セット状態を確認し、電源を切 / 入してください。それでも状態が変わらないときは、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。なお、用紙トレイ 3 以外の用紙トレイは使用できます。
074-210			○	【原因】 用紙トレイ 4 が故障しました。 【処置】 用紙トレイ 4 の用紙セット状態を確認し、電源を切 / 入してください。それでも状態が変わらないときは、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。なお、用紙トレイ 4 以外の用紙トレイは使用できます。
075-210 075-211			○	【原因】 用紙トレイ 5（手差し）が故障しました。 【処置】 本機の電源を切 / 入してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。
078-250			○	【原因】 大容量給紙トレイ（用紙トレイ 6）が故障しました。 【処置】 本機の電源を切 / 入してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。
116-701	○			【原因】 メモリー不足で両面プリントができませんでした。 【処置】 片面ずつプリントしてください。
116-702	○			【原因】 代替フォントでプリントされました。 【処置】 プリントデータを確認してください。

エラーコード	分類			原因 / 処置
	P	M	O	
116-703	○			【原因】 PostScript（オプション）でエラーが発生しました。 【処置】 プリントデータを確認するか、プリンタードライバーの［詳細］タブの［スプールの設定］をクリックして、双方向通信をオフにしてください。
116-710	○			【原因】 受信データが HP-GL/2（オプション）スプールサイズを超えたため、正しい原稿サイズ判定が行われていない可能性があります。 【処置】 HP-GL/2 オートレイアウトメモリーの割り当て量を増やしてください。
116-711	○		○	【原因】 指定した ART EX フォームのサイズと向きが、プリントする用紙と合っていません。 【処置】 用紙のサイズと向きを、指定した ART EX フォームに合わせて、もう一度プリントを指示してください。
116-712	○		○	【原因】 ART EX フォームメモリーが不足したため、フォームが登録できません。 【処置】 不要なフォームを削除するか、ART EX フォームメモリーの領域を増やしてください。
116-713			○	【原因】 ハードディスクがいっぱいになったため、ジョブを分割してプリントしました。 【処置】 ハードディスク内の不要なデータを削除して、空き容量を増やしてください。
116-714	○			【原因】 HP-GL/2（オプション）コマンドエラーが発生しました。 【処置】 プリントデータを確認してください。
116-715	○		○	【原因】 ART EX フォームの登録上限数に達したので、フォームが登録できませんでした。 【処置】 不要なフォームを削除してください。各フォームの登録上限数は、2048 です。
116-718	○		○	【原因】 指定した ART EX 用フォームは登録されていません。 【処置】 登録されているフォームを使用するか、フォームを登録してください。フォームの登録状態は、［ART EX フォーム登録リスト］で確認できます。 「ART EX フォーム登録リスト」(P.264) を参照してください。
116-720	○			【原因】 メモリーが不足したため、プリント処理時にエラーが起きました。 【処置】 不要なポートを停止したり、データを削除して、空き容量を増やしてください。
116-737	○		○	【原因】 ART IVユーザー定義メモリーが不足したため、ユーザー定義データが登録できません。 【処置】 不要なデータを削除するか、ART IVユーザー定義メモリーの領域を増やしてください。
116-738	○		○	【原因】 指定した ART IVフォームのサイズと向きが、プリントする用紙と合っていません。 【処置】 用紙のサイズと向きを、指定した ART IVフォームに合わせて、もう一度プリントを指示してください。
116-739	○		○	【原因】 ART IV用のメモリー、またはハードディスクの容量が不足して、フォーム、またはロゴデータが登録できません。 【処置】 不要なデータを削除するか、ART IVフォームメモリーの領域を増やしてください。
116-740	○			【原因】 プリントデータにプリンターの制限値を超える値が使用されているため、数値演算エラーが発生しました。 【処置】 プリントデータを確認してください。

エラーコード	分類			原因 / 処置
	P	M	O	
116-741			○	【原因】 ART IVフォームの登録上限数に達したので、フォームが登録できませんでした。 【処置】 不要なフォームを削除してください。各フォームの登録上限数は、2048 です。
116-742			○	【原因】 ART IVロゴデータの登録上限数に達したので、ロゴデータが登録できません。 【処置】 不要なロゴデータを削除してください。
116-745	○			【原因】 ART IVコマンドエラーが発生しました。 【処置】 プリントデータを確認してください。
116-746	○		○	【原因】 指定した ART IV用フォームは登録されていません。 【処置】 登録されているフォームを使用するか、フォームを登録してください。フォームの登録状態は、[ART IV ,ESC/P ユーザー定義リスト] で確認できます。
116-747	○			【原因】 HP-GL/2（オプション）の有効座標エリアに対して、ペーパーマージン値が多すぎます。 【処置】 ペーパーマージン値を少なくして、もう一度プリントを指示してください。
116-748	○			【原因】 HP-GL/2（オプション）のプリントデータに描画データがありません。 【処置】 プリントデータを確認してください。
116-749	○			【原因】 指定されたフォントがないため、ジョブを中止しました。 【処置】 フォントをインストールするか、プリンタードライバー側でフォント置き換えを設定してください。
116-771 116-772 116-773 116-774 116-775 116-776 116-777 116-778	○			【原因】 JBIG データに含まれるパラメーターに不正なものがあり、それを自動的に修正しました。 【処置】 ジョブの実行結果に問題がある場合は、再度、ジョブを実行してください。
116-780		○	○	【原因】 受信したメールの添付文書に問題があります。 【処置】 添付文書を確認してください。
116-790	○			【原因】 ホチキスの設定を解除して、プリントしました。 【処置】 ホチキスの設定位置が正しいか確認し、再度、実行してください。
123-400	○			【原因】 本機に異常が発生しました。 【処置】 本機の電源を切 / 入してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。

その他のエラーについて

次のようなメッセージが表示された場合の処置について説明します。

エラーメッセージ	分類			原因 / 処置
	P	M	O	
故障が発生しました。電源を切り入りしてください。(xxx-yyy)	○	○	○	【原因】 エラーが発生しました。 【処置】 電源スイッチを切り、操作パネルのタッチパネルディスプレイが消灯してから、再度、電源スイッチを入れてください。再び同じメッセージが表示された場合は、「(xxx-yyy)」の表示内容を書き写してください。そのあと、電源スイッチを切り、操作パネルのタッチパネルディスプレイが消灯してから、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。
異常終了しました。(xxx-yyy)	○	○	○	【原因】 エラーが発生して異常終了しました。 【処置】 もう一度、同じ操作を指示してください。
機械内部に異常が発生したため、自動的に再起動しました。[閉じる]ボタンを押してください。なおらないときは、テレフォンセンターに故障を連絡してください。(xxx-yyy)	○	○	○	【原因】 機械内部で自動復帰可能なエラーが発生し、自動で再立ち上げをしました。 【処置】 ［閉じる］ボタンを押すと、その後は正常に使用できます。再び同じエラーが発生した場合は、弊社のテレフォンセンターにご連絡ください。

用紙が詰まった場合

用紙が詰まると、機械が停止してアラームが鳴ります。また、操作パネルのタッチパネルディスプレイには、メッセージが表示されます。表示されているメッセージに従って、詰まっている用紙を取り除いてください。

用紙は破れないように、ゆっくり取り除いてください。取り出す途中で紙が破れたときも紙片を機械の中に残さないで、すべて取り除いてください。

処置を終了しても紙づまりのメッセージが表示されるときは、ほかの箇所でも用紙が詰まっています。メッセージに従って処置してください。

紙づまりの処置が終了すると、自動的に用紙が詰まる前の状態からプリントが再開されます。

> **⚠警告**
> **詰まった用紙を取り除くときは、機械内部に紙片が残らないようにすべて取り除いてください。紙片が残ったままになっていると、火災の原因となることがあります。なお、紙片が取り除けない場合および定着部やローラー部に用紙が巻き付いているときは無理に取らないでください。けがややけどの原因となるおそれがあります。直ちに電源を切り、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。**

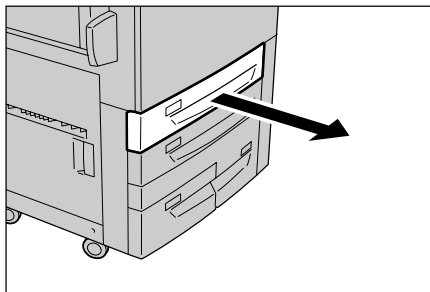
ここでは、次の箇所で発生した紙づまりの処置方法について説明しています。参照先は、次のとおりです。

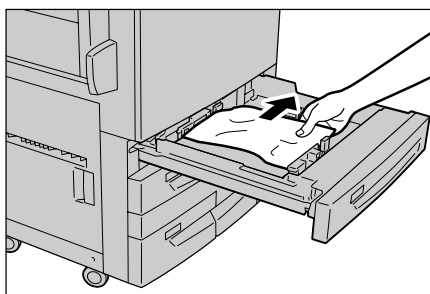
注記
- 紙づまりが発生したとき、紙づまり位置を確認しないで用紙トレイを引き出すと、用紙が破れて機械の中に紙片が残ってしまうことがあります。故障の原因になるので、紙づまりの位置を確認してから、処置をしてください。
- 紙片が本機内に残っていると、紙づまりの表示は消えません。
- 紙づまりの処置をするときは、本機の電源を入れたままの状態にしておいてください。電源を切ると、本機のメモリー上に蓄えられた情報が消去されます。
- 本機内部の部品には触れないでください。印字不良の原因になります。

用紙トレイ 1 ～ 2 での紙づまり

用紙トレイ 1 ～ 2 で発生した、紙づまりの処置方法について説明します。

1 紙が詰まっている用紙トレイを引き出します。

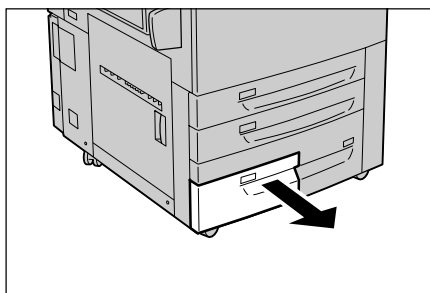
注記 ・ 紙づまりの位置を確認しないで用紙トレイを引き出すと、用紙が破れて機械の中に紙片が残ってしまうことがあります。故障の原因になるので、操作パネルのタッチパネルディスプレイで紙づまりの位置を確認してから処置をしてください。

2 詰まっている用紙を取り除きます。

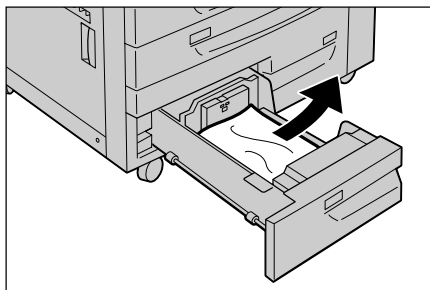
補足 ・ 用紙が破れた場合、紙片が残っていないかを確認してください。

3 奥に突き当たるところまで、用紙トレイをゆっくりと押し込みます。

用紙トレイ 3 での紙づまり

用紙トレイ 3 で発生した、紙づまりの処置方法について説明します。

1 用紙トレイ 3 を引き出します。

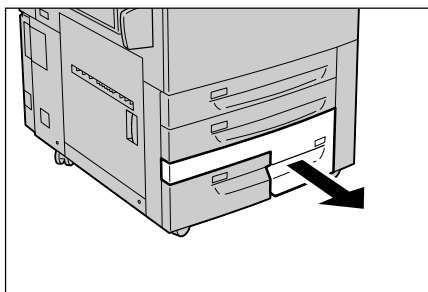
注記 ・ 紙づまりの位置を確認しないで用紙トレイを引き出すと、用紙が破れて機械の中に紙片が残ってしまうことがあります。故障の原因になるので、操作パネルのタッチパネルディスプレイで紙づまりの位置を確認してから処置をしてください。

2 詰まっている用紙を取り除きます。

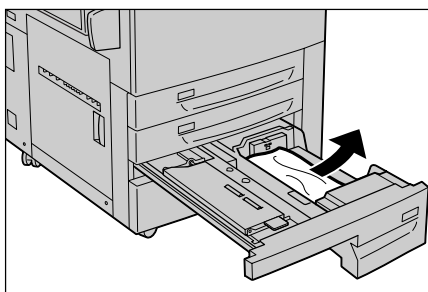
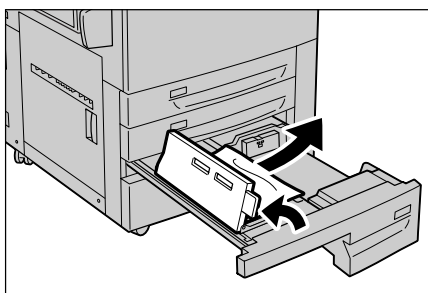
補足 ・ 用紙が破れた場合、紙片が残っていないかを確認してください。

3 奥に突き当たるところまで、トレイをゆっくりと押し込みます。

用紙トレイ 4 での紙づまり

用紙トレイ 4 で発生した、紙づまりの処置方法について説明します。

1 用紙トレイ 4 を引き出します。

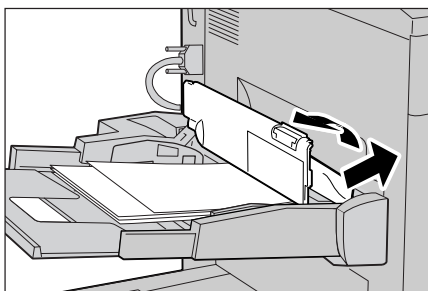
注記 ・ 紙づまりの位置を確認しないで用紙トレイを引き出すと、用紙が破れて機械の中に紙片が残ってしまうことがあります。故障の原因になるので、操作パネルのタッチパネルディスプレイで紙づまりの位置を確認してから処置をしてください。

2 詰まっている用紙を取り除きます。

補足 ・ 用紙が破れた場合、紙片が残っていないかを確認してください。

3 用紙搬送部に用紙が詰まっている場合は、中のカバーを開けて用紙を取り除きます。

4 奥に突き当たるところまで、トレイをゆっくりと押し込みます。

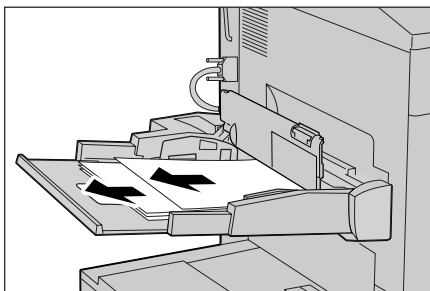
用紙トレイ 5（手差し）での紙づまり

用紙トレイ 5（手差し）で発生した、紙づまりの処置方法について説明します。

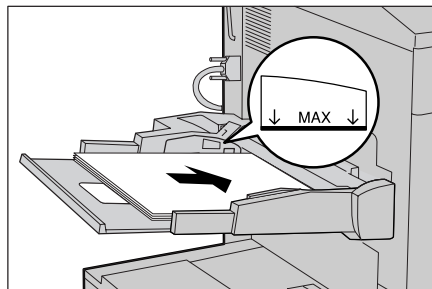
1 用紙トレイ5(手差し)の上面カバーを開けて、送りかけの用紙を取り除きます。

補足 ・ 用紙が破れた場合、紙片が残っていないかを確認してください。

2 **用紙トレイ 5（手差し）から、セットしてある用紙のすべてを取り除きます。**

注記 ・用紙を複数枚セットしていたときは、いったんすべての用紙を取り出してください。

補足 ・用紙が破れた場合、紙片が残っていないかを確認してください。

3 **上面カバーを閉じます。**

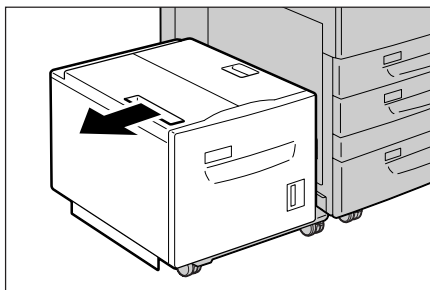
4 **取り出しておいた用紙の四隅をそろえます。**

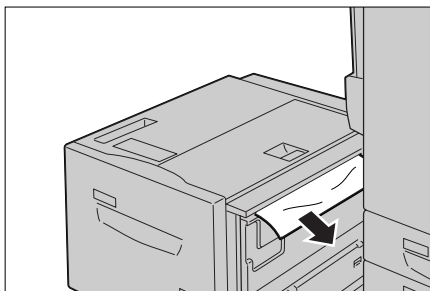
5 **プリントしたい面を上にして、差し込み口に軽く突き当たるまで入れます。**

用紙トレイ 6 での紙づまり

用紙トレイ 6 で発生した、紙づまりの処置方法について説明します。

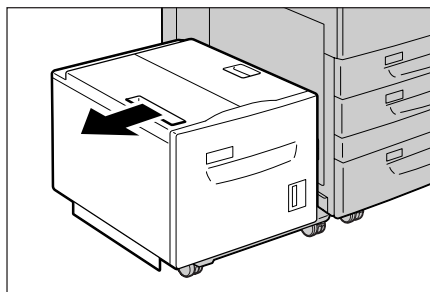
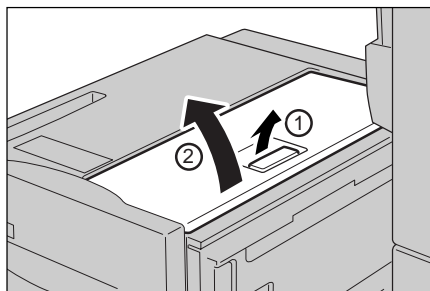
ここでは、次の箇所で発生した紙づまりの処置方法について説明しています。参照先は、次のとおりです。

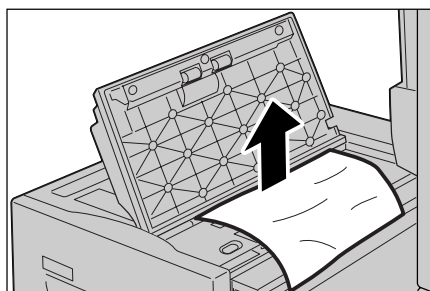
トレイ 6 の排出口で詰まった場合

1 **用紙トレイ6の上部左側にある取っ手を持って、左方向へ止まるまでゆっくりと移動します。**

2 **詰まっている用紙を取り除きます。**

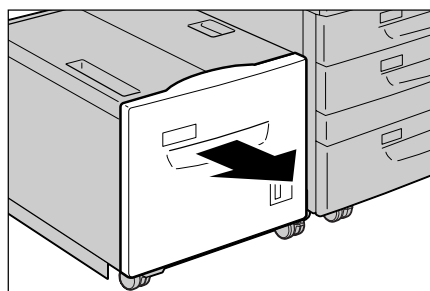
補足 ・用紙が破れた場合、紙片が残っていないかを確認してください。

3 **用紙トレイ 6 をゆっくりと元に戻します。**

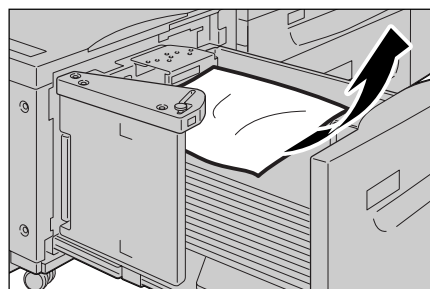
トレイ 6 の上部カバー内で詰まった場合

1 用紙トレイ6の上部左側にある取っ手を持って、左方向へ止まるまでゆっくりと移動します。

2 用紙トレイ6の上部カバーを開けます。

3 詰まっている用紙を取り除きます。

補足 ・ 用紙が破れた場合、紙片が残っていないかを確認してください。

4 上部カバーを閉じて、用紙トレイ 6 をゆっくりと元に戻します。

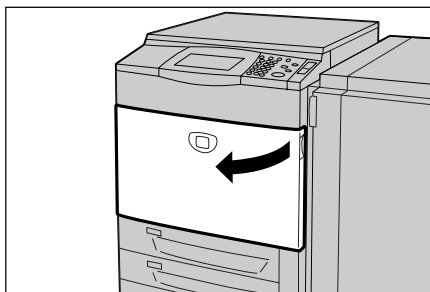
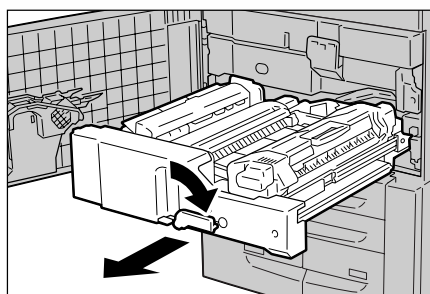
トレイ 6 内で詰まった場合

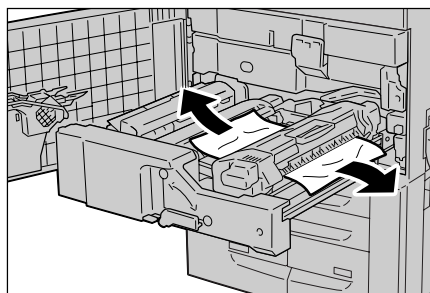
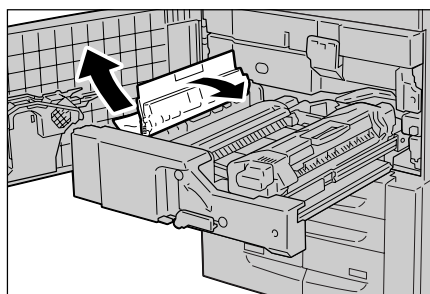
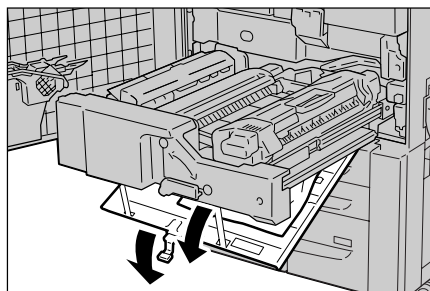
1 用紙トレイ 6 を引き出します。

2 詰まっている用紙を取り除きます。

補足 ・ 用紙が破れた場合、紙片が残っていないかを確認してください。

3 奥に突き当たるところまで、用紙トレイ 6 をゆっくりと押し込みます。

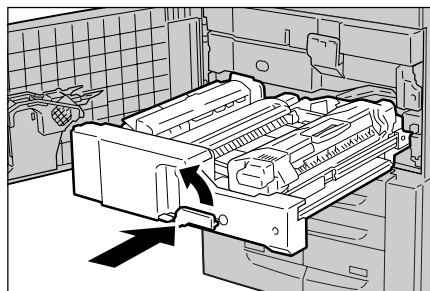
転写ユニットでの紙づまり

転写ユニット部で発生した、紙づまりの処置方法について説明します。

1 機械が停止していることを確認し、フロントカバーを開けます。

2 転写ユニット中央にある、緑色のレバー「2」を右方向に水平になるまで回して、手前に止まるところまで転写ユニットを引き出します。

3 見えている用紙を取り除きます。

> ⚠ 注意
>
> 「高温注意」および「注意」を促すラベルが貼ってある箇所（定着部やその周辺）には絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。

4 レバー「2a」を右方向に開いたまま、詰まっている用紙を取り除きます。

5 レバー「2b」を下に開いて、詰まっている用紙を取り除きます。

6 レバー「2a」「2b」を元に戻します。

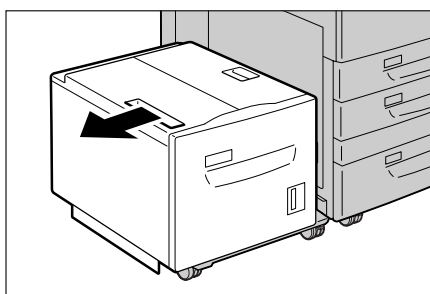
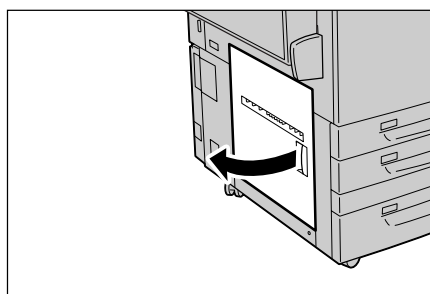
7 転写ユニットを完全に奥まで押し込み、緑色のレバー「2」を左に回します。

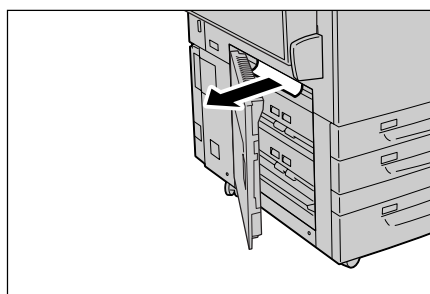
補足 ・レバーを回せない場合は、転写ユニットを途中まで引き出してから、再度押し込んでください。

8 フロントカバーを閉じます。

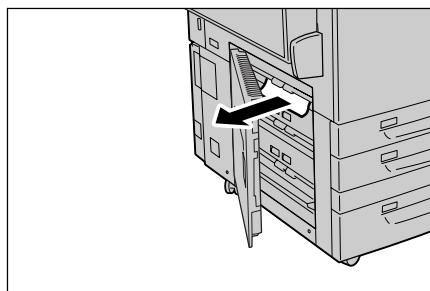
補足 ・フロントカバーが少しでも開いていると、メッセージが表示され、機械が作動しません。

左側面部での紙づまり

左側面部で発生した、紙づまりの処置方法について説明します。

1 用紙トレイ6が装着されている場合は、トレイの上部左側にある取っ手を持って、左方向へ止まるまでゆっくりと移動します。

2 本体の左側面下部カバーの取っ手を握りながら、開けます。

3 上部に詰まっている用紙を取り除きます。

補足 ・用紙が破れた場合、紙片が残っていないかを確認してください。

4 下部に詰まっている用紙を取り除きます。

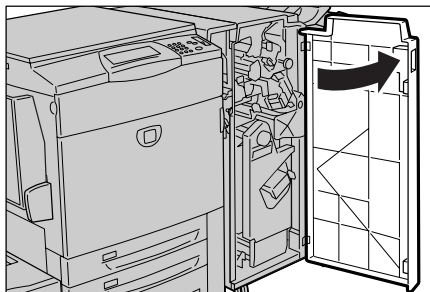
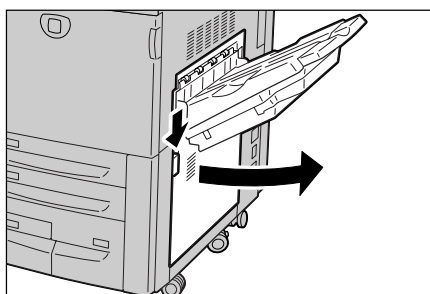
補足 ・用紙が破れた場合、紙片が残っていないかを確認してください。

5 左側面下部カバーを閉じます。

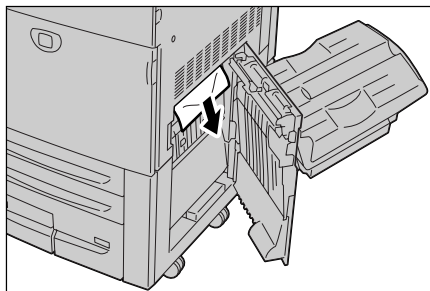
補足 ・左側面下部カバーが少しでも開いていると、メッセージが表示され、機械が作動しません。

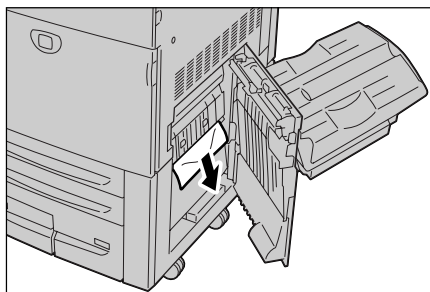
6 用紙トレイ 6 が装着されている場合は、用紙トレイ 6 をゆっくりと元に戻します。

右側面部での紙づまり

右側面部で発生した、紙づまりの処置方法について説明します。

1 フィニッシャーが装着されている場合は、フィニッシャーのフロントカバーを開けて、レバー「1a」を右に開きます。

2 本体の右側面下部カバーの下向き矢印ボタンを押しながら、開けます。

3 上部に詰まっている用紙を取り除きます。

補足 ・用紙が破れた場合、紙片が残っていないかを確認してください。

4 下部に詰まっている用紙を取り除きます。

補足 ・用紙が破れた場合、紙片が残っていないかを確認してください。

5 本体の下部に用紙が詰まっていないかを確認し、用紙があれば取り除きます。

補足 ・用紙が破れた場合、紙片が残っていないかを確認してください。

6 右側面下部カバーを閉じます。

補足 ・右側面下部カバーが少しでも開いていると、メッセージが表示され、機械が作動しません。

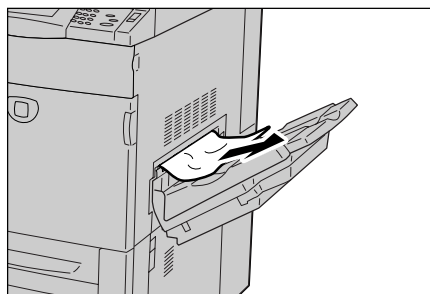
7 フィニッシャーが装着されている場合は、レバー「1a」を元に戻して、フィニッシャーのフロントカバーを閉じます。

補足 ・フィニッシャーのフロントカバーが少しでも開いていると、メッセージが表示され、機械が作動しません。

排出口での紙づまり

排出口で発生した紙づまりの処置方法について説明します。

1 排出トレイの排出口に詰まっている用紙を引き抜きます。

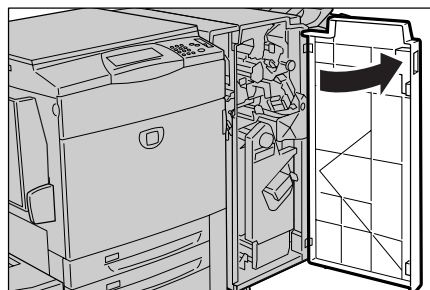
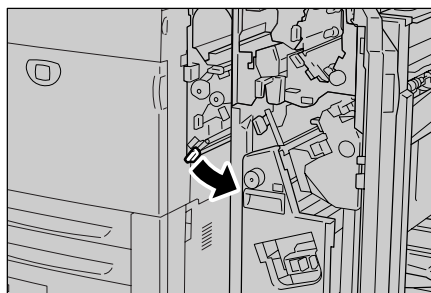
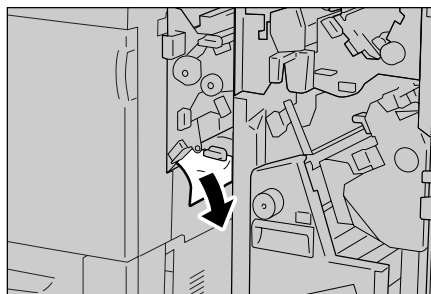
補足 ・用紙が破れた場合、紙片が残っていないかを確認してください。

フィニッシャー C、中とじフィニッシャー C での紙づまり

オプションのフィニッシャーCまたは中とじフィニッシャーCを装着している場合に、フィニッシャー内部で発生した紙づまりの処置について説明します。

ここでは、次の箇所で発生した紙づまりの処置方法について説明しています。参照先は、次のとおりです。

ここでは、中とじフィニッシャー C を例に説明します。フィニッシャー C も手順は同様です。

「1a」での紙づまり

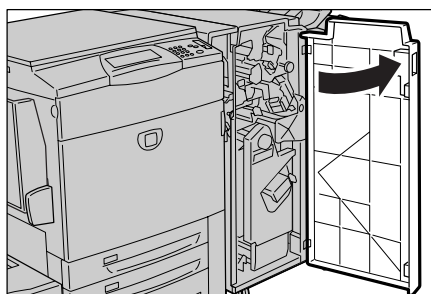
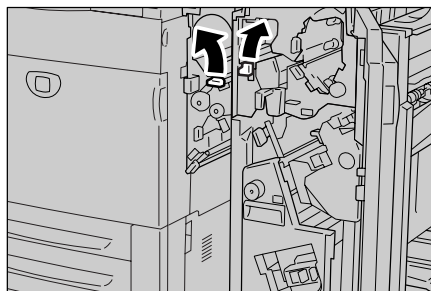
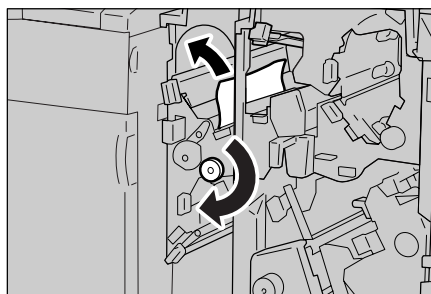
1 フィニッシャーのフロントカバーを開けます。

2 レバー「1a」を右方向に開きます。

3 詰まっている用紙を取り除きます。

4 レバー「1a」を元に戻します。

5 フィニッシャーのフロントカバーを閉じます。

補足 ・ フィニッシャーのフロントカバーが少しでも開いていると、メッセージが表示され、機械が作動しません。

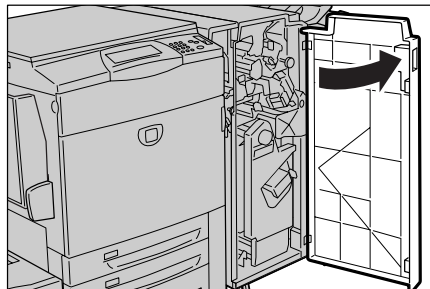
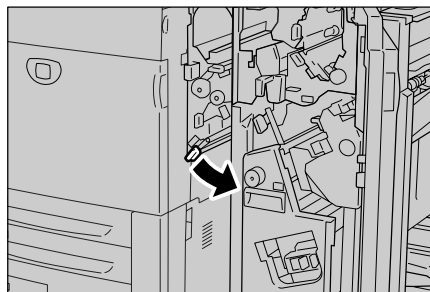
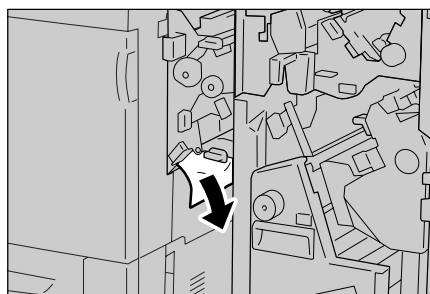
「1d」「1c」での紙づまり

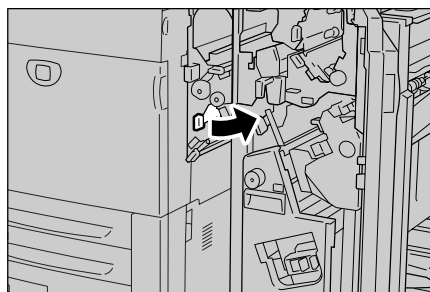
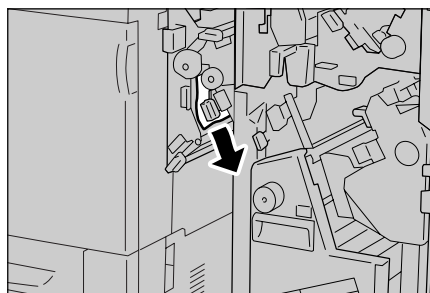
1 フィニッシャーのフロントカバーを開けます。

2 レバー「1d」を左方向に開き、レバー「6」を上に開きます。

3 ノブ「1c」を矢印の方向に回して、詰まっている用紙を取り除きます。

4 レバー「1d」「6」を元に戻します。

5 フィニッシャーのフロントカバーを閉じます。

補足 ・フィニッシャーのフロントカバーが少しでも開いていると、メッセージが表示され、機械が作動しません。

「1a」「1b」での紙づまり

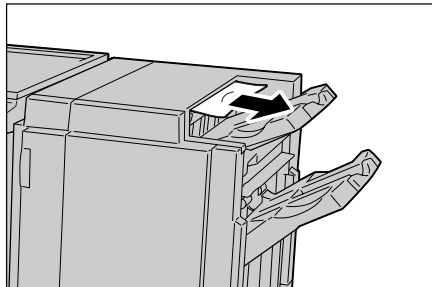
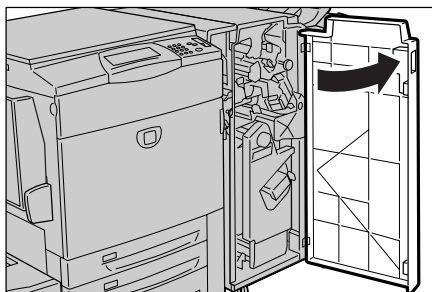
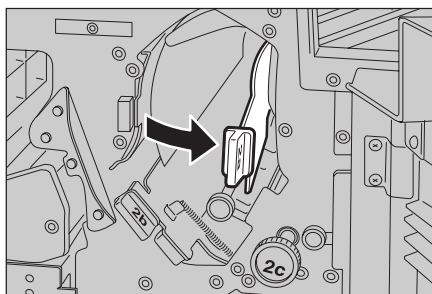
1 フィニッシャーのフロントカバーを開けます。

2 レバー「1a」を右方向に開きます。

3 詰まっている用紙を取り除きます。

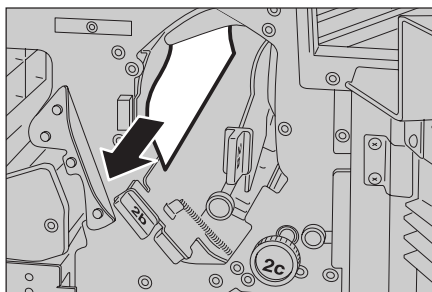
4 取り除けない場合は、レバー「1a」を戻し、レバー「1b」を右方向に開きます。

5 詰まっている用紙をゆっくり引き抜き、取り除きます。

6 レバー「1b」「1a」を元に戻します。

7 フィニッシャーのフロントカバーを閉じます。

補足 ・フィニッシャーのフロントカバーが少しでも開いていると、メッセージが表示され、機械が作動しません。

「2a」での紙づまり

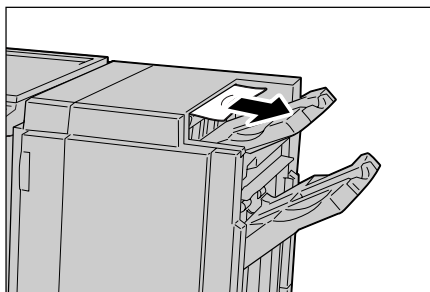
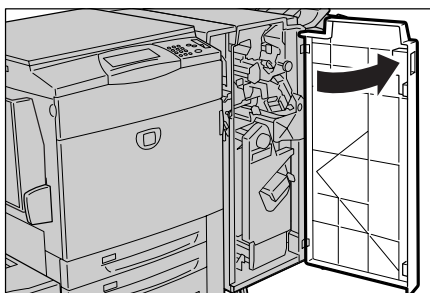
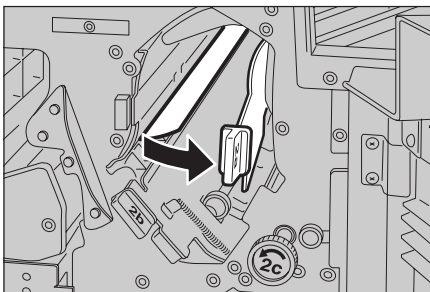
1 排出トレイの排出口から用紙が出ていれば、用紙をゆっくり引き抜いて、取り除きます。

2 フィニッシャーのフロントカバーを開けます。

3 レバー「2a」を右方向に開きます。

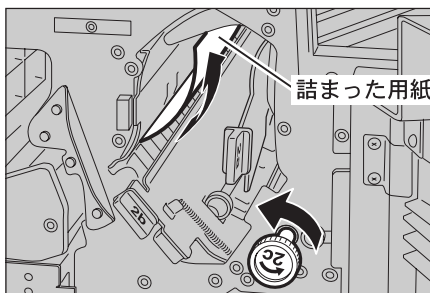
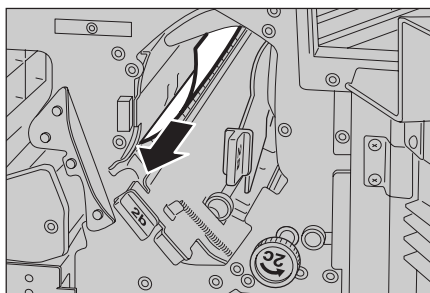
4 詰まっている用紙を取り除きます。

5 レバー「2a」を元に戻します。

6 フィニッシャーのフロントカバーを閉じます。

補足 ・フィニッシャーのフロントカバーが少しでも開いていると、メッセージが表示され、機械が作動しません。

「2a」での紙づまり（ノブ「2c」を使う場合）

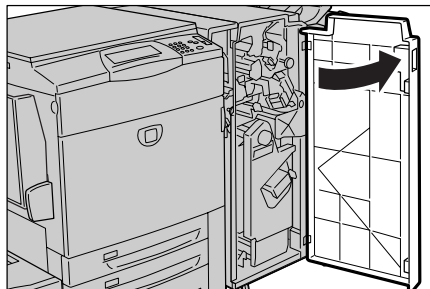
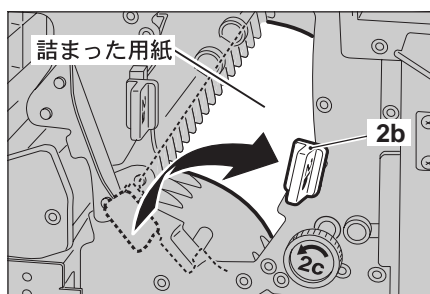
1 排出トレイの排出口から用紙が出ていれば、用紙をゆっくり引き抜いて、取り除きます。

2 フィニッシャーのフロントカバーを開けます。

3 レバー「2a」を右方向に開きます。

4 ノブ「2c」を矢印の方向に回して、詰まっている用紙を送り出します。

5 用紙をゆっくり引き抜き、取り除きます。

6 レバー「2a」を元に戻します。

7 フィニッシャーのフロントカバーを閉じます。

補足 ・フィニッシャーのフロントカバーが少しでも開いていると、メッセージが表示され、機械が作動しません。

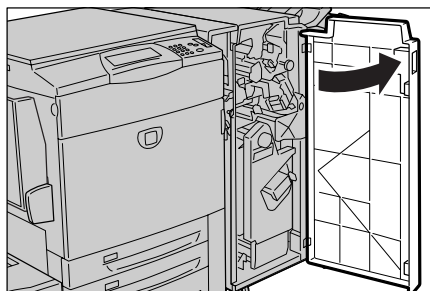
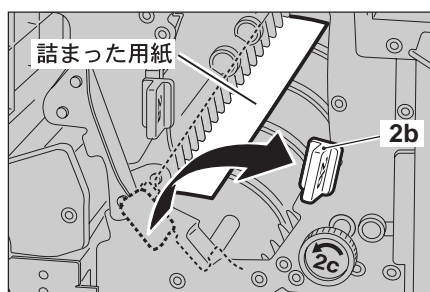
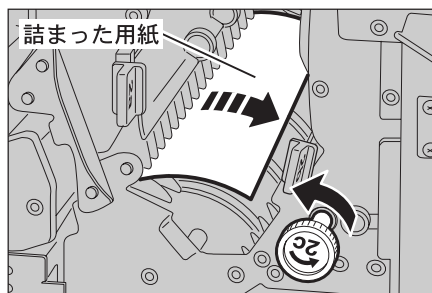
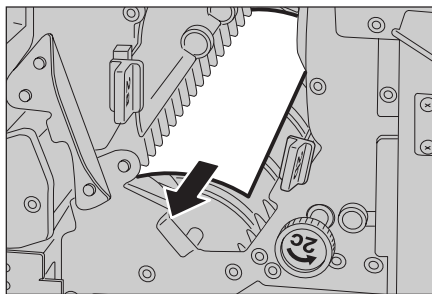
「2b」での紙づまり

1 **フィニッシャーのフロントカバーを開けます。**

2 **レバー「2b」を右方向に開き、詰まっている用紙を取り除きます。**

3 **レバー「2b」を元に戻します。**

4 **フィニッシャーのフロントカバーを閉じます。**

補足 ・フィニッシャーのフロントカバーが少しでも開いていると、メッセージが表示され、機械が作動しません。

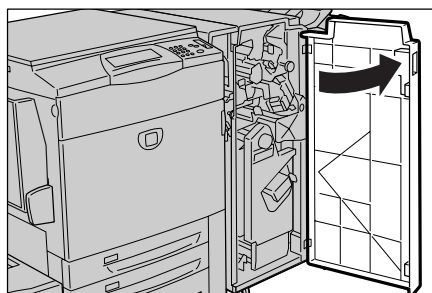
「2b」での紙づまり（ノブ「2c」を使う場合）

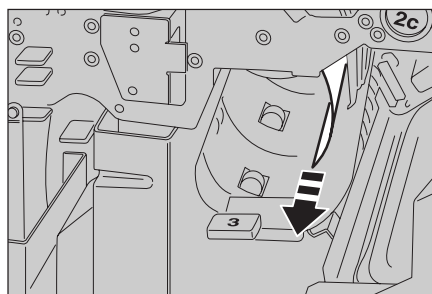
1 **フィニッシャーのフロントカバーを開けます。**

2 **レバー「2b」を右方向に開きます。**

3 ノブ「2c」を矢印の方向に回して、詰まっている用紙を送り出します。

4 用紙をゆっくり引き抜き、取り除きます。

5 レバー「2b」を元に戻します。

6 フィニッシャーのフロントカバーを閉じます。

補足 ・フィニッシャーのフロントカバーが少しでも開いていると、メッセージが表示され、機械が作動しません。

「3」での紙づまり

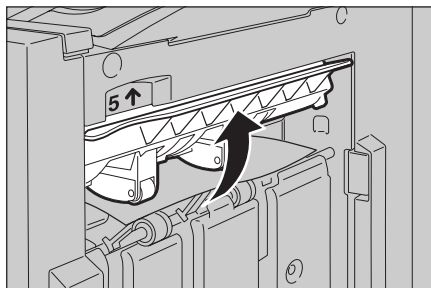
1 フィニッシャーのフロントカバーを開けます。

2 レバー「3」を下に開きます。

3 詰まっている用紙を取り除きます。

4 レバー「3」を元に戻します。

5 フィニッシャーのフロントカバーを閉じます。

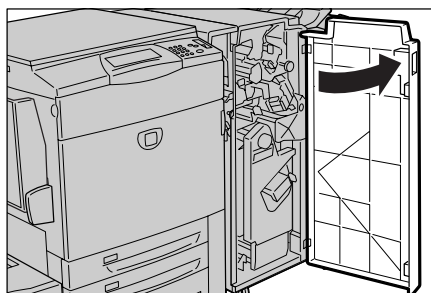
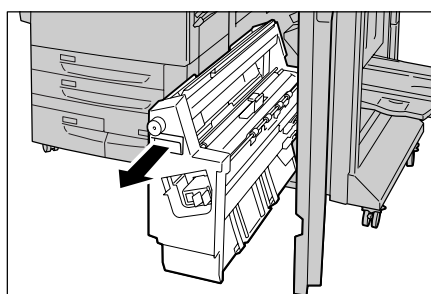
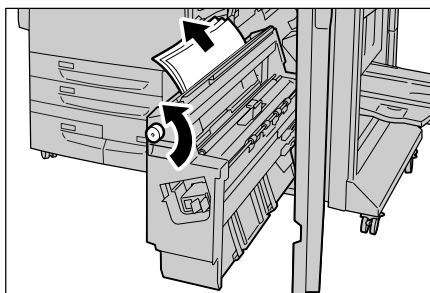
補足 ・フィニッシャーのフロントカバーが少しでも開いていると、メッセージが表示され、機械が作動しません。

「5」での紙づまり

1 フィニッシャーの排出口カバー「5」を上に開けます。

2 詰まっている用紙を、右方向にゆっくり引き抜いて、取り除きます。

3 排出口カバー「5」を元に戻します。

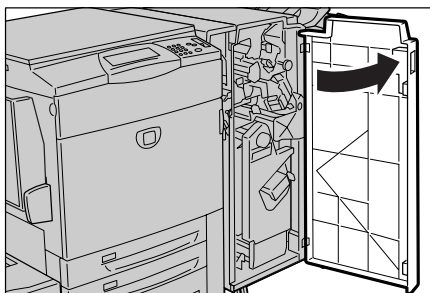
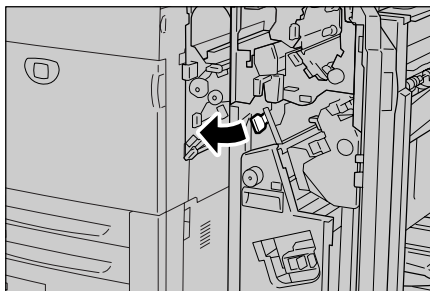
「4a」での紙づまり（中とじフィニッシャー C のみ）

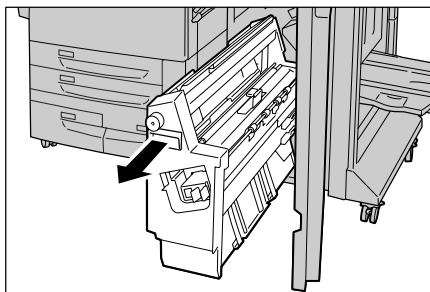
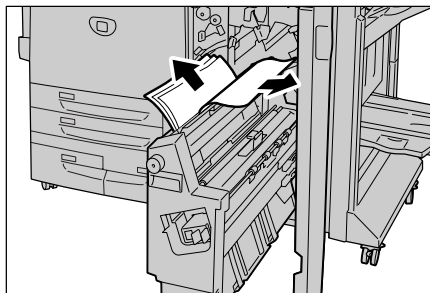
1 フィニッシャーのフロントカバーを開けます。

2 ユニット「4」を引き出します。

3 ノブ「4a」を左に回して、すべての用紙を取り除きます。

4 ユニット「4」を元に戻します。

5 フィニッシャーのフロントカバーを閉じます。

補足 ・フィニッシャーのフロントカバーが少しでも開いていると、メッセージが表示され、機械が作動しません。

「4b」での紙づまり（中とじフィニッシャー C のみ）

1 フィニッシャーのフロントカバーを開けます。

2 レバー「4b」を左方向に開きます。

3 用紙があれば、取り除きます。

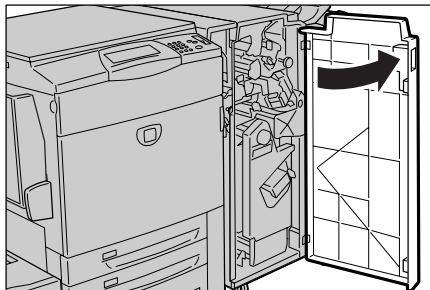
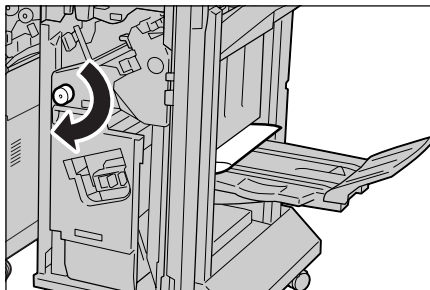
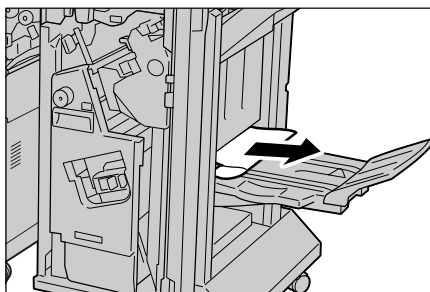
4 ユニット「4」を引き出します。

5 左上部に出ている用紙と、ユニット内部の用紙を、すべて取り除きます。

6 ユニット「4」を元に戻します。

7 レバー「4b」を閉じます。

8 フィニッシャーのフロントカバーを閉じます。

補足 ・フィニッシャーのフロントカバーが少しでも開いていると、メッセージが表示され、機械が作動しません。

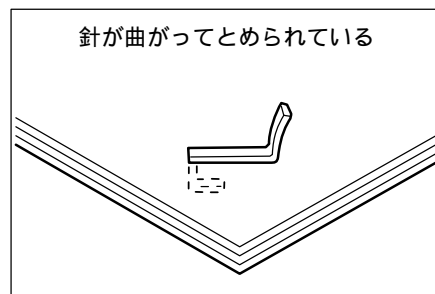
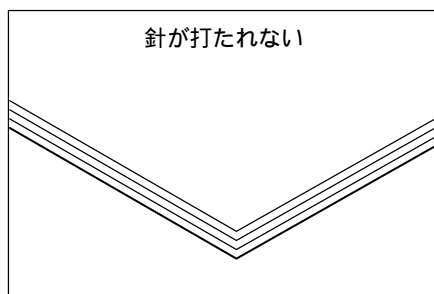
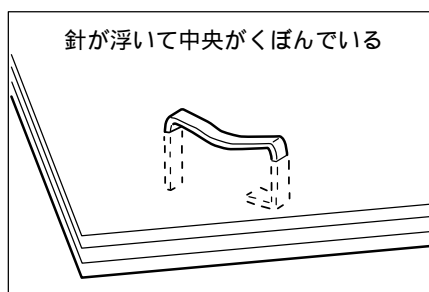
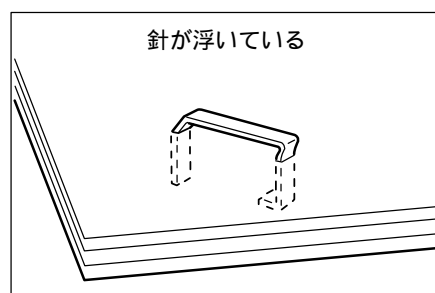
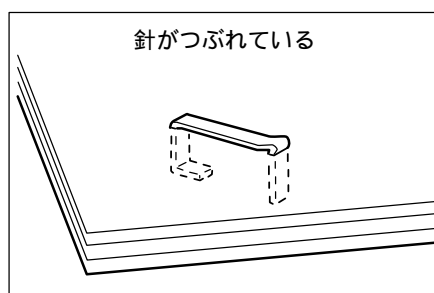
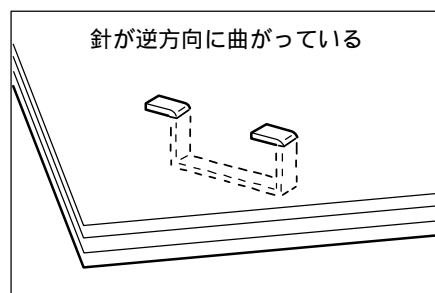
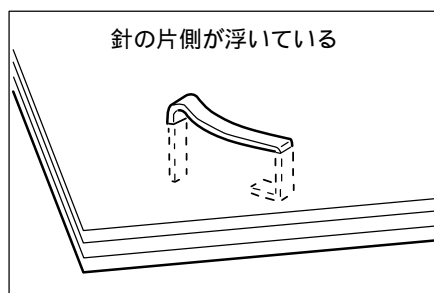
小冊子トレイでの紙づまり（中とじフィニッシャー C のみ）

1 フィニッシャーのフロントカバーを開けます。

2 ノブ「4a」を右に回して、用紙を小冊子トレイに送り出します。

3 用紙を取り除きます。

4 フィニッシャーのフロントカバーを閉じます。

補足 ・フィニッシャーのフロントカバーが少しでも開いていると、メッセージが表示され、機械が作動しません。

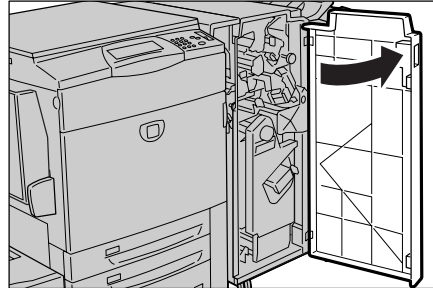
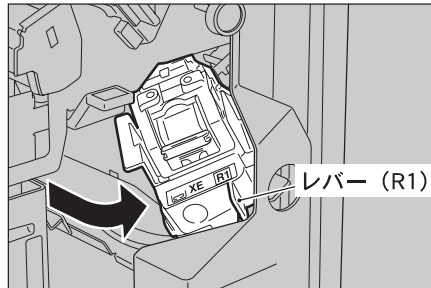
ホチキスとめがうまくいかないとき

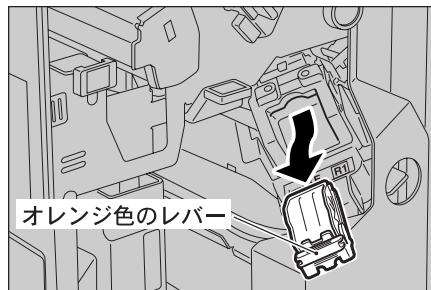
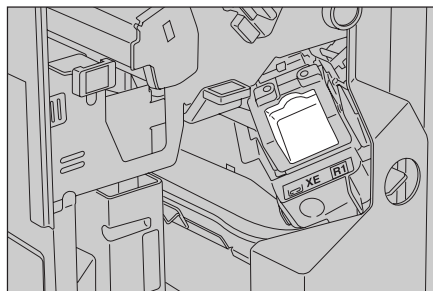
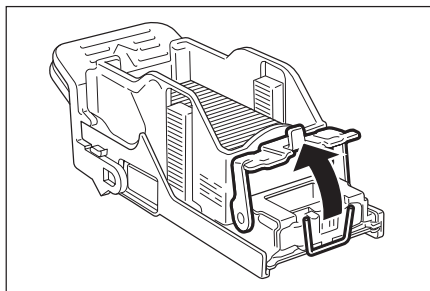
フィニッシャー（オプション）が装着されている場合の、ホチキスとめのトラブルについて説明します。

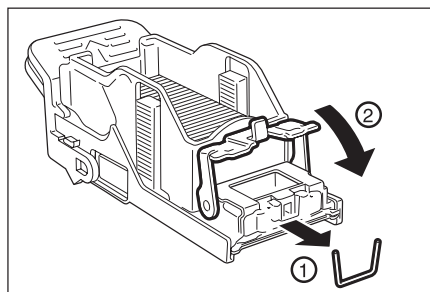
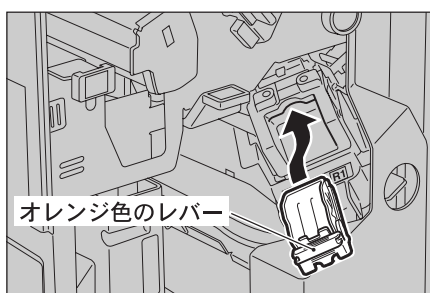
ホチキス針が打たれなかったり、針が曲がってとめられているときは、次ページの手順に従って処置してください。処置をしても正常に戻らないときは、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。

下図のように針が打たれているときは、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。

ホチキスカートリッジの針づまり（フィニッシャー C、中とじフィニッシャー C の場合）

オプションのフィニッシャーC または中とじフィニッシャーC を装着している場合の、ホチキスカートリッジの針づまり処置について説明します。

ここでは、中とじフィニッシャー C を例に説明します。フィニッシャー C も、手順は同様です。

1 **機械が停止していることを確認し、フィニッシャーのフロントカバーを開けます。**

2 **ホチキスカートリッジホルダーのレバー「R1」を持って、ホチキスカートリッジホルダーを右端（手前）へ引き寄せます。**

3 **オレンジ色のレバーを持って、ホチキスカートリッジを取り出します。**

補足 ・ ホチキスカートリッジはしっかりセットされています。取り出すときは、強めにホチキスカートリッジを引いてください。

4 **ホチキスカートリッジを取り出したあと、フィニッシャー内部に針がないかを確認します。**

5 ホチキスカートリッジの、図の位置にある金属部分を押し上げます。

6 詰まっているホチキス針を取り除き（1）、手順 5 で押し上げた金属部分を元に戻します（2）。

⚠注意
詰まったホチキス針を取り除くときには、指などにケガをしないように十分にご注意ください。

7 オレンジ色のレバーを持って、ホチキスカートリッジを「カチッ」と音がするまで押し込みます。

8 ホチキスカートリッジホルダーを元の位置にセットします。

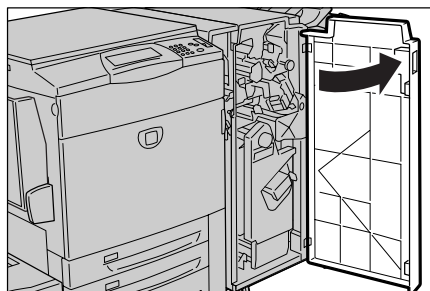
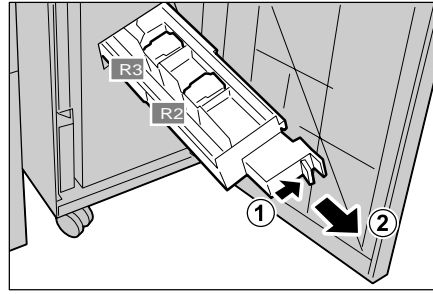
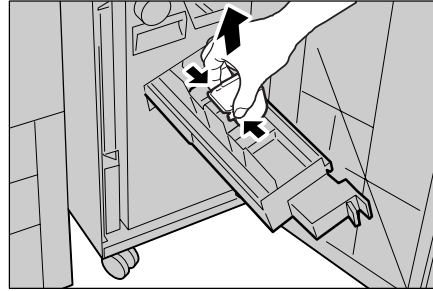
9 フィニッシャーのフロントカバーを閉じます。

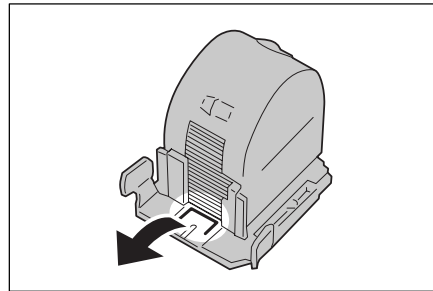
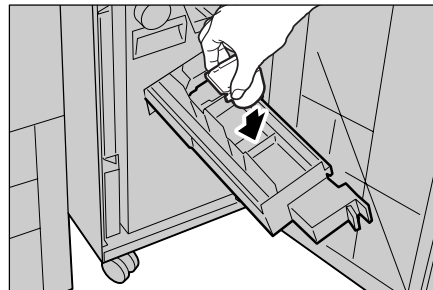
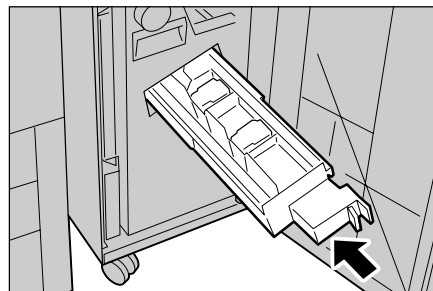
補足 ・フィニッシャーのフロントカバーが少しでも開いていると、メッセージが表示され、機械が作動しません。

以上の処置をしても針が取り除けないときは、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。

小冊子（中とじ）用ホチキスカートリッジの針づまり（中とじフィニッシャー C の場合）

中とじフィニッシャー C（オプション）を装着している場合の、小冊子（中とじ）用ホチキスカートリッジの針づまりの処置について説明します。

1 機械が停止していることを確認し、フィニッシャーのフロントカバーを開けます。

2 レバー「R2 R3」を右側に押しながら（1）、ユニットを引き出します(2)。

3 小冊子（中とじ）用ホチキスカートリッジの左右にあるツメを持ち、そのまま上に引きながら取り出します。

4 図のように、詰まっている針を取り除きます。

> ⚠注意
> 詰まったホチキス針を取り除くときには、指などにケガをしないように十分にご注意ください。

5 取り出した小冊子（中とじ）用ホチキスカートリッジの、左右にあるツメを持ちながら元の位置に戻し、上から軽く押して、「カチッ」と音がすることを確認します。

6 ユニットを元の位置に戻します。

7 フィニッシャーのフロントカバーを閉じます。

補足 ・フィニッシャーのフロントカバーが少しでも開いていると、メッセージが表示され、機械が作動しません。

以上の処置をしても針が取り除けないときは、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。

10 付録

この章では、本機の主な仕様、プリント可能領域、ESC/P エミュレーション、PDF ダイレクトプリント、オプション製品一覧、最新ソフトウエアの入手方法、注意 / 制限事項、表示できる漢字一覧、簡易手順一覧について説明します。

主な仕様

本機の主な仕様を記載します。製品の仕様、および外観は、改良のため予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

■本体の主な仕様

形式	コンソールタイプ
プリント方式	レーザーゼログラフィー（タンデム）
カラー対応	フルカラー
ウオームアップタイム	150 秒以下（室温 20 ℃）（入力電圧 100V） 注記 ・機械の状態によっては画質調整が入ったり、またはネットワークの状態によって 150 秒以上がかかることがあります。
用紙サイズ	最大：A3、330 × 488㎜（13 × 19"、12.6 × 19.2"） 最小：A5（用紙トレイ 5（手差し）では郵便はがき） 画像欠け幅：先端 4㎜ 以内、後端 4㎜ 以内、奥 / 手前 3㎜ 以内
	〔トレイ 1、2〕 A5、A4、A4□、A3 B5、B5□、B4 8.5 × 11"、8.5 × 11"□、8.5 × 13"、8.5 × 14"、11 × 17" 十六開□ 非定形サイズ： X 方向 140 〜 297㎜、Y 方向 182 〜 432㎜ 〔トレイ 3、4〕 A4□、8.5 × 11"□、B5□ 〔用紙トレイ 5（手差し）〕 A6、A5、A4、A4□、A3、SRA3 B6、B5、B5□、B4 8.5 × 11"、8.5 × 11"□、8.5 × 13"、8.5 × 14"、11 × 17"、12 × 18"、13 × 19"、12.6 × 19.2" 郵便はがき、往復はがき、定形長 3 号封筒、インデックス用紙（A4□）、インデックス用紙（8.5 × 11"□） 非定形サイズ： X 方向 100 〜 330㎜、Y 方向 148 〜 488㎜
連続プリント速度 *1 注記 ・画質調整のため速度が低下することがあります。 ・用紙種類によっては生産性が落ちることがあります。 ・2 枚め排出以降、および2部め以降は片面時と同じ速度になります。	• 用紙トレイ 1 〜 4 ： 連続片面 / 等倍時 ［モノクロ］ ［カラー］ B5□、A4□ ： 55 枚 / 分 40 枚 / 分 B5、A4 ： 40 枚 / 分 29 枚 / 分 B4 ： 33 枚 / 分 24 枚 / 分 A3 ： 28 枚 / 分 20 枚 / 分 • 用紙トレイ 1 〜 4 ： 連続両面 / 等倍時 ［モノクロ］ ［カラー］ B5□、A4□ ： 50 ページ / 分 40 ページ / 分 B5、A4 ： 40 ページ / 分 29 ページ / 分 B4 ： 33 ページ / 分 24 ページ / 分 A3 ： 28 ページ / 分 20 ページ / 分 • 用紙トレイ 5*2 ： 連続片面 / 等倍時 ［モノクロ］ ［カラー］ B5□、A4□ ： 37 枚 / 分 32 枚 / 分 B5、A4 ： 30 枚 / 分 26 枚 / 分 B4 ： 27 枚 / 分 22 枚 / 分 A3 ： 24 枚 / 分 19 枚 / 分 • 用紙トレイ 5*2 ： 連続両面 / 等倍時 ［モノクロ］ ［カラー］ B5□、A4□ ： 37 ページ / 分 32 ページ / 分 B5、A4 ： 30 ページ / 分 26 ページ / 分 B4 ： 27 ページ / 分 22 ページ / 分 A3 ： 24 ページ / 分 19 ページ / 分

解像度	出力解像度： 2,400 × 2,400dpi（94.5 × 94.5 ドット /㎜） データ処理解像度： 1200 × 1200dpi（47.2 × 47.2 ドット /㎜） 600 × 600dpi（23.6 × 23.6 ドット /㎜）
階調 / 表現色	各色 256 階調（1,670 万色）
給紙方式 / 給紙容量	標準 ： 560 枚× 2 トレイ +980 枚 +1,280 枚 + 手差しトレイ 250 枚 オプション ： トレイ 6（大容量）2,300 枚 最大給紙容量 ： 5,930 枚 （標準 + トレイ 6（大容量）） 注記 ・弊社 P 紙の場合
出力トレイ容量	排出トレイ ： 約 500 枚（A4） オフセット排出トレイ（オプション） ： 約 500 枚（A4） 注記 ・弊社 P 紙の場合
ページ記述言語	標準 ： ART EX オプション ： PostScript 3
対応プロトコル	Ethernet ： TCP/IP（SMB、LPD、Port9100、IPP）、NetBEUI（SMB）、IPX/SPX（NetWare）、BMLinkS*3（オプション）、EtherTalk（オプション）*4
対応 OS	ART EX ： Windows 95/98/Me 日本語版 Windows NT 4.0 日本語版、 Windows 2000/XP 日本語版、 Windows Server 2003 日本語版 PostScript（オプション） ： Windows 95/98/Me 日本語版・英語版、 Windows NT 4.0 日本語版・英語版、 Windows 2000/XP 日本語版・英語版、 Windows Server 2003 日本語版・英語版 漢字 Talk7.5.3 ～ Mac OS 9.2.2 日本語版、 Mac OS 7.5.3 ～ Mac OS 9.2.2 英語版、 Mac OS X 10.1.5/10.2.x/10.3.3 ～ 10.3.9 日本語版・英語版 注記 ・最新の対応 OS については、当社ホームページをごらんください。
内蔵フォント	標準 ： 日本語 2 書体（平成明朝体 TMW3、平成角ゴシック体 TMW5） 欧文 17 書体 PostScript（オプション） ： 日本語2書体（平成明朝体TMW3、平成角ゴシック体TM W5）、モリサワ 2 書体（リュウミン L-KL、中ゴシック BBB）、またはモリサワ 5 書体（リュウミン L-KL、中ゴシック BBB、じゅん 101、太ミン A101、太ゴ B101） 欧文 136 書体 PCL（オプション） ： 欧文 81 書体、シンボル 35 セット
エミュレーション	標準 ： ART Ⅳ、ESC/P（VP-1000） オプション ： HP-GL（HP7586B）、HP-GL2/RTL（HP Design Jet 750C Plus）、201H（PC-PR201H2）、PCL5c/PCL6（HP Color Laser Jet 5500）
メモリー容量	512MB（最大 1GB）
インターフェイス	標準 ： Ethernet（10BASE-T/100BASE-TX） オプション ： USB 2.0*5
電源	AC100V ± 10%、15A（50/60Hz 共用）

付録

10

最大消費電力	最大消費電力　：1,500W 待機時　：180W 稼動時（白黒プリント）：872W 低電力モード時　： 139W スリープモード時　： 8W 注記 ・低電力 / スリープモードは、国際エネルギースタープログラム測定に基づく
大きさ	幅 700.0 ×奥行 779.0 ×高さ 1005.0mm
質量 (用紙、オプションを除く)	205kg 注記 ・新品トナーカートリッジを含み、用紙は含まない状態の質量です。
機械占有寸法	幅 1574.0 ×奥行 779.0mm（手差しトレイを最大に伸ばした時）

*1ART EX ドライバーまたは PostScript ドライバーで、[印刷モード] の［高画質］を選択した場合は、画質調整のため速度が低下します。

*2 用紙トレイ 5（手差し）から給紙するとき、用紙サイズで［自動サイズ検知］を選択した場合、1 枚めのプリント速度は遅くなります。

*3BMLinkS は、JBMIA が推奨しているオフィス機器インターフェイスです。
本機は、BMLinkS標準仕様バージョン1.2に準拠し、JBMIAによるBMLinkS認証を受けています。
実装サービス名：プリントサービス

*4EtherTalk は、漢字 Talk7.5.3 ～ Mac OS 9.2.2、Mac OS X 10.1.5/10.2.x/10.3.3 ～ 10.3.9 日本語版・英語版が対象です。

*5USB 2.0 は、Windows 98SE/Me/2000/XP 日本語版・英語版、Windows Server 2003 日本語版・英語版、Mac OS 8.6 ～ Mac OS 9.2.2 日本語版・英語版、Mac OS X 10.1.5/10.2.x/10.3.3 ～ 10.3.9 日本語版・英語版が対象です。

■大容量給紙トレイの主な仕様

用紙サイズ / 種類	A4、8.5 × 11"、B5 64 ～ 176g/m²
給紙段数 / 給紙容量	2300 枚× 1 段 注記 ・弊社 P 紙の場合
大きさ / 質量	幅 389.0 ×奥行 610.0 ×高さ 377.0mm、29kg 注記 ・用紙は含まない状態の質量です。
本体接続時の占有寸法	幅 1574.0 ×奥行 779.0mm（大容量給紙トレイ + 本体 + 排出トレイ、手差しトレイを最大に伸ばした時）

■フィニッシャー C の主な仕様

トレイ形式	排出トレイ× 1　：ソート（オフセット可）/ スタック（オフセット可） フィニシャートレイ× 1 ：ソート（オフセット可）/ スタック（オフセット可）
用紙サイズ / 使用可能用紙	排出トレイ　最大：13 × 19.2"、最小：郵便はがき、64 ～ 280g/m² フィニシャートレイ　最大：13 × 19.2"、最小：B5、64 ～ 176g/m²

トレイ容量	排出トレイ：500 枚 フィニッシャートレイ：よこ方向が 216㎜ 以下の用紙：3,000 枚、よこ方向が 216㎜ を超える用紙：1,500 枚、ミックスサイズ *：300 枚 * 小さいサイズの上に大きいサイズの用紙が積載された場合。 **注記** ・弊社 P 紙の場合
ステープル	最大ステープル枚数：50 枚（90g/㎡ 以下、厚さ 5.7㎜ 以下） ステープル用紙サイズ：最大：A3、11 × 17"、最小：B5 ステープル位置：1 か所（手前・奥、斜め打）、2 か所（並行打） **注記** ・弊社 P 紙の場合
パンチ	パンチ用紙サイズ：最大：A3、11 × 17"、最小：B5 パンチ数：2 穴 **注記** ・弊社 P 紙の場合
大きさ / 質量	幅772×奥行650×高さ1,010㎜（延長トレイ引出し時の幅は863㎜）/55kg
本体接続時の占有寸法	幅 2,038 ×奥行 779㎜（本体 + フィニッシャー C、延長トレイ引出し時、手差しトレイを最大に伸ばした時）

■中とじフィニッシャー C の主な仕様

トレイ形式	排出トレイ× 1：ソート（オフセット可）/ スタック（オフセット可） フィニシャートレイ× 1：ソート（オフセット可）/ スタック（オフセット可） 小冊子トレイ× 1
用紙サイズ / 使用可能用紙	排出トレイ　最大：13 × 19.2"、最小：郵便はがき、64 ～ 280g/㎡ フィニシャートレイ　最大：13 × 19.2"、最小：B5、64 ～ 176g/㎡ 小冊子トレイ　最大：13 × 18"、最小：8.5 × 11"、64 ～ 90g/㎡
トレイ容量	排出トレイ：500 枚 フィニッシャートレイ：1,500 枚、ミックスサイズ *：300 枚 小冊子トレイ：20 部 * 小さいサイズの上に大きいサイズの用紙が積載された場合。 **注記** ・弊社 P 紙の場合
ステープル	最大ステープル枚数：50 枚（90g/㎡ 以下、厚さ 5.7㎜ 以下） ステープル用紙サイズ：最大：A3、11 × 17"、最小：B5 ステープル位置：1 か所（手前・奥、斜め打）、2 か所（並行打） 小冊子部ステープル：15 枚（90g/㎡ 以下）* * 最大中とじ枚数は、弊社カスタマーエンジニアの設定によって変更できます。 **注記** ・弊社 P 紙の場合
パンチ	パンチ用紙サイズ：最大：A3、11 × 17"、最小：B5 パンチ数：2 穴 **注記** ・弊社 P 紙の場合
大きさ / 質量	幅921×奥行650×高さ1,010㎜（延長トレイ引出し時の幅は1,065㎜）/86kg
本体接続時の占有寸法	幅 2,096 ×奥行 779㎜（本体 + 中とじフィニッシャー C、延長トレイ引出し時、手差しトレイを最大に伸ばした時）

プリント可能領域

プリントできる領域は、次のとおりです。

標準印字領域

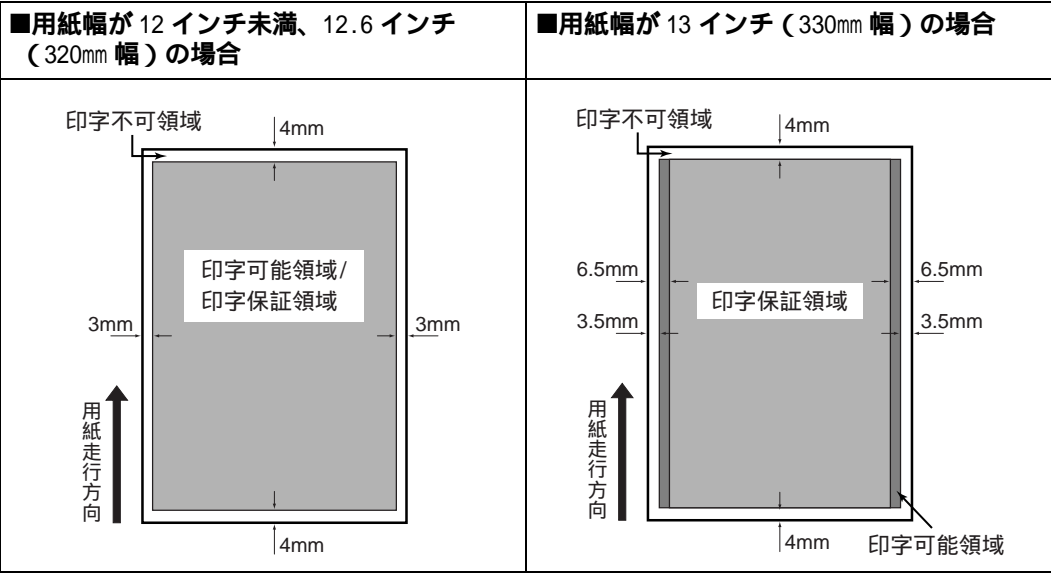
印字できる領域は、標準で、用紙の上下左右の端から 4.0㎜ を除いた領域です（13 × 18"（330㎜ 幅）の場合は、左右 3.5㎜ 除いた領域）。なお、実際の印字領域は、各プリンター（プロッター）制御言語によって異なることがあります。

拡張印字領域

印字領域を拡張する設定にすると、プリントの場合は、最大で印字可能領域が 323 × 480㎜、印字保証領域が 317 × 480㎜ になります。

ただし、用紙サイズによって、印字不可領域は異なります。

補足 ・ **プリント領域を拡張するには、ART EX プリンタードライバー、または操作パネルの［プリント可能領域］で設定を変更します。**

プリンタードライバーでの設定方法については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。操作パネルでの設定方法については、「プリント可能領域」(P.236) を参照してください。

ESC/P エミュレーションを使用するには

ESC/P エミュレーションを使用する方法について説明します。

エミュレーションについて

本機で使用できるプリント言語のエミュレーションについて説明します。

プリントデータはある規則（文法）に従ったデータになっています。本機では、この規則（文法）をプリント言語といいます。

本機が対応しているプリント言語は、ページ単位にイメージを作るページ記述言語と、ほかのプリンターでのプリント結果に近い結果を得ることができるエミュレーションに分類できます。なお、ほかのプリンターでのプリント結果に近い結果を得ることをエミュレートするといいます。

エミュレーションモード

本機が対応するページ記述言語以外のデータをプリントするときは、本機をエミュレーションモードにします。エミュレーションモードと、エミュレートするプリンターの対応は、次のとおりです。

エミュレーションモード	エミュレートするプリンター
ESC/Pエミュレーションモード（ESC/Pモード）	VP-1000

ホストインターフェイスとエミュレーション

ホストインターフェイスごとに、対応するプリント言語は異なります。プリント言語に対応しているホストインターフェイスは、次のとおりです。

- USB ポート
- NetWare ポート
- lpd ポート
- SMB ポート
- IPP ポート
- Port9100 ポート

プリント言語の切り替え

本機は、マルチエミュレーションに対応しています。このため、対応するプリント言語の切り替えができるようになっています。

対応するプリント言語を切り替える方法は、次のとおりです。

■コマンド切り替え

対応するプリント言語を切り替えるコマンドを用意しています。本機は、コマンドを受け取ると、対応するプリント言語に切り替えます。

■自動切り替え

ホストインターフェイスが受信したデータを分析し、プリント言語を自動的に特定します。そして、対応するプリント言語に切り替えます。

付録

10

■インターフェイス従属

操作パネルを使って、ホストインターフェイスごとにプリント言語を設定します。データを受信したホストインターフェイスに合わせて、対応するプリント言語を切り替えます。

フォントについて

エミュレーションから使用できるフォントについて説明します。

使用できるフォント

エミュレーションでは、次のフォントが使用できます。

■ESC/P エミュレーション

使用できるアウトラインフォントは、次のとおりです。

- 和文
  - 平成明朝体 W3
  - 平成角ゴシック体 W5
- 欧文
  - 平成明朝体（ローマン）
  - 平成角ゴシック体（サンセリフ）

ユーザー定義文字（外字）

本機では、ユーザー定義文字（外字）を使用できます。ユーザー定義文字は、メモリーにしか格納できません。このため、電源を切ると、消去されてしまいます。ただし、ユーザー定義文字はハードディスクに格納されるため、電源を切っても保持されます。ハードディスク装置に登録できるユーザー定義文字の容量は、メモリー格納時と同じ容量です。

ユーザー定義文字を格納するメモリーの容量は、その他のユーザー定義データの容量と合わせた値を、操作パネルから設定できます。この値は、電源を切っても保持されます。

ユーザー定義文字は、ビットマップフォントとして登録します。ユーザー定義文字は、各プリント言語の間で共有できません。

フォントキャッシュ

高速プリントを実現するために、ある程度の大きさまでのアウトラインフォントについては、フォントキャッシュを実行します。アウトラインフォントを印字するときには、一度、ビットマップの形式に変換されます。この処理時間をできるだけ短縮するために、処理後のビットマップ形式のデータを、メモリーに保存しておきます。これをフォントキャッシュといいます。

保存されたビットマップ形式のデータは、電源を切ったり、システムリセットをしたりすると、消えます。

排出機能について

排出について説明します。

プリント待ちジョブの排出

プリンターに受信されているジョブを優先して、プリントします。

プリンター内のジョブを優先して、プリントする手順については、「異常終了したときの処理方法」(P.168) を参照してください。

ESC/P エミュレーションモードでのプリント機能

N アップ

N アップは、複数ページを縮小して、1 枚の用紙にプリントする機能です。

N アップは、ESC/P モードのエミュレーションモードで利用できます。ESC/P モードでは、2 アップを利用できます。

フォームオーバーレイ

ESC/P モードでは、あらかじめフォームをプリンターに登録しておき、プリントデータに合成してプリントできます。

操作パネルから、合成するフォームを設定できます。

フォームの登録については、『リファレンスマニュアル（ESC/P 対応）』をごらんください。

バーコード

ESC/P モードでは、バーコードを利用できます。利用できるバーコード規格は、次のとおりです。

- **JAN コード**
- **CODE39**
- **CODABAR**
- **Industrial 2 of 5**
- **Matrix 2 of 5**
- **Interleaved 2 of 5**

フォームについて

本機では、ESC/P を使用して定形のフォームを登録できます。フォームは、64 まで登録できます。

フォームの登録については、『リファレンスマニュアル（ESC/P 対応）』をごらんください。

ESC/P エミュレーションモード設定項目

ESC/P のモードメニューで設定できる項目について、基本設定項目と拡張設定項目に分けて説明します。

基本設定項目

設定項目	項目番号	設定値
カラーモード	5	カラーモードを設定します。 【0】（初期値）：カラー 【1】：モノクロ
給紙トレイ	3	プリントに使用する用紙トレイを設定します。 【0】：自動 【1】（初期値）：トレイ 1 【2】：トレイ 2 【3】：トレイ 3 【4】：トレイ 4 【5】：トレイ 5（手差し） 【6】：トレイ 6 手差しトレイから給紙する場合は、プリントを指示したあとに本体側の操作でプリントを開始します。設定を解除するには、「トレイ 5 確認表示」の設定を変更してください。 **注記** •「トレイ 1」～「トレイ 4」、「トレイ 6」を選択した場合、その用紙トレイにセットされている用紙の大きさが用紙サイズとなるため、「用紙サイズ」の設定はできません。 **補足** •「自動」を選択した場合、同じサイズの用紙が同じ用紙方向で複数のトレイにセットされているときは、トレイ 1 →トレイ 2 →トレイ 3 →トレイ 4 →トレイ 6 の順に給紙されます。また、同じサイズの用紙が異なる向きで複数のトレイにセットされているときは、横にセットされている用紙が優先されます。
原稿サイズ	1	クライアントで作成された原稿のサイズを設定します。 【99】（初期値）：用紙 【100】：連続紙（10 × 12） 【101】：連続紙（10 × 11） 【102】：連続紙（15 × 12） 【103】：連続紙（15 × 11） 【3】：A3 【4】：A4 【5】：A5 【14】：B4 【15】：B5 【21】：8.5 × 14 【22】：8.5 × 13 【23】：8.5 × 11 【24】：11 × 17 【0】：はがき 印刷保証桁は、連続紙（10 × 12）は 80 桁 /72 行、連続紙（10 × 11）は 80 桁 /66 行、連続紙（15 × 12）は 136 桁 /72 行、連続紙（15 × 12）は 136 桁 /66 行です。 **補足** •「原稿サイズ」で連続紙を選択した場合、「用紙位置」の設定はできません。 •「倍率」で「固定倍率」または「カット紙全面」が設定されている場合、「原稿サイズ」と「用紙サイズ」の組み合わせで倍率が自動設定されます。ただし、45 ～ 210% に収まらない倍率値となった場合、原稿は自動拡張 / 縮小されず、等倍でプリントされます。また、2 アップモードが設定されている場合は、「原稿サイズ」と「用紙サイズの 1/2」の組み合わせで、倍率が自動設定されます。

設定項目	項目番号	設定値
用紙方向	19	用紙の向きを設定します。 【0】（初期値）：縦 【1】：横 補足 ・ここで設定する方向は「原稿の向き」です。トレイ内の用紙のセットの方向には影響しません。
用紙サイズ	2	プリントする用紙のサイズを設定します。「給紙トレイ」の設定が「自動」、または「トレイ 5（手差し）」の場合に設定できます。また、設定できる用紙はカット紙だけです。 【3】：A3 【4】：A4 【5】：A5 【14】：B4 【15】：B5 【21】：8.5 × 14 【22】：8.5 × 13 【23】：8.5 × 11 【24】：11 × 17 【0】：はがき 注記 ・「給紙トレイ」を「トレイ 1」～「トレイ 4」、「トレイ 6」のどれかに設定しているときには、「用紙サイズ」の設定はできません。 補足 ・「倍率」で「固定倍率」または「カット紙全面」が設定されている場合、「原稿サイズ」と「用紙サイズ」の組み合わせで倍率が自動設定されます。ただし、45 ～ 250% に収まらない倍率値となった場合、原稿は自動拡張 / 縮小されず、等倍でプリントされます。 また、2 アップモードが設定されている場合は、「原稿サイズ」と「用紙サイズの 1/2」の組み合わせで、倍率が自動設定されます。

拡張設定項目

設定項目	項目番号	設定値
用紙位置	20	用紙位置を設定します。 【0】（初期値）：カットシートフィーダーなし 【1】：カットシートフィーダーあり 補足 ・「原稿サイズ」で連続紙を選択した場合、「用紙位置」の設定はできません。
出力部数	8	プリントする部数を設定します。 【1 ～ 250】（初期値：1）：1 ～ 250 枚 注記 ・クライアントからプリント部数の指定があった場合、その値が反映されてプリントされます。プリント後、操作パネルの設定もその値に書き換えられます。ただし、NetWare、lpd ポートから指定された部数は、プリント後、操作パネルの設定を書き換えることはありません。

設定項目	項目番号	設定値
倍率	54 （倍率モード）	原稿を印字する倍率を設定します。 【0】（初期値）：固定倍率 【1】：任意倍率 【2】：カット紙全面 固定倍率とは、設定されている「原稿サイズ」と「用紙サイズ」から自動算出される倍率のことで、原稿サイズの印字エリアが用紙サイズの印字エリアに収まるように印字されます。このため、原稿サイズと用紙サイズが同じであれば 100%（等倍）印字となります。また、2 アップが設定されている場合には、2 枚分の原稿サイズが 1 枚の用紙サイズの印字エリアに収まるように印字されます。 任意倍率とは、「倍率」〉「任意倍率」で設定される倍率のことです。倍率の基準値は印字エリアの左上です。これは文字、イメージ、グラフィックスすべてにおける基準点になります。 カット紙全面領域が印字エリアに印字されます。 カット紙全面とは、設定されている「原稿サイズ」と「用紙サイズ」から自動算出される倍率のことで、設定されている原稿サイズの物理的な紙の大きさが用紙サイズの印字エリアに収まるように印字されます。
	17 （任意倍率 / 縦倍率）	原稿を印字する縦または横の倍率を設定します。 【45 〜 210】（初期値：100）：45 〜 210% **補足** ・「原稿サイズ」で連続紙が設定されている場合、「固定倍率」と「カット紙全面」は同じ印字結果となります。
	18 （任意倍率 / 横倍率）	
2UP モード	21	2 アップ印字をするか、1 ページごとに印字するかを設定します。2 アップとは、2 ページ分のデータを 1 ページに印字する機能です。用紙方向によって上下、または左右のどちらかに印字されます。 【0】（初期値）：なし 【1】：順方向 【2】：逆方向 **注記** ・「原稿サイズ」で横向きを設定している場合、「順方向」と「逆方向」のどちらを設定しても同じ結果となります。
排出先	9	プリントした用紙の排出先トレイを設定します。 【0】（初期値）：排出トレイ 【80】：フィニッシャートレイ（オプション）
トレイ 5 確認表示	67	トレイ 5（手差し）から給紙するプリント指示をしたあと、本体側の操作によってプリントを開始します。 【0】：なし 【1】（初期値）：あり
罫線	22	2 バイト系罫線の印字方法を設定します。候補値は次のとおりです。 【0】（初期値）：イメージ 【1】：フォント
両面	12	両面プリントを設定します。 【0】（初期値）：なし 【1】：左右開き 【2】：上下開き **注記** ・「用紙サイズ」に「はがき」が設定されている場合は、「左右開き」と「上下開き」は選択できません。

設定項目	項目番号	設定値
フォント	13 （漢字書体）	2 バイト系文字（漢字）の書体を設定します。なお、2 バイト系半角文字もこの書体が適用されます。 【0】（初期値）　：明朝 【1】　　　　　　：ゴシック **注記** ・本設定は、初期値を選択する機能のため、拡張コマンドが送られてきた場合には反映されません。
	14 （英数字書体）	1 バイト系文字（ANK）の書体を設定します。 【0】（初期値）　：ローマン 【1】　　　　　　：サンセリフ **注記** ・本設定は、初期値を選択する機能のため、拡張コマンドが送られてきた場合には反映されません。
印字制御	50 （漢字コード）	使用する漢字コード表を設定します。 【0】（初期値）　：エプソン 【1】　　　　　　：東芝
	51 （白紙排出）	改ページだけのデータのように、プリントするデータがまったくない場合に、白紙を排出するかしないかを設定します。 【0】（初期値）　：しない 【1】　　　　　　：する **補足** ・「しない」に設定した場合でも、外字で作成されたスペースや、白だけのイメージデータのときは白紙が排出されます。 ・「しない」が設定され、2 アップブリントまたは両面プリントの指示がされている場合、白紙となるページはスキップして処理します。
	52 （印字桁範囲）	右マージンの位置を拡張できます。 【0】（初期値）　：標準 【1】　　　　　　：拡張 **注記** ・印字桁範囲を「拡張」から「標準」に設定変更した場合は、左右マージン値が初期化されます。 ・コマンドで右マージン位置が設定された場合は、その位置が右端となります。
	53 （イメージエンハンスメント）	イメージエンハンスメントを行うか行わないかを設定します。 イメージエンハンスメントとは、白黒の境めを滑らかにしてギザギザを減らし、疑似的に解像度を高める機能です。 【0】　　　　　　：OFF 【1】（初期値）　：ON

設定項目	項目番号	設定値
ESCP スイッチ	55 （文字品位）	文字の印字品質モードを高品位（初期値）かドラフトに設定します。 【0】（初期値）　：高品位 【1】　　　　　　：ドラフト **注記**　・「文字品位」、「縮小文字」、「文字コード表」、「ページ長」および「1 インチミシン目スキップ」の各設定は、初期値を選択する機能のため、拡張コマンドが送られてきた場合には反映されません。 **補足**　・設定状態の変更で、実際の印字は変化しません。 ・本設定は、文字品位選択コマンドに影響します。文字品位選択コマンドについては、『リファレンスマニュアル（ESC/P 対応）』を参照してください。
	56 （縮小文字）	1 バイト系の英数字を印字する場合、文字を縮小して印字できます。縮小するか等倍で印字するかを設定します。 【0】（初期値）　：しない 【1】　　　　　　：する
	57 （文字コード表）	1 バイト系の英数字を印字する場合のコード表の種類を設定します。国内版アプリケーションをご使用の場合はカタカナ（初期値）を、海外版アプリケーションをご使用の場合は拡張グラフィックスに設定してください。 【0】（初期値）　：カタカナ 【1】　　　　　　：拡張グラフィックス
	58 （1 ページ長）	1 ページの長さ（印字エリア）を 11 インチまたは 12 インチに設定します。 【0】（初期値）　：11 インチ 【1】　　　　　　：12 インチ
	59 （1 インチミシン目スキップ）	ページとページの間を 1 インチ空けるか、空けないかを設定します。 【0】（初期値）　：しない 【1】　　　　　　：する **注記**　・「用紙位置」で CSF が「なし」に設定されている場合だけ実行されます。
	60 （給紙位置）	印字開始位置を、用紙の上端から 8.5㎜（初期値）か 22㎜ に設定します。 【0】（初期値）　：8.5㎜ 【1】　　　　　　：22㎜
	61 （CR の機能）	CR コマンド受信時の動作を設定します。 【0】（初期値）　：復帰 【1】　　　　　　：復帰改行
位置補正	15 （縦位置補正） 16 （横位置補正）	データをプリントする位置を縦または横方向に移動し、余白の位置を変える機能です。 【0】（初期値）　：しない 【1 ～ 500】　　：-250 ～ +250㎜ **注記**　・印字エリアを超えるデータは、位置補正をしても印字されません。また、位置補正により印字エリアを超えたデータは、印字されません。
拡張子	62 （拡張子指定）	**補足**　・拡張コマンドは、先頭に拡張子、次にコマンド判別データ、そして必要であればパラメーターデータが続くという形式になっています。拡張子とは、拡張コマンドの先頭 2 バイト（16 進数で 1BH である ESC とそれに続く；（セミコロン＝ 3BH））のことです。指定した拡張子を有効にするかどうかを設定します。有効にすると、テキストコードで制御できるようになります。初期値は無効です。 【0】（初期値）　：無効 【1】　　　　　　：有効
	63 （拡張子文字）	テキストコードで制御できるようにしたい場合は、拡張コマンドの拡張子（先頭 2 バイト）を設定します。 画面に表示されるキーボードから 2 文字を入力します。（初期値：&%）

設定項目	項目番号	設定値
フォーム合成	64	登録されているフォーム名（No.01 〜 64）を選択することによって、常にフォーム合成を行います。 【0】（初期値）　：しない 【1 〜 64】　　：No.1 〜 No.64 注記 • 本設定は、初期値を選択する機能のため、拡張コマンドが送られてきた場合には反映されません。 • フォームを選択したあと、フォームが削除された場合でも、そのフォーム名が表示されています。なお、上下キーでフォーム選択を行なったあとは、表示されません。この場合は「しない」を選択していることになります。
ホチキスとめ	66	ホチキスとめをする位置を設定します。 【0】（初期値）　：しない 【1】　　　　　：左上 1ヵ所 【2】　　　　　：上 2ヵ所 【3】　　　　　：右上 1ヵ所 【4】　　　　　：左 2ヵ所 【5】　　　　　：右 2ヵ所 【6】　　　　　：下 1ヵ所 【7】　　　　　：下 2ヵ所 【8】　　　　　：右下 1ヵ所
フォーム種類	68	フォームの種類を設定します。 【0】（初期値）　：ESC/P 【1】　　　　　：ART IV
パンチ	69	パンチ穴を開ける位置を設定します。 【0】（初期値）　：しない 【1】　　　　　：上辺 【2】　　　　　：下辺 【3】　　　　　：左辺 【4】　　　　　：右辺
パンチ穴数	70	パンチ穴の数を設定します。 【0】（初期値）　：2 穴 【1】　　　　　：3 穴 【2】　　　　　：4 穴

倍率値一覧表

固定倍率値

原稿サイズ	用紙サイズ	A3	A4	A5	B4	B5	11 × 17	8.5×14	8.5×13	8.5×11	ハガキ
A3	長辺	100	70	49	86	60	103	84	78	66	100
	短辺	100	70	48	86	60	94	72	72	72	100
A4	長辺	143	100	70	123	86	147	120	112	94	48
	短辺	143	100	69	123	86	135	103	103	103	45
A5	長辺	204	143	100	177	123	210	172	160	135	69
	短辺	207	145	100	178	124	195	149	149	149	65
B4	長辺	116	81	57	100	70	119	98	90	76	100
	短辺	116	81	56	100	70	109	83	83	83	100
B5	長辺	164	116	81	143	100	171	140	130	109	56
	短辺	164	116	81	143	100	156	120	120	120	53

11 × 17	長辺	97	68	48	84	59	100	82	76	64	100
	短辺	106	74	51	92	64	100	77	77	77	100
8.5 × 14	長辺	119	83	58	102	72	122	100	93	78	100
	短辺	139	97	67	120	84	131	100	100	100	100
8.5 × 13	長辺	128	90	63	111	77	132	108	100	84	100
	短辺	139	97	67	120	84	131	100	100	100	100
8.5 × 11	長辺	152	106	74	131	92	156	128	119	100	100
	短辺	139	97	67	120	84	131	100	100	100	100
ハガキ	長辺	100	100	145	100	178	100	100	100	100	100
	短辺	100	100	153	100	190	100	100	100	100	100
15 × 1	長辺	119	83	58	103	72	122	100	93	78	100
	短辺	103	72	50	89	62	97	74	74	74	100
15 × 2	長辺	119	83	58	103	72	122	100	93	78	100
	短辺	95	66	46	81	57	89	68	68	68	100
10 × 11	長辺	147	103	72	127	89	151	124	115	97	50
	短辺	142	99	68	122	85	133	102	102	102	45
10 × 12	長辺	135	95	66	117	81	139	114	105	89	46
	短辺	142	99	68	122	85	133	102	102	102	45

単位：［%］

補足 • 長辺または短辺の倍率値が 45 ～ 210% を超えた場合には、長辺と短辺の両方の倍率値は 100% となります。

固定倍率値（2 アップ指定時）

原稿サイズ	用紙サイズ	A3/2	A4/2	A5/2	B4/2	B5/2	11 × 17 /2	8.5×14 /2	8.5×13 /2	8.5×11 /2	ハガキ /2
A3	長辺	70	49	100	60	100	66	50	50	50	100
	短辺	70	48	100	60	100	72	59	54	45	100
A4	長辺	100	70	48	86	60	94	72	72	72	100
	短辺	100	69	48	86	59	103	84	78	65	100
A5	長辺	143	100	69	123	86	135	103	103	103	45
	短辺	145	100	69	124	86	149	121	112	94	47
B4	長辺	81	57	100	70	49	76	58	58	58	100
	短辺	81	56	100	70	48	83	68	63	53	100
B5	長辺	116	81	56	100	70	109	83	83	83	100
	短辺	116	80	55	100	69	120	98	90	76	100
11 × 17	長辺	68	48	100	59	100	64	49	49	49	100
	短辺	74	51	100	64	100	77	62	58	48	100
8.5 × 14	長辺	83	58	100	72	50	78	60	60	60	100
	短辺	97	67	100	84	57	100	82	75	63	100
8.5 × 13	長辺	90	63	100	77	54	84	64	64	64	100
	短辺	97	67	100	84	57	100	82	75	63	100
8.5 × 11	長辺	106	74	51	92	64	100	77	77	77	100
	短辺	97	67	46	84	57	100	82	75	63	100

ハガキ	長辺	100	145	100	178	124	100	149	149	149	65
	短辺	100	153	105	190	131	100	185	172	144	71
15 × 11	長辺	83	58	100	72	100	78	60	60	60	100
	短辺	72	50	100	62	100	74	60	56	47	100
15 × 12	長辺	83	58	100	72	100	78	60	60	100	100
	短辺	66	46	100	57	100	68	55	51	100	100
10 × 11	長辺	103	72	50	89	62	97	74	74	74	100
	短辺	99	68	47	85	59	102	83	77	64	100
10 × 12	長辺	95	66	46	81	57	89	68	68	68	100
	短辺	99	68	47	85	59	102	83	77	64	100

単位：[%]

補足 • 長辺または短辺の倍率値が 45 〜 210% を超えた場合には、長辺と短辺の両方の倍率値は 100% となります。

カット紙全面倍率値

原稿サイズ	用紙サイズ	A3	A4	A5	B4	B5	11 × 17	8.5×14	8.5×13	8.5×11	ハガキ
A3	長辺	98	69	48	85	59	101	83	77	64	100
	短辺	97	68	47	84	58	91	70	70	70	100
A4	長辺	138	97	68	120	84	142	117	108	91	100
	短辺	137	96	66	118	82	129	99	99	99	100
A5	長辺	196	137	96	169	118	201	165	153	129	66
	短辺	195	136	94	168	117	183	140	140	140	62
B4	長辺	113	79	55	98	68	116	95	88	74	100
	短辺	112	78	54	97	67	105	81	81	81	100
B5	長辺	160	112	78	138	97	165	135	125	105	54
	短辺	158	110	76	136	95	149	114	114	114	50
11 × 17	長辺	95	67	47	82	57	98	80	74	63	100
	短辺	103	72	50	89	62	97	74	74	74	100
8.5 × 14	長辺	116	81	57	100	70	119	98	90	76	100
	短辺	133	93	64	115	80	125	96	96	96	100
8.5 × 13	長辺	125	87	61	108	75	128	105	97	82	100
	短辺	133	93	64	115	80	125	96	96	96	100
8.5 × 11	長辺	147	103	72	127	89	151	124	115	97	100
	短辺	133	93	64	115	80	125	96	96	96	100
ハガキ	長辺	100	195	136	100	168	100	100	100	183	94
	短辺	100	201	139	100	173	100	100	100	207	91
15 × 11	長辺	135	95	66	117	81	139	105	114	89	46
	短辺	142	99	68	122	85	133	102	102	102	45
15 × 12	長辺	135	95	66	117	81	139	105	114	89	46
	短辺	142	99	68	122	85	133	102	102	102	45
10 × 11	長辺	147	103	72	127	89	151	115	124	97	50
	短辺	142	99	68	122	85	133	102	102	102	45

10 × 12	長辺	147	103	72	127	89	151	124	115	97	50
	短辺	142	99	68	122	85	133	102	102	102	45

単位：［%］

補足 • 長辺または短辺の倍率値が 45 ～ 210% を超えた場合には、長辺と短辺の両方の倍率値は 100% となります。

カット紙全面倍率値（2 アップ指定時）

原稿サイズ	用紙サイズ	A3/2	A4/2	A5/2	B4/2	B5/2	11 × 17 /2	8.5×14 /2	8.5×13 /2	8.5×11 /2	ハガキ /2
A3	長辺	69	48	100	59	100	64	49	49	100	100
	短辺	68	47	100	58	100	70	57	53	100	100
A4	長辺	97	68	47	84	58	91	70	70	70	100
	短辺	96	66	46	82	57	99	80	74	62	100
A5	長辺	137	96	66	118	82	129	99	99	99	100
	短辺	136	84	65	117	80	140	114	106	88	100
B4	長辺	79	55	100	68	48	74	57	57	57	100
	短辺	78	54	100	67	46	81	66	61	51	100
B5	長辺	112	78	54	97	67	105	81	81	81	100
	短辺	110	76	53	95	65	114	93	86	72	100
11 × 17	長辺	67	47	100	57	100	63	48	48	48	100
	短辺	72	50	100	62	100	74	60	56	47	100
8.5 × 14	長辺	81	47	100	70	49	76	58	58	58	100
	短辺	93	50	100	80	55	96	78	72	61	100
8.5 × 13	長辺	87	61	100	75	52	82	63	63	63	100
	短辺	93	64	100	80	55	96	78	72	61	100
8.5 × 11	長辺	103	89	100	89	72	97	74	74	74	100
	短辺	93	80	100	80	55	96	78	72	61	100
ハガキ	長辺	195	136	94	168	117	183	140	140	140	62
	短辺	201	139	96	173	119	207	169	156	131	65
15 × 11	長辺	95	66	46	81	57	89	68	68	68	100
	短辺	99	68	47	85	59	102	83	77	64	100
15 × 12	長辺	95	66	46	81	57	89	68	68	68	100
	短辺	99	68	47	85	59	102	83	77	64	100
10 × 11	長辺	103	72	50	89	62	97	74	74	74	100
	短辺	99	68	47	85	59	102	83	77	64	100
10 × 12	長辺	103	72	50	89	62	97	74	74	74	100
	短辺	99	68	47	85	59	102	83	77	64	100

単位：［%］

補足 • 長辺または短辺の倍率値が 45 ～ 210% を超えた場合には、長辺と短辺の両方の倍率値は 100% となります。

用紙サイズと印字可能桁数

給紙位置 22㎜ の場合

用紙サイズ	縦置き		横置き	
	印字桁数	印字行数	印字桁数	印字行数
A3	113	92	161	63
B4	97	78	139	53
A4	79	63	113	42
B5	68	53	97	35
A5	54	42	79	27
はがき	35	30	54	19
11 × 17	106	94	166	58
8.5 × 14	81	76	136	43
8.5 × 13	81	70	126	43
8.5 × 11	81	58	106	43

給紙位置 8.5㎜ の場合

用紙サイズ	縦置き		横置き	
	印字桁数	印字行数	印字桁数	印字行数
A3	113	95	161	66
B4	97	82	139	56
A4	79	66	113	45
B5	68	56	97	39
A5	54	45	79	31
はがき	35	30	54	19
11 × 17	106	98	166	62
8.5 × 14	81	80	136	47
8.5 × 13	81	74	126	47
8.5 × 11	81	62	106	47

補足
- 文字ピッチ 10CPI、行ピッチ 6LPI を基準にした値です。
- 縦 / 横倍率はそれぞれ 100% です。
- ハードウエアの構成によって使用できない用紙サイズもあります。

カット紙全面の場合

用紙サイズ	縦置き		横置き	
	印字桁数	印字行数	印字桁数	印字行数
A3	116	99	165	70
B4	101	85	143	60
A4	82	70	116	49

用紙サイズ	縦置き		横置き	
	印字桁数	印字行数	印字桁数	印字行数
B5	71	60	101	42
A5	58	49	82	34
はがき	39	34	58	23
11 × 17	110	102	170	66
8.5 × 14	85	84	140	51
8.5 × 13	85	78	130	51
8.5 × 11	85	66	110	51

補足
- 文字ピッチ 10CPI、行ピッチ 6LPI を基準にした値です。
- ハードウエアの構成により使用できない用紙サイズもあります。

15 インチ連続紙モード（横固定 / 左置き）の場合

用紙サイズ	縦置き		横置き	
	印字桁数	印字行数	印字桁数	印字行数
対応する全用紙サイズ	136	66	136	72

補足
- 文字ピッチ 10CPI、行ピッチ 6LPI を基準にした値です。

10 インチ連続紙モード

用紙サイズ	縦置き		横置き	
	印字桁数	印字行数	印字桁数	印字行数
対応する全用紙サイズ	80	66	80	72

PDF ダイレクトプリントを使用するには

PDF ダイレクトプリントとは、PDF ファイルをプリンタードライバーを使わないで、直接 lpr コマンドなどを使ってプリントする機能です。この場合、次の項目は操作パネルの設定に従ってプリントされます。

- 出力部数
- 両面
- 印刷モード
- ソート
- レイアウト
- 用紙サイズ
- カラーモード
- プリント処理モード

補足
- lpr コマンドを使ってプリントする場合、部数の設定は lpr コマンドで行います。操作パネルの「出力部数」の設定は無効になります。なお、lpr コマンドで部数の設定をしない場合は、1 部として処理されます。
- lpr コマンドを使って PDF ファイルをプリントする場合は、操作パネル、または CentreWare Internet Servicesを使って、本体側のLPDプロトコルを起動しておく必要があります。

PDF ダイレクトプリント機能の設定項目

PDF ダイレクトプリント機能を設定できる項目について、説明します。

弊社ユーティリティの「ContentsBridge」を使用しないで PDF ファイルをプリントする場合は、ここでの設定が有効になります。

補足
- ContentsBridge Utility を使用して PDF ファイルをプリントする場合は、「PDF/TIFF ファイルを直接プリントする（コンテンツブリッジ）」(P.155) を参照してください。

設定項目	項目番号	設定値
出力部数	401	プリントする部数を設定します。 【1 ～ 999】（初期値：1）：1 ～ 999 部
両面	402	両面プリントを設定します。 【0】（初期値） ：しない 【1】 ：長辺とじ 【2】 ：短辺とじ 長辺とじは、用紙の長い辺でとじた場合に、正しい向きで読めるように両面プリントを行います。 短辺とじは、用紙の短い辺でとじた場合に、正しい向きで読めるように両面プリントを行います。
印刷モード	403	画質を優先するか、速度を優先するかを設定します。 【0】（初期値） ：標準 【1】 ：高速 【2】 ：高画質 標準は、標準的な速度、画質でプリントします。 高速は、速度を優先してプリントします。 高画質は、プリント速度は遅くなりますが、画質を優先して、よりきれいにプリントします。
ソート	404	複数部数を、1 部ごとにソート（1、2、3...1、2、3...）してプリントするかどうかを設定します。 【0】（初期値） ：しない 【1】 ：する

設定項目	項目番号	設定値
レイアウト	405	プリントするときのレイアウトについて設定します。 補足 ・この項目は、「プリント処理モード」で「PDF Bridge」を選択した場合だけ、設定が有効になります。 【0】（初期値）：自動倍率 【1】：カタログ（小冊子） 【2】：2 アップ 【3】：4 アップ 【4】：100%（等倍） 自動倍率は、プリントする用紙サイズに対して、最も拡大率が大きくなるように、自動的に倍率が設定されてプリントされます。PDF ファイルの原稿サイズに応じて、A4 またはレターサイズのどちらかを自動的に判別し、プリントされます。 カタログ（小冊子）は、プリントする PDF ファイルのページ構成に応じて、プリント結果がカタログのようにページ割り付けされて両面プリントされます。ただし、ページ構成によっては、カタログ（小冊子）プリントができない場合があります。その場合は、「自動倍率」でプリントされます。 補足 ・「用紙サイズ」で「A4」を設定している場合は、A4 サイズの用紙にプリントされます。 ・「用紙サイズ」で「自動」を設定している場合は、A3 または A4 の用紙にプリントされます。 2 アップは、1 枚の用紙に、2 ページ分の原稿を割り付けてプリントします。2 アップを選択した場合、用紙サイズは、A4 固定になります。 4 アップは、1 枚の用紙に、4 ページ分の原稿を割り付けてプリントします。4 アップを選択した場合、用紙サイズは、A4 固定になります。
用紙サイズ	406	プリントする用紙のサイズを設定します。 【0】（初期値）：自動 【1】：A4 自動は、プリントする PDF ファイルの原稿サイズと設定に応じて、自動的に用紙サイズが判別されます。
カラーモード	407	カラーでプリントするか、白黒でプリントするかを設定します。 【0】（初期値）：自動 【1】：白黒 自動は、原稿のページごとにカラーか白黒かが自動的に判断されます。白黒以外の色が使われている場合はカラーでプリントされ、白黒だけが使われている場合は白黒でプリントされます。
プリント処理モード	408	PDF ダイレクトプリント機能を使用するとき、プリント処理をするモードを選択します。 【0】（初期値）：PDF Bridge 【1】：PS PDF Bridge は、PDF を弊社製の PDF ダイレクトプリント機能を使用して処理します。 PS は、PDF を Adobe 社製の PostScript の機能を使用して処理します。 補足 ・この項目は、オプションの PS3 キットヘイセイ 2 ショタイを装着している場合に表示されます。 ・「PDF Bridge」を選択した場合と「PS」を選択した場合では、プリント結果が異なることがあります。 ・「PS」を選択した場合は、「レイアウト」での設定は無効になります。

付録
10

オプション製品一覧

主なオプション製品は次のとおりです。お買い求めは、販売店までご連絡ください。

商品名	商品コード	説明
エミュレーションキット	EC100558	エミュレーションの HP-GL/2、201H、PCL でプリントできるキットです。
PS3 キットヘイセイ 2 ショタイ（平成 2 書体）	EC100559	平成 2 書体の PostScript 3 キットです。
大容量給紙トレイ (1 段)	QD200013	用紙を 2,300 枚（弊社 P 紙）セットできる用紙トレイです。
オフセットキャッチトレイ	ED200026	用紙をオフセット排出できるユニットです。
フィニッシャー C	QD200014	プリントした用紙に、ホチキスとめやパンチ穴を開けて排出できる装置です。
中とじフィニッシャー C	QD200015	プリントした用紙に、ホチキスとめやパンチ穴を開けて排出できる装置です。用紙を 2 つ折りにしたり、2 つ折りしたものにホチキスとめをしたりできます。
フィニッシャー C パンチキット	ED200082	パンチ穴が 3 つになります。 補足 ・フィニッシャー C または中とじフィニッシャー C を装着している場合に使用できます。
お知らせライト	EL200311	プリンターの状態を点滅でお知らせします。
増設メモリー (512MB)	EC100334	システム用のメモリー容量を512MB増量できるメモリーです。
USB2.0 拡張キット	EM200092	USB 2.0 が使用できるようになります。
大容量給紙トレイ A3 ノビ	QC100028	A3 サイズや SRA3 サイズなどの用紙を収容できます。

補足
- 商品の種類は変更されることがあります。
- PS3 キットヘイセイ 2 ショタイとエミュレーションキットは、同時に装着できません。
- 商品によっては、対応機種名が「ApeosPort C6550 I/C5540 I」、または「DocuCentre C6550 I/C5540 I」となっているものがあります。その場合も、DocuPrint C5450でご利用いただけます。
- 最新の情報については、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にお問い合わせください。

■PS3 キットヘイセイ 2 ショタイ

PS3キットヘイセイ2ショタイを装着すると、本機をPostScript対応プリンターとして利用できるほか、エミュレーションのHP-GL/2、201H、PCLでプリントできるようになります。また、Macintoshからもプリントできるようになります。

■エミュレーションキット

エミュレーションキットを装着すると、エミュレーションの HP-GL/2、201H、PCL でプリントできます。HP-GL/2、201H、PCL でプリントするときは、本機をエミュレーションモードにします。本機には、複数のエミュレーションモードがあります。エミュレーションモードと、エミュレートするプリンターの対応は、次のとおりです。

エミュレーションモード	エミュレートするプリンター
201H エミュレーションモード	NEC PC-PR201H2
HP-GL エミュレーションモード	HP DesignJet 750C Plus または HP7586B
HP-GL/2 エミュレーションモード	HP DesignJet 750C Plus
PCL エミュレーションモード（PCL モード）	CLJ5500

補足 ・PS3 キットヘイセイ 2 ショタイとエミュレーションキットは、同時に装着できません。

最新ソフトウエアの入手方法

最新のソフトウエアを入手する方法について説明します。
ソフトウエアを入手するためのホームページアドレス（URL）は、次のとおりです。

http://download.fujixerox.co.jp/

なお、通信費用はお客様の負担になりますので、ご了承ください。

注意 / 制限事項について

ここでは、本機を使用するうえでの注意、および制限について説明します。

本機使用上の注意 / 制限

■プリント結果が設定と異なるとき

プリントページバッファの容量不足が原因で、次のように、設定と異なる結果になることがあります。この場合、メモリーの増設をお勧めします。

- 両面の指定が片面でプリントされる
- ジョブが中止される（プリントページバッファに展開できない場合、そのページを含むジョブが中止されます）

■オプションについて

- 本機を PostScript 対応プリンターとして使用する場合は、オプションの PS3 キットヘイセイ 2 ショタイの設置が必要です。
- HP-GL/2、201H、PCL をエミュレートする場合は、オプションのエミュレーションキットの設置が必要です。

補足　・ PS3 キットヘイセイ 2 ショタイとエミュレーションキットは、同時に装着できません。

■本体の設置 / 移動について

- 本体を移動する場合は、弊社のテレフォンセンターまたはカストマーエンジニアにお問い合わせください。
- 本機が作動しているとき、本体に衝撃を与えないでください。
- 本体外部にあるファンの吸排出口の近くには物を置かないでください。

インターネットサービスプロバイダーに接続する場合の注意 / 制限

本機で、インターネットサービスプロバイダー（以降、ISP とします。）に接続し、メールに関連する機能を利用する場合に必要な情報について説明します。

本機のメールに関連する機能は、次のとおりです。

- メール通知サービス
- メールプリント

■ISP 接続に関する注意 / 制限事項

本機を ISP に接続する場合、次のような注意 / 制限事項があります。

- ダイアルアップ接続はサポート対象外です。常時接続がサポートの前提になります。
- 本機は、IP マスカレードを使用した環境で接続してください。本機へグローバル IP アドレスを割り当てて接続する場合は、サポート対象外となります。
- POP 受信を行う場合には、必ず専用のメールアカウントの申請を行ってください。ほかのユーザーとの共用を行うとトラブルの原因になります。
- メール送信時には、必ず送信サイズ制限の設定を行ってください。適用可能なサイズは ISP によって異なりますが、小さめの値の指定をお勧めします。
- ADSL やケーブル接続でない常時接続も可能ですが、画像データの送受信は負荷がかかります。
- SMTP 受信はサポート対象外です。本機の運用は POP 受信だけになります。
- プライベートセグメントに、MTA（Mail Transfer Agent）を立てて運用している環境で設置する場合は、運用形態に合わせてください。
- 動作を保証している ISP については、弊社営業にお問い合わせください。

■機能詳細

メール関連機能の詳細は、次のとおりです。

- 送信機能

  対応プロトコル　：SMTP

  ポート番号　：25 固定（ポート番号の変更はできません）

  送信時認証機能

  　SMTP 認証機能　：対応しています。

  　POP before SMTP　：Plain のみ対応（APOP には対応していません）

  　POP 認証後の待ち時間　：変更できません。

  暗号化通信（SSL）　：対応していません。

- 受信機能

  対応プロトコル　：POP3

  POP3 ポート番号　：110 固定（ポート番号の変更はできません）

  POP3 の認証方式　：Plain のみ対応（APOP には対応していません）

  POP3 受信後のメール処理：受信後は必ず、受信したメールをサーバーから削除します。サーバーにメールを残すように設定することはできません。

  通信路の暗号化（SSL）　：対応していません。

補足・IMAP4 には対応していません。

■IP アドレスの設定

本機は、グローバル IP アドレスでの運用は保証していません。必ず IP マスカレードを使用した環境でご利用ください。

- 固定アドレスで運用する場合

  お使いのルーター、またはドメイン管理サーバー等の IP アドレスを管理するサーバーに、本機で使う IP アドレスを登録します。

- DHCP で運用する場合

  設定は特に不要ですが、ルーターや DHCP サーバーの設定によっては登録が必要になる場合があります。お使いのルーターや DHCP サーバーの運用ルールをご確認ください。特に、MAC アドレスによる利用制限を行っている場合には、DHCP サーバー側への登録が必要になることがあります。

■CentreWare Internet Services からの設定

CentreWare Internet Services から行う設定については、「CentreWare Internet Services について」(P.77) を参照してください。

注記 ・ISP に接続する場合、[POP サーバー確認間隔] は 10 分以上に設定してください。

表示できる漢字一覧

単漢字変換をする場合、次の一覧表の漢字を使用できます。

使用できる漢字は、JIS の第一水準すべてと第二水準の一部（32 文字）です。第一水準の漢字は、読みがなの一文字めで分類しています。第二水準の漢字は、読みがなと漢字を示しています。漢字を登録する場合、対応した読みがなを入力して単漢字変換をしてください。そのほかのアルファベットやひらがな、数字、記号については、操作パネルのタッチパネルディスプレイに表示されるキーボードをお使いください。

漢字一覧表（第一水準）

よみ	漢字
あ	亜 唖 娃 阿 哀 愛 挨 姶 逢
	葵 茜 穐 悪 握 渥 旭 葦 芦 鯵
	梓 圧 斡 扱 宛 姐 虻 飴 絢 綾
	鮎 或 粟 袷 安 庵 按 暗 案 闇
	鞍 杏
い	以 伊 位 依 偉 囲 夷 委
	威 尉 惟 意 慰 易 椅 為 畏 異
	移 維 緯 胃 萎 衣 謂 違 遺 医
	井 亥 域 育 郁 磯 一 壱 溢 逸
	稲 茨 芋 鰯 允 印 咽 員 因 姻
	引 飲 淫 胤 蔭
	院 陰 隠 韻 吋
う	右 宇 烏 羽
	迂 雨 卯 鵜 窺 丑 碓 臼 渦 嘘
	唄 欝 蔚 鰻 姥 厩 浦 瓜 閏 噂
	云 運 雲
え	荏 餌 叡 営 嬰 影 映
	曳 栄 永 泳 洩 瑛 盈 穎 頴 英
	衛 詠 鋭 液 疫 益 駅 悦 謁 越
	閲 榎 厭 円 園 堰 奄 宴 延 怨
	掩 援 沿 演 炎 焔 煙 燕 猿 縁
	艶 苑 薗 遠 鉛 鴛 塩
お	於 汚 甥
	凹 央 奥 往 応
	押 旺 横 欧 殴 王 翁 襖 鴬
	鴎 黄 岡 沖 荻 億 屋 憶 臆 桶
	牡 乙 俺 卸 恩 温 穏 音
か	下 化
	仮 何 伽 価 佳 加 可 嘉 夏 嫁
	家 寡 科 暇 果 架 歌 河 火 珂
	禍 禾 稼 箇 花 苛 茄 荷 華 菓
	蝦 課 嘩 貨 迦 過 霞 蚊 俄 峨
	我 牙 画 臥 芽 蛾 賀 雅 餓 駕
	介 会 解 回 塊 壊 廻 快 怪 悔
	恢 懐 戒 拐 改
	魁 晦 械 海 灰 界 皆 絵 芥
	蟹 開 階 貝 凱 劾 外 咳 害 崖
	慨 概 涯 碍 蓋 街 該 鎧 骸 浬
	馨 蛙 垣 柿 蛎 鈎 劃 嚇 各 廓
	拡 撹 格 核 殻 獲 確 穫 覚 角
	赫 較 郭 閣 隔 革 学 岳 楽 額
	顎 掛 笠 樫 橿 梶 鰍 潟 割 喝
	恰 括 活 渇 滑 葛 褐 轄 且 鰹
	叶 椛 樺 鞄 株 兜 竃 蒲 釜 鎌
	噛 鴨 栢 茅 萱
	粥 刈 苅 瓦 乾 侃 冠 寒 刊
	勘 勧 巻 喚 堪 姦 完 官 寛 干
	幹 患 感 慣 憾 換 敢 柑 桓 棺
	款 歓 汗 漢 澗 潅 環 甘 監 看
	竿 管 簡 緩 缶 翰 肝 艦 莞 観
	諌 貫 還 鑑 間 閑 関 陥 韓 館
	舘 丸 含 岸 巌 玩 癌 眼 岩 翫
	贋 雁 頑 顔 願
き	企 伎 危 喜 器
	基 奇 嬉 寄 岐 希 幾 忌 揮 机
	旗 既 期 棋 棄
	機 帰 毅 気 汽 畿 祈 季 稀
	紀 徽 規 記 貴 起 軌 輝 飢 騎
	鬼 亀 偽 儀 妓 宜 戯 技 擬 欺
	犠 疑 祇 義 蟻 誼 議 掬 菊 鞠
	吉 吃 喫 桔 橘 詰 砧 杵 黍 却
	客 脚 虐 逆 丘 久 仇 休 及 吸
	宮 弓 急 救 朽 求 汲 泣 灸 球
	究 窮 笈 級 糾 給 旧 牛 去 居
	巨 拒 拠 挙 渠 虚 許 距 鋸 漁
	禦 魚 亨 享 京
	供 侠 僑 兇 競 共 凶 協 匡
	卿 叫 喬 境 峡 強 彊 怯 恐 恭
	挟 教 橋 況 狂 狭 矯 胸 脅 興
	蕎 郷 鏡 響 饗 驚 仰 凝 尭 暁
	業 局 曲 極 玉 桐 粁 僅 勤 均
	巾 錦 斤 欣 欽 琴 禁 禽 筋 緊
	芹 菌 衿 襟 謹 近 金 吟 銀
く	九
	倶 句 区 狗 玖 矩 苦 躯 駆 駈
	駒 具 愚 虞 喰 空 偶 寓 遇 隅
	串 櫛 釧 屑 屈
	掘 窟 沓 靴 轡 窪 熊 隈 粂
	栗 繰 桑 鍬 勲 君 薫 訓 群 軍
	郡
け	卦 袈 祁 係 傾 刑 兄 啓 圭
	珪 型 契 形 径 恵 慶 慧 憩 掲
	携 敬 景 桂 渓 畦 稽 系 経 継
	繋 罫 茎 荊 蛍 計 詣 警 軽 頚
	鶏 芸 迎 鯨 劇 戟 撃 激 隙 桁
	傑 欠 決 潔 穴 結 血 訣 月 件
	倹 倦 健 兼 券 剣 喧 圏 堅 嫌
	建 憲 懸 拳 捲
	検 権 牽 犬 献 研 硯 絹 県
	肩 見 謙 賢 軒 遣 鍵 険 顕 験
	鹸 元 原 厳 幻 弦 減 源 玄 現
	絃 舷 言 諺 限
こ	乎 個 古 呼 固
	姑 孤 己 庫 弧 戸 故 枯 湖 狐
	糊 袴 股 胡 菰 虎 誇 跨 鈷 雇
	顧 鼓 五 互 伍 午 呉 吾 娯 後
	御 悟 梧 檎 瑚 碁 語 誤 護 醐
	乞 鯉 交 佼 侯 候 倖 光 公 功
	効 勾 厚 口 向
	后 喉 坑 垢 好 孔 孝 宏 工
	巧 巷 幸 広 庚 康 弘 恒 慌 抗
	拘 控 攻 昂 晃 更 杭 校 梗 構
	江 洪 浩 港 溝 甲 皇 硬 稿 糠
	紅 紘 絞 綱 耕 考 肯 肱 腔 膏
	航 荒 行 衡 講 貢 購 郊 酵 鉱

こ	砿鋼閤降項香高鴻剛劫 号合壕拷濠豪轟麹克刻 告国穀酷鵠黒獄漉腰甑 忽惚骨狛込 此頃今困坤墾婚恨懇 昏昆根梱混痕紺艮魂
さ	些 佐叉唆嵯左差査沙瑳砂 詐鎖裟坐座挫債催再最 哉塞妻宰彩才採栽歳済 災采犀砕砦祭斎細菜裁 載際剤在材罪財冴坂阪 堺榊肴咲崎埼碕鷺作削 咋搾昨朔柵窄策索錯桜 鮭笹匙冊刷 察拶撮擦札殺薩雑皐 鯖捌錆鮫皿晒三傘参山 惨撒散桟燦珊産算纂蚕 讃賛酸餐斬暫残
し	仕仔伺 使刺司史嗣四士始姉姿 子屍市師志思指支孜斯 施旨枝止死氏獅祉私糸 紙紫肢脂至視詞詩試誌 諮資賜雌飼歯事似侍児 字寺慈持時 次滋治爾璽痔磁示而 耳自蒔辞汐鹿式識鴫竺 軸宍雫七叱執失嫉室悉 湿漆疾質実蔀篠偲柴芝 屡蕊縞舎写射捨赦斜煮 社紗者謝車遮蛇邪借勺 尺杓灼爵酌釈錫若寂弱 惹主取守手朱殊狩珠種 腫趣酒首儒受呪寿授樹 綬需囚収周 宗就州修愁拾洲秀秋 終繍習臭舟蒐衆襲讐蹴 輯週酋酬集醜什住充十 従戎柔汁渋獣縦重銃叔 夙宿淑祝縮粛塾熟出術 述俊峻春瞬竣舜駿准循
し	旬楯殉淳準潤盾純巡遵 醇順処初所暑曙渚庶緒 署書薯藷諸助叙女序徐 恕鋤除傷償 勝匠升召哨商唱嘗奨 妾娼宵将小少尚庄床廠 彰承抄招掌捷昇昌昭晶 松梢樟樵沼消渉湘焼焦 照症省硝礁祥称章笑粧 紹肖菖蒋蕉衝裳訟証詔 詳象賞醤鉦鍾鐘障鞘上 丈丞乗冗剰城場壌嬢常 情擾条杖浄状畳穣蒸譲 醸錠嘱埴飾 拭植殖燭織職色触食 蝕辱尻伸信侵唇娠寝審 心慎振新晋森榛浸深申 疹真神秦紳臣芯薪親診 身辛進針震人仁刃塵壬 尋甚尽腎訊迅陣靭
す	笥諏 須酢図厨逗吹垂帥推水 炊睡粋翠衰遂酔錐錘随 瑞髄崇嵩数枢趨雛据形 椙菅頗雀裾 澄摺寸
せ	世瀬畝是凄制 勢姓征性成政整星晴棲 栖正清牲生盛精聖声製 西誠誓請逝醒青静斉税 脆隻席惜戚斥昔析石積 籍績脊責赤跡蹟碩切拙 接摂折設窃節説雪絶舌 蝉仙先千占宣専尖川戦 扇撰栓栴泉浅洗染潜煎 煽旋穿箭線 繊羨腺舛船薦詮賎践 選遷銭銑閃鮮前善漸然 全禅繕膳糎
そ	噌塑岨措曾 曽楚狙疏疎礎祖租粗素 組蘇訴阻遡鼠僧創双叢
そ	倉喪壮奏爽宋層匝惣想 捜掃挿掻操早曹巣槍槽 漕燥争痩相窓糟総綜聡 草荘葬蒼藻装走送遭鎗 霜騒像増憎 臓蔵贈造促側則即息 捉束測足速俗属賊族続 卒袖其揃存孫尊損村遜
た	他多太汰詑唾堕妥惰打 柁舵楕陀駄騨体堆対耐 岱帯待怠態戴替泰滞胎 腿苔袋貸退逮隊黛鯛代 台大第醍題鷹滝瀧卓啄 宅托択拓沢濯琢託鐸濁 諾茸凧蛸只 叩但達辰奪脱巽竪辿 棚谷狸鱈樽誰丹単嘆坦 担探旦歎淡湛炭短端箪 綻耽胆蛋誕鍛団壇弾断 暖檀段男談
ち	値知地弛恥 智池痴稚置致蜘遅馳築 畜竹筑蓄逐秩窒茶嫡着 中仲宙忠抽昼柱注虫衷 註酎鋳駐樗瀦猪苧著貯 丁兆凋喋寵 帖帳庁弔張彫徴懲挑 暢朝潮牒町眺聴脹腸蝶 調諜超跳銚長頂鳥勅捗 直朕沈珍賃鎮陳
つ	津墜椎 槌追鎚痛通塚栂掴槻佃 漬柘辻蔦綴鍔椿潰坪壷 嬬紬爪吊釣鶴
て	亭低停偵 剃貞呈堤定帝底庭廷弟 悌抵挺提梯汀碇禎程締 艇訂諦蹄逓 邸鄭釘鼎泥摘擢敵滴 的笛適鏑溺哲徹撤轍迭 鉄典填天展店添纏甜貼 転顛点伝殿澱田電

付録

10

と	兎 吐 堵 塗 妬 屠 徒 斗 杜 渡 登 菟 賭 途 都 鍍 砥 砺 努 度 土 奴 怒 倒 党 冬 凍 刀 唐 塔 塘 套 宕 島 嶋 悼 投 搭 東 桃 梼 棟 盗 淘 湯 涛 灯 燈 当 痘 祷 等 答 筒 糖 統 到 董 蕩 藤 討 謄 豆 踏 逃 透 鐙 陶 頭 騰 闘 働 動 同 堂 導 憧 撞 洞 瞳 童 胴 萄 道 銅 峠 鴇 匿 得 徳 涜 特 督 禿 篤 毒 独 読 栃 橡 凸 突 椴 届 鳶 苫 寅 酉 瀞 噸 屯 惇 敦 沌 豚 遁 頓 呑 曇 鈍
な	奈 那 内 乍 凪 薙 謎 灘 捺 鍋 楢 馴 縄 畷 南 楠 軟 難 汝
に	二 尼 弐 迩 匂 賑 肉 虹 廿 日 乳 入 如 尿 韮 任 妊 忍 認
ぬ	濡
ね	禰 祢 寧 葱 猫 熱 年 念 捻 撚 燃 粘
の	乃 廼 之 埜 嚢 悩 濃 納 能 脳 膿 農 覗 蚤
は	巴 把 播 覇 杷 波 派 琶 破 婆 罵 芭 馬 俳 廃 拝 排 敗 杯 盃 牌 背 肺 輩 配 倍 培 媒 梅 楳 煤 狽 買 売 賠 陪 這 蝿 秤 矧 萩 伯 剥 博 拍 柏 泊 白 箔 粕 舶 薄 迫 曝 漠 爆 縛 莫 駁 麦 函 箱 硲 箸 肇 筈 櫨 幡 肌 畑 畠 八 鉢 溌 発 醗 髪 伐 罰 抜 筏 閥 鳩 噺 塙 蛤 隼 伴 判 半 反 叛 帆 搬 斑 板 氾 汎 版 犯 班 畔 繁 般 藩 販 範 釆 煩 頒 飯 挽 晩 番 盤 磐 蕃 蛮
ひ	匪 卑 否 妃 庇 彼 悲 扉 批 披 斐 比 泌 疲 皮 碑 秘 緋 罷 肥 被
ひ	誹 費 避 非 飛 樋 簸 備 尾 微 枇 毘 琵 眉 美 鼻 柊 稗 匹 疋 髭 彦 膝 菱 肘 弼 必 畢 筆 逼 桧 姫 媛 紐 百 謬 俵 彪 標 氷 漂 瓢 票 表 評 豹 廟 描 病 秒 苗 錨 鋲 蒜 蛭 鰭 品 彬 斌 浜 瀕 貧 賓 頻 敏 瓶
ふ	不 付 埠 夫 婦 富 冨 布 府 怖 扶 敷 斧 普 浮 父 符 腐 膚 芙 譜 負 賦 赴 阜 附 侮 撫 武 舞 葡 蕪 部 封 楓 風 葺 蕗 伏 副 復 幅 服 福 腹 複 覆 淵 弗 払 沸 仏 物 鮒 分 吻 噴 墳 憤 扮 焚 奮 粉 糞 紛 雰 文 聞
へ	丙 併 兵 塀 幣 平 弊 柄 並 蔽 閉 陛 米 頁 僻 壁 癖 碧 別 瞥 蔑 箆 偏 変 片 篇 編 辺 返 遍 便 勉 娩 弁 鞭
ほ	保 舗 鋪 圃 捕 歩 甫 補 輔 穂 募 墓 慕 戊 暮 母 簿 菩 倣 俸 包 呆 報 奉 宝 峰 峯 崩 庖 抱 捧 放 方 朋 法 泡 烹 砲 縫 胞 芳 萌 蓬 蜂 褒 訪 豊 邦 鋒 飽 鳳 鵬 乏 亡 傍 剖 坊 妨 帽 忘 忙 房 暴 望 某 棒 冒 紡 肪 膨 謀 貌 貿 鉾 防 吠 頬 北 僕 卜 墨 撲 朴 牧 睦 穆 釦 勃 没 殆 堀 幌 奔 本 翻 凡 盆
ま	摩 磨 魔 麻 埋 妹 昧 枚 毎 哩 槙 幕 膜 枕 鮪 柾 鱒 桝 亦 俣 又 抹 末 沫 迄 侭 繭 麿 万 慢 満 漫 蔓
み	味 未 魅 巳 箕 岬 密 蜜 湊 蓑 稔 脈 妙 粍 民 眠
む	務 夢 無 牟 矛 霧 鵡 椋 婿 娘
め	冥
め	名 命 明 盟 迷 銘 鳴 姪 牝 滅 免 棉 綿 緬 面 麺
も	摸 模 茂 妄 孟 毛 猛 盲 網 耗 蒙 儲 木 黙 目 杢 勿 餅 尤 戻 籾 貰 問 悶 紋 門 匁
や	也 冶 夜 爺 耶 野 弥 矢 厄 役 約 薬 訳 躍 靖 柳 薮 鑓 愉 愈 油 癒
ゆ	諭 輸 唯 佑 優 勇 友 宥 幽 悠 憂 揖 有 柚 湧 涌 猶 猷 由 祐 裕 誘 遊 邑 郵 雄 融 夕
よ	予 余 与 誉 輿 預 傭 幼 妖 容 庸 揚 揺 擁 曜 楊 様 洋 溶 熔 用 窯 羊 耀 葉 蓉 要 謡 踊 遥 陽 養 慾 抑 欲 沃 浴 翌 翼 淀
ら	羅 螺 裸 来 莱 頼 雷 洛 絡 落 酪 乱 卵 嵐 欄 濫 藍 蘭 覧
り	利 吏 履 李 梨 理 璃 痢 裏 裡 里 離 陸 律 率 立 葎 掠 略 劉 流 溜 琉 留 硫 粒 隆 竜 龍 侶 慮 旅 虜 了 亮 僚 両 凌 寮 料 梁 涼 猟 療 瞭 稜 糧 良 諒 遼 量 陵 領 力 緑 倫 厘 林 淋 燐 琳 臨 輪 隣 鱗 麟
る	瑠 塁 涙 累 類
れ	令 伶 例 冷 励 嶺 怜 玲 礼 苓 鈴 隷 零 霊 麗 齢 暦 歴 列 劣 烈 裂 廉 恋 憐 漣 煉 簾 練 聯 蓮 連 錬
ろ	呂 魯 櫓 炉 賂 路 露 労 婁 廊 弄 朗 楼 榔 浪 漏 牢 狼 篭 老 聾 蝋 郎 六 麓 禄 肋 録 論
わ	倭 和 話 歪 賄 脇 惑 枠 鷲 亙 亘 鰐 詫 藁 蕨 椀 湾 碗 腕

漢字一覧表（第二水準）

読み	漢字
ボウ	眸
キョウ	筐
ショウ	翔
ヨ	與
ホウ	萠
エビ	蛯
ショウ	誦
キュウ	赳
テキ	迪
ハン	鈑
ショウ	頌

読み	漢字
サイ	齋
コウ	篁
コウ	肛
マツ	茉
マン	萬
ケン	蜷
ジュン	諄
ケイ	蹊
マイ	邁
テツ	鐵
セン	餞

読み	漢字
リン	禀
キュウ	糺
シュウ	脩
リ	莉
ロ	蘆
フ	訃
ショウ	證
リョウ	輛
ヘン	邊
カン	鑵

付録

10

簡易手順一覧

仕様設定を中心に、問い合わせの多い手順を記載しています。

→の順にボタンを押してください。

補足 • 〈認証（仕様設定 / 登録）〉ボタンは、〈認証〉と省略します。
• 〈機械確認（メーター確認）〉ボタンは、〈機械確認〉と省略します。
• User ID の初期値は「11111」に設定されています。

機能共通にかかわる設定

■機械管理者用の User ID を変更する

〈認証〉→ User ID 入力→［仕様設定 / 登録］→［機械管理者情報の設定］→［機械管理者 ID］

＊初期値は［11111］に設定

詳しくは、「機械管理者 ID」(P.243) を参照してください。

■節電モードに移行する時間を変更する

〈認証〉→ User ID 入力→［仕様設定 / 登録］→［仕様設定］→

→［共通設定］→［システム時計 / タイマー設定］→［節電モード移行時間］

詳しくは、「節電モード移行時間」(P.218) を参照してください。

■機械の音量を変更する

〈認証〉→ User ID 入力→［仕様設定 / 登録］→［仕様設定］→

→［共通設定］→［音の設定］→音を選択

詳しくは、「音の設定」(P.219) を参照してください。

■ネットワークの設定状態（IP アドレスなど）を確認する

〈機械確認〉→［メーター確認 レポート出力］→［レポート / リストの出力］→

→［プリンター設定］→［機能設定リスト (共通項目)］

詳しくは、「機能設定リスト（共通項目）」(P.264) を参照してください。

■レポート / リストをプリントして機械の情報を確認する

〈機械確認〉→［メーター確認 レポート出力］→［レポート / リストの出力］→レポートを選択

詳しくは、「レポートをプリントする」(P.263) を参照してください。

■レポート / リストを自動的にプリントする（しない）よう設定する

〈認証〉→ User ID 入力→［仕様設定 / 登録］→［仕様設定］→

→［共通設定］→［レポート設定］→レポートを選択

詳しくは、「レポート設定」(P.225) を参照してください。

■ジョブの完了を確認する

〈ジョブ確認〉→［実行完了］

詳しくは、「完了したジョブを確認する」(P.161) を参照してください。

11 用語集

この章では、用語について説明します。

用語集

用語	説明
A3	420 × 297㎜ の用紙のことです。
A4	297 × 210㎜ の用紙のことです。
A5	210 × 148㎜ の用紙のことです。
ART	Advanced Rendering Tool の略で、弊社がページプリンター用に開発したプリンター制御言語です。
ART EX	弊社製のページ記述言語です。
B4	364 × 257㎜ の用紙のことです。
B5	257 × 182㎜ の用紙のことです。
CMS	Color Management System の略です。デバイスによる色の違いを補正し、画面とプリンターによるプリント結果の色を一致させます。
CMYK	カラー印刷などでの色の表現方法です。 C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）、K（ブラック）の 4 色に分解し、その 4 種類の色を重ね合わせて印刷します。
DPI	Dot Per Inch の略で、1 インチ幅に印字できるドット数を表す単位です。解像度を示す単位として使います。
ICM	Image Color Matching の略で、Windows 98、Windows Me、Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003 で採用されている色管理用ソフトウエアです。デバイスによる色の違いを補正し、画面とプリンターによるプリント結果の色を一致させます。
Image Enhancement（イメージエンハンスメント）	白黒の境目を滑らかにしてギザギザを減らし、疑似的に解像度を高める機能です。
MIME 方式	「Multipurpose Internet Mail Extension」の略です。 メールで受信したデータが、どのようなデータであるかがわかるようにするための取り決めのことです。MIME タイプとは、データの種類を示すものです。
NV メモリー	電源を切ってもプリンターの設定内容を保持しておくことができる、不揮発性のメモリーです。
PJL	「Printer Job Language」の略です。 Hewlett Packard社が開発したプリンターを制御する印刷用コマンド言語です。
POP3 方式	「Post Office Protocol Version3」の略です。 一般的に使われている通信プロトコル（通信の約束ごと）のひとつで、メールの受信プロトコルです。 プロバイダーのメールサーバーに私書箱のようなメールボックスを設け、接続時にメッセージを受信します。POP3 方式は受信専用です。メール送信では SMTP を使います。
RAM	Random Access Memory の略で、情報の読み出しと書き込みができる記憶装置（メモリー）です。
ROM	Read Only Memory の略で、情報の読み出し専用の記憶装置（メモリー）です。
ROS	Raster Output Scanner の略で、画像信号をドラム（感光体）に書き込む装置。一般には、レーザー ビーム スキャナー等の名称で呼ばれることもあります。

用語	説明
SMTP 方式	「Simple Mail Transfer Protocol」の略です。 メールの送受信で一般的に使われている通信プロトコルです。
合紙	プリントを排出するときに差し込む白紙、色紙のことです。
印字領域	用紙に対して実際に印字可能な領域です。
インターネット網	さまざまな通信網を結びつけた、広範囲に広がる通信網のことです。
エイリアス	本体メールアドレスの別名です。 たとえば、本体メールアドレスが myhost@mb1.abc.example.com の場合に、myhost@example.com のような別名（エイリアス）を設定できます。
エミュレーション	他社のプリンターでプリントした場合と同等の印字結果を得ることができるように、プリンターを動作させることです。このモードをエミュレーションモードと呼びます。
エラーコード	何らかのトラブルが発生した場合、操作パネルやレポートなどに表示されるコードです。
オフセット排出	プリントを排出するときに、その区切りがわかるように排出位置を交互にずらす機能です。
オプション	別売品のことです。その機種の基本構成のほかに、追加できる機能を別売品として提供しています。（別売品の詳細については、弊社担当までご確認ください。）
解像度	画像の細かさを表します。通常 1 インチあたりのドット数（単位は dpi）で表し、この数値が大きいほど解像度が高い（細部まで表現できる）といいます。
階調	色と色のなめらかさをいいます。グラデーションのステップ数で階調数を表し、その数値が大きいほどなめらかになります。
カット紙	A4、B5 などの定形サイズの用紙のことです。
画面	操作パネルのタッチパネルディスプレイに表示される画面のことです。メッセージや操作項目が表示されます。
自動トレイ切り替え	プリント中に用紙がなくなったとき、同一サイズ、同一方向の用紙がセットされている、ほかの用紙トレイから自動的に用紙を送るようにする機能です。
受信バッファ	コンピューターからの受信データを一時的に蓄積するための領域です。
準備完了音	電源を入れたときなど、機械が待機状態から使用可能になったときに発する音です。
初期画面	電源を入れた直後に表示される、操作パネルのタッチパネルディスプレイの画面です。
初期値	工場出荷時の値、または機械管理者モードで設定した値です。
状態表示コード	機械の状態を表すコードです。本機では、機械にトラブルが発生したときに操作パネルのタッチパネルディスプレイに表示されます。

用語	説明
節電機能	一定の時間使用しないときに機械を待機状態にさせる機能です。 本機では、次の節電機能を設定できます。 低電力モード ： 一定の時間、機械を使用しないとき、定着部ヒーターおよびモーターが自動的に待機状態になる機能。このとき操作パネルのタッチパネルディスプレイは消灯し、〈節電中 / 解除〉ボタンだけが点灯している状態になります。 スリープモード：機械のほとんどが待機状態になり、消費電力は最も少ない状態になります。
ソート	プリントを、1 部ごとに、ページ順に並べて排出する機能です。
蓄積	本書では、セキュリティープリント、時刻指定、サンプルプリント、認証プリント、プライベートプリントなどのプリントデータを本機に保存することです。
トナー残量警告音	ドラム / トナーカートリッジの交換が必要になったときに、機械が発する音です。
中とじしろ	小冊子作成の場合に、真ん中のとじ部分に、とじしろをつける機能です。
プリントページバッファ	実際のプリントイメージを描画する領域です。
まとめて 1 枚	複数枚の原稿を、左右上下に並べて 1 枚の用紙にプリントする機能です。

索　引　　　※ →【　】のカッコ内はマニュアル中の用語です

記号・英数

ア

イ

ウ

エ

オ

カ

キ

ケ

コ

サ

シ

ス

セ

ソ

タ

チ

ツ

テ

ト

ナ

ニ

ネ

ハ

ヒ

フ

ヘ

ホ

ミ

メ

モ

ユ

ヨ

リ

ル

レ

ロ

ワ

マニュアルコメント用紙

本書をより使いやすいものとするために、皆様からの貴重なご意見（説明不足、間違い、誤字、誤植、ご要望など）をお待ちいたしております。ご記入に際しましては、マニュアルに関することのみ具体的にご指摘くださるようお願いいたします。

マニュアルの名称	DocuPrint C5450 ユーザーズガイド	管理 No	ME3609J1-1
ご 芳 名		貴 社 名	
所属部門		電話番号	[内線]
所 在 地			

個人情報の取り扱いについて

マニュアルコメント用紙にご記入いただいたご芳名、所在地、電話番号等は、富士ゼロックス株式会社のマニュアル制作担当部門でマニュアルに対するお客様のご要望を具体的に把握・分析してマニュアルを改善するための活動、およびご協力いただいたお客様へのお礼状の送付のために利用いたします。

ページ	行	内容へのご指摘／ご要望

富士ゼロックス記入欄		
記　　事	受付 No.	受付担当印

1 版

[切り取り線]

[折り込み線]

富士ゼロックス（株）社内メール扱い

[送付先]
HID 開発部
マニュアルグループ 行

担当社員

事業部　営業所　課　係

氏名

[折り込み線]

[切り取り線]

- ご記入くださいましたら点線の部分で折り込みホチキスなどでとめたうえ、お買い求めの販売店にお渡しください。
- このままで郵便物として投函なさらないようにご注意ください。

商品のお問い合わせ先について

● この商品の**保守、操作、修理**(内容・期間・費用)のお問い合わせ、**消耗品**のご購入について、および本機を廃却する場合は、
商品に貼られている保守サポートの問い合わせ先カードの裏面に記載のあるテレフォンセンター、または商品センターにお問い合わせください。

表面

裏面

お問い合わせ先が不明の場合は、富士ゼロックスプリンティングシステムズプリンターサポートデスクにお問い合わせください。（各アプリケーションの操作につきましては、各ソフトウエアメーカーの問い合わせ窓口にお問い合わせください。）

フリーダイヤル　　　　フジゼロックス

0120-66-2209　FAX：03-3342-1552

フリーダイヤル受付時間：土曜、日曜、休祝日を除く9時～17時30分、東京でお受けします。

ただし、通話地域制限がある内線電話機、および携帯電話機からはご使用になれません。全国通話ができる電話機をご使用ください。表記の窓口は日本国内のお客様に限らせていただきます。

弊社へのお問い合わせの際には、機種名と機械番号を確認させていただきます。
保守サポートの問い合わせ先カードの裏面の「機種」「機械No.」、もしくは商品の背面または側面の銀色のシールに記載されている「商品名」「商品コード」「SER#」を事前にご確認ください。

DocuPrint C5450 ユーザーズガイド

著作者 ― 富士ゼロックス株式会社　　発行年月 ― 2006 年　1 月　第 1 版
発行者 ― 富士ゼロックスプリンティングシステムズ株式会社

（管理 No:ME3609J1-1）